

# 年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書

令和6年 4月 19日

都道府県知事 殿

病院名 名古屋市立大学医学部附属西部医療センター  
開設者 公立大学法人名古屋市立大学  
理事長 郡 健二郎

医師法第16条の2第1項に規定する臨床研修に関する省令（平成14年厚生労働省令第158号）第12条に基づき、年次報告書を提出いたします。  
また、併せて、同省令第9条に基づき、1. 研修プログラムの変更、2. 研修プログラムの新設を届け出ます。

（研修プログラムを変更する場合には「1. 研修プログラム変更」に、研修プログラムを新設する場合には「2. 研修プログラムの新設」に○をつけてください。）

①. 基幹型臨床研修病院 2. 協力型臨床研修病院 （報告又は届出を行う臨床研修病院の型の番号に○をつけてください。）

- ・項目番号1から27までについては、年次報告において記入してください。
- ・研修プログラムの変更・新設の届出の場合は、項目番号28から38までについても記入してください。

# 年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書－１－

病院施設番号：030915

臨床研修病院の名称：名古屋市立大学医学部附属西部医療センター

記入日：西暦 2024 年 4 月 19 日

病院施設番号 (基幹型、協力型記入) 既に番号を取得している臨床研修病院については、 病院施設番号を記入してください。	030915	臨床研修病院群の名称 (基幹型、協力型記入) 既に臨床研修病院群番号を有している臨 床研修病院群については、番号も記入し てください。	名称 名古屋市立大学医学部附属西 部医療センター臨床研修病院群 番号 030915
作成責任者の氏名及び連絡先 (基幹型、協力型記入) 本報告書の問合せに対して回答できる作成 責任者について記入してください。	フリガナ カイ ヲウ 氏名(姓) (名) 笠井 裕司	役職 病院管理部管理課庶務係 主事 (内線 6544) (直通電話 (052) 991-8121 ) e-mail : a9918121@sec.nagoya-cu.ac.jp (携帯電話のメールアドレスは不可とします。)	
1. 病院の名称 (基幹型、協力型記入)	フリガナ ナゴヤシツダガクカイケンブツブツイヨウセンター 名古屋市立大学医学部附属西部医療センター		
2. 病院の所在地及び二次医 療圏の名称 (基幹型、協力型記入)	〒 462-8508 (愛知県) 名古屋市北区平手町1丁目1番地の1 電話：(052) 991-8121 F A X：(052) 916-2038 二次医療圏 の名称：名古屋・尾張中部医療圏		
3. 病院の開設者の氏名(法 人の名称) (基幹型、協力型記入)	フリガナ コリツダガクケウジン ナゴヤシツダガク リジチョウ コリ ケンロウ 公立大学法人 名古屋市立大学 理事長 郡 健二郎		
4. 病院の開設者の住所(法 人の主たる事務所の所在 地) (基幹型、協力型記入)	〒 467-8602 (愛知県) 名古屋市瑞穂区瑞穂町字川澄1 電話：(052) 853-8005 F A X：(052) 841-6201		
5. 病院の管理者の氏名 (基幹型、協力型記入)	フリガナ オハラ 姓 大原	ヒロシ 姓 弘隆	
6. 研修管理委員会の構成員の氏名 及び開催回数 (基幹型記入)	* 別紙1に記入 研修管理委員会の全ての構成員(協力型臨床研修病院及び臨床研修協力施設に所属する者を含む。)について記入してください。		
7. 病院群の構成等 (基幹型記入)	* 別表に記入 病院群を構成する全ての臨床研修病院、臨床研修協力施設の名称、新規指定の有無、病院群の構成の変更等について記入してください。		
8. 病院のホームページアドレス (基幹型、協力型記入)	https://www.west-medical-center.med.nagoya-cu.ac.jp/		

# 年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書－２－

病院施設番号：030915

臨床研修病院の名称： 名古屋市立大学医学部附属西部医療センター

		※
9. 医師（研修医を含む。）の員数 <small>（基幹型・協力型記入）</small>		常勤：133名、非常勤（常勤換算）：51.3名 計（常勤換算）：184.3名、医療法による医師の標準員数：55.9名 * 基幹型臨床研修病院は、当該病院が管理している研修医の氏名等について様式A-3に記入
10. 救急医療の提供の実績 <small>（基幹型・協力型記入）</small>	救急病院認定の告示	告示年月日：西暦2020年7月3日、告示番号：第118号
	医療計画上の位置付け	1. 初期救急医療機関 ②. 第二次救急医療機関 3. 第三次救急医療機関
	救急専用診療（処置）室の有無	①. 有（288,690）m <sup>2</sup> 0. 無
	救急医療の実績	前年度の件数：10,609件（うち診療時間外：5,943件） 1日平均件数：29.0件（うち診療時間外：16.2件） 救急車取扱件数：3,341件（うち診療時間外：1,815件）
	診療時間外の勤務体制	医師：9～11名、看護師及び准看護師：6～7名
	指導を行う者の氏名等	* 別紙4に記入
救急医療を提供している診療科	内科系（①. 有 0. 無） 外科系（①. 有 0. 無） 小児科（①. 有 0. 無） その他（産婦人科、耳鼻咽喉科、眼科）	
11. 医療法上の許可病床数（歯科の病床数を除く。） <small>（基幹型・協力型記入）</small>		1. 一般：500床、2. 精神： 床、3. 感染症： 床 4. 結核： 床、5. 療養： 床
12. 診療科ごとの入院患者・外来患者・研修医の数の <small>（基幹型・協力型記入）</small>		* 別紙2に記入 年次報告の場合には、患者数は報告年度の前年度分、研修医の数は報告年度の前年度分の実績と当年度分の想定を記入。 研修プログラム変更・新設の届出の場合には、患者数は届出年度の前年度分、研修医の数は届出年度の次年度分及び次々年度分の想定を記入。
13. 病床の種別ごとの平均在院日数（小数第二位四捨五入） <small>（基幹型・協力型記入）</small>		1. 一般：10.3日、2. 精神： 日、3. 感染症： 日 4. 結核： 日、5. 療養： 日
14. 前年度の分娩件数 <small>（基幹型・協力型記入）</small>		正常分娩件数：553件、異常分娩件数：414件
15. 臨床病理検討会（CPC）の実施状況 <small>（基幹型・協力型記入）</small>	開催回数	前年度実績：2回、今年度見込：3回 ※報告・届出病院の主催の
	指導を行う病理医の氏名等	* 別紙4に記入 下に開催した回数を記入
	剖検数	前年度実績：2件、今年度見込：3件
	剖検を行う場所	当該医療機関の剖検室 ①. 有 0. 無（ ）大学、（ ）病院 無を選択した場合には、剖検を実施している大学又は病院を記入してください。
16. 研修医のための宿舎及び研修医室の有無 <small>（基幹型・協力型記入）</small>	研修医の宿舎	1. 有（単身用： 戸、世帯用： 戸） ①. 無（住宅手当： 円） 有を選択した場合には、単身用・世帯用に分けて宿舎の戸数を記入してください。 無を選択した場合には、住宅手当の金額を記入してください。住宅手当の支給が無い場合は、「0」と記入してください。
	研修医室	①. 有（1室） 0. 無 有を選択した場合には、研修医室の室数を記入してください。
17. 図書、雑誌、インターネット等が利用できる環境及び医学教育用機材の整備状況 <small>（基幹型・協力型記入）</small>	図書室の広さ	（55.8）m <sup>2</sup>
	医学図書数	国内図書：18,304冊、国外図書：18冊
	医学雑誌数	国内雑誌：1,747種類、国外雑誌：50種類
	図書室の利用可能時間	0：00～24：00 24時間表記
	文献データベース等の利用環境	Medline等の文献データベース（①. 有 0. 無）、教育用コンテンツ（①. 有 0. 無）、 その他（ ） 利用可能時間（0：00～24：00）24時間表記
医学教育用機材の整備状況	医学教育用シミュレーター（①. 有 0. 無）、 その他（ ）	







## 年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書－ 6 －

病院施設番号：030915

臨床研修病院の名称： 名古屋市立大学医学部附属西部医療センター

※研修プログラムの変更又は新設の場合は、上記内容と併せて以下の内容についても記入してください。

36. 研修医の処遇（続き） <small>（基幹型・協力型記入）</small>	健康管理	健康診断（年 2 回） その他（具体的に _____ ）
	医師賠償責任保険の扱い	病院において加入（○. する 〇. しない） 個人加入（1. 強制 ○. 任意）
	外部の研修活動	学会、研究会等への参加：○. 可 〇. 否 学会、研究会等への参加費用支給の有無：○. 有 〇. 無
	院内保育所（再掲）	院内保育所の有無（①. 有 〇. 無） 有を選択した場合、開所時間を記入してください（ _____ 時 分 ～ _____ 時 分）
		病児保育（1. 有 ○. 無） 夜間保育（①. 有 〇. 無）
		上記保育所は研修医の子どもに使用可能か（①. 可 〇. 不可）
	保育補助（再掲）	ベビーシッター・一時保育等利用時の補助（1. 有 ○. 無） その他の補助（具体的に： 当直を行った月は夜間保育料無料 _____ ）
	体調不良時に休憩・授乳等に使用できる場所（再掲）	休憩場所（①. 有 〇. 無） 授乳スペース（①. 有 〇. 無）
	その他育児関連施設・取組があれば記入（院外との連携した取組もあれば記入）（再掲）	（ _____ ）
	研修医のライフイベントの相談窓口（再掲）	①. 有 〇. 無 窓口の名称がある場合記入（ 病院管理部管理課庶務係 _____ ） 窓口の専任担当 1. 有（ _____ 名） ○. 無
各種ハラスメントの相談窓口（再掲）	窓口の名称を記入（ _____ ハラスメント相談窓口相談員 _____ ） 窓口の専任担当 ①. 有（ 2名） 〇. 無	
37. 研修医手帳（基幹型記入）	①. 有 〇. 無	
38. 連携状況（基幹型記入）	* 様式A-6に記入	

※欄は、記入しないこと。

## 6. 研修管理委員会の構成員の氏名及び開催回数(令和5年度開催回数 3回)

様式A-10別紙1

病院施設番号:030915 臨床研修病院の名称: 名古屋市立大学医学部附属西部医療センター

氏名		所属	役職	備考
オハラ 大原	ヒロカ 弘隆	名古屋市立大学医学部附属西部医療センター	病院長	委員長・病院管理者・指導医
カタ 片田	エイチ 栄一	名古屋市立大学医学部附属西部医療センター	臨床研修センター長(脳神経内科部長)	研修実施責任者・指導医
イマダ 今枝	ケンロウ 憲郎	名古屋市立大学医学部附属西部医療センター	臨床研修室副室長(病院長補佐・内分泌・糖尿病内科部長)	プログラム責任者・指導医
ハヤミ 速水	ヨシヒト 芳仁	名古屋市立大学医学部附属西部医療センター	臨床研修室副室長(リウマチ・膠原病内科部長)	指導医
フカノ 深野	ヒデオ 英夫	名古屋市立大学医学部附属西部医療センター	歯科口腔外科部長	歯科指導医
キクチ 菊地	モトオ 基雄	名古屋市立大学医学部附属西部医療センター	総合内科部長	指導医
ツダ 土田	ケンジ 研司	名古屋市立大学医学部附属西部医療センター	内視鏡センター長(消化器内科部長)	指導医
アキタ 秋田	ケンジ 憲志	名古屋市立大学医学部附属西部医療センター	副院長(呼吸器内科部長・呼吸器腫瘍センター長)	指導医
ヤシマ 矢島	カスヒロ 和裕	名古屋市立大学医学部附属西部医療センター	病院長補佐(循環器内科部長)	指導医
スカ 菅	ハリヒコ 憲広	名古屋市立大学医学部附属西部医療センター	腎臓・透析内科部長	指導医
カネモリ 金森	タカシ 貴之	名古屋市立大学医学部附属西部医療センター	血液・腫瘍内科副部長	指導医
モリダ 持田	ヨシヒト 圭仁	名古屋市立大学医学部附属西部医療センター	精神科副部長	
イトウ 伊藤	ヤスヒコ 康彦	名古屋市立大学医学部附属西部医療センター	副院長(小児腫瘍科部長・小児医療センター長)	指導医
コバヤシ 小林	サトル 悟	名古屋市立大学医学部附属西部医療センター	小児科副部長	指導医
ヤマダ 山田	タカシ 拓司	名古屋市立大学医学部附属西部医療センター	小児科副部長	指導医

氏名		所属	役職	備考
カミカ 神岡	ナオミ 直美	名古屋市立大学医学部附属西部医療センター	小児アレルギー科部長	指導医
ミツイ 三井	アキラ 章	名古屋市立大学医学部附属西部医療センター	院長代行（消化器外科部長）	指導医
ハネダ 羽田	ヒロシ 裕司	名古屋市立大学医学部附属西部医療センター	呼吸器外科部長	指導医
スキウラ 杉浦	ヒロシ 博士	名古屋市立大学医学部附属西部医療センター	病院長補佐（乳がん治療センター長、乳腺・内分泌外科部長）	指導医
サウ 佐藤	ヨウコ 陽子	名古屋市立大学医学部附属西部医療センター	小児外科部長	指導医
イナダ 稲田	アツシ 充	名古屋市立大学医学部附属西部医療センター	副院長（整形外科部長）	指導医
オオクラ 大蔵	アツヒコ 篤彦	名古屋市立大学医学部附属西部医療センター	脳神経外科部長	指導医
ニシダ 西田	エミ 絵美	名古屋市立大学医学部附属西部医療センター	皮膚科部長	指導医
ウメト 梅本	ユキヒロ 幸裕	名古屋市立大学医学部附属西部医療センター	副院長（泌尿器科部長）	指導医
ニシカワ 西川	ナオミ 尚実	名古屋市立大学医学部附属西部医療センター	周産期医療センター長（産婦人科部長）	指導医
ナカザワ 中沢	ヨウコ 陽子	名古屋市立大学医学部附属西部医療センター	眼科部長	指導医
タカノ 高野	ガク 学	名古屋市立大学医学部附属西部医療センター	耳鼻いんこう科副部長	指導医
オキノ 荻野	ヒロユキ 浩幸	名古屋市立大学医学部附属西部医療センター	陽子線治療センター長（陽子線治療科部長）	指導医
クサマ 草間	ノブシ 宣好	名古屋市立大学医学部附属西部医療センター	麻酔科部長	
ササノ 笹野	ノブコ 信子	名古屋市立大学医学部附属西部医療センター	病院長補佐（災害医療センター長・集中治療部部長）	指導医
イシカワ 石川	ミサオ 操	名古屋市立大学医学部附属西部医療センター	病理診断科部長	指導医

氏名		所属	役職	備考
スキウラ 杉浦	マサト 真人	名古屋市立大学医学部附属西部医療センター	中央検査科部長	指導医
ナンバ 難波	トモハル 朝陽	名古屋市立大学医学部附属西部医療センター	臨床研修室	臨床研修医
オクラ 小倉	マサカス 正和	名古屋市立大学医学部附属西部医療センター	臨床研修室	臨床研修医
モリ 森	キヨタカ 清孝	名古屋市立大学医学部附属西部医療センター	中央放射線部技師長診療技術科技師長	指導者
オガワ 小川	シンスケ 新介	名古屋市立大学医学部附属西部医療センター	中央検査科技師長	指導者
モリタ 森下	ノブユキ 修行	名古屋市立大学医学部附属西部医療センター	薬剤部副部長	指導者
トモヒロ 友廣	チカ 智香	名古屋市立大学医学部附属西部医療センター	看護部長	指導者
ワケイ 和久井	ヒロシ 等	名古屋市立大学医学部附属西部医療センター	病院管理部長	事務部門の責任者
ムラカミ 村上	ヒデキ 英樹	名古屋市立大学病院	総合研修センター長	協力型臨床研修病院研修実施責任者
ヤマダ 山田	ケンタロウ 健太郎	名古屋市立大学医学部附属東部医療センター	臨床研修センター長	協力型臨床研修病院研修実施責任者
ヤスイ 安井	ケンゾウ 健三	日間賀島診療所	診療所長	臨床研修協力施設研修実施責任者
ホリ 保里	ケイイチ 恵一	知多厚生病院附属篠島診療所	診療所長	臨床研修協力施設研修実施責任者
コハヤシ 小林	シヤ 真哉	愛知県厚生農業協同組合連合会 足助病院	病院長	協力型臨床研修病院研修実施責任者
サモト 佐本	ヨウスケ 洋介	国民健康保険上矢作病院	副病院長	臨床研修協力施設研修実施責任者
マエダ 前田	ヒデト 英登	新城市作手診療所	所長	臨床研修協力施設研修実施責任者
シモダaira 下平	タカヒロ 隆寛	医療法人輝山会記念病院	内科医長	臨床研修協力施設研修実施責任者

氏名		所属	役職	備考
かん 菅	サカエ 栄	医療法人開生会かいせい病院	院長	臨床研修協力施設研修実施責任者
かたきり 片桐	ケンジ 健二	医療法人 笠寺病院	副院長	臨床研修協力施設研修実施責任者
シフヤ 渋谷	ヤスユキ 恭之	名古屋市立大学病院	歯科口腔外科部長	歯科 協力型臨床研修施設研修実施責任者
かう 加藤	アツシ 篤	愛知県医療療育総合センター中央病院	小児歯科医長	歯科 協力型臨床研修施設研修実施責任者
ゴトウ 後藤	ヨウ 洋	医療法人城北 城北歯科医院・矯正歯科	院長	歯科 協力型臨床研修施設研修実施責任者
コハヤシ 小林	クニオ 邦生	名古屋市北区医師会	会長	外部有識者

※ 1ページ目の最上欄には、研修管理委員長の氏名等を記入すること。「所属」欄には、当該構成員が所属する病院又は施設の名称を記入すること。研修管理委員長、プログラム責任者、研修実施責任者及び臨床研修指導医(指導医)については、「備考」欄にその旨を記入すること。欄が足りない場合には、コピーにより対応し、「(No. )」欄にページ数を記入すること。

12. 診療科ごとの入院患者・外来患者の数

既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入してください。

臨床研修病院の名称：名古屋市立大学医学部附属西部医療センター  
 病院施設番号：030915

区 分	内 科	救急部門	外 科	麻酔科 (部門)	小 児 科	産婦人科	又は		精 神 科	病院で定めた必修 科目の診療科			その他の研修を行 う診療科			合 計
							産 科	婦 人 科					脳 神 経 外 科	整 形 外 科	皮 膚 科	
年間入院患者実数 ( ) 内は救急件数又は分娩件数	4,686	(11,609)	1,771	0	1,407	1,959 (967)	( )	( )	0				116	709	3	
年間新外来患者数	6,709		943	13	2,873	1,943			103				303	1,297	579	
1日平均外来患者数 ( ) 内は年間外来診療日数	381.1 (243)		105.5 (243)	4.6 (243)	74.2 (243)	115.4 (243)			5.2 (243)				14.1 (243)	92.6 (243)	53.1 (243)	
平均在院日数	11.3		10.2	-	10.2	7.0			-				18.7	16.7	9.0	
常勤医師数 (うち臨床研修指導医(指導医) 数)	44 (23)	( )	17 (9)	3 (0)	17 (9)	14 (3)	( )	( )	2 (1)	( )	( )	( )	1 (1)	5 (1)	1 (1)	

※ 「年間入院患者実数」とは、提出年度の前々年度の繰越患者数に提出年度の前年度中における新入院患者数を加えた数とすること。「年間新外来患者数」とは、提出年度の前年度中に来院した外来患者のうち、初診料を算定した患者数とすること。「1日平均外来患者数」とは、年間外来患者延数÷年間外来診療日数による数(小数第二位を四捨五入)とすること。「病院で定めた必修科目の診療科」欄等が足りない場合には、続紙(様式自由)に記載し添付すること。「救急件数」及び「分娩件数」とは、10. の救急医療の実績の前年度の件数及び 14. の正常分娩件数と異常分娩件数の合計とすること。

※ 「内科」とは、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、神経内科等を含めた広義の内科のうち基本研修科目の内科分野の研修を行う診療科であり、「外科」とは、心臓血管外科、呼吸器外科、脳外科等を含めた広義の外科のうち基本研修科目の外科分野の研修を行う診療科であること。

臨床研修病院の名称：名古屋市立大学医学部附属西部医療センター

病院施設番号：030915

区 分	その他の研修を行う診療科														合 計	
	泌尿器科	眼科	耳鼻咽喉科	放射線科	陽子線治療科	病理診断科	中央検査科	集中治療部	緩和ケア医療部							
年間入院患者実数（済） （）内は救急件数又は分娩件数	906	496	387	0	655											13,095
年間新外来患者数	579	674	993	1783	984											19,776
1日平均外来患者数 （）内は年間外来診療日数	76.1 (243)	51.5 (243)	39.4 (243)	28.4 (243)	67.8 (243)											
平均在院日数	6.3	4.0	7.8	-	1.1											
常勤医師数 （うち臨床研修指導医(指導医)数)	4 (2)	3 (1)	2 (1)	8 (4)	6 (3)	2 (2)	1 (1)	1 (1)	2 (0)							133 (63)

※ 「年間入院患者実数」とは、提出年度の前々年度の繰越患者数に提出年度の前年度中における新入院患者数を加えた数とすること。「年間新外来患者数」とは、提出年度の前年度中に来院した外来患者のうち、初診料を算定した患者数とすること。「1日平均外来患者数」とは、年間外来患者延数÷年間外来診療日数による数（小数第二位を四捨五入）とすること。「病院で定めた必修科目の診療科」欄等が足りない場合には、続紙（様式自由）に記載し添付すること。「救急件数」及び「分娩件数」とは、10. の救急医療の実績の前年度の件数及び 14. の正常分娩件数と異常分娩件数の合計とすること。

※ 「内科」とは、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、神経内科等を含めた広義の内科のうち基本研修科目の内科分野の研修を行う診療科であり、「外科」とは、心臓血管外科、呼吸器外科、脳外科等を含めた広義の外科のうち基本研修科目の外科分野の研修を行う診療科であること。

### 13. 診療科ごとの研修医の数

既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入してください。

( 5年度分)		臨床研修病院の名称：名古屋市立大学医学部附属西部医療センター												
		病院施設番号：030915												
基幹型病院名	担当分野	1～ 4週	5～ 8週	9～ 12週	13～ 16週	17～ 20週	21～ 24週	25～ 28週	29～ 32週	33～ 36週	37～ 40週	41～ 44週	45～ 48週	49～ 52週
西部医療センター	内科	9	10	10	7	11	13	8	10	10	9	10	11	13
同上	小児科	1	2	1	1	2		1			1	1	2	1
同上	産婦人科	1	1	1	2	1	1		1	1	2	1	2	
同上	外科	1	1			1		2	1	1			1	
同上	麻酔科	1		1	1		1	1	1			1		1
同上	救急部門	5	4	4	3		1	1	2	1	2	1		2
名古屋市立大学病院	内科	4	2	3	4	1	2	3	3	3	3	2	3	5
同上	小児科			1	1		1	1	1		1			
同上	産婦人科	1				2		1				1		
同上	外科			1	1		1				1	1		1
同上	麻酔科		1			1				1	1	1	1	
同上	救急部門	1	2			2	1	1	1	1		1	2	
東部医療センター	小児科	1		1	1		1	1						
名鉄病院	産婦人科							1	1	1				

※ 年次報告の場合は提出年度の前年度の実績分及び提出年度分の想定を別葉で作成し、研修プログラム変更・新設届出の場合は、届出年度の次年度分、次々年度分の想定を別葉で作成すること。

※ 当該病院が上記の年度に受け入れた、又は受け入れる予定の研修医の数を、基幹型臨床研修病院別及び担当分野別に記入すること。当該病院が基幹型臨床研修病院であり、かつ協力型臨床研修病院として研修医を受け入れている場合は、協力型臨床研修病院として受け入れている人数も含めて、全ての人数を記入すること。

※ 「基幹型臨床研修病院名」欄は、当該病院が基幹型臨床研修病院の場合は、当該病院を一番上に記入することとし、次に協力型臨床研修病院として受け入れている基幹型臨床研修病院名を記入すること。

※ 基幹型臨床研修病院及び担当分野ごとに各4週ごとに受け入れる研修医の延人数（研修期間4週について1人とする）を記入すること。

※ 「担当分野」欄には、内科、救急部門、地域医療、外科、麻酔科、小児科、産婦人科及び精神科のみを記入し、選択科については記入しないこと。ただし、一般外来については、他科との並行研修ではなく、単独で実施する場合に限り記入すること。また、当該病院が基幹型臨床研修病院であるとき、病院が定めた必修科目が上記以外にある場合には、その科目も含めて記入すること。

## 12. 診療科ごとの研修医の数

既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入してください。

( 6 年度分)		臨床研修病院の名称：名古屋市立大学医学部附属西部医療センター												
		病院施設番号：030915												
基幹型臨床研修病院名	担当分野	1～ 4週	5～ 8週	9～ 12週	13～ 16週	17～ 20週	21～ 24週	25～ 28週	29～ 32週	33～ 36週	37～ 40週	41～ 44週	45～ 48週	49～ 52週
西部医療センター	内科	6	4	6	6	4	2	5	3	3	2	5	7	7
同上	小児科	2	1	1	1	1	1		1	1	1	1	1	1
同上	産婦人科	1	2		1	1	1	1		1	1	1	1	1
同上	外科	2		1			1				1			
同上	麻酔科		1	1	1	1			1	2	1	1		
同上	救急部門	3	4	3		1	2	2	2		2	2	2	2
名古屋市立大学病院	内科	3	3	2	2	3	4	2	2	4	5	3	2	2
同上	小児科		1	1			1	1			1		1	1
同上	産婦人科	1		1	1				1			1	1	1
同上	外科		1		1	1		1	1	1		1		
同上	麻酔科	1		1		1	1	1	1				1	1
同上	救急部門	2		1	3	1	1			2				
東部医療センター	小児科								1	1	1	1		
徳洲会	小児科			1										

※ 年次報告の場合は提出年度の前年度の実績分及び提出年度分の想定を別葉で作成し、研修プログラム変更・新設届出の場合は、届出年度の次年度分、次々年度分の想定を別葉で作成すること。

※ 当該病院が上記の年度に受け入れた、又は受け入れる予定の研修医の数を、基幹型臨床研修病院別及び担当分野別に記入すること。当該病院が基幹型臨床研修病院であり、かつ協力型臨床研修病院として研修医を受け入れている場合は、協力型臨床研修病院として受け入れている人数も含めて、全ての人数を記入すること。

※ 「基幹型臨床研修病院名」欄は、当該病院が基幹型臨床研修病院の場合は、当該病院を一番上に記入することとし、次に協力型臨床研修病院として受け入れている基幹型臨床研修病院名を記入すること。

※ 基幹型臨床研修病院及び担当分野ごとに各4週ごとに受け入れる研修医の延人数（研修期間4週について1人とする）を記入すること。

※ 「担当分野」欄には、内科、救急部門、地域医療、外科、麻酔科、小児科、産婦人科及び精神科のみを記入し、選択科については記入しないこと。ただし、一般外来については、他科との並行研修ではなく、単独で実施する場合に限り記入すること。また、当該病院が基幹型臨床研修病院であるとき、病院が定めた必修科目が上記以外にある場合には、その科目も含めて記入すること。

## 12. 診療科ごとの研修医の数

既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入してください。

( 7 年度分)		臨床研修病院の名称：名古屋市立大学医学部附属西部医療センター												
		病院施設番号：030915												
基幹型臨床研修病院名	担当分野	1～ 4週	5～ 8週	9～ 12週	13～ 16週	17～ 20週	21～ 24週	25～ 28週	29～ 32週	33～ 36週	37～ 40週	41～ 44週	45～ 48週	49～ 52週
西部医療センター	内科	5	5	4	2	2	2	2	8	8	8	8	8	8
同上	小児科	2	1	1	1	1	1	1						
同上	産婦人科	1	2	1	1	1	1	1						
同上	外科	2	2	1	1	1	1	1						
同上	麻酔科	2	2	1	1	1	1	1						
同上	救急部門	4	2	2	2	2	2	2						
名古屋市立大学病院	内科	8	8	8	8	8	8	2	2	2	2	2	2	2
同上	小児科							1	1	1	1	1	1	1
同上	産婦人科							1	1	1	1	1	1	1
同上	外科							1	1	1	1	1	1	1
同上	麻酔科							1	1	1	1	1	1	1
同上	救急部門							2	2	2	2	2	2	2
東部医療センター	小児科			1	1	1	1	1	1					
徳洲会	小児科									1	1			

※ 年次報告の場合は提出年度の前年度の実績分及び提出年度分の想定を別葉で作成し、研修プログラム変更・新設届出の場合は、届出年度の次年度分、次々年度分の想定を別葉で作成すること。

※ 当該病院が上記の年度に受け入れた、又は受け入れる予定の研修医の数を、基幹型臨床研修病院別及び担当分野別に記入すること。当該病院が基幹型臨床研修病院であり、かつ協力型臨床研修病院として研修医を受け入れている場合は、協力型臨床研修病院として受け入れている人数も含めて、全ての人数を記入すること。

※ 「基幹型臨床研修病院名」欄は、当該病院が基幹型臨床研修病院の場合は、当該病院を一番上に記入することとし、次に協力型臨床研修病院として受け入れている基幹型臨床研修病院名を記入すること。

※ 基幹型臨床研修病院及び担当分野ごとに各4週ごとに受け入れる研修医の延人数（研修期間4週について1人とする）を記入すること。

※ 「担当分野」欄には、内科、救急部門、地域医療、外科、麻酔科、小児科、産婦人科及び精神科のみを記入し、選択科については記入しないこと。ただし、一般外来については、他科との並行研修ではなく、単独で実施する場合に限り記入すること。また、当該病院が基幹型臨床研修病院であるとき、病院が定めた必修科目が上記以外にある場合には、その科目も含めて記入すること。

## 12. 診療科ごとの研修医の数

既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入してください。

( 8 年度分)		臨床研修病院の名称：名古屋市立大学医学部附属西部医療センター												
		病院施設番号：030915												
基幹型臨床研修病院名	担当分野	1～ 4週	5～ 8週	9～ 12週	13～ 16週	17～ 20週	21～ 24週	25～ 28週	29～ 32週	33～ 36週	37～ 40週	41～ 44週	45～ 48週	49～ 52週
西部医療センター	内科	5	5	4	2	2	2	2	8	8	8	8	8	8
同上	小児科	2	1	1	1	1	1	1						
同上	産婦人科	1	2	1	1	1	1	1						
同上	外科	2	2	1	1	1	1	1						
同上	麻酔科	2	2	1	1	1	1	1						
同上	救急部門	4	2	2	2	2	2	2						
名古屋市立大学病院	内科	8	8	8	8	8	8	2	2	2	2	2	2	2
同上	小児科							1	1	1	1	1	1	1
同上	産婦人科							1	1	1	1	1	1	1
同上	外科							1	1	1	1	1	1	1
同上	麻酔科							1	1	1	1	1	1	1
同上	救急部門							2	2	2	2	2	2	2
東部医療センター	小児科			1	1	1	1	1	1					
徳洲会	小児科									1	1			

※ 年次報告の場合は提出年度の前年度の実績分及び提出年度分の想定を別葉で作成し、研修プログラム変更・新設届出の場合は、届出年度の次年度分、次々年度分の想定を別葉で作成すること。

※ 当該病院が上記の年度に受け入れた、又は受け入れる予定の研修医の数を、基幹型臨床研修病院別及び担当分野別に記入すること。当該病院が基幹型臨床研修病院であり、かつ協力型臨床研修病院として研修医を受け入れている場合は、協力型臨床研修病院として受け入れている人数も含めて、全ての人数を記入すること。

※ 「基幹型臨床研修病院名」欄は、当該病院が基幹型臨床研修病院の場合は、当該病院を一番上に記入することとし、次に協力型臨床研修病院として受け入れている基幹型臨床研修病院名を記入すること。

※ 基幹型臨床研修病院及び担当分野ごとに各4週ごとに受け入れる研修医の延人数（研修期間4週について1人とする）を記入すること。

※ 「担当分野」欄には、内科、救急部門、地域医療、外科、麻酔科、小児科、産婦人科及び精神科のみを記入し、選択科については記入しないこと。ただし、一般外来については、他科との並行研修ではなく、単独で実施する場合に限り記入すること。また、当該病院が基幹型臨床研修病院であるとき、病院が定めた必修科目が上記以外にある場合には、その科目も含めて記入すること。

## 29. 研修プログラムの名称及び概要

プログラム番号： 030915509

病院施設番号： 030915 臨床研修病院の名称： 名古屋市立大学医学部附属西部医療センター

臨床研修病院群番号： 0309155 臨床研修病院群名： 名古屋市立大学医学部附属西部医療センター臨床研修病院群

プログラム番号、病院施設番号及び臨床研修病院群番号は、既に取得されている場合に記入してください。

1. 研修プログラムの名称	名古屋市立大学医学部附属西部医療センター臨床研修病院群医師臨床研修プログラム
2. 研修プログラムの特色	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 名古屋市立大学医学部附属西部医療センター（以下、「西部医療センター」と略す）は病診連携を基礎にした地域の中核病院であり、日常診療でよく遭遇する疾患をはじめ、急性期小児周産期医療を研修できる。</li> <li>2 総合病院として各科の専門医が充実しており、ローテート各科で専門医から指導を受けることができる。</li> <li>3 各科は関連学会の指定教育施設の認定を多く有し、将来専門医を取得するために必要な研修ができる。</li> <li>4 成人救急医療に関しては年間 7,000 台を超える救急車の受け入れ実績のある名古屋市立大学医学部附属東部医療センターにて、緊急を要する病態や疾病、外傷に適切に対応できる救急医療の基本的な診療能力と、1次、2次、3次救急医療の区別を理解し、上級専門医・指導医へのコンサルテーション、より高次な医療の必要性の判断と実践の指導を受けることができる。</li> <li>5 選択科目の研修期間を充実し、西部・東部医療センターと高度先端医療を担う名古屋市立大学病院との連携を強化した臨床研修病院群の中から、各研修医が将来のキャリアを見据えた研修診療科の選択が可能である。</li> </ol>
3. 臨床研修の目標の概要	<p>医師は、病める人の尊厳を守り、医療の提供と公衆衛生の向上に寄与する職業の重大性を深く認識し、医師としての基本的価値観（プロフェッショナルリズム）及び医師としての使命の遂行に必要な資質・能力を身に付けなくてはならない。医師としての基盤形成の段階にある研修医は、基本的価値観を自らのものとし、基本的診療業務ができるレベルの資質・能力を修得する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 医師としての基本的価値観（プロフェッショナルリズム）</li> <li>2 資質・能力</li> <li>3 基本的診療業務</li> </ol>
4. 研修期間	（ 2 ） 年 （原則として、「2年」と記入してください。）
備考	研修後そのまま専門研修に入り3年以上研修可能な病院は、その旨を記入してください。
5. 臨床研修を行う分野	<p>研修分野ごとの病院又は施設（研修分野ごとの研修期間）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* 同一の研修分野について複数の病院又は施設で研修を行う場合には、適宜欄を分割してすべての病院又は施設の名称（病院施設番号）を記入してください。</li> <li>* 研修期間は、研修分野ごとに週単位で記入してください。各研修分野におけるプログラムの詳細は備考欄に記入してください。</li> <li>* 選択科目については、その診療科を選択した場合の病院又は施設等を記入してください。</li> </ul>

		病院施設 番号	病院又は施設の名称	研修期間	内一般外来
(記入例) x x 科		1234567	〇〇 病院	〇週	〇週
必修科目・分野	内科	030915	名古屋市立大学医学部附属西部医療センター	24週	1.6週
	救急部門	030915	名古屋市立大学医学部附属西部医療センター	週	/
		030400	名古屋市立大学医学部附属東部医療センター		
	地域医療	032788	新城市作手診療所	4週	一般外来 0.8週 在宅診療 1週程度
		035303	国民健康保険上矢作病院		
		096068	医療法人輝山会記念病院		
		—	医療法人開生会かいせい病院		
		032815	知多厚生病院附属篠島診療所		
	外科	056305	日間賀島診療所	4週	
		032048	愛知県厚生農業協同組合連合会 足助病院		
147499		医療法人 笠寺病院			
小児科	030915	名古屋市立大学医学部附属西部医療センター	4週	1.2週	
産婦人科	030915	名古屋市立大学医学部附属西部医療センター	4週	0.8週	
精神科	030413	名古屋市立大学病院	4週	/	
一般外来				/	
病院で 定めた 必修 科目	麻酔科	030915	名古屋市立大学医学部附属西部医療センター	4週	週
	整形外科 脳神経外科 皮膚科 泌尿器科 眼科 耳鼻咽喉科 のうち、1科又は2科	030915	名古屋市立大学医学部附属西部医療センター	4週	週
					週
					週
選択科目	内科	030915	名古屋市立大学医学部附属西部医療センター	40週	週
	救急部門				
	外科	030400	名古屋市立大学医学部附属東部医療センター		
	小児科				
	産婦人科	030413	名古屋市立大学病院		
	麻酔科				
	整形外科				
	脳神経外科				
皮膚科					

	泌尿器科				
	眼科				
	耳鼻咽喉科				
	放射線科				
	病理診断科				
<p>備考：基幹型臨床研修病院での研修期間・・・最低 52 週 ※原則として、52 週以上行うことが望ましい。  臨床研修協力施設での研修期間・・・最大 12 週 ※原則として、12 週以内であること。ただしへき地・離島診療所等の研修期間が含まれる場合はこの限りでは無い。  研修プログラムに規定された 4 週以上のまとまった救急部門の研修を行った後に救急部門の研修としてみなす休日・夜間の当直回数・・・なし  救急部門（必修）における麻酔科の研修期間・・・4 週 ※但し、4 週を上限とする  一般外来の研修を行う診療科・・・内科、小児科、外科、地域医療で併せて 4 週  ※地域医療の中での在宅診療を一般外来の欄に記載すること</p>					









## 3.1. 臨床研修指導医（指導医）等の氏名等

病院施設番号：030915

担当分野	氏名	所属	役職	臨床経験年数	指導医講習会等の受講経験 有：○ 無：×	資格等	プログラム番号	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 臨床研修指導医（指導医）
内科	大原 弘隆	西部医療センター総合内科	病院長	39年	○	臨床研修指導医講習会受講済み	030915509	4
内科	菊地 基雄	西部医療センター総合内科	部長	32年	○	第6回藤田保健衛生大学病院臨床研修指導医講習会受講済み 日本内科学会総合内科専門医・指導医 日本老年医学会老年病専門医・指導医・代議員 日本老年医学会高齢者栄養療法認定医 日本がん治療認定医機構認定医 日本血液学会血液専門医・指導医 日本化学療法学会抗腫瘍化学療法認定医・指導医 認定病院総合診療医、教育責任者 Fellow of the American College of Physicians 日本医師会認定産業医 ACLS-EPプロバイダ JMECCインストラクタ 平成30年度プログラム責任者講習会受講	030915509	4
内科	平野 敦之	西部医療センター消化器内科	副部長 部長	23年	○	全国自治体病院協議会第105回臨床研修指導医養成講習会受講済み 日本内科学会総合内科専門医・指導医 日本消化器病学会専門医 日本消化器内視鏡学会専門医・指導医 日本消化管学会胃腸科専門医 日本がん治療認定医機構がん治療認定医 日本肝臓学会肝臓専門医	030915509	4
内科	土田 研司	西部医療センター消化器内科	内視鏡センター長 部長	37年	○	名古屋市立大学病院・名古屋市立病院第6回臨床研修指導医講習会受講済み 日本内科学会認定医・指導医 日本消化器病学会専門医・指導医 日本消化器内視鏡学会専門医・指導医 日本消化管学会胃腸科専門医 日本医師会認定健康スポーツ医 日本がん治療認定医機構がん治療認定医	030915509	4
内科	木村 吉秀	西部医療センター消化器内科	消化器腫瘍センター長 部長	28年	○	名古屋市立大学病院第4回臨床研修指導医講習会受講済み 日本内科学会総合内科専門医・指導医 日本消化器病学会専門医・指導医 日本消化器内視鏡学会専門医・指導医 日本肝臓学会肝臓専門医・指導医 日本がん治療認定医機構がん治療認定医 日本医師会認定産業医	030915509	4
内科	森 義徳	西部医療センター消化器内科	部長	28年	○	名古屋市立大学病院・名古屋市立病院第8回臨床研修指導医講習会受講済み 日本内科学会総合内科専門医・指導医 日本消化器病学会専門医・指導医 日本消化器内視鏡学会専門医・指導医 日本消化管学会胃腸科専門医 日本臨床腫瘍学会がん薬物療法専門医 日本医師会認定産業医	030915509	4

## 3.1. 臨床研修指導医（指導医）等の氏名等

病院施設番号：030915

担当分野	氏名	所属	役職	臨床経験年数	指導医講習会等の受講経験 有：○ 無：×	資格等	プログラム番号	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 臨床研修指導医（指導医）
内科	北川 美香	西部医療センター 消化器内科	副部長	17年	○	名古屋市立大学病院・名古屋市立病院第6回臨床研修指導医講習会受講済み 日本内科学会 総合内科専門医・指導医 日本消化器病学会 専門医・指導医 日本内視鏡学会 専門医・指導医 日本消化管学会 胃腸科専門医・指導医 日本肝臓学会 専門医 日本がん治療認定医機構 がん治療認定医 臨床研修指導医 緩和ケア研修会修了	030915509	4
内科	秋田 憲志	西部医療センター呼吸器内科	病院長補佐 呼吸器腫瘍センター長 部長	31年	○	第4回大ネットワーク指導医講習会受講済み 日本内科学会 認定内科医・指導医 日本呼吸器学会 呼吸器専門医・指導医 日本臨床腫瘍学会 暫定指導医 日本がん治療認定医機構 がん治療認定医・暫定教育医 日本禁煙学会 認定指導医 日本呼吸器内視鏡学会 気管支鏡指導医・認定医 日本結核病学会 結核・抗酸菌症認定医 ICD制度協議会 ICD (Infection Control Doctor) 名古屋市立大学医学部臨床教授 米国臨床腫瘍学会 (ASCO) 会員	030915509	4
内科	國井 英治	西部医療センター呼吸器内科	副部長	21年	○	名古屋市立大学病院・名古屋市立病院第7回臨床研修指導医講習会受講済み 日本内科学会 総合内科専門医・指導医 日本呼吸器学会 呼吸器専門医・指導医 日本呼吸器内視鏡学会 気管支鏡専門医 日本がん治療認定医機構 がん治療認定医 日本結核病学会 結核・抗酸菌症認定医 肺がんCT検診認定機構 肺がんCT検診認定医師	030915509	4
内科	池原 典之	西部医療センター循環器内科	副部長	22年	○	名古屋市立大学病院・名古屋市立病院第8回臨床研修指導医講習会受講済み 日本内科学会 認定内科医 日本内科学会 総合内科専門医 日本循環器学会 専門医	030915509	4
内科	矢島 和裕	西部医療センター心臓カテーテル治療科	病院長補佐 部長	32年	○	第1回岐阜県医師育成・確保コンソーシアム臨床研修講習会受講済み 日本内科学会総合内科専門医 日本循環器学会専門医 日本心血管インターベンション治療学会 専門医 日本不整脈心電学会専門医 植込み型除細動器/ペースングによる心不全治療研修修了	030915509	4
内科	中山 貴文	西部医療センター循環器内科	医師	14年	○	名古屋市立大学病院・名古屋市立病院第9回臨床研修指導医講習会受講済み 日本内科学会認定医 日本循環器学会専門医	030915509	4

臨床研修病院の名称：名古屋市立大学医学部附属  
西部医療センター

## 3.1. 臨床研修指導医（指導医）等の氏名等

病院施設番号：030915

担当分野	氏名	所属	役職	臨床経験年数	指導医講習会等の受講経験有：○ 無：×	資格等	プログラム番号	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 臨床研修指導医（指導医）
内科	片田 栄一	西部医療センター脳神経内科	臨床研修センター長 部長	37年	○	全国自治体病院協議会・全国国民健康保険診療施設協議会主催第21回新臨床研修指導医養成講習会受講済み 日本内科学会総合内科専門医・指導医 日本神経学会神経内科専門医・指導医 日本認知症学会専門医・指導医 日本脳卒中学会専門医 名古屋市立大学医学部臨床教授 平成17年度プログラム責任者講習会受講	030915509	3, 4
内科	大喜多 賢治	名古屋市立大学病院	部長	28年	○	名古屋市立大学病院第4回臨床研修指導医講習会	030915509	4
内科	今枝 憲郎	西部医療センター内分泌・糖尿病内科	病院長補佐 部長	34年	○	名古屋市立大学病院第4回臨床研修指導医講習会受講済み 日本内科学会総合内科専門医 日本糖尿病学会専門医・研修指導医・評議員 日本内分泌学会内分泌代謝科専門医・指導医 日本医師会認定産業医	030915509	1, 4
内科	梶 昭太	西部医療センター内分泌・糖尿病内科	医師	9年	○	名古屋市立大学病院第10回臨床研修指導医講習会	030915508	4
内科	菅 憲広	西部医療センター腎臓・透析内科	部長	22年	○	愛知医科大学病院平成20年8月31日開催臨床研修指導医のための教育ワークショップ受講済み 日本内科学会総合内科専門医、指導医 日本腎臓学会専門医、指導医、評議員 日本透析医学会専門医、指導医 日本リウマチ学会リウマチ専門医 日本医師会認定産業医 医学博士	030915509	4
内科	宮口 祐樹	西部医療センター腎臓・透析内科	副部長	8年	○	第164回臨床研修指導医講習会	030915509	4
内科	金森 貴之	西部医療センター血液・腫瘍内科	医師	13年	○	第164回臨床研修指導医講習会受講済み	030915509	4
内科	菊池 隆希	西部医療センター血液・腫瘍内科	医師	14年	○	名古屋市立大学病院・名古屋市立病院第9回臨床研修指導医講習会受講済み	030915509	4

3.1. 臨床研修指導医（指導医）等の氏名等

病院施設番号：030915

臨床研修病院の名称：名古屋市立大学医学部附属  
西部医療センター

担当分野	氏名	所属	役職	臨床経験年数	指導医講習会等の受講経験 有：○ 無：×	資格等	プログラム番号	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 臨床研修指導医（指導医）
内科	森 芙美子	西部医療センター血液・腫瘍内科	副部長	20年	○	日本病院会平成25年9月15日開催臨床研修指導医養成講習会受講済み 日本内科学会認定医 日本血液学会専門医	030915509	4
内科	速水 芳仁	西部医療センターリウマチ・膠原病内科	部長	29年	○	名古屋市立大学病院第1回臨床研修指導医講習会受講済み 日本内科学会総合内科専門医、指導医 日本リウマチ学会リウマチ専門医・指導医	030915509	4
内科	榑原 悠太	西部医療センターリウマチ・膠原病内科	医師	7年	○	名古屋市立大学病院第10回臨床研修指導医講習会	030915509	4
精神科	奥山 徹	西部医療センター精神科	緩和ケアセンター長 部長	29年	○	精神科七者懇談会平成17年度第1回臨床研修指導医講習会 一般病院連携精神医学専門医・指導医 精神科専門医 クロザリル患者モニタリングサービス登録 登録精神科医 日本小児学会小児科専門医	030915509	4
小児科	加藤 文典	西部医療センター小児科	部長	25年	○	日本周産期・新生児医学会周産期専門医 臨床遺伝専門医制度による専門医 日本小児科学会第5回小児科医のための臨床研修指導医講習会修了	030915509	4
小児科	小林 悟	西部医療センター小児科	副部長	24年	○	名古屋市立大学病院第6回臨床研修指導医講習会受講済み 日本小児学会小児科専門医 日本小児神経学会小児神経専門医 日本てんかん学会てんかん専門医	030915509	4
小児科	千代田 瞳	西部医療センター小児科	医師	10年	○	名古屋市立大学病院・名古屋市立病院第9回臨床研修指導医講習会受講済み 日本小児科学会専門医 緩和ケア研修会修了	030915509	4
小児科	濱嶋 直樹	西部医療センター小児科	がんゲノムセンター長 部長	32年	○	名古屋市立大学病院・名古屋市立病院第4回臨床研修指導医講習会受講済み 日本小児科学会小児科専門医 日本内分泌学会内分泌代謝科専門医・指導医 日本人類遺伝学会臨床遺伝専門医・指導医 日本小児内分泌学会評議員 インフェクションコントロールドクター認定医	030915509	4
小児科	山田 拓司	西部医療センター小児科	副部長	22年	○	日本小児科学会第6回小児科医のための臨床研修指導医講習会受講済み 日本小児科学会小児科専門医 日本腎臓学会腎臓専門医 日本臨床腎移植学会腎移植認定医 日本小児腎臓病学会	030915509	4

## 3.1. 臨床研修指導医（指導医）等の氏名等

病院施設番号：030915

担当分野	氏名	所属	役職	臨床経験年数	指導医講習会等の受講経験 有：○ 無：×	資格等	プログラム番号	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 臨床研修指導医（指導医）
小児科	中垣 麻里	西部医療センター小児科	副部長	22年	○	平成24年度第1回長崎大学病院群臨床研修指導医養成のための講習会修了 日本小児科学会 小児科専門医	030915509	4
小児科	伊藤 康彦	西部医療センター小児腫瘍科	小児医療センター長 部長	35年	○	名古屋市立大学病院・名古屋市立病院第6回臨床研修指導医講習会受講済み 日本小児科学会 小児科専門医 日本血液学会 血液専門医 難病指定医 小児慢性特定疾病指定医	030915509	4
小児科	神岡 直美	西部医療センター小児アレルギー科	部長	30年	○	日本小児科学会第15回小児科医のための臨床研修指導医講習会受講済み 日本小児科学会小児科専門医 日本アレルギー学会認定専門医	030915509	4
小児科	春日部 こずえ	西部医療センター小児科	医師	9年	○	日本小児科学会小児科専門医 日本小児科学会 出生前コンサルタント小児科医 初期臨床研修カリキュラム・プランニングと研修医指導法修了	030915509	4
外科	三井 章	西部医療センター消化器外科	副院長 部長	31年	○	VHJ研究会第1回臨床研修指導医養成セミナー受講済み 日本外科学会専門医 日本消化器外科学会専門医 日本がん治療認定医機構暫定教育医 消化器がん外科治療認定医 日本食道学会食道科認定医・評議員	030915509	4
外科	原 賢康	西部医療センター消化器外科	副部長	25年	○	名古屋市立大学病院・名古屋市立病院第8回臨床研修指導医講習会受講済み 日本外科学会専門医・指導医 日本消化器外科学会専門医・指導医・消化器がん外科治療認定医 日本大腸肛門病学会専門医・指導医 日本内視鏡外科学会技術認定医 日本がん治療認定医機構がん治療認定医 Certificate of daVinci console surgeon	030915509	4
外科	社本 智也	西部医療センター消化器外科	副部長	20年	○	名古屋市立大学病院・名古屋市立病院第9回臨床研修指導医講習会受講済み 日本外科学会専門医 日本消化器外科学会専門医 消化器がん外科治療認定医 日本静脈経腸栄養学会 TNTコース修了 緩和ケア研修会修了	030915509	4
外科	安藤 菜奈子	西部医療センター消化器外科	医師	18年	○	H25.6.23日本病院会主催臨床研修指導医養成講習会受講済み 日本外科学会専門医 日本がん治療認定医機構認定医 難病指定医 緩和ケア研修会修了	030915509	4

## 3.1. 臨床研修指導医（指導医）等の氏名等

病院施設番号：030915

担当分野	氏名	所属	役職	臨床経験年数	指導医講習会等の受講経験 有：○ 無：×	資格等	プログラム番号	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 臨床研修指導医（指導医）
外科	羽田 裕司	西部医療センター呼吸器外科	部長	26年	○	名古屋市立大学病院・名古屋市立病院第9回臨床研修指導医講習会受講済み 日本外科学会専門医 日本呼吸器学会専門医 日本呼吸器外科学会専門医 日本呼吸器内視鏡学会 気管支鏡専門医・指導医 日本がん治療認定医機構 がん治療認定医 緩和ケア研修会修了	030915509	4
外科	坂根 理司	西部医療センター呼吸器外科	副部長	14年	○	第19回日本医師会指導医のための教育ワークショップ（愛知県医師会主催）	30915509	4
外科	杉浦 博士	西部医療センター乳腺・内分泌外科	乳がん治療センター長 部長	28年	○	名古屋市立大学病院・名古屋市立病院第6回臨床研修指導医講習会受講済み 日本外科学会専門医 日本乳癌学会専門医 日本がん治療認定医機構暫定教育医 マンモグラフィ検診精度管理中央委員会	030915509	4
外科	波戸 ゆかり	西部医療センター乳腺・内分泌外科	副部長	18年	○	名古屋市立大学病院・名古屋市立病院第8回臨床研修指導医講習会受講済み 日本外科学会専門医 日本乳癌学会乳腺専門医	030915509	4
外科	佐藤 陽子	西部医療センター小児外科	部長	29年	○	名古屋市立大学病院・名古屋市立病院第7回臨床研修指導医講習会受講済み 日本外科学会専門医・指導医 日本小児外科学会専門医 日本消化器外科学会認定医 日本がん治療認定医機構暫定教育医	030915509	4
脳外	大蔵 篤彦	西部医療センター脳神経外科	部長	27年	○	名古屋市立大学病院第10回臨床研修指導医講習会	030915509	4
整形外科	稲田 充	西部医療センター整形外科	副院長 部長	29年	○	全国自治体病院協議会主催第158回臨床研修指導医講習会受講済み 日本整形外科学会 専門医 日本脊椎脊髓病学会 指導医 日本整形外科学会 認定脊椎脊髓病医	030915509	4
中央検査科	杉浦 真人	西部医療センター中央検査科	部長	31年	○	名古屋市立大学病院第3回臨床研修指導医講習会受講済み 日本内科学会認定医 日本循環器学会専門医	030915509	4

## 3.1. 臨床研修指導医（指導医）等の氏名等

病院施設番号：030915

担当分野	氏名	所属	役職	臨床経験年数	指導医講習会等の受講経験有：○ 無：×	資格等	プログラム番号	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 臨床研修指導医（指導医）
皮膚科	西田 絵美	西部医療センター皮膚科	部長	27年	○	名古屋市立大学病院・名古屋市立病院第6回臨床研修指導医講習会	030915509	4
泌尿器科	梅本 幸裕	西部医療センター泌尿器科	病院長補佐部長	29年	○	名古屋市立大学病院第4回臨床研修指導医講習会受講済み 日本泌尿器科学会専門医・指導医 日本泌尿器内視鏡学会腹腔鏡技術認定医・ロボット手術ブ ロクター 日本内視鏡外科学会技術認定（泌尿器腹腔鏡） 日本生殖医学会代議員 名古屋市立大学大学院 高度医療教育研究センター 教授 日本アンドロロジー学会評議員	030915509	4
泌尿器科	内木 拓	西部医療センター泌尿器科	副部長	20年	○	名古屋市立大学病院・名古屋市立病院第7回臨床研修指導医講習会	030915509	4
産婦人科	中元 永理	西部医療センター産婦人科	副部長	18年	○	第16回愛知県厚生農業協同組合連合会臨床研修指導医講習会受講済み 日本産婦人科学会産婦人科専門医	030915509	4
産婦人科	西川 尚実	西部医療センター産婦人科	周産期医療センター長部長	30年	○	愛知県医師会・日本医師会平成29年1月28日開催指導医のためのワークショップ受講済み 日本産科婦人科学会産婦人科専門医 母体保護法指定医 日本周産期・新生児学会周産期（母体・胎児）専門医・認定医 日本人類遺伝学会専門医	030915509	4
産婦人科	林 祥太郎	西部医療センター産婦人科	医師	12年	○	名古屋市立大学病院第10回臨床研修指導医講習会	030915509	4
眼科	中沢 陽子	西部医療センター眼科	部長	36年	○	名古屋市立大学病院第4回臨床研修指導医講習会受講済み 日本眼科学会専門医 PDT認定医 名古屋市立大学医学部臨床教授	030915509	4
耳鼻科	高野 学	西部医療センター耳鼻咽喉科	副部長	15年	○	名古屋市立大学病院・名古屋市立病院第9回臨床研修指導医講習会 日本耳鼻咽喉科学会専門医 がん治療認定医 頭頸部がん専門医	030915509	4
放射線科	林 香奈	西部医療センター放射線診断科	医師	15年	○	名古屋市立大学病院・名古屋市立病院第8回臨床研修指導医講習会受講済み 日本医学放射線学会放射線診断専門医 マンモグラフィ検診精度管理中央委員会検診マンモグラフィ読影認定医師	030915509	4

臨床研修病院の名称：名古屋市立大学医学部附属  
西部医療センター

## 3.1. 臨床研修指導医（指導医）等の氏名等

病院施設番号：030915

担当分野	氏名	所属	役職	臨床経 験 年数	指導医講 習会等の 受講経験 有：○ 無：×	資格等	プログラム番号	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 臨床研修指導医（指導医）
放射線科	白木 法雄	西部医療センター放射線診断科	部長	29年	○	名古屋市立大学病院・名古屋市立病院第6回臨床研修指導医講習会受講済み 日本医学放射線学会放射線診断専門医 日本医学放射線学会研修指導者 日本乳癌学会認定医 マンモグラフィ検診精度管理中央委員会検診マンモグラフィ読影認定医師 PET核医学認定医	030915509	4
放射線科	馬場 二三八	西部医療センター放射線治療科	部長	28年	○	全国社会保険協会連合会主催平成22年度臨床研修指導医養成講習会受講済み 日本医学放射線学会研修指導者 日本医学放射線学会放射線治療専門医 日本がん治療認定医機構がん治療認定医	030915509	4
放射線科	山田 真帆	西部医療センター放射線治療科	医師	14年	○	名古屋市立大学病院第10回臨床研修指導医講習会	030915508	4
陽子線治療科	荻野 浩幸	西部医療センター陽子線治療科	陽子線治療センター長 部長	32年	○	名古屋市立大学病院・名古屋市立病院第6回臨床研修指導医講習会受講済み 日本医学放射線学会放射線治療専門医 日本医学放射線学会研修指導者 日本IVR学会専門医 日本放射線腫瘍学会 代議員 名古屋市立大学大学院高度医療教育研究センター教授 日本がん治療認定医機構がん治療認定医	030915509	4
陽子線治療科	岩田 宏満	西部医療センター陽子線治療科	副部長	19年	○	名古屋市立大学病院・名古屋市立病院第8回臨床研修指導医講習会受講済み 日本医学放射線学会放射線治療専門医 日本医学放射線学会研修指導者 日本がん治療認定医機構がん治療認定医	030915509	4
陽子線治療科	服部 有希子	西部医療センター陽子線治療科	医師	14年	○	名古屋市立大学病院・名古屋市立病院第9回臨床研修指導医講習会受講済み 放射線治療専門医	030915509	4
麻酔科	笹野 信子	西部医療センター集中治療部	部長 災害医療センター長	34年	○	平成20年度第7回MMC指導医養成講習会受講済み 日本麻酔科学会専門医・指導医 日本ペインクリニック学会専門医 日本集中治療医学会専門医	030915509	4
病理診断科	石川 操	西部医療センター病理診断科	医師	13年	○	第20回愛知県厚生農業協同組合連合会 臨床研修指導医講習会受講済み	030915509	4
病理診断科	中尾 健寿	西部医療センター病理診断科	医師	7年	○	名古屋市立大学病院第10回臨床研修指導医講習会	030915508	4

## 25. 臨床研修病院群の時間外・休日労働最大想定時間数の記載（基幹型記入）

基幹型臨床研修病院の名称（所在都道府県）：名古屋市立大学医学部附属西部医療センター（愛知県）

研修プログラムの名称 名古屋市立大学医学部附属西部医療センター臨床研修病院群医師臨床研修プログラム

病院名	病院施設番号	種別	所在都道府県	時間外・休日労働 (年単位換算) 最大想定時間数	おおよその当直・日直回数 ※宿日直許可が取れている場合はその旨を記載	参考 時間外・休日労働 (年単位換算) 前年度実績	C-1水準 適用
名古屋市立大学医学部附属西部医療センター	030915	基幹型	愛知県	240	月3～5回 宿日直許可なし	273時間 対象となる研修医14名(2023年度)	適用 申請なし
名古屋市立大学医学部附属東部医療センター	030400	基幹型	愛知県	583	月4～5回 宿日直許可なし	約600時間 対象となる臨床研修医17名	適用 申請なし
名古屋市立大学病院	030413	基幹型	愛知県	最大700時間	月4～5回 宿日直許可なし	681時間 ※対象となる臨床研修医36名(2023年度)	適用 申請なし
		協力型					適用 申請中 申請予定
		協力型					適用 申請中 申請予定
		協力型					適用 申請中 申請予定
		協力型					適用 申請中 申請予定
		協力型					適用 申請中 申請予定

※ 年次報告の場合は、報告年度の前年度の実績及び報告年度の想定を記入すること。

研修プログラム変更・新設の届出の場合は、届出年度の前年度の実績及び次年度（プログラム開始年度）の想定を記入すること。

※ 該当する項目について、基幹型臨床研修病院を筆頭にして、研修医と雇用契約を締結する協力型臨床研修病院について、施設番号順に詰めて記入すること。

※ 病院群を構成する基幹型臨床研修病院及び研修医と雇用契約を締結する協力型臨床研修病院の病院施設番号、病院種別（基幹型・協力型）、所在都道府県、時間外・休日労働（年単位換算）の最大想定時間数、おおよその当直・日直回数（宿日直許可が取れている場合はその旨）、前年度の時間外休日労働の年単位換算実績及び、C-1水準適用の状況を記入すること。

※ 最大想定時間数は、プログラムに従事する臨床研修医が、該当する研修病院において実際に従事することが見込まれる時間数について、前年度実績も踏まえ、実態と乖離することのないよう、適切に記入すること。

※ 臨床研修医においては、従事する全ての業務が研修プログラムに基づくものとなるため、A水準又はC-1水準しか適用されないことに留意すること。

## 7. 病院群の構成等

様式A-10別表

名古屋市立大学医学部附属

基幹型又は地域密着型臨床研修病院の名称（所在都道府県） 西部医療センター（愛知県）

基幹型又は地域密着型臨床研修病院				協力型臨床研修病院					臨床研修協力施設					研修プログラム		
所在都道府県	二次医療圏	名称	新規	所在都道府県	二次医療圏	追加・削除	名称	新規	所在都道府県	二次医療圏	追加・削除	名称	新規	名称	定員	
愛知県	名古屋・尾張中部	名古屋市立大学医学部附属西部医療センター (病院施設番号:030915)		愛知県	名古屋・尾張中部		名古屋市立東部医療センター (病院施設番号:030400)		岐阜県	東濃		国民健康保険上矢作病院 (病院施設番号:035303)				
				愛知県	名古屋・尾張中部		名古屋市立大学病院 (病院施設番号:030413)		愛知県	知多半島		日間賀島診療所 (病院施設番号:056305)				
				愛知県	西三河北部		愛知県厚生農業協同組合連合会 足助病院 (病院施設番号:032048)		愛知県	知多半島		知多厚生病院附属篠島診療所 (病院施設番号:032815)				
							(病院施設番号: )		愛知県	東三河北部		新城市作手診療所 (病院施設番号:032778)				
							(病院施設番号: )		長野県	飯伊		医療法人輝山会記念病院 (病院施設番号:096068)				
							(病院施設番号: )		愛知県	名古屋・尾張中部		医療法人開生会かいせい病院 (病院施設番号: )				
							(病院施設番号: )		愛知県	名古屋・尾張中部		医療法人笠寺病院 (病院施設番号:147499)				
							(病院施設番号: )		愛知県	名古屋・尾張中部	追加	名古屋市立大学医学部附属みらい光生病院 (病院施設番号: )				
							(病院施設番号: )		愛知県	名古屋・尾張中部	追加	名古屋市立大学医学部附属みどり市民病院 (病院施設番号:030987)				
							(病院施設番号: )								(病院施設番号: )	

病院群を構成する臨床研修病院及び研修協力施設（病院又は診療所に限る）が同一の二次医療圏又は同一の都道府県を越えている場合は、その理由を以下に記載。

病診連携病院である

※ 該当する項目について、上から病院施設番号順に詰めて記入すること。

※ 病院群を構成する全ての基幹型病院、協力型病院及び臨床研修協力施設（今回の届出により削除しようとするものを含む。）の所在都道府県、二次医療圏、名称をそれぞれの「所在都道府県」、「二次医療圏」、「名称」欄に記入（既に病院施設番号を取得している研修病院等は番号を「名称」欄に記入）した上で、それぞれの施設が新たに臨床研修協力病院（協力施設）となる場合は「新規」欄に「○」を記入し、また、臨床研修病院（協力施設）を追加又は削除する場合にはそれぞれの施設が以前の病院群に追加されるか、以前の病院群から削除されるかにより「追加・削除」欄に「追加」又は「削除」を記入すること。

※ 当該病院群に係る全ての研修プログラムの名称及び募集定員（自治医科大学卒業生分等マッチングによらないものを含む。）を「研修プログラム」欄に記入すること。

# 研修医名簿

様式 A-3  
(No. 1 )

病院施設番号： 030915

臨床研修病院の名称： 名古屋市立大学医学部附属西部医療センター

記入日：西暦 2024 年 4 月 12 日

番号	氏名	生年月日	医籍番号	医籍登録年月日	研修開始年月日	研修プログラム番号	備考
1	芋瀬 将成	1998/2/4	594269	2023/3/22	2023/4/1	030915508 (小、産、地、基)	
2	水谷 瑛子	1996/5/8	593503	2023/3/20	2023/4/1	030915508 (小、産、地、基)	
3	浅野 亮裕	1997/4/16	599361	2023/3/28	2023/4/1	030915508 (小、産、地、基)	
4	藤村 圭悟	1998/9/16	596831	2023/3/24	2023/4/1	030915508 (小、産、地、基)	
5	新原 安祐香	1998/5/26	596409	2023/3/24	2023/4/1	030915508 (小、産、地、基)	
6	大野 園果	1997/6/14	594874	2023/3/23	2023/4/1	030915508 (小、産、地、基)	
7	中田 崇太	1997/5/4	594799	2023/3/23	2023/4/1	030915508 (小、産、地、基)	
8	菊地 慶佑	1997/9/3	599001	2023/3/28	2023/4/1	030915508 (小、産、地、基)	
9	小笠原 ゆり	1999/8/31	603707	2024/3/21	2024/4/1	030915509 (小、産、地、基)	
10	梶田 宗伯	1998/8/18	603773	2024/3/21	2024/4/1	030915509 (小、産、地、基)	
11	久野 聖斗	1999/5/8	603711	2024/3/21	2024/4/1	030915509 (小、産、地、基)	
12	倉橋 麻里子	1995/10/28	602619	2024/3/19	2024/4/1	030915509 (小、産、地、基)	
13	杉浦 悠	1999/12/26	602657	2024/3/19	2024/4/1	030915509 (小、産、地、基)	
14	寺岡 麻衣	1998/7/14	608720	2024/3/28	2024/4/1	030915509 (小、産、地、基)	
15	難波 朝陽	1996/8/19	610715	2024/4/1	2024/4/1	030915509 (小、産、地、基)	
16	野村 奈々恵	1997/2/17	607987	2024/3/27	2024/4/1	030915509 (小、産、地、基)	
17	小倉 正和	1998/8/18	611183	2024/4/3	2024/4/1	030915509 (小、産、地、基)	名古屋市立大学病院からのたすき掛け研修医
18	神田 伸一	1993/6/23	608137	2024/3/27	2024/4/1	030915509 (小、産、地、基)	名古屋市立大学病院からのたすき掛け研修医
19	桑木野 理奈	1998/12/21	603698	2024/3/21	2024/4/1	030915509 (小、産、地、基)	名古屋市立大学病院からのたすき掛け研修医

※ 当該病院の研修プログラムで研修を行っている全ての研修医（採用予定を含む。）について研修開始年月日順に記入すること（歯科医師は記入しない）。「研修開始年月日」欄には、当該研修医が最初に（中断がある場合は中断前に）研修を開始した年月日を記入すること。「研修プログラム番号」欄には、当該研修医が研修を行っている研修プログラムの番号を記入すること。「備考」欄には、当該研修医が過去に中断している場合に当該病院で研修を開始した年月日を記入すること。欄が足りない場合には、コピーにより対応し、「(No. )」欄にページ数を記入すること。

※ 小児科重点プログラム、産科重点プログラム、地域医療重点プログラム及び基礎研究医プログラムに該当するプログラムで研修を行っている研修医の場合は、研修プログラム番号を記入した上で、小児科プログラム→「小」、産科プログラム→「産」、地域医療重点プログラム→「地」、基礎研究医プログラム→「基」に○をすること。

# 研修医名簿

様式 A-3  
(No. 2)

病院施設番号： 030915

臨床研修病院の名称： 名古屋市立大学医学部附属西部医療センター

記入日：西暦 2024 年 4 月 12 日

番号	氏名	生年月日	医籍番号	医籍登録年月日	研修開始年月日	研修プログラム番号	備考
20	菅村 恵利	1998/8/18	602646	2024/3/19	2024/4/1	030915509 (小、産、地、基)	名古屋市立大学病院からのたすき掛け研修医
21	清水 玲史	1999/10/4	602791	2024/3/19	2024/4/1	030915509 (小、産、地、基)	名古屋市立大学病院からのたすき掛け研修医
22	林 優太郎	1999/9/30	602663	2024/3/19	2024/4/1	030915509 (小、産、地、基)	名古屋市立大学病院からのたすき掛け研修医
23	渡邊 陽介	1994/8/24	606710	2024/3/25	2024/4/1	030915509 (小、産、地、基)	名古屋市立大学病院からのたすき掛け研修医
						(小、産、地、基)	
						(小、産、地、基)	
						(小、産、地、基)	
						(小、産、地、基)	
						(小、産、地、基)	
						(小、産、地、基)	
						(小、産、地、基)	
						(小、産、地、基)	
						(小、産、地、基)	
						(小、産、地、基)	
						(小、産、地、基)	
						(小、産、地、基)	
						(小、産、地、基)	
						(小、産、地、基)	
						(小、産、地、基)	
						(小、産、地、基)	

※ 当該病院の研修プログラムで研修を行っている全ての研修医（採用予定を含む。）について研修開始年月日順に記入すること（歯科医師は記入しない）。「研修開始年月日」欄には、当該研修医が最初に（中断がある場合は中断前に）研修を開始した年月日を記入すること。「研修プログラム番号」欄には、当該研修医が研修を行っている研修プログラムの番号を記入すること。「備考」欄には、当該研修医が過去に中断している場合に当該病院で研修を開始した年月日を記入すること。欄が足りない場合には、コピーにより対応し、「(No. )」欄にページ数を記入すること。

※ 小児科重点プログラム、産科重点プログラム、地域医療重点プログラム及び基礎研究医プログラムに該当するプログラムで研修を行っている研修医の場合は、研修プログラム番号を記入した上で、小児科プログラム→「小」、産科プログラム→「産」、地域医療重点プログラム→「地」、基礎研究医プログラム→「基」に○をすること。

## 年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書

2024 年 4 月 18 日

都道府県知事 殿

病院名 名古屋市立大学医学部附属東部医療センター  
開設者 公立大学法人名古屋市立大学 理事長 郡 健二郎

医師法第 16 条の 2 第 1 項に規定する臨床研修に関する省令（平成 14 年厚生労働省令第 158 号）第 12 条に基づき、年次報告書を提出いたします。  
また、併せて、同省令第 9 条に基づき、**1. 研修プログラムの変更**、2. 研修プログラムの新設を届け出ます。

（研修プログラムを変更する場合には「1. 研修プログラム変更」に、研修プログラムを新設する場合には「2. 研修プログラムの新設」に○をつけてください。）

**1. 基幹型臨床研修病院** 2. 協力型臨床研修病院 （報告又は届出を行う臨床研修病院の型の番号に○をつけてください。）

- ・項目番号 1 から 27 までについては、年次報告において記入してください。
- ・研修プログラムの変更・新設の届出の場合は、項目番号 28 から 38 までについても記入してください。

# 年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書－ 1 －

病院施設番号： 030400

臨床研修病院の名称：名古屋市立大学医学部附属東部医療センター

記入日：西暦 2024 年 4 月 18 日

病院施設番号 <small>(基幹型、協力型記入)</small> 既に番号を取得している臨床研修病院については 病院施設番号を記入してください。	030400	臨床研修病院群の名称 <small>(基幹型、協力型記入)</small> 既に臨床研修病院群番号を有している臨 床研修病院群については、番号も記入し てください。	名称 名古屋市立大学医学部附属東 部医療センター臨床研修病院群 番号 0304005
作成責任者の氏名及び連絡先 <small>(基幹型、協力型記入)</small> 本報告書の問合せに対して回答できる作成 責任者について記入してください。	フリガナ ヒロエ ヒトミ 氏名 (姓) (名) 廣江 瞳	役職 臨床研修センター事務担当 (内線 4169 ) (直通電話 (052) 721 — 7171 ) e-mail : <a href="mailto:res.emd@med.nagoya-cu.ac.jp">res.emd@med.nagoya-cu.ac.jp</a> <small>(携帯電話のメールアドレスは不可とします。)</small>	
1. 病院の名称 <small>(基幹型、協力型記入)</small>	フリガナ ナゴヤシツダ イカクイガクブ フゾクノウ イリョウセンター 名古屋市立大学医学部附属東部医療センター		
2. 病院の所在地及び二次医 療圏の名称 <small>(基幹型、協力型記入)</small>	〒 4 6 4 - 8 5 4 7 ( 愛知 都・道・府・県 ) 名古屋市千種区若水一丁目 2 番 23 号 電話 : (052) 721 — 7171 F A X : (052) 721 — 1308 二次医療圏 の名称 : 名古屋医療圏		
3. 病院の開設者の氏名 (法 人の名称) <small>(基幹型、協力型記入)</small>	フリガナ コウリツダ イカクホウジン ナゴヤシツダ イカク リジチョウ コオリ ケンジロウ 公立大学法人名古屋市立大学 理事長 郡 健二郎		
4. 病院の開設者の住所 (法 人の主たる事務所の所在 地) <small>(基幹型、協力型記入)</small>	〒 4 6 7 - 8 6 0 2 ( 愛知 都・道・府・県 ) 名古屋市瑞穂区瑞穂町字川澄 1 電話 : (052) 853—8005 F A X : (052) 841—6201		
5. 病院の管理者の氏名 <small>(基幹型、協力型記入)</small>	フリガナ 材行 ノブキ 姓 名 大手 信之		
6. 研修管理委員会の構成員の氏名 及び開催回数 <small>(基幹型記入)</small>	* 別紙 1 に記入 研修管理委員会の全ての構成員(協力型臨床研修病院及び臨床研修協力施設に所属する者を含む。)について記入してください。		
7. 病院群の構成等 <small>(基幹型記入)</small>	* 別表に記入 病院群を構成する全ての臨床研修病院、臨床研修協力施設の名称、新規指定の有無、病院群の構成の変更等について記入してください。		
8. 病院のホームページアドレス <small>(基幹型、協力型記入)</small>	<a href="https://w3hosp.med.nagoya-cu.ac.jp/toubu/">https://w3hosp.med.nagoya-cu.ac.jp/toubu/</a>		

# 年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書－２－

病院施設番号： 030400

臨床研修病院の名称：名古屋市立大学医学部附属東部医療センター

	※	
9. 医師（研修医を含む。）の員数 <small>（基幹型・協力型記入）</small>		常勤：113名、非常勤（常勤換算）：66.8名 計（常勤換算）：179.8名、医療法による医師の標準員数：41.9名 * 基幹型臨床研修病院は、当該病院が管理している研修医の氏名等について様式A-3に記入
10. 救急医療の提供の実績 <small>（基幹型・協力型記入）</small>	救急病院認定の告示	告示年月日：西暦 2021年4月27日、告示番号：第239号
	医療計画上の位置付け	1. 初期救急医療機関 2. 第二次救急医療機関 3. 第三次救急医療機関
	救急専用診療（処置）室の有無	1. 有 (182.900) m <sup>2</sup> 0. 無
	救急医療の実績	前年度の件数：13,845件（うち診療時間外：11,077件） 1日平均件数：37.8件（うち診療時間外：30.3件） 救急車取扱件数：8,149件（うち診療時間外：5,392件）
	診療時間外の勤務体制	医師：8名、看護師及び准看護師：7名
	指導を行う者の氏名等	* 別紙4に記入
救急医療を提供している診療科	内科系（1. 有 0. 無） 外科系（1. 有 0. 無） 小児科（1. 有 0. 無） その他（産婦人科、耳鼻咽喉科）	
11. 医療法上の許可病床数（歯科の病床数を除く。） <small>（基幹型・協力型記入）</small>		1. 一般：488床、2. 精神：0床、3. 感染症：10床 4. 結核：0床、5. 療養：0床
12. 診療科ごとの入院患者・外来患者・研修医の数 <small>（基幹型・協力型記入）</small>		* 別紙2に記入 年次報告の場合には、患者数は報告年度のの前年度分、研修医の数は報告年度のの前年度分の実績と当年度分の想定を記入。 研修プログラム変更・新設の届出の場合には、患者数は届出年度のの前年度分、研修医の数は届出年度のの次年度分及び次々年度分の想定を記入。
13. 病床の種別ごとの平均在院日数（小数第二位四捨五入） <small>（基幹型・協力型記入）</small>		1. 一般：11.4日、2. 精神：0.0日、3. 感染症：14.8日 4. 結核：0.0日、5. 療養：0.0日
14. 前年度の分娩件数 <small>（基幹型・協力型記入）</small>		正常分娩件数：130件、異常分娩件数：70件
15. 臨床病理検討会（CPC）の実施状況 <small>（基幹型・協力型記入）</small>	開催回数	前年度実績：3回、今年度見込：4回 ※報告・届出病院の主催の
	指導を行う病理医の氏名等	* 別紙4に記入 下に開催した回数を記入
	剖検数	前年度実績：5件、今年度見込：5件
剖検を行う場所	当該医療機関の剖検室 1. 有 0. 無（ ）大学、（ ）病院 無を選択した場合には、剖検を実施している大学又は病院を記入してください。	
16. 研修医のための宿舎及び研修医室の有無 <small>（基幹型・協力型記入）</small>	研修医の宿舎	1. 有（単身用： 戸、世帯用： 戸） 0. 無（住宅手当： 円） 有を選択した場合には、単身用・世帯用に分けて宿舎の戸数を記入してください。 無を選択した場合には、住宅手当の金額を記入してください。住宅手当の支給が無い場合は、「0」と記入してください。
	研修医室	1. 有（1室） 0. 無 有を選択した場合には、研修医室の室数を記入してください。
17. 図書、雑誌、インターネット等が利用できる環境及び医学教育用機材の整備状況 <small>（基幹型・協力型記入）</small>	図書室の広さ	( 72 ) m <sup>2</sup>
	医学図書数	国内図書：1,409冊、国外図書：592冊
	医学雑誌数	国内雑誌：25種類、国外雑誌：45種類
	図書室の利用可能時間	0:00 ~ 24:00 24時間表記
	文献データベース等の利用環境	Medline等の文献データベース（1. 有 0. 無）、教育用コンテンツ（1. 有 0. 無）、 その他（UpToDate、SD、CK、医中誌Web、メディカルオンライン、今日の臨床サポート等） 利用可能時間（ 0:00 ~ 24:00 ）24時間表記
医学教育用機材の整備状況	医学教育用シミュレーター（1. 有 0. 無）、 その他（ACLS、気管挿管、CVカテ挿入、ルンパール等）	

# 年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書－ 3 －

病院施設番号： 030400

臨床研修病院の名称：名古屋市立大学医学部附属東部医療センター

<p>18. 病歴管理体制 <small>(基幹型・協力型記入)</small></p>	<p>病歴管理の責任者の氏名及び役職</p> <p>診療に関する諸記録の管理方法</p> <p>診療録の保存期間</p> <p>診療録の保存方法</p>	<p>フリガナ ヤマト カミ</p> <p>氏名(姓) 山本 (名) 崇文</p> <p>役職 医事課診療情報管理係長</p> <p>1. 中央管理 2. 各科管理 その他(具体的に: )</p> <p>( 10 ) 年間保存</p> <p>1. 文書 2. 電子媒体 その他(具体的に: )</p>													
<p>19. 医療安全管理体制 <small>(基幹型・協力型記入)</small></p>	<p>安全管理者の配置状況</p> <p>安全管理部門の設置状況</p> <p>患者からの相談に適切に応じる体制の確保状況</p> <p>医療に係る安全管理のための指針の整備状況</p> <p>医療に係る安全管理委員会の開催状況</p> <p>医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況</p> <p>医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策</p>	<p>1. 有 ( 2 名 ) 0. 無</p> <p>有を選択した場合には、安全管理者の人数を記入してください。</p> <p>職員：専任 ( 2 ) 名、兼任 ( 19 ) 名</p> <p>主な活動内容：例)「院内において発生した医療事故又は発生する危険があった医療事故についての情報の収集」「医療事故の防止のための研修及び教育」等</p> <p>院内の安全管理に関する事項について周知を図り情報収集、指導を行う。医療事故、インシデント事例の原因分析、再発防止対策の検討を行うほか、医療事故防止のための研修計画等の立案を行う。</p> <p>患者相談窓口の責任者の氏名等： フリガナ フクドメ モミ 氏名(姓) 福留 (名) 元美</p> <p>役職 医療安全管理室 主幹</p> <p>対応時間 ( 8 : 45 ~ 17 : 15 ) 24 時間表記</p> <p>患者相談窓口に係る規約の有無： 1. 有 0. 無</p> <p>1. 有 0. 無</p> <p>指針の主な内容： 事故・インシデント報告制度、共通診療マニュアル、安全管理理念、事故発生時の対応、部門別診療マニュアル</p> <p>年 ( 12 ) 回</p> <p>活動の主な内容： 医療事故の過失の有無・影響度の決定、医療事故・インシデント事例の原因分析及び再発防止の検討</p> <p>年 ( 26 ) 回</p> <p>研修の主な内容： 医療安全に関する研修会、向精神薬等薬剤に関する研修、医療機器使用に関する研修会</p> <p>医療機関内における事故報告等の整備： 1. 有 0. 無</p> <p>その他の改善のための方策の主な内容： 医療事故防止マニュアルの作成及び見直し変更、インシデント・アクシデントの事例の分析・報告及び対応策の構築、医療事故事例の周知</p>													
<p>20. 前年度に臨床研修を修了又は中断した研修医の数 <small>(基幹型・協力型記入)</small></p>	<p>修了： 8 名</p> <p>中断： 0 名</p>														
<p>21. 現に受け入れている研修医の数 <small>(基幹型・協力型記入)</small></p>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th> <th>前々年度</th> <th>前年度</th> <th>当該年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 年</td> <td>8</td> <td>9</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>2 年</td> <td>8</td> <td>8</td> <td>9</td> </tr> </tbody> </table>				前々年度	前年度	当該年度	1 年	8	9	9	2 年	8	8	9
	前々年度	前年度	当該年度												
1 年	8	9	9												
2 年	8	8	9												
<p>22. 受入可能定員 <small>(基幹型・協力型記入)</small></p>	<p>許可病床数(歯科の病床数を除く。)から算出</p> <p>患者数から算出</p>	<p>許可病床数 ( 498 ) 床 ÷ 10 = ( 49.8 ) 名</p> <p>年間入院患者数 ( 11,782 ) 人 ÷ 100 = ( 117 ) 名</p>													
<p>23. 精神保健福祉士、作業療法士その他診療要員の配置状況 <small>(基幹型・協力型記入)</small></p> <p><small>精神科の研修を行う臨床研修病院については記入してください。</small></p>	<p>1. 精神保健福祉士： 0 名 (常勤： 0 名、非常勤： 0 名)</p> <p>2. 作業療法士： 3 名 (常勤： 3 名、非常勤： 0 名)</p> <p>3. 臨床心理技術者： 1 名 (常勤： 1 名、非常勤： 0 名)</p> <p>9. その他の精神科技術職員： 0 名 (常勤： 0 名、非常勤： 0 名)</p>														
<p>24. 臨床研修に関する第三者評価の受審状況 <small>(基幹型記入)</small></p>	<p>1. 有 (評価実施機関名：NPO 法人卒後臨床研修評価機構(令和 2 年 2 月 5 日))</p> <p>0. 無</p> <p>有を選択した場合には、評価実施機関名及び直近の受審日を記入してください。</p> <p>受審状況有りの場合、結果の公表 1. 有 0. 無</p>														

# 年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書－４－

病院施設番号： 030400

臨床研修病院の名称：名古屋市立大学医学部附属東部医療センター

項目 27 までについては、報告時に必ず記入してください。		※
25. 時間外・休日労働の実績及び最大想定時間数 (基幹型記入)		* 別紙 5 に記入 年次報告の場合は、報告年度の前年度の実績及び報告年度の想定を記入。 研修プログラム変更・新設の届出の場合は、届出年度の前年度の実績及び次年度の想定を記入。
26. 前年度に育児休業を取得した研修医の数 (基幹型・協力型記入)		女性 1 年次研修医 ( 0 ) 名 2 年次研修医 ( 0 ) 名 男性 1 年次研修医 ( 0 ) 名 2 年次研修医 ( 0 ) 名
27. 研修医の妊娠・出産・育児に関する施設及び取組に関する事項 (基幹型・協力型記入)	院内保育所	院内保育所の有無 ( 1. 有 0. 無 ) 有を選択した場合、開所時間を記入してください ( 時 分 ~ 時 分 ) 病児保育 ( 1. 有 0. 無 ) 夜間保育 ( 1. 有 0. 無 ) 上記保育所は研修医の子どもに使用可能か ( 1. 可 0. 不可 ) ベビーシッター・一時保育等利用時の補助 ( 1. 有 0. 無 ) その他の補助 ( 具体的に : )
	保育補助	
	体調不良時に休憩・授乳等に使用できる場所	休憩場所 ( 1. 有 0. 無 ) 授乳スペース ( 1. 有 0. 無 )
	その他育児関連施設・取組があれば記入 ( 院外との連携した取組もあれば記入 )	( )
	研修医のライフイベントの相談窓口	1. 有 0. 無 窓口の名称がある場合記入 ( ) 窓口の専任担当 1. 有 ( 名 ) 0. 無
	各種ハラスメントの相談窓口	窓口の名称を記入 ( 病院管理部管理課 ) 窓口の専任担当 1. 有 ( 2 名 ) 0. 無
※ここからは研修プログラムごとに記入してください。研修プログラムの変更又は新設の場合は、上記内容と併せて以下の内容についても記入してください。		
28. 研修プログラムの名称 (基幹型・協力型記入) プログラム番号は、既にプログラム番号を取得されている場合に記入してください。		研修プログラムの名称： 名古屋市立大学医学部附属東部医療センター初期臨床研修プログラム プログラム番号： <u>030400507</u>
29. 研修医の募集定員 (基幹型記入)		1 年次： 8 名、2 年次： 9 名
30. 研修医の募集及び採用の方法 (基幹型記入)	研修プログラムに関する問い合わせ先	フリガナ ヒロエ ヒトミ 氏名 ( 姓 ) ( 名 ) 廣江 瞳 所属 役職 管理課庶務係 電話：(052) 721 —7171 F A X：(052) 721 —1308 e-mail：res.emc@med.nagoya-cu.ac.jp URL：http://www.emc.med.nagoya-cu.ac.jp/
	資料請求先	住所 〒 <u>4 6 7</u> - <u>8 6 0 2</u> ( 愛知 都・道・府・県 ) 名古屋市千種区若水一丁目 2 番 23 号 担当部門 担当者氏名 フリガナ ヒロエ ヒトミ 姓 廣江 名 瞳 電話：(052) 721—7171 F A X：(052) 721—1308 e-mail：res.emc@med.nagoya-cu.ac.jp URL：http://www.emc.med.nagoya-cu.ac.jp/

# 年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書－５－

病院施設番号： 030400

臨床研修病院の名称：名古屋市立大学医学部附属東部医療センター

※研修プログラムの変更又は新設の場合は、上記内容と併せて以下の内容についても記入してください。

<p>30. 研修医の募集及び採用の方法 (続き) (基幹型記入)</p>	<p>募集方法</p> <p>応募必要書類 (複数選択可)</p> <p>選考方法 (複数選択可)</p> <p>募集及び選考の時期</p> <p>マッチング利用の有無</p>	<p>1. 公募</p> <p>2. その他 (具体的に: )</p> <p>1. 履歴書、2. 卒業(見込み)証明書、3. 成績証明書、</p> <p>4. 健康診断書、5. その他 (具体的に: )</p> <p>1. 面接</p> <p>2. 筆記試験</p> <p>その他 (具体的に: )</p> <p>募集時期: 7月 1日頃から</p> <p>選考時期: 8月 1日頃から</p> <p>1. 有 0. 無</p>
<p>31. 研修プログラムの名称及び概要 (基幹型記入)</p>	<p>概要: * 別紙3に記入 (作成年月日: 西暦 2024年 4月 25日)</p>	
<p>32. プログラム責任者の氏名等 (副プログラム責任者が配置されている場合には、その氏名等) (基幹型記入)</p> <p>* プログラム責任者の履歴を様式A-2に記入</p> <p>* 副プログラム責任者が配置されている場合には、副プログラム責任者の履歴を様式A-2に記入</p>	<p>(プログラム責任者)</p> <p>フリガナ ヤマダ ケンタロウ</p> <p>氏名 (姓) 山田 氏名 (名) 健太郎</p> <p>所属 名古屋市立大学医学部附属 東部医療センター 役職 臨床研修センター長</p> <p>(副プログラム責任者)</p> <p>1. 有 ( 名) 0. 無</p>	
<p>33. 臨床研修指導医 (指導医) 等の氏名等 (基幹型記入)</p> <p>全ての臨床研修指導医等(協力型臨床研修病院に所属する臨床研修指導医及び臨床研修協力施設に所属する臨床研修の指導を行う者を含む。)について氏名等を記入してください。</p>	<p>* 別紙4に記入</p>	
<p>34. インターネットを用いた評価システム</p>	<p>1. 有 ( <input checked="" type="checkbox"/> EPOC <input type="checkbox"/> その他 ( ) ) 0. 無</p>	
<p>35. 研修開始時期 (基幹型、地域密着型記入)</p>	<p>西暦 2025年 4月 1日</p>	
<p>36. 研修医の処遇 (基幹型・協力型記入)</p>	<p>処遇の適用 (基幹型臨床研修病院は、2に○をつけて、以下の各項目について記入してください。)</p> <p>常勤・非常勤の別</p> <p>研修手当</p> <p>勤務時間</p> <p>休暇</p> <p>当直</p> <p>研修医の宿舍 (再掲)</p> <p>研修医室 (再掲)</p> <p>社会保険・労働保険</p>	<p>1. 基幹型臨床研修病院と同一の処遇とする。 1を選択した場合には、以下の研修医の処遇の項目については、記入不要です。</p> <p>2. 病院独自の処遇とする。</p> <p>1. 常勤 2. 非常勤</p> <p>一年次の支給額 (税込み) 基本手当/月 ( 400,000 円) 賞与/年 ( 0 円)</p> <p>二年次の支給額 (税込み) 基本手当/月 ( 400,000 円) 賞与/年 ( 0 円)</p> <p>時間外手当: 1. 有 0. 無</p> <p>休日手当: 1. 有 0. 無</p> <p>基本的な勤務時間 ( 8:45 ~ 17:15 ) 24時間表記</p> <p>休憩時間 ( 1時間 )</p> <p>時間外勤務の有無: 1. 有 0. 無</p> <p>有給休暇 (1年次: 20日、2年次: 20日)</p> <p>夏季休暇 (1. 有 0. 無)</p> <p>年末年始 (1. 有 0. 無)</p> <p>その他休暇 (具体的に: )</p> <p>回数 (約 4回/月)</p> <p>1. 有 (単身用: 戸、世帯用: 戸)</p> <p>0. 無 (住宅手当: 円)</p> <p>有を選択した場合には、単身用・世帯用に分けて宿舍の戸数を記入してください。無を選択した場合には、住宅手当の金額を記入してください。住宅手当の支給が無い場合は、「0」と記入してください。</p> <p>1. 有 ( 1室) 0. 無</p> <p>有を選択した場合には、研修医室の室数を記入してください。</p> <p>公的医療保険 ( 公立学校共済組合管掌健康保険 )</p> <p>公的年金保険 ( 厚生年金保険 )</p> <p>労働者災害補償保険法の適用 (1. 有 0. 無)、</p> <p>国家・地方公務員災害補償法の適用 (1. 有 0. 無)</p> <p>雇用保険 (1. 有 0. 無)</p>

## 年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書－ 6 －

病院施設番号： 030400

臨床研修病院の名称：名古屋市立大学医学部附属東部医療センター

※研修プログラムの変更又は新設の場合は、上記内容と併せて以下の内容についても記入してください。

36. 研修医の処遇（続き） <small>（基幹型・協力型記入）</small>	健康管理 医師賠償責任保険の扱い 外部の研修活動 院内保育所（再掲） 保育補助（再掲） 体調不良時に休憩・授乳等に使用できる場所（再掲） その他育児関連施設・取組があれば記入（院外との連携した取組もあれば記入）（再掲） 研修医のライフイベントの相談窓口（再掲） 各種ハラスメントの相談窓口（再掲）	健康診断（年 2 回） その他（具体的に 特殊健康診断（放射線）） 病院において加入（1. <input checked="" type="checkbox"/> する 0. <input type="checkbox"/> しない） 個人加入（1. <input type="checkbox"/> 強制 0. <input checked="" type="checkbox"/> 任意） 学会、研究会等への参加：1. <input checked="" type="checkbox"/> 可 0. <input type="checkbox"/> 否 学会、研究会等への参加費用支給の有無：1. <input checked="" type="checkbox"/> 有 0. <input type="checkbox"/> 無 院内保育所の有無（1. <input checked="" type="checkbox"/> 有 0. <input type="checkbox"/> 無） 有を選択した場合、開所時間を記入してください（ 時 分 ～ 時 分） 病児保育（1. <input type="checkbox"/> 有 0. <input checked="" type="checkbox"/> 無） 夜間保育（1. <input type="checkbox"/> 有 0. <input checked="" type="checkbox"/> 無） 上記保育所は研修医の子どもにも使用可能か（1. <input checked="" type="checkbox"/> 可 0. <input type="checkbox"/> 不可） ベビーシッター・一時保育等利用時の補助（1. <input type="checkbox"/> 有 0. <input checked="" type="checkbox"/> 無） その他の補助（具体的に：） 休憩場所（1. <input checked="" type="checkbox"/> 有 0. <input type="checkbox"/> 無） 授乳スペース（1. <input checked="" type="checkbox"/> 有 0. <input type="checkbox"/> 無） （ ） 1. <input type="checkbox"/> 有 0. <input checked="" type="checkbox"/> 無 窓口の名称がある場合記入（ ） 窓口の専任担当 1. <input type="checkbox"/> 有（ 名） 0. <input type="checkbox"/> 無 窓口の名称を記入（ 病院管理部管理課 ） 窓口の専任担当 1. <input type="checkbox"/> 有（ 2 名） 0. <input type="checkbox"/> 無
37. 研修医手帳（基幹型記入）	1. <input checked="" type="checkbox"/> 有 0. <input type="checkbox"/> 無	
38. 連携状況（基幹型記入）	* 様式A-6に記入	

※欄は、記入しないこと。

(記入要領)

- 1 研修プログラムを変更する場合には「1. 研修プログラム変更」に、研修プログラムを新設する場合には「2. 研修プログラムの新設」に○をつけること。
- 2 報告又は届出を行う臨床研修病院の型に応じて、「1. 基幹型臨床研修病院 2. 協力型臨床研修病院」の番号に○をつけること。
- 3 特に定めのあるもののほか、原則として、報告・届出日の属する年度（以下「報告・届出年度」という。）の4月1日現在で作成すること。
- 4 既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入し、前回提出した報告書の内容と異なる項目について記入すること。
- 5 各項目に、記入が必要な臨床研修病院の型を記載しているので、臨床研修病院の型に合わせて、記入が必要な項目について記入すること。
- 6 (基幹型・協力型記入)と記載されている項目は、基幹型臨床研修病院・協力型臨床研修病院の全ての臨床研修病院が記入対象となること。
- 7 (1. 有 0. 無)のように選択形式の項目は、いずれかに○をつけること。
- 8 項目番号1から26までについては、年次報告において記入すること。
- 9 研修プログラムの変更・新設の届出の場合は、項目番号27から37までについても記入すること。
- 10 ※欄は、記入しないこと。

- 11 「作成責任者の氏名及び連絡先」欄の作成責任者は、記載内容について十分回答できる者とする。
- 12 「病院群の構成等」欄は、病院群を構成する全ての臨床研修病院及び臨床研修協力施設の名称、新規指定の有無、病院群の構成の変更等について別表に記入すること。

13 「病院のホームページアドレス」欄は、当該病院がホームページを有する場合にのみ記入することで差し支えないこと。

14 「医師（研修医を含む。）の員数」欄について

- (1)「医療法第21条の規定に基づく人員の算定に当たっての取扱い等について」（平成10年6月26日付け健政発第777号・医薬発第574号）に基づき、当該病院に勤務する医師（研修医を含む。）について記入すること。なお、歯科医師は算定しないこと。
- (2)「常勤」とは、原則として当該病院で定めた医師の勤務時間の全てを勤務する者をいうものであること。
- (3)「非常勤」については、常勤以外の医師について、次に掲げる換算式により常勤換算をした数を記入すること。

※ 換算式

$$\frac{\text{非常勤医師の1週間の勤務時間数}}{\text{常勤医師の1週間の勤務時間数}} = \text{常勤換算をした数 (小数第二位を四捨五入)}$$

- (4)「計(常勤換算)」については、常勤医師数と非常勤医師を常勤換算した数の合計を記入すること。
- (5)「医療法による医師の標準員数」は、医療法施行規則第19条第1項第1号の規定に従い、次に掲げる算出式により算出すること（患者数は、入院及び外来とも報告・届出年度の前年度の1日平均とすること。）。

※ 算出式

$$\left[ \frac{\text{精神病床及び療養病床に係る入院患者数 (歯科の入院患者数を除く。)} + \text{精神病床及び療養病床以外の病床に係る入院患者数 (歯科の入院患者数を除く。)}}{3} + \frac{\text{外来患者数 (精神科、耳鼻咽喉科、眼科及び歯科の外来患者数を除く。)}}{2.5} + \frac{\text{精神科、耳鼻咽喉科及び眼科の外来患者数}}{5} - 52 \right] \times \frac{1}{16} + 3 = \text{医師の標準員数}$$

ただし、医療法施行規則第43条の2に該当する病院については、上記算出式によらないものとする。

- (6) 当該病院の研修プログラムで研修を行っている全ての研修医の氏名等について、様式A-3に記入すること（歯科医師は記入しない。）。
- 15 「救急医療の提供の実績」欄について
  - (1)「救急病院認定の告示」欄は、「救急病院等を定める省令」（昭和39年厚生省令第186号）に基づき都道府県知事の救急病院の認定を受けている病院である場合に、告示年月日（西暦）及び告示番号を記入するものであること。
  - (2)「医療計画上の位置付け」欄は、医療計画上、初期救急医療機関、第二次救急医療機関又は第三次救急医療機関として位置付けられている場合に、該当する番号に○をつけるものであること。
  - (3)「救急専用診療（処置）室の有無」欄は、救急専用診療（処置）室を有する場合には、「1. 有」に○をつけるとともに、その面積を記入し、有しない場合には、「0. 無」に○をつけること。
  - (4)「救急医療の実績」欄については、「前年度の件数」は報告・届出年度の前年度の救急取扱件数（来院方法を問わず、全ての件数）、「1日平均件数」は報告・届出年度の前年度の救急取扱件数を年間総日数（365又は366）で除した数、また、「救急車取扱件数」は報告・届出年度の前年度の救急取扱件数のうちで来院方法が救急車によるものの数をそれぞれ記入すること。さらに、これらの件数のうち診療時間外に受け付けた件数について、それぞれの「うち診療時間外」欄に記入すること。
  - (5)「診療時間外の勤務体制」については、「医師」数は、「救急医療を提供している診療科」の診療時間外の勤務体制における医師数を記入すること。また、「看護師及び准看護師」数は、専ら救急医療を提供するための病棟・外来に勤務する看護師及び准看護師のうち、診療時間外の交代制及び宿日直体制における看護師及び准看護師数を記入すること。
  - (6)「指導を行う者の氏名等」欄については、救急医療の指導を行う者について別紙4に記入すること。
  - (7)「救急医療を提供している診療科」欄は、内科系、外科系又は小児科に係る救急医療の提供の有無について、該当する番号に○をつけ、その他の診療科に係る救急医療を提供している場合には、「その他」欄に当該診療科名を記入すること。
- 16 「医療法上の許可病床数（歯科の病床数を除く。）」欄は、当該病院の病床の種類ごとの許可病床数を記入すること。
- 17 「診療科ごとの入院患者・外来患者・研修医の数」欄は、入院患者・外来患者の数においては、年次報告、研修プログラム変更・新設届出共に提出の前年度の実績を記入すること。研修医の数においては、年次報告では提出年度の前年度の実績と当該年度の想定を別業にて記入し、研修プログラム変更・新設届出では、提出年度の次年度及び次々年度の想定を別業にて記入すること。
- 17 「病床の種類ごとの平均在院日数」欄は、次に掲げる算出式により算出した、報告・届出年度の前年度の平均在院日数を記入すること。ただし、在院患者延日数とは、報告・届出年度の前年度の毎日0時現在の在院患者数を合計した数とすること。なお、在院患者延日数、新入院患者数及び退院患者数については、保険診療であるか否かを問わないものであること。

※ 算出式

$$\frac{\text{在院患者延日数}}{1/2 (\text{新入院患者数} + \text{退院患者数})} = \text{平均在院日数 (小数第二位を四捨五入)}$$

- 18 「前年度の分娩件数」欄は、報告・届出年度の前年度の正常分娩件数及び異常分娩件数についてそれぞれ記入すること。
- 19 「臨床病理検討会（CPC）の実施状況」欄について
- (1) 「開催回数」欄は、報告・届出病院の主催の下に開催したCPCの報告・届出年度の前年度の開催回数及び報告・届出年度の開催見込数を記入すること。
- (2) 「剖検数」欄は、報告・届出年度の前年度の剖検件数及び報告・届出年度の剖検見込数を記入すること。
- (3) 「剖検を行う場所」欄は、剖検を当該医療機関の剖検室で行っている場合は「1. 有」に○をつけること。また、剖検を当該医療機関の剖検室で行っていない場合には、「0. 無」に○をつけること。また、剖検を大学の剖検室において行っているときは「( ) 大学」に当該大学名を記入し、剖検を他病院の剖検室で行っているときは「( ) 病院」に当該病院名を記入すること。
- 20 「研修医のための宿舎及び研修医室の有無」欄について
- (1) 「研修医の宿舎」欄は、研修医の利用に供する宿舎（当該病院の敷地の内外を問わない。）を有する場合は「1. 有」に○をつけること。また、「単身用」・「世帯用」のそれぞれの戸数を記入すること。また、研修医のための宿舎を有さない場合は「0. 無」に○をつけること。また、住宅手当の支給内容（全額支給、一律〇〇円、最低〇〇円から最高〇〇円の範囲内で負担額に応じて支給等）を記入すること（住宅手当を支給していない場合には「0円」と記入すること）。
- (2) 「研修医室」欄は、研修医室を有する場合は「1. 有」に○をつけること。また、研修医室を有さない場合は「0. 無」に○をつけること。
- 21 「図書、雑誌、インターネット等が利用できる環境及び医学教育用機材の整備状況」欄について
- (1) 「文献データベース等の利用環境」欄は、Medline等の文献データベース及び教育用コンテンツのそれぞれについて、利用できる場合は「1. 有」に○をつけ、利用できない場合には「0. 無」に○をつけること。また、文献データベース及び教育用コンテンツ以外に、これに類するもので利用できるものがある場合は「その他( )」にその内容を記入すること。
- (2) 「医学教育用機材の整備状況」欄は、医学教育用シミュレーターの整備の有無について該当する番号に○をつけること。また、臨床研修に必要なその他の医学教育用機材を整備している場合は「その他( )」にその内容を記入すること。
- 22 「病歴管理体制」欄について
- (1) 「診療に関する諸記録の管理方法」欄は、診療に関する諸記録（診療録、病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約等）に関する管理方法について、主に中央管理を行っている場合には「1. 中央管理」、主に各科管理を行っている場合には「2. 各科管理」に○をつけること。また、いずれにも該当しない場合は「その他」欄にその内容を具体的に記入すること。
- (2) 「診療録の保存方法」欄は、診療録を文書により保存している場合には「1. 文書」、電子媒体により保存している場合には「2. 電子媒体」に○をつけること。また、双方併用で保存している場合等は「その他」欄に具体的に記入すること。
- 23 「医療安全管理体制」欄について
- (1) 「安全管理者の配置状況」欄は、安全管理者を配置している場合は「1. 有」に○をつけること。また、安全管理者を配置していない場合には「0. 無」に○をつけること。
- (2) 「安全管理部門の設置状況」欄は、安全管理部門の専任職員及び兼任職員の数をそれぞれ記入するとともに、安全管理部門の主な活動内容を記入すること。
- (3) 「患者からの相談に適切に応じる体制の確保状況」欄は、患者相談窓口の責任者の氏名及び役職並びに患者相談への対応時間を記入するとともに、患者相談窓口に係る規約を有する場合は「1. 有」に○をつけ、有さない場合は「0. 無」に○をつけること。
- 24 「現に受け入れている研修医数」欄は、当該病院で実際に研修した全ての研修医数を記入すること。基幹型臨床研修病院であり、かつ協力型臨床研修病院である場合は、協力型として受け入れた研修医も合計すること。基幹型臨床研修病院として管理している研修医が、協力型臨床研修病院で1年間研修を行い、基幹型臨床研修病院である当該病院で研修を行わない場合は、数に含まないこと。
- 25 「受入可能定員」欄は、医療法上の許可病床数（歯科の病床数を除く。）からの算出（ $\div 10$ ）及び年間入院患者数（報告・届出年度の前々年度からの繰越患者数+報告・届出年度の前年度の新規入院実患者数）からの算出（ $\div 100$ ）の双方とも記入すること。
- 26 「精神保健福祉士、作業療法士その他診療要員の配置状況」欄は、当該病院が精神科の研修を行う場合に記入するものであり、精神保健福祉士、作業療法士、臨床心理技術者のそれぞれの職種について、職員数及び常勤・非常勤別の内訳数を記入すること。また、これらの職種以外にも精神科に係る技術職員がいる場合は、その職員数及び常勤・非常勤別の内訳数を記入すること。
- 27 「前年度に育児休業を取得した研修医の数」は、当該年度に育児休業を取得した研修医がいる場合は、男女、年次別にその人数を記入すること。
- 28 「研修医の妊娠・出産・育児に関する施設及び取組に関する事項」欄については、
- (1) 「院内保育所」欄は、病院内に保育所等の保育施設を有している場合は「1. 有」に○をし、保育所の基本的な開所時間を記入すること。ない場合には「0. 無」に○をすること。「病児保育」・「夜間保育」欄は、院内保育所で病児保育・夜間保育を行っている場合は、それぞれにつき「1. 有」に○をし、ない場合はそれぞれにつき「0. 無」に○をすること。「上記保育所は研修医の子どもに使用可能か」欄は、上記で回答した保育所に研修医が子どもを預けることが可能な場合は「1. 可」に○をし、預けることができない場合は「0. 不可」に○をすること。
- (2) 「保育補助」欄は、ベビーシッター・一時保育等利用時の補助を病院が行っている場合は「1. 有」に○をし、ない場合は「0. 無」に○をすること。その他に何らかの保育補助を行っている場合は、その他欄にその内容を具体的に記入すること。
- (3) 「体調不良時に休憩・授乳等に使用できる場所」欄は、病院内に研修医が使用できる休憩場所や授乳スペースを有している場合は、それぞれにつき「1. 有」に○をし、ない場合はそれぞれにつき「0. 無」に○をすること。
- (4) 「その他育児関連施設・取組」欄は、上記(1)～(3)に該当しない、育児関連施設を有している場合や育児関連の取組を行っている場合（院外施設・制度との連携した取組も含む）は、回答欄内にその内容を具体的に記入すること。
- (5) 「研修医のライフイベント相談窓口」欄は、病院内に研修医がライフイベントについて相談できる窓口を設置している場合は「1. 有」に○をし、ない場合は「0. 無」に○をすること。「1. 有」を選択した病院は、その窓口の名称がある場合は記載し、窓口の専任担当がいる場合は「1. 有」に○をして、その人数を記載すること。専任担当がいない場合は「0. 無」に○をすること。
- (6) 「各種ハラスメント相談窓口」欄は、病院内に研修医が各種ハラスメントについて相談できる窓口の名称について記載し、窓口の専任担当がいる場合は「1. 有」に○をして、その人数を記載すること。専任担当がいない場合は「0. 無」に○をすること。
- 29 「研修プログラムの名称」以降の欄については、研修プログラムごとに別葉に記入すること。
- 30 「インターネットを用いた評価システム」欄は、該当するものに○をつけ、「1. 有」を選択した場合は、EPOCかその他を選択すること。

- 31 「研修医の募集定員」については、当該病院で臨床研修を行っている1年次及び2年次の合計が受入可能定員を超えないこと。
- 32 「研修医の募集及び採用の方法」欄について
- (1) 「募集方法」欄は、研修医を公募により募集する場合には「1. 公募」に○をつけ、その他の方法とする場合にはその他欄にその内容を具体的に記入すること。
  - (2) 「応募必要書類」欄は、研修医が選考に応募する際に必要な書類全てに○をつけ、その他に必要な書類がある場合には、その他欄にその内容を具体的に記入すること。
  - (3) 「選考方法」欄は、研修医の選考方法について該当するもの全てに○をつけ、その他に選考方法を設ける場合には、その他欄にその内容を具体的に記入すること。
  - (4) 「募集及び選考の時期」欄は、募集及び選考の時期について、具体的に記入すること。
  - (5) 「マッチング利用の有無」欄は、マッチングを利用する場合には「1. 有」に○をし、マッチングを利用しない場合には「0. 無」に○をすること。
- 33 「研修医の処遇」欄について
- (1) 「処遇の適用」欄については、基幹型臨床研修病院は、2に○をつけ、以降の研修医の処遇の各項目について記入すること。また、協力型臨床研修病院は、基幹型臨床研修病院と同一の処遇とする場合には、1に○をつけ（この場合、以降の研修医の処遇の項目については記入しなくとも差し支えないこと。）、また、病院独自の処遇とする場合には、2に○をつけること。
  - (2) 「研修手当」欄は、研修医の基本的な研修手当について、1年次及び2年次の基本手当の額（税込み）、賞与の支給額を記入すること。基本手当が月給ではない場合にあっては、およその月額を記入すること。時間外手当及び休日手当を支給する場合は、それぞれ「1. 有」に、支給しない場合には「0. 無」に○をつけること。なお、時間外勤務及び休日勤務がある場合においては、時間外手当及び休日手当が支給されるものと考えられること。
  - (3) 「勤務時間」欄は、研修医の基本的な勤務時間及び勤務時間中の休憩時間について記入すること。また、「時間外勤務の有無」欄は、時間外勤務がある場合には「1. 有」に、ない場合には「0. 無」に○をつけること。
  - (4) 「休暇」欄は、研修医の基本的な休暇の内容について、1年次及び2年次の有給休暇付与日数を記入すること。また、夏季休暇、年末年始休暇の有無について該当するものに○をつけること。また、これら以外に休暇を付与する場合は、その具体的休暇名を記入すること。
  - (5) 「当直」欄は、研修医の一月あたりのおよその当直回数について記入すること。
  - (6) 「社会保険・労働保険」欄は、研修医に適用される社会保険・労働保険について、「公的医療保険（ ）」欄に「組合健康保険」等と、「公的年金保険（ ）」欄に「厚生年金保険」等と記入し、「労働者災害補償保険法の適用」欄、「国家・地方公務員災害補償法の適用」欄、「雇用保険」欄のそれぞれ該当するものに○をつけること。
  - (7) 「健康管理」欄は、研修医の基本的な健康管理について、健康診断の回数を記入すること。また、健康診断以外で健康管理を実施している場合は、「その他」欄に具体的に記入すること。
  - (8) 「医師賠償責任保険の扱い」欄は、研修医の医師賠償責任保険の基本的な扱いについて該当するものに○をつけること。
  - (9) 「外部の研修活動」欄は、学会、研究会等への参加を認めるか否かについて該当するものに○をつけ、認める場合における参加費用の支給の有無についても、該当するものに○をつけること。

12. 診療科ごとの入院患者・外来患者の数

既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入してください。

臨床研修病院の名称：名古屋市立大学医学部附属東部医療センター  
 病院施設番号：030400

区 分	内 科	救急部門	外 科	麻酔科 (部門)	小児科	産婦人科	又は		精 神 科	病院で定めた必修 科目の診療科			その他の研修を行 う診療科			合 計
							産 科	婦 人 科								
年間入院患者実数 ( ) 内は救急件数又は分娩件数	5,498	127 (13,845)	964	5	366	897 (200)	( )	( )	0	250	757	516	347	0	0	9,727
年間新外来患者数	8,530	1,248	1,160	56	1,016	1,144			0	1,034	936	616	1,192	672	0	17,604
1日平均外来患者数 ( ) 内は年間外来診療日数	421.3 ( 243 )	40.7 ( 243 )	60.9 ( 243 )	27.2 ( 243 )	13.3 (243)	52.9 (243)	( )	( )	4.4 (243)	58.3 (243)	61.7 (243)	46.2 (243)	33.0 (243)	17.4 (243)	0 (243)	
平均在院日数	12.1	7.9	11.7	8.4	3.3	5.2			-	9.6	7.1	1.4	5.1	-	-	
常勤医師数 (うち臨床研修指導医(指導医)数)	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )

※ 「年間入院患者実数」とは、提出年度の前々年度の繰越患者数に提出年度の前年度中における新入院患者数を加えた数とすること。「年間新外来患者数」とは、提出年度の前年度中に来院した外来患者のうち、初診料を算定した患者数とすること。「1日平均外来患者数」とは、年間外来患者延数÷年間外来診療日数による数(小数第二位を四捨五入)とすること。「病院で定めた必修科目の診療科」欄等が足りない場合には、続紙(様式自由)に記載し添付すること。「救急件数」及び「分娩件数」とは、10. の救急医療の実績の前年度の件数及び 14. の正常分娩件数と異常分娩件数の合計とすること。

※ 「内科」とは、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、神経内科等を含めた広義の内科のうち基本研修科目の内科分野の研修を行う診療科であり、「外科」とは、心臓血管外科、呼吸器外科、脳外科等を含めた広義の外科のうち基本研修科目の外科分野の研修を行う診療科であること。







- ※ 年次報告の場合は提出年度の前年度の実績分及び提出年度分の想定を別葉で作成し、研修プログラム変更・新設届出の場合は、届出年度の次年度分、次々年度分の想定を別葉で作成すること。
- ※ 当該病院が上記の年度に受け入れた、又は受け入れる予定の研修医の数を、基幹型臨床研修病院別及び担当分野別に記入すること。当該病院が基幹型臨床研修病院であり、かつ協力型臨床研修病院として研修医を受け入れている場合は、協力型臨床研修病院として受け入れている人数も含めて、全ての人数を記入すること。
- ※ 「基幹型臨床研修病院名」欄は、当該病院が基幹型臨床研修病院の場合は、当該病院を一番上に記入することとし、次に協力型臨床研修病院として受け入れている基幹型臨床研修病院名を記入すること。
- ※ 基幹型臨床研修病院及び担当分野ごとに各4週ごとに受け入れる研修医の延人数（研修期間4週について1人とする）を記入すること。
- ※ 「担当分野」欄には、内科、救急部門、地域医療、外科、麻酔科、小児科、産婦人科及び精神科のみを記入し、選択科については記入しないこと。ただし、一般外来については、他科との並行研修ではなく、単独で実施する場合に限り記入すること。また、当該病院が基幹型臨床研修病院であるとき、病院が定めた必修科目が上記以外にある場合には、その科目も含めて記入すること。

## 33. 臨床研修指導医（指導医）等の氏名等

病院施設番号： 030400

臨床研修病院の名称：名古屋市立大学医学部附属東部医療センター

担当分野	氏名	所属	役職	臨床経験年数	指導医講習会等の受講経験 有：○ 無：×	資格等	プログラム番号	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 臨床研修指導医（指導医）
内科	大手 信之	名古屋市立大学医学部附属東部医療センター	病院長	42 年	○	名古屋市立大学病院第 1 回臨床研修指導医講習会	030400507	3, 4
内科	山田 健太郎	名古屋市立大学医学部附属東部医療センター	臨床研修センター長	27 年	○	平成 21 年度久留米大学病院指導医講習会受講済、日本内科学会認定医・総合内科専門医・指導医、日本神経学会専門医・指導医、日本脳卒中学会専門医、日本頭痛学会専門医、令和 3 年度プログラム責任者養成講習会受講済	030400507	1, 4
外科	大野 貴之	名古屋市立大学医学部附属東部医療センター	臨床研修副センター長	22 年	○	名古屋市立大学病院第 5 回臨床研修指導医講習会受講済、日本脳神経外科学会専門医、日本脳卒中学会専門医、日本脳神経血管内治療学会専門医、救急科専門医	030400507	4
内科	伊藤 恵介	名古屋市立大学医学部附属東部医療センター	消化器内視鏡センター長	30 年	○	日本医師会「指導医のための教育ワークショップ」（愛知県医師会主催）受講済、日本内科学会総合内科専門医、日本消化器病学会専門医・指導医、日本消化器内視鏡学会専門医・指導医、日本消化管学会認定医、日本がん治療認定医機構暫定認定医	030400507	4

内科	関本 暁	名古屋市立大学医学部附属東部医療センター	循環器内科講師（診療担当）	16年	○	名古屋市立大学病院・名古屋市立病院第7回臨床研修指導医講習会受講済、日本内科学会認定医、日本循環器学会専門医	030400507	4
内科	蜂矢 健太	名古屋市立大学医学部附属東部医療センター	循環器内科講師（診療担当）	15年	○	全国自治体病院協議会第134回臨床研修指導医講習会受講済、日本内科学会認定医、日本循環器学会専門医	030400507	4
内科	近藤 啓	名古屋市立大学医学部附属東部医療センター	臨床研修副センター長	24年	○	全国自治体病院協議会第92回臨床研修指導医養成講習会受講済、日本内科学会認定医、日本消化器病学会専門医、日本消化器内視鏡学会専門医、日本肝臓学会専門医	030400507	4
内科	小島 尚代	名古屋市立大学医学部附属東部医療センター	消化器内科副部長	22年	○	名古屋市立大学病院 第7回臨床研修指導医講習会	030400507	4
内科	西垣 信宏	名古屋市立大学医学部附属東部医療センター	消化器内科副部長	19年	○	名古屋市立大学病院・名古屋市立病院第7回臨床研修指導医講習会受講済、日本内科学会認定内科医、日本消化器病学会専門医、日本消化器内視鏡学会専門医	030400507	4
内科	前田 浩義	名古屋市立大学医学部附属東部医療センター	呼吸器内科教授（診療担当）	34年	○	指導医養成講習会受講済、日本内科学会認定内科専門医、日本呼吸器学会認定呼吸器専門医・指導医、日本呼吸器内視鏡学会認定気管支鏡専門医	030400507	4
内科	川口 裕子	名古屋市立大学医学部附属東部医療センター	呼吸器内科部長	21年	○	臨床研修指導医講習会受講済	030400507	4

内科	藤田 浩平	名古屋市立大学医学部附属東部医療センター	呼吸器内科助教	13年	○	日本内科学会認定内科医、日本内科学会総合内科専門医、日本呼吸器学会呼吸器専門医、日本呼吸器内視鏡学会気管支鏡専門医、日本がん治療認定医機構がん治療認定医	030400507	
内科	平林 真代	名古屋市立大学医学部附属東部医療センター	内分泌内科医師	16年	○	名古屋市立大学病院・名古屋市立病院第7回臨床研修指導医講習会受講済、日本内科学会認定医、日本糖尿病医学会専門医	030400507	4
内科	小池 清美	名古屋市立大学医学部附属東部医療センター	血液浄化療法センター長	24年	○	平成18年度久留米大学病院指導医講習会	030400507	4
内科	小野 水面	名古屋市立大学医学部附属東部医療センター	腎臓内科医師	20年	○	日本内科学会認定内科医・認定総合内科専門医・認定指導医、日本腎臓学会認定腎臓専門医、日本透析医学会認定透析専門医、日本腎代替療法医療専門職推進協会認定腎代替療法専門指導士	030400507	
内科	林 香月	名古屋市立大学医学部附属東部医療センター	消化器内科教授	27年	○	名古屋市立大学病院第5回臨床研修指導医講習会	030400507	4
内科	柳田 正光	名古屋市立大学医学部附属東部医療センター	血液・腫瘍内科教授	28年	○	第11回藤田保健衛生大学病院臨床研修指導医講習会(2012年11月11日修了)	030400507	4
内科	和田 靖明	名古屋市立大学医学部附属東部医療センター	循環器内科教授	26年	○	山口大学医学部附属病院卒業臨床研修指導医養成講習会(平成27年10月31日修了)	030400507	4

小児科	遠藤 剛	名古屋市立大学医学部附属東部医療センター	小児科講師	22年	○	名古屋市立大学病院第5回臨床研修指導医講習会	030400507	4
小児科	伊藤 孝一	名古屋市立大学医学部附属東部医療センター	小児科講師	22年	○	名古屋市立大学病院・名古屋市立病院第6回臨床研修指導医講習会	030400507	4
小児科	谷田 寿志	名古屋市立大学医学部附属東部医療センター	小児科助教	19年	○	日本医師会「指導医のための教育ワークショップ」(愛知県医師会主催)(平成27年度)	030400507	4
小児科	服部 文子	名古屋市立大学医学部附属東部医療センター	小児科准教授	24年	○	名古屋市立大学病院第5回臨床研修指導医講習会	030400507	4
小児科	笠原 克明	名古屋市立大学医学部附属東部医療センター	小児科助教	23年	○	日本小児科学会認定 小児科専門医・指導医、日本腎臓病学会認定腎臓専門医・指導医、日本アレルギー学会認定 アレルギー専門医、PALS インストラクター、JPLS インストラクター 日本腎臓病学会、日本小児腎臓病学会代議員、日本臨床腎移植学会、日本アレルギー学会、臨床研修指導医講習会	030400507	
外科	原田 幸志朗	名古屋市立大学医学部附属東部医療センター	消化器外科准教授(診療担当)	24年	○	VHJ 機構指導医養成講座(平成26年7月25日)	030400507	4
外科	前田 祐三	名古屋市立大学医学部附属東部医療センター	消化器外科助教	18年	○	第18回愛知県厚生農業協同組合連合会臨床研修指導医講習会	030400507	4

外科	志賀 一慶	名古屋市立大学医学部附属東部医療センター	消化器外科助教	20年	○	第12回愛知県厚生農業協同組合連合会臨床研修指導医講習会	030400507	4
外科	田中 達也	名古屋市立大学医学部附属東部医療センター	消化器外科講師	22年	○	日本外科学会認定外科専門医・外科指導医、日本消化器外科学会認定消化器外科専門医・指導医、日本消化器外科学会認定消化器がん外科治療認定医、日本食道学会認定食道外科専門医、日本食道学会認定食道科認定医、臨床研修指導医、緩和ケア講習会終了	030400507	
外科	水野 幸太郎	名古屋市立大学医学部附属東部医療センター	呼吸器外科准教授	28年	○	平成20年度第8回MMC指導医養成講習会受講済、日本外科学会専門医・指導医、日本呼吸器外科学会専門医、日本呼吸器内視鏡学会専門医、気管支鏡指導医	030400507	4
外科	三田 圭子	名古屋市立大学医学部附属東部医療センター	乳腺・内分泌外科部長	24年	○	臨床研修指導医講習会受講済、日本外科学会専門医、日本乳癌学会乳腺専門医	030400507	4
外科	南谷 千帆	名古屋市立大学医学部附属東部医療センター	整形外科（准教授）	28年	○	日本医師会「指導医のための教育ワークショップ」（愛知県医師会主催）受講済、日本整形外科学会専門医、日本整形外科学会脊椎脊髄病医	030400507	4
外科	白神 宗男	名古屋市立大学医学部附属東部医療センター	整形外科助教	14年	○	名古屋市立大学病院・名古屋市立病院第9回臨床研修指導医講習会受講済、日本整形外科学会専門医、日本整形外科学会脊椎脊髄病医	030400507	4

外科	青山 公紀	名古屋市立大学医学部附属東部医療センター	リハビリテーション科講師	21年	○	名古屋市立大学病院・名古屋市立病院第8回臨床研修指導医講習会	030400507	4
外科	神谷 信次	名古屋市立大学医学部附属東部医療センター	心臓血管外科准教授 (診療担当)	20年	○	名古屋市立大学病院・名古屋市立病院第9回臨床研修指導医講習会受講済、日本外科学会専門医、胸部ステントグラフト実施医・指導医、腹部ステントグラフト実施医・指導医	030400507	4
外科	佐々木 英樹	名古屋市立大学医学部附属東部医療センター	心臓血管外科准教授	28年	○	第13回愛媛大学医学部附属病院卒後臨床研修指導医講習会	030400507	4
外科	相原 徳孝	名古屋市立大学医学部附属東部医療センター	准教授	35年	○	名古屋市立大学病院第4回臨床研修指導医講習会	030400507	4
外科	岩田 卓士	名古屋市立大学医学部附属東部医療センター	脳神経外科医師	13年	○	名古屋市立大学病院第8回臨床研修指導医講習会	030400507	4
外科	沼田 幸英	名古屋市立大学医学部附属東部医療センター	心臓血管外科助教	15年	○	三学会構成心臓血管外科専門医認定機構認定心臓血管外科専門医、日本外科学会認定外科専門医、下肢静脈瘤血管内レーザー焼灼術実施医・指導医、腹部大動脈瘤ステントグラフト実施医、胸部大動脈瘤ステントグラフト実施医	030400507	4
外科	安間 三四郎	名古屋市立大学医学部附属東部医療センター	整形外科講師	15年	○	日本整形外科学会認定整形外科専門医・認定スポーツ医、公益財団法人日本スポーツ協会公認スポーツドクター、日本人工関節学会、日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会、日本整形外科スポーツ医学会、日本関節病学会、中部整形外科災害外科学会	030400507	4

外科	上用 祐士	名古屋市立大学医学部附属東部医療センター	整形外科講師	10年	○	日本整形外科学会認定整形外科専門医、日本骨粗鬆症学会認定医、日本手外科学会、日本マイクロサージャリー学会、日本リウマチ学会、日本リウマチの外科学会、日本整形外科スポーツ医学会、日本骨折治療学会、中部整形外科災害外科学会	030400507	4
外科	柴田 広海	名古屋市立大学医学部附属東部医療センター	脳神経外科助教	10年	○	日本脳神経外科学会専門医、日本脳神経血管内治療学会専門医、日本神経内視鏡学会技術認定医	030400507	4
皮膚科	岩井 敦子	名古屋市立大学医学部附属東部医療センター	皮膚科准教授（診療担当）	21年	○	名古屋市立大学病院第5回臨床研修指導医講習会受講済、日本皮膚科学会専門医	030400507	4
泌尿器科	丸山 哲史	名古屋市立大学医学部附属東部医療センター	泌尿器科教授（診療担当）	30年	○	日本医師会「指導医のための教育ワークショップ」（愛知県医師会主催）受講済、日本泌尿器科学会指導医・専門医、日本小児泌尿器科学会認定医・評議員、日本泌尿器内視鏡学会評議員、泌尿器腹腔鏡技術認定制度認定医	030400507	4
泌尿器科	杉野 輝明	名古屋市立大学医学部附属東部医療センター	泌尿器科助教	11年	○	第23回愛知県厚生農業協同組合連合会臨床研修指導医講習会	030400507	4
泌尿器科	田口 和己	名古屋市立大学医学部附属東部医療センター	泌尿器科准教授	18年	○	平成27年度第2回大同病院臨床研修指導医講習会	030400507	4
中央検査科	村上 勇	名古屋市立大学医学部附属東部医療センター	中央検査科部長	40年	○	全国自治体病院協議会第35回新臨床研修指導医養成講習会受講済、日本産科婦人科学会専門医、日本産科婦人科内視鏡学会技術認定医、母体保護法指定医	030400507	4

産婦人科	中山 健太郎	名古屋市立大学医学部附属東部医療センター	産婦人科教授	27年	○	島根県臨床研修指導医講習会(平成18年10月22日修了)	030400507	4
産婦人科	小島 和寿	名古屋市立大学医学部附属東部医療センター	産婦人科准教授	35年	○	臨床研修指導医講習会受講済、日本産科婦人科学会専門医	030400507	4
産婦人科	関 宏一郎	名古屋市立大学医学部附属東部医療センター	産婦人科部長	25年	○	名古屋市立大学病院・名古屋市立病院第6回臨床研修指導医講習会受講済、日本産科婦人科学会専門医	030400507	4
産婦人科	石橋 朋佳	名古屋市立大学医学部附属東部医療センター	産婦人科講師	15年	○	平成28年度島根県臨床研修指導医講習会	030400507	4
眼科	野崎 実穂	名古屋市立大学医学部附属東部医療センター	眼科教授	30年	○	名古屋市立大学病院・名古屋市立病院第7回臨床研修指導医講習会	030400507	4
眼科	西信 良嗣	名古屋市立大学医学部附属東部医療センター	眼科准教授	30年	○	日本眼科学会、日本網膜硝子体学会、日本眼循環学会、日本眼炎症学会、American Academy of Ophthalmology、日本眼科学会認定専門医・指導医、臨床研修指導医、光線力学的療法(PDT)認定医	030400507	
耳鼻 いんこう科	讃岐 徹治	名古屋市立大学医学部附属東部医療センター	耳鼻咽喉科教授	28年	○	日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会認定専門医、認定指導医、喉頭形成術実施医、日本気管食道科学会評議員、認定専門医、日本音声言語医学会評議員、認定音声言語認定医、日本鼻科学会代議員、日本喉頭科学会評議員、日本頭蓋底外科学会、日本頭頸部外科学会、日本形成外科学会、英国喉頭科学会	030400507	

放射線診断科	橋爪 卓也	名古屋市立大学医学部附属東部医療センター	放射線診断科准教授	20年	○	日本医学放射線学会認定放射線診断専門医、放射線科研修指導者・代議員、日本IVR学会認定IVR専門医・代議員、日本ステントグラフト実施基準管理委員会認定胸部ステントグラフト指導医、日本ステントグラフト実施基準管理委員会認定腹部ステントグラフト指導医、脈管学会認定脈管専門医、精中委認定マンモグラフィ読影認定医、臨床研修指導医	030400507	4
放射線診断科	北林 佑季也	名古屋市立大学医学部附属東部医療センター	放射線診断科助教	10年	○	日本医学放射線学会認定放射線科専門医、放射線診断専門医、放射線科研修指導者、臨床研修指導医	030400507	4
放射線診断科	中谷 優子	名古屋市立大学医学部附属東部医療センター	放射線診断科助教	9年	○	日本医学放射線学会認定放射線科専門医、放射線科診断専門医、臨床研修指導医	030400507	4
放射線診断科	竹内 萌	名古屋市立大学医学部附属東部医療センター	放射線診断科医師	16年	○	名古屋市立大学病院・名古屋市立病院第9回臨床研修指導医講習会受講済、日本医学放射線学会専門医、精中委(マンモグラフィ)認定読影医	030400507	4
放射線治療科	永井 愛子	名古屋市立大学医学部附属東部医療センター	准教授	18年	○	「指導医のための教育ワークショップ」(愛知県医師会主催)受講済	030400507	
精神科	音羽 健司	名古屋市立大学医学部附属東部医療センター	精神科教授	25年	○	第30回昭和大学医師臨床研修指導医講習会	030400507	

感染症内科	伊東 直哉	名古屋市立大学医学部附属東部医療センター	感染症内科部長	16年	○	日本感染症学会感染症専門医・指導医、日本内科学会認定内科医・総合内科専門医、日本化学療法学会抗菌化学療法認定医、ICD制度協議会インフェクションコントロールドクター、日本プライマリ・ケア連合学会認定医・認定指導医、Diploma in Tropical Medicine and Hygiene (DTM&H)、日本感染症教育研究会、IDATEN(代表世話人)、日本循環器学会 COVID-19 対策特命チーム(アドバイザー)、日本感染症学会、日本化学療法学会、JAID/JSC 感染症治療ガイド2022「敗血症」委員	030400507	
病理診断科	稲熊 真悟	名古屋市立大学医学部附属東部医療センター	病理診断科教授(診療担当)	23年	○	臨床研修指導医講習会受講済、日本病理学会専門医、日本臨床細胞学会細胞診断専門医	030400507	
麻酔科	森島 徹朗	名古屋市立大学医学部附属東部医療センター	麻酔・集中治療科准教授	26年	○	日本医師会「指導医のための教育ワークショップ」(愛知県医師会主催)受講済、日本麻酔科学会麻酔科指導医、日本集中治療医学会集中治療専門医、日本周術期経食道心エコー認定医	030400507	
麻酔科	工藤 妙	名古屋市立大学医学部附属東部医療センター	麻酔・集中治療科助教	20年	○	名古屋市立大学病院・名古屋市立病院第6回臨床研修指導医講習会受講済	030400507	
麻酔科	佐野 文昭	名古屋市立大学医学部附属東部医療センター	麻酔・集中治療科准教授(診療担当)	17年	○	全国自治体病院協議会第165回臨床研修指導医養成講習会	030400507	
救急科	松嶋 麻子	名古屋市立大学医学部附属東部医療センター	救急科教授	24年	○	全国自治体病院協議会第115回臨床研修指導医養成講習会	030400507	

救急科	大出 靖将	名古屋市立大学医学部附属東部医療センター	救急科准教授	23年	○	第13回順天堂大学医学部初期臨床研修指導医講習会	030400507	
救急科	三浦 敏靖	名古屋市立大学医学部附属東部医療センター	救急科准教授（診療担当）	23年	○	名古屋市立大学病院第5回臨床研修指導医講習会受講済、日本救急医学会救急科専門医・指導医、日本神経学会専門医・指導医、日本脳卒中学会専門医、日本内科学会総合内科専門医・指導医	030400507	
救急科	今井 一徳	名古屋市立大学医学部附属東部医療センター	救急科講師	20年	○	名古屋市立大学病院・名古屋市立病院第9回臨床研修指導医講習会	030400507	
疼痛緩和内科	伊藤 恭史	名古屋市立大学医学部附属東部医療センター	疼痛緩和科助教	22年	○	日本医師会「指導医のための教育ワークショップ」（愛知県医師会主催）（平成21年度）	030400507	

- ※ 「担当分野」欄には、様式A-10別紙3の臨床研修を行う分野及び病理（CPC）を記入すること。
  - ※ 「所属」欄には、臨床研修指導医（指導医）等が所属する病院又は施設の名称を記入すること。
  - ※ 「資格等」欄には、受講した指導医講習会名称や、取得した専門医資格等について記入すること。
  - ※ 「プログラム番号」欄には、臨床研修指導医（指導医）等が担当するすべてのプログラム番号を記入すること（プログラム番号を取得していない場合には研修プログラムの名称を記入すること）。
  - ※ プログラム責任者、副プログラム責任者、研修実施責任者及び臨床研修指導医（指導医）については、「備考」欄にそれぞれに応じた番号を記入し、併せてプログラム番号を記入すること（プログラム番号を取得していない場合には研修プログラムの名称を記入すること）。
- \* 研修実施責任者・・・協力型臨床研修病院又は臨床研修協力施設において、当該施設における臨床研修の実施を管理する者
- \* 臨床研修指導医（指導医）・・・研修医に対する指導を行う医師であり、7年（84月）以上の臨床経験及び指導医養成講習会等の受講経験を有する者
- ※ 地域医療重点プログラムにおいては、地域医療の指導医を必ず記載すること
  - ※ 欄が足りない場合には、コピーにより対応し、「(No. )」欄にページ数を記入すること。

# 年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書

令和 6 年 4 月 19 日

都道府県知事 殿

病院名	名古屋市立大学病院
開設者	理事長 郡健二郎

医師法第 16 条の 2 第 1 項に規定する臨床研修に関する省令（平成 14 年厚生労働省令第 158 号）第 12 条に基づき、年次報告書を提出いたします。  
また、併せて、同省令第 9 条に基づき、1. 研修プログラムの変更、2. 研修プログラムの新設を届け出ます。

（研修プログラムを変更する場合には「1. 研修プログラム変更」に、研修プログラムを新設する場合には「2. 研修プログラムの新設」に○をつけてください。）

1. 基幹型臨床研修病院     2. 協力型臨床研修病院    （報告又は届出を行う臨床研修病院の型の番号に○をつけてください。）

- ・ 項目番号 1 から 27 までについては、年次報告において記入してください。
- ・ 研修プログラムの変更・新設の届出の場合は、項目番号 28 から 38 までについても記入してください。

# 年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書－ 1 －

病院施設番号： 030413

臨床研修病院の名称： 名古屋市立大学病院

記入日：西暦 2024 年 4 月 19 日

病院施設番号 <small>(基幹型、協力型記入)</small> 既に番号を取得している臨床研修病院については 病院施設番号を記入してください。	030413	臨床研修病院群の名称 <small>(基幹型、協力型記入)</small> 既に臨床研修病院群番号を有している臨 床研修病院群については、番号も記入し てください。	名称 名古屋市立大学病院 番号 0304133
作成責任者の氏名及び連絡先 <small>(基幹型、協力型記入)</small> 本報告書の問合せに対して回答できる作成 責任者について記入してください。	フリガナ コムロ ユキ 氏名(姓) 小室 (名) 由樹	役職 主事 (内線 8545 ) (直通電話 (052) 853—8545 ) e-mail : kensyu-c@sec.nagoya-cu.ac.jp <small>(携帯電話のメールアドレスは不可とします。)</small>	
1. 病院の名称 <small>(基幹型、協力型記入)</small>	フリガナ ナゴヤシツダガクケイヨウイン 名古屋市立大学病院		
2. 病院の所在地及び二次医 療圏の名称 <small>(基幹型、協力型記入)</small>	〒 4 6 7 - 8 6 0 2 ( 愛知 都・道・府・県 ) 名古屋市瑞穂区瑞穂町字川澄 1 電話 : (052) 853—8545 F A X : (052) 842—0863 二次医療圏 の名称 : 名古屋医療圏		
3. 病院の開設者の氏名 (法 人の名称) <small>(基幹型、協力型記入)</small>	フリガナ コウリツダガクケイジツン ナゴヤシツダガクケイ リジチョウ コオリ ケンジロウ 公立大学法人 名古屋市立大学 理事長 郡 健二郎		
4. 病院の開設者の住所 (法 人の主たる事務所の所在 地) <small>(基幹型、協力型記入)</small>	〒 4 6 7 - 8 6 0 2 ( 愛知 都・道・府・県 ) 名古屋市瑞穂区瑞穂町字川澄 1 電話 : (052) 853—8545 F A X : (052) 842—0863		
5. 病院の管理者の氏名 <small>(基幹型、協力型記入)</small>	フリガナ マセ 姓 間瀬	ミツヒト 名 光人	
6. 研修管理委員会の構成員の氏名 及び開催回数 <small>(基幹型記入)</small>	* 別紙 1 に記入 研修管理委員会の全ての構成員(協力型臨床研修病院及び臨床研修協力施設に所属する者を含む。)について記入してください。		
7. 病院群の構成等 <small>(基幹型記入)</small>	* 別表に記入 病院群を構成する全ての臨床研修病院、臨床研修協力施設の名称、新規指定の有無、病院群の構成の変更等について記入してください。		
8. 病院のホームページアドレス <small>(基幹型、協力型記入)</small>	http:// w3hosp.med.nagoya-cu.ac.jp		

# 年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書－２－

病院施設番号： 030413

臨床研修病院の名称： 名古屋市立大学病院

	※	
9. 医師（研修医を含む。）の員数 <small>（基幹型・協力型記入）</small>		常勤： 301 名、非常勤（常勤換算）： 220.2 名 計（常勤換算）： 521.2 名、医療法による医師の標準員数： 名 * 基幹型臨床研修病院は、当該病院が管理している研修医の氏名等について様式A-3に記入
10. 救急医療の提供の実績 <small>（基幹型・協力型記入）</small>	救急病院認定の告示	告示年月日：西暦 2021 年 4 月 2 日、告示番号：第 213 号
	医療計画上の位置付け	1. 初期救急医療機関 2. 第二次救急医療機関 3. 第三次救急医療機関
	救急専用診療（処置）室の有無	1. 有 ( ) m <sup>2</sup> 0. 無
	救急医療の実績	前年度の件数： 13,769 件（うち診療時間外： 10,967 件） 1日平均件数： 38 件（うち診療時間外： 30 件） 救急車取扱件数： 6,791 件（うち診療時間外： 4,544 件）
	診療時間外の勤務体制	医師： 5～6 名、看護師及び准看護師： 8 名
	指導を行う者の氏名等	* 別紙4に記入
救急医療を提供している診療科	内科系（1. 有 0. 無） 外科系（1. 有 0. 無） 小児科（1. 有 0. 無） その他 ( )	
11. 医療法上の許可病床数（歯科の病床数を除く。） <small>（基幹型・協力型記入）</small>		1. 一般： 767 床、2. 精神： 28 床、3. 感染症： 0 床 4. 結核： 0 床、5. 療養： 0 床
12. 診療科ごとの入院患者・外来患者・研修医の数の <small>（基幹型・協力型記入）</small>		* 別紙2に記入 年次報告の場合には、患者数は報告年度の前年度分、研修医の数は報告年度の前年度分の実績と当年度分の想定を記入。 研修プログラム変更・新設の届出の場合には、患者数は届出年度の前年度分、研修医の数は届出年度の次年度分及び次々年度分の想定を記入。
13. 病床の種別ごとの平均在院日数（小数第二位四捨五入） <small>（基幹型・協力型記入）</small>		1. 一般： 10.4 日、2. 精神： 31.3 日、3. 感染症： . 日 4. 結核： . 日、5. 療養： . 日
14. 前年度の分娩件数 <small>（基幹型・協力型記入）</small>		正常分娩件数： 336 件、異常分娩件数： 501 件
15. 臨床病理検討会（CPC）の実施状況 <small>（基幹型・協力型記入）</small>	開催回数	前年度実績： 7 回、今年度見込： 10 回 ※報告・届出病院の主催の
	指導を行う病理医の氏名等	* 別紙4に記入 下に開催した回数を記入
	剖検数	前年度実績： 19 件、今年度見込： 20 件
	剖検を行う場所	当該医療機関の剖検室 1. 有 0. 無 ( ) 大学、( ) 病院 無を選択した場合には、剖検を実施している大学又は病院を記入してください。
16. 研修医のための宿舎及び研修医室の有無 <small>（基幹型・協力型記入）</small>	研修医の宿舎	1. 有（単身用： 戸、世帯用： 戸） 0. 無（住宅手当： 円） 有を選択した場合には、単身用・世帯用に分けて宿舎の戸数を記入してください。 無を選択した場合には、住宅手当の金額を記入してください。住宅手当の支給が無い場合は、「0」と記入してください。
	研修医室	1. 有 ( 1 室) 0. 無 有を選択した場合には、研修医室の室数を記入してください。
17. 図書、雑誌、インターネット等が利用できる環境及び医学教育用機材の整備状況 <small>（基幹型・協力型記入）</small>	図書室の広さ	( 1,726 ) m <sup>2</sup>
	医学図書数	国内図書： 65,145 冊、国外図書： 29,996 冊
	医学雑誌数	国内雑誌： 1,622 種類、国外雑誌： 1,406 種類
	図書室の利用可能時間	9：00 ～ 21：00 24時間表記
	文献データベース等の利用環境	Medline等の文献データベース（1. 有 0. 無）、教育用コンテンツ（1. 有 0. 無）、 その他（ Up to Date, Cochrane Library ） 利用可能時間（ 00：00 ～ 24：00 ）24時間表記
医学教育用機材の整備状況	医学教育用シミュレーター（1. 有 0. 無）、 その他（ )	

# 年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書－ 3 －

病院施設番号： 030413 臨床研修病院の名称： 名古屋市立大学病院

18. 病歴管理体制 <small>(基幹型・協力型記入)</small>	病歴管理の責任者の氏名及び役職	フリガナ 姓がチ シュウジ 氏名(姓) 瀧口 (名) 修司  役職 診療情報管理部長												
	診療に関する諸記録の管理方法	1. 中央管理 2. 各科管理 その他(具体的に: )												
	診療録の保存期間	( 10 ) 年間保存												
	診療録の保存方法	1. 文書 2. 電子媒体 その他(具体的に: )												
19. 医療安全管理体制 <small>(基幹型・協力型記入)</small>	安全管理者の配置状況	1. 有 ( 1 名) 0. 無 有を選択した場合には、安全管理者の人数を記入してください。												
	安全管理部門の設置状況	職員: 専任 ( 7 ) 名、兼任 ( 5 ) 名 主な活動内容: 例)「院内において発生した医療事故又は発生する危険があった医療事故についての情報の収集」「医療事故の防止のための研修及び教育」等												
	患者からの相談に適切に応じる体制の確保状況	患者相談窓口の責任者の氏名等: フリガナ トサワ ケイイチ 氏名(姓) 戸澤 (名) 啓一  役職 医療安全管理部長  対応時間 ( 8:30 ~ 17:00 ) 24時間表記 患者相談窓口に係る規約の有無: 1. 有 0. 無												
	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	1. 有 0. 無 指針の主な内容: 安全管理に関する基本的な考え方、安全管理委員会・その他の組織に関する基本的事項												
	医療に係る安全管理委員会の開催状況	年 ( 12 ) 回 活動の主な内容: 安全管理に関する基本的な考え方、安全管理委員会・その他の組織に関する基本的事項												
	医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 ( 9 ) 回 研修の主な内容: 安全管理に関する基本的な考え方、安全管理委員会・その他の組織に関する基本的事項												
	医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策	医療機関内における事故報告等の整備: 1. 有 0. 無 その他の改善のための方策の主な内容: 事例収集後の分析、再発防止策立案、マニュアルの改訂、職員の教育、研修の強化等												
20. 前年度に臨床研修を修了又は中断した研修医の数 <small>(基幹型・協力型記入)</small>		修了: 30 名 中断: 0 名												
21. 現に受け入れている研修医の数 <small>(基幹型・協力型記入)</small>		<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>前々年度</th> <th>前年度</th> <th>当該年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 年</td> <td>31</td> <td>37</td> <td>37</td> </tr> <tr> <td>2 年</td> <td>35</td> <td>31</td> <td>37</td> </tr> </tbody> </table>		前々年度	前年度	当該年度	1 年	31	37	37	2 年	35	31	37
	前々年度	前年度	当該年度											
1 年	31	37	37											
2 年	35	31	37											
22. 受入可能定員 <small>(基幹型・協力型記入)</small>	許可病床数(歯科の病床数を除く。)から算出	許可病床数 ( 795 ) 床 ÷ 10 = ( 79.5 ) 名												
	患者数から算出	年間入院患者数 ( 19,850 ) 人 ÷ 100 = ( 198.5 ) 名												
23. 精神保健福祉士、作業療法士その他診療要員の配置状況 <small>(基幹型・協力型記入)</small>	精神科の研修を行う臨床研修病院については記入してください。	1. 精神保健福祉士: 1 名 (常勤: 1 名、非常勤: 名) 2. 作業療法士: 3 名 (常勤: 3 名、非常勤: 名) 3. 臨床心理技術者: 9 名 (常勤: 3 名、非常勤: 6 名) 9. その他の精神科技術職員: _____ 名 (常勤: 名、非常勤: 名)												
24. 臨床研修に関する第三者評価の受審状況 <small>(基幹型記入)</small>	JCEP による評価受審の有無を記載してください。	1. 有 (2022 年 1 月 14 日) 0. 無 有を選択した場合には、直近の受審日を記入してください。 受審状況有りの場合、結果の公表 1. 有 0. 無												

# 年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書－４－

病院施設番号： 030413 臨床研修病院の名称： 名古屋市立大学病院

項目 27 までについては、報告時に必ず記入してください。		※
25. 時間外・休日労働の実績及び最大想定時間数 (基幹型記入)		* 別紙 5 に記入 年次報告の場合は、報告年度の前年度の実績及び報告年度の想定を記入。 研修プログラム変更・新設の届出の場合は、届出年度の前年度の実績及び次年度の想定を記入。
26. 前年度に育児休業を取得した研修医の数 (基幹型・協力型記入)		女性 1 年次研修医 ( 0 ) 名 2 年次研修医 ( 0 ) 名 男性 1 年次研修医 ( 0 ) 名 2 年次研修医 ( 0 ) 名
27. 研修医の妊娠・出産・育児に関する施設及び取組に関する事項 (基幹型・協力型記入)	院内保育所	院内保育所の有無 ( 1. 有 0. 無 ) 有を選択した場合、開所時間を記入してください ( 時 分 ~ 時 分 ) 病児保育 ( 1. 有 0. 無 ) 夜間保育 ( 1. 有 0. 無 ) 上記保育所は研修医の子どもに使用可能か ( 1. 可 0. 不可 ) ベビーシッター・一時保育等利用時の補助 ( 1. 有 0. 無 ) その他の補助 ( 具体的に : )
	保育補助	
	体調不良時に休憩・授乳等に使用できる場所	休憩場所 ( 1. 有 0. 無 ) 授乳スペース ( 1. 有 0. 無 )
	その他育児関連施設・取組があれば記入 (院外との連携した取組もあれば記入)	( 特になし )
	研修医のライフイベントの相談窓口	1. 有 0. 無 窓口の名称がある場合記入 ( 男女共同参画推進センター ) 窓口の専任担当 1. 有 ( 1 名 ) 0. 無
	各種ハラスメントの相談窓口	窓口の名称を記入 ( 病院管理部管理課庶務係 ) 窓口の専任担当 1. 有 ( 名 ) 0. 無
※ここからは研修プログラムごとに記入してください。研修プログラムの変更又は新設の場合は、上記内容と併せて以下の内容についても記入してください。		
28. 研修プログラムの名称 (基幹型・協力型記入) プログラム番号は、既にプログラム番号を取得されている場合に記入してください。		研修プログラムの名称：名古屋市立大学臨床研修病院群医師臨床研修プログラム 1 (大学病院基盤研修) プログラム番号： 030413309
29. 研修医の募集定員 (基幹型記入)		1 年次： 5 名、2 年次： 5 名
30. 研修医の募集及び採用の方法 (基幹型記入)	研修プログラムに関する問い合わせ先	フリガナ ムラカミ ヒデキ 氏名 (姓) (名) 村上 英樹 所属 役職 病院長補佐、整形外科部長、 名古屋市立大学病院 総合研修センター長 電話：(052) 853—8545 F A X：(052) 842—0863 e-mail： kensyu-c@sec.nagoya-cu.ac.jp URL：http:// www.med.nagoya-cu.ac.jp/kensyu-c.dir/index.html
	資料請求先	住所 〒 467-8602 ( 愛知 都・道・府・県 ) 名古屋市瑞穂区瑞穂町字川澄 1 担当部門 担当者氏名 総合研修センタ フリガナ ムラカミ ヒデキ 一 姓 小室 名 由樹 電話：(052) 853—8545 F A X：(052) 842—0863 e-mail： kensyu-c@sec.nagoya-cu.ac.jp URL：http:// www.med.nagoya-cu.ac.jp/kensyu-c.dir/index.html

# 年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書－５－

病院施設番号： 030413

臨床研修病院の名称： 名古屋市立大学病院

※研修プログラムの変更又は新設の場合は、上記内容と併せて以下の内容についても記入してください。

<p>30. 研修医の募集及び採用の方法 (続き) (基幹型記入)</p>	<p>募集方法</p> <p>応募必要書類 (複数選択可)</p> <p>選考方法 (複数選択可)</p> <p>募集及び選考の時期</p> <p>マッチング利用の有無</p>	<p>1. 公募</p> <p>2. その他 (具体的に： )</p> <p>1. 履歴書、2. 卒業(見込み)証明書、3. 成績証明書、4. 健康診断書、5. その他 (具体的に： 受験申込書 )</p> <p>1. 面接</p> <p>2. 筆記試験</p> <p>その他 (具体的に： )</p> <p>募集時期： 5月 1日頃から</p> <p>選考時期： 8月 1日頃から</p> <p>1. 有 0. 無</p>
<p>31. 研修プログラムの名称及び概要 (基幹型記入)</p>	<p>概要： * 別紙3に記入 (作成年月日：西暦 2024年 4月 1日)</p>	
<p>32. プログラム責任者の氏名等 (副プログラム責任者が配置されている場合には、その氏名等) (基幹型記入)</p> <p>* プログラム責任者の履歴を様式A-2に記入</p> <p>* 副プログラム責任者が配置されている場合には、副プログラム責任者の履歴を様式A-2に記入</p>	<p>(プログラム責任者)</p> <p>カガナ カネツ 幼シ</p> <p>氏名 (姓) 氏名 (名)</p> <p style="text-align: center;">兼松 孝好</p> <p>所属 役職 総合研修センター副センター長 名古屋市立大学病院 救命救急センター副センター長</p> <p>(副プログラム責任者)</p> <p>1. 有 ( 名 ) 0. 無</p>	
<p>33. 臨床研修指導医 (指導医) 等の氏名等 (基幹型記入)</p> <p>全ての臨床研修指導医等 (協力型臨床研修病院に所属する臨床研修指導医及び臨床研修協力施設に所属する臨床研修の指導を行う者を含む。) について氏名等を記入してください。</p>	<p>* 別紙4に記入</p>	
<p>34. インターネットを用いた評価システム</p>	<p>1. 有 ( <input checked="" type="checkbox"/> EPOC <input type="checkbox"/> その他 ( ) ) 0. 無</p>	
<p>35. 研修開始時期 (基幹型、地域密着型記入)</p>	<p>西暦 2024年 4月 1日</p>	
<p>36. 研修医の処遇 (基幹型・協力型記入)</p>	<p>処遇の適用 (基幹型臨床研修病院は、2に○をつけて、以下の各項目について記入してください。)</p> <p>常勤・非常勤の別</p> <p>研修手当</p> <p>勤務時間</p> <p>休暇</p> <p>当直</p> <p>研修医の宿舎 (再掲)</p> <p>研修医室 (再掲)</p> <p>社会保険・労働保険</p>	<p>1. 基幹型臨床研修病院と同一の処遇とする。 1を選択した場合には、以下の研修医の処遇の項目については、記入不要です。</p> <p>2. 病院独自の処遇とする。</p> <p>1. 常勤 2. 非常勤</p> <p>一年次の支給額 (税込み) 二年次の支給額 (税込み)</p> <p>基本手当/月 ( 384,300 円) 基本手当/月 ( 384,300 円)</p> <p>賞与/年 ( 円) 賞与/年 ( 円)</p> <p>時間外手当： 1. 有 0. 無</p> <p>休日手当： 1. 有 0. 無</p> <p>基本的な勤務時間 ( 8:30 ~ 16:45 ) 24時間表記</p> <p>休憩時間 ( 12:00 ~ 12:45 )</p> <p>時間外勤務の有無： 1. 有 0. 無</p> <p>有給休暇 (1年次： 20日、2年次： 20日)</p> <p>夏季休暇 ( 1. 有 0. 無)</p> <p>年末年始 ( 1. 有 0. 無)</p> <p>その他休暇 (具体的に： )</p> <p>回数 (約 4回/月)</p> <p>1. 有 (単身用： 戸、世帯用： 戸)</p> <p>0. 無 (住宅手当： 円)</p> <p>有を選択した場合には、単身用・世帯用に分けて宿舎の戸数を記入してください。 無を選択した場合には、住宅手当の金額を記入してください。住宅手当の支給が無い場合は、「0」と記入してください。</p> <p>1. 有 ( 1室 ) 0. 無</p> <p>有を選択した場合には、研修医室の室数を記入してください。</p> <p>公的医療保険 ( 公立学校共済組合 )</p> <p>公的年金保険 ( 厚生年金 )</p> <p>労働者災害補償保険法の適用 ( 1. 有 0. 無)、</p> <p>国家・地方公務員災害補償法の適用 ( 1. 有 0. 無)</p> <p>雇用保険 ( 1. 有 0. 無)</p>



# 年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書－４－

病院施設番号： 030413 臨床研修病院の名称： 名古屋市立大学病院

項目 27 までについては、報告時に必ず記入してください。		※
25. 時間外・休日労働の実績及び最大想定時間数 (基幹型記入)		* 別紙 5 に記入 年次報告の場合は、報告年度の前年度の実績及び報告年度の想定を記入。 研修プログラム変更・新設の届出の場合は、届出年度の前年度の実績及び次年度の想定を記入。
26. 前年度に育児休業を取得した研修医の数 (基幹型・協力型記入)		女性 1 年次研修医 ( 0 ) 名 2 年次研修医 ( 0 ) 名 男性 1 年次研修医 ( 0 ) 名 2 年次研修医 ( 0 ) 名
27. 研修医の妊娠・出産・育児に関する施設及び取組に関する事項 (基幹型・協力型記入)	院内保育所	院内保育所の有無 ( 1. 有 0. 無 ) 有を選択した場合、開所時間を記入してください ( 時 分 ~ 時 分 ) 病児保育 ( 1. 有 0. 無 ) 夜間保育 ( 1. 有 0. 無 ) 上記保育所は研修医の子どもに使用可能か ( 1. 可 0. 不可 ) ベビーシッター・一時保育等利用時の補助 ( 1. 有 0. 無 ) その他の補助 ( 具体的に : )
	保育補助	
	体調不良時に休憩・授乳等に使用できる場所	休憩場所 ( 1. 有 0. 無 ) 授乳スペース ( 1. 有 0. 無 )
	その他育児関連施設・取組があれば記入 (院外との連携した取組もあれば記入)	( 特になし )
	研修医のライフイベントの相談窓口	1. 有 0. 無 窓口の名称がある場合記入 ( 男女共同参画推進センター ) 窓口の専任担当 1. 有 ( 1 名 ) 0. 無
	各種ハラスメントの相談窓口	窓口の名称を記入 ( 病院管理部管理課庶務係 ) 窓口の専任担当 1. 有 ( 名 ) 0. 無
※ここからは研修プログラムごとに記入してください。研修プログラムの変更又は新設の場合は、上記内容と併せて以下の内容についても記入してください。		
28. 研修プログラムの名称 (基幹型・協力型記入) プログラム番号は、既にプログラム番号を取得されている場合に記入してください。		研修プログラムの名称：名古屋市立大学臨床研修病院群医師臨床研修プログラム 2 (協力型病院連携研修) プログラム番号： 030413310
29. 研修医の募集定員 (基幹型記入)		1 年次： 28 名、2 年次： 28 名
30. 研修医の募集及び採用の方法 (基幹型記入)	研修プログラムに関する問い合わせ先	フリガナ ムラカミ ヒデキ 氏名 (姓) (名) 村上 英樹 所属 役職 病院長補佐、整形外科部長、 名古屋市立大学病院 総合研修センター長 電話：(052) 853—8545 F A X：(052) 842—0863 e-mail： kensyu-c@sec.nagoya-cu.ac.jp URL：http://www.med.nagoya-cu.ac.jp/kensyu-c.dir/index.html
	資料請求先	住所 〒 467-8602 ( 愛知 都・道・府・県 ) 名古屋市瑞穂区瑞穂町字川澄 1 担当部門 担当者氏名 総合研修センタ フリガナ ムラカミ ヒデキ 一 姓 小室 名 由樹 電話：(052) 853—8545 F A X：(052) 842—0863 e-mail： kensyu-c@sec.nagoya-cu.ac.jp URL：http://www.med.nagoya-cu.ac.jp/kensyu-c.dir/index.html

# 年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書－５－

病院施設番号： 030413

臨床研修病院の名称： 名古屋市立大学病院

※研修プログラムの変更又は新設の場合は、上記内容と併せて以下の内容についても記入してください。

<p>30. 研修医の募集及び採用の方法 (続き) (基幹型記入)</p>	<p>募集方法</p> <p>応募必要書類 (複数選択可)</p> <p>選考方法 (複数選択可)</p> <p>募集及び選考の時期</p> <p>マッチング利用の有無</p>	<p>1. 公募</p> <p>2. その他 (具体的に： )</p> <p>1. 履歴書、2. 卒業(見込み)証明書、3. 成績証明書、4. 健康診断書、5. その他 (具体的に： 受験申込書 )</p> <p>1. 面接</p> <p>2. 筆記試験</p> <p>その他 (具体的に： )</p> <p>募集時期： 5月 1日頃から</p> <p>選考時期： 8月 1日頃から</p> <p>1. 有 0. 無</p>
<p>31. 研修プログラムの名称及び概要 (基幹型記入)</p>	<p>概要： * 別紙3に記入 (作成年月日：西暦 2024年 4月 1日)</p>	
<p>32. プログラム責任者の氏名等 (副プログラム責任者が配置されている場合には、その氏名等) (基幹型記入)</p> <p>* プログラム責任者の履歴を様式A-2に記入</p> <p>* 副プログラム責任者が配置されている場合には、副プログラム責任者の履歴を様式A-2に記入</p>	<p>(プログラム責任者)</p> <p>カガナ ヲハシ ヒサ</p> <p>氏名 (姓) 高橋 氏名 (名) 広城</p> <p>所属 役職</p> <p>名古屋市立大学病院 総合研修センター副センター長</p> <p>(副プログラム責任者)</p> <p>1. 有 ( 1名 ) 0. 無</p>	
<p>33. 臨床研修指導医 (指導医) 等の氏名等 (基幹型記入)</p> <p>全ての臨床研修指導医等 (協力型臨床研修病院に所属する臨床研修指導医及び臨床研修協力施設に所属する臨床研修の指導を行う者を含む。) について氏名等を記入してください。</p>	<p>* 別紙4に記入</p>	
<p>34. インターネットを用いた評価システム</p>	<p>1. 有 ( ・EPOC ・その他 ( ) ) 0. 無</p>	
<p>35. 研修開始時期 (基幹型、地域密着型記入)</p>	<p>西暦 2024年 4月 1日</p>	
<p>36. 研修医の処遇 (基幹型・協力型記入)</p>	<p>処遇の適用 (基幹型臨床研修病院は、2に○をつけて、以下の各項目について記入してください。)</p> <p>常勤・非常勤の別</p> <p>研修手当</p> <p>勤務時間</p> <p>休暇</p> <p>当直</p> <p>研修医の宿舍 (再掲)</p> <p>研修医室 (再掲)</p> <p>社会保険・労働保険</p>	<p>1. 基幹型臨床研修病院と同一の処遇とする。 1を選択した場合には、以下の研修医の処遇の項目については、記入不要です。</p> <p>2. 病院独自の処遇とする。</p> <p>1. 常勤 2. 非常勤</p> <p>一年次の支給額 (税込み) 二年次の支給額 (税込み)</p> <p>基本手当/月 ( 384,300 円) 基本手当/月 ( 384,300 円)</p> <p>賞与/年 ( 円) 賞与/年 ( 円)</p> <p>時間外手当： 1. 有 0. 無</p> <p>休日手当： 1. 有 0. 無</p> <p>基本的な勤務時間 ( 8:30 ~ 16:45 ) 24時間表記</p> <p>休憩時間 ( 12:00 ~ 12:45 )</p> <p>時間外勤務の有無： 1. 有 0. 無</p> <p>有給休暇 (1年次： 20日、2年次： 20日)</p> <p>夏季休暇 ( 1. 有 0. 無)</p> <p>年末年始 ( 1. 有 0. 無)</p> <p>その他休暇 (具体的に： )</p> <p>回数 (約 4回/月)</p> <p>1. 有 (単身用： 戸、世帯用： 戸)</p> <p>0. 無 (住宅手当： 円)</p> <p>有を選択した場合には、単身用・世帯用に分けて宿舍の戸数を記入してください。 無を選択した場合には、住宅手当の金額を記入してください。住宅手当の支給が無い場合は、「0」と記入してください。</p> <p>1. 有 ( 1室 ) 0. 無</p> <p>有を選択した場合には、研修医室の室数を記入してください。</p> <p>公的医療保険 ( 公立学校共済組合 )</p> <p>公的年金保険 ( 厚生年金 )</p> <p>労働者災害補償保険法の適用 ( 1. 有 0. 無)、</p> <p>国家・地方公務員災害補償法の適用 ( 1. 有 0. 無)</p> <p>雇用保険 ( 1. 有 0. 無)</p>



# 年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書－４－

病院施設番号： 030413 臨床研修病院の名称： 名古屋市立大学病院

項目 27 までについては、報告時に必ず記入してください。		※
25. 時間外・休日労働の実績及び最大想定時間数 (基幹型記入)		* 別紙 5 に記入 年次報告の場合は、報告年度の前年度の実績及び報告年度の想定を記入。 研修プログラム変更・新設の届出の場合は、届出年度の前年度の実績及び次年度の想定を記入。
26. 前年度に育児休業を取得した研修医の数 (基幹型・協力型記入)		女性 1 年次研修医 ( 0 ) 名 2 年次研修医 ( 0 ) 名 男性 1 年次研修医 ( 0 ) 名 2 年次研修医 ( 0 ) 名
27. 研修医の妊娠・出産・育児に関する施設及び取組に関する事項 (基幹型・協力型記入)	院内保育所	院内保育所の有無 ( 1. 有 0. 無 ) 有を選択した場合、開所時間を記入してください ( 時 分 ~ 時 分 ) 病児保育 ( 1. 有 0. 無 ) 夜間保育 ( 1. 有 0. 無 ) 上記保育所は研修医の子どもに使用可能か ( 1. 可 0. 不可 ) ベビーシッター・一時保育等利用時の補助 ( 1. 有 0. 無 ) その他の補助 ( 具体的に : )
	保育補助	
	体調不良時に休憩・授乳等に使用できる場所	休憩場所 ( 1. 有 0. 無 ) 授乳スペース ( 1. 有 0. 無 )
	その他育児関連施設・取組があれば記入 ( 院外との連携した取組もあれば記入 )	( 特になし )
	研修医のライフイベントの相談窓口	1. 有 0. 無 窓口の名称がある場合記入 ( 男女共同参画推進センター ) 窓口の専任担当 1. 有 ( 1 名 ) 0. 無
	各種ハラスメントの相談窓口	窓口の名称を記入 ( 病院管理部管理課庶務係 ) 窓口の専任担当 1. 有 ( 名 ) 0. 無
※ここからは研修プログラムごとに記入してください。研修プログラムの変更又は新設の場合は、上記内容と併せて以下の内容についても記入してください。		
28. 研修プログラムの名称 (基幹型・協力型記入) プログラム番号は、既にプログラム番号を取得されている場合に記入してください。		研修プログラムの名称：名古屋市立大学臨床研修病院群医師臨床研修プログラム 3 (小児科重点研修) プログラム番号： 030413311
29. 研修医の募集定員 (基幹型記入)		1 年次： 2 名、2 年次： 2 名
30. 研修医の募集及び採用の方法 (基幹型記入)	研修プログラムに関する問い合わせ先	フリガナ ムラカミ ヒデキ 氏名 ( 姓 ) ( 名 ) 村上 英樹 所属 役職 病院長補佐、整形外科部長、 名古屋市立大学病院 総合研修センター長 電話：(052) 853—8545 F A X：(052) 842—0863 e-mail： kensyu-c@sec.nagoya-cu.ac.jp URL：http://www.med.nagoya-cu.ac.jp/kensyu-c.dir/index.html
	資料請求先	住所 〒 467-8602 ( 愛知 都・道・府・県 ) 名古屋市瑞穂区瑞穂町字川澄 1 担当部門 担当者氏名 総合研修センタ フリガナ ムラカミ ヒデキ 一 姓 小室 名 由樹 電話：(052) 853—8545 F A X：(052) 842—0863 e-mail： kensyu-c@sec.nagoya-cu.ac.jp URL：http://www.med.nagoya-cu.ac.jp/kensyu-c.dir/index.html





# 年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書－４－

病院施設番号： 030413 臨床研修病院の名称： 名古屋市立大学病院

項目 27 までについては、報告時に必ず記入してください。		※
25. 時間外・休日労働の実績及び最大想定時間数 (基幹型記入)		* 別紙 5 に記入 年次報告の場合は、報告年度の前年度の実績及び報告年度の想定を記入。 研修プログラム変更・新設の届出の場合は、届出年度の前年度の実績及び次年度の想定を記入。
26. 前年度に育児休業を取得した研修医の数 (基幹型・協力型記入)		女性 1 年次研修医 ( 0 ) 名 2 年次研修医 ( 0 ) 名 男性 1 年次研修医 ( 0 ) 名 2 年次研修医 ( 0 ) 名
27. 研修医の妊娠・出産・育児に関する施設及び取組に関する事項 (基幹型・協力型記入)	院内保育所	院内保育所の有無 ( 1. 有 0. 無 ) 有を選択した場合、開所時間を記入してください ( 時 分 ~ 時 分 ) 病児保育 ( 1. 有 0. 無 ) 夜間保育 ( 1. 有 0. 無 ) 上記保育所は研修医の子どもに使用可能か ( 1. 可 0. 不可 ) ベビーシッター・一時保育等利用時の補助 ( 1. 有 0. 無 ) その他の補助 ( 具体的に : )
	保育補助	
	体調不良時に休憩・授乳等に使用できる場所	休憩場所 ( 1. 有 0. 無 ) 授乳スペース ( 1. 有 0. 無 )
	その他育児関連施設・取組があれば記入 ( 院外との連携した取組もあれば記入 )	( 特になし )
	研修医のライフイベントの相談窓口	1. 有 0. 無 窓口の名称がある場合記入 ( 男女共同参画推進センター ) 窓口の専任担当 1. 有 ( 1 名 ) 0. 無
	各種ハラスメントの相談窓口	窓口の名称を記入 ( 病院管理部管理課庶務係 ) 窓口の専任担当 1. 有 ( 名 ) 0. 無
※ここからは研修プログラムごとに記入してください。研修プログラムの変更又は新設の場合は、上記内容と併せて以下の内容についても記入してください。		
28. 研修プログラムの名称 (基幹型・協力型記入) プログラム番号は、既にプログラム番号を取得されている場合に記入してください。		研修プログラムの名称：名古屋市立大学臨床研修病院群医師臨床研修プログラム 4 (産婦人科重点研修) プログラム番号： 030413312
29. 研修医の募集定員 (基幹型記入)		1 年次： 2 名、2 年次： 2 名
30. 研修医の募集及び採用の方法 (基幹型記入)	研修プログラムに関する問い合わせ先	フリガナ ムラカミ ヒデキ 氏名 ( 姓 ) ( 名 ) 村上 英樹 所属 役職 病院長補佐、整形外科部長、 名古屋市立大学病院 総合研修センター長 電話：(052) 853—8545 F A X：(052) 842—0863 e-mail： kensyu-c@sec.nagoya-cu.ac.jp URL：http://www.med.nagoya-cu.ac.jp/kensyu-c.dir/index.html
	資料請求先	住所 〒 467-8602 ( 愛知 都・道・府・県 ) 名古屋市瑞穂区瑞穂町字川澄 1 担当部門 担当者氏名 総合研修センタ フリガナ ムラカミ ヒデキ 一 姓 小室 名 由樹 電話：(052) 853—8545 F A X：(052) 842—0863 e-mail： kensyu-c@sec.nagoya-cu.ac.jp URL：http://www.med.nagoya-cu.ac.jp/kensyu-c.dir/index.html





(記入要領)

- 1 研修プログラムを変更する場合には「1. 研修プログラム変更」に、研修プログラムを新設する場合には「2. 研修プログラムの新設」に○をつけること。
- 2 報告又は届出を行う臨床研修病院の型に応じて、「1. 基幹型臨床研修病院 2. 協力型臨床研修病院」の番号に○をつけること。
- 3 特に定めのあるもののほか、原則として、報告・届出日の属する年度（以下「報告・届出年度」という。）の4月1日現在で作成すること。
- 4 既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入し、前回提出した報告書の内容と異なる項目について記入すること。
- 5 各項目に、記入が必要な臨床研修病院の型を記載しているため、臨床研修病院の型に合わせて、記入が必要な項目について記入すること。
- 6 (基幹型・協力型記入)と記載されている項目は、基幹型臨床研修病院・協力型臨床研修病院の全ての臨床研修病院が記入対象となること。
- 7 (1. 有 0. 無)のように選択形式の項目は、いずれかに○をつけること。
- 8 項目番号1から26までについては、年次報告において記入すること。
- 9 研修プログラムの変更・新設の届出の場合は、項目番号27から37までについても記入すること。
- 10 ※欄は、記入しないこと。

- 11 「作成責任者の氏名及び連絡先」欄の作成責任者は、記載内容について十分回答できる者とする。
- 12 「病院群の構成等」欄は、病院群を構成する全ての臨床研修病院及び臨床研修協力施設の名称、新規指定の有無、病院群の構成の変更等について別表に記入すること。

13 「病院のホームページアドレス」欄は、当該病院がホームページを有する場合にのみ記入することで差し支えないこと。

14 「医師(研修医を含む。)の員数」欄について

- (1)「医療法第21条の規定に基づく人員の算定に当たっての取扱い等について」(平成10年6月26日付け健政発第777号・医薬発第574号)に基づき、当該病院に勤務する医師(研修医を含む。)について記入すること。なお、歯科医師は算定しないこと。
- (2)「常勤」とは、原則として当該病院で定めた医師の勤務時間の全てを勤務する者をいうものであること。
- (3)「非常勤」については、常勤以外の医師について、次に掲げる換算式により常勤換算をした数を記入すること。

※ 換算式

$$\frac{\text{非常勤医師の1週間の勤務時間数}}{\text{常勤医師の1週間の勤務時間数}} = \text{常勤換算をした数 (小数第二位を四捨五入)}$$

- (4)「計(常勤換算)」については、常勤医師数と非常勤医師を常勤換算した数の合計を記入すること。
- (5)「医療法による医師の標準員数」は、医療法施行規則第19条第1項第1号の規定に従い、次に掲げる算出式により算出すること(患者数は、入院及び外来とも報告・届出年度の前年度の1日平均とすること。)

※ 算出式

$$\left[ \frac{\text{精神病床及び療養病床に係る入院患者数(歯科の入院患者数を除く。)} + \text{精神病床及び療養病床以外の病床に係る入院患者数(歯科の入院患者数を除く。)}}{3} + \frac{\text{外来患者数(精神科、耳鼻咽喉科、眼科及び歯科の外来患者数を除く。)}}{2.5} + \frac{\text{精神科、耳鼻咽喉科及び眼科の外来患者数}}{5} - 52 \right] \times \frac{1}{16} + 3 = \text{医師の標準員数}$$

ただし、医療法施行規則第43条の2に該当する病院については、上記算出式によらないものとする。

- (6) 当該病院の研修プログラムで研修を行っている全ての研修医の氏名等について、様式A-3に記入すること(歯科医師は記入しない。)
- 15 「救急医療の提供の実績」欄について
  - (1)「救急病院認定の告示」欄は、「救急病院等を定める省令」(昭和39年厚生省令第186号)に基づき都道府県知事の救急病院の認定を受けている病院である場合に、告示年月日(西暦)及び告示番号を記入するものであること。
  - (2)「医療計画上の位置付け」欄は、医療計画上、初期救急医療機関、第二次救急医療機関又は第三次救急医療機関として位置付けられている場合に、該当する番号に○をつけるものであること。
  - (3)「救急専用診療(処置)室の有無」欄は、救急専用診療(処置)室を有する場合には、「1. 有」に○をつけるとともに、その面積を記入し、有しない場合には、「0. 無」に○をつけること。
  - (4)「救急医療の実績」欄については、「前年度の件数」は報告・届出年度の前年度の救急取扱件数(来院方法を問わず、全ての件数)、「1日平均件数」は報告・届出年度の前年度の救急取扱件数を年間総日数(365又は366)で除した数、また、「救急車取扱件数」は報告・届出年度の前年度の救急取扱件数のうちで来院方法が救急車によるものの数をそれぞれ記入すること。さらに、これらの件数のうち診療時間外に受け付けた件数について、それぞれの「うち診療時間外」欄に記入すること。
  - (5)「診療時間外の勤務体制」については、「医師」数は、「救急医療を提供している診療科」の診療時間外の勤務体制における医師数を記入すること。また、「看護師及び准看護師」数は、専ら救急医療を提供するための病棟・外来に勤務する看護師及び准看護師のうち、診療時間外の交代制及び宿日直体制における看護師及び准看護師数を記入すること。
  - (6)「指導を行う者の氏名等」欄については、救急医療の指導を行う者について別紙4に記入すること。
  - (7)「救急医療を提供している診療科」欄は、内科系、外科系又は小児科に係る救急医療の提供の有無について、該当する番号に○をつけ、その他の診療科に係る救急医療を提供している場合には、「その他」欄に当該診療科名を記入すること。
- 16 「医療法上の許可病床数(歯科の病床数を除く。)」欄は、当該病院の病床の種類ごとの許可病床数を記入すること。
- 17 「診療科ごとの入院患者・外来患者・研修医の数」欄は、入院患者・外来患者の数においては、年次報告、研修プログラム変更・新設届出共に提出の前年度の実績を記入すること。研修医の数においては、年次報告では提出年度の前年度の実績と当該年度の想定を別業にて記入し、研修プログラム変更・新設届出では、提出年度の次年度及び次々年度の想定を別業にて記入すること。
- 17 「病床の種類ごとの平均在院日数」欄は、次に掲げる算出式により算出した、報告・届出年度の前年度の平均在院日数を記入すること。ただし、在院患者延日数とは、報告・届出年度の前年度の毎日0時現在の在院患者数を合計した数とすること。なお、在院患者延日数、新入院患者数及び退院患者数については、保険診療であるか否かを問わないものであること。

※ 算出式

$$\frac{\text{在院患者延日数}}{1/2(\text{新入院患者数} + \text{退院患者数})} = \text{平均在院日数 (小数第二位を四捨五入)}$$

- 18 「前年度の分娩件数」欄は、報告・届出年度の前年度の正常分娩件数及び異常分娩件数についてそれぞれ記入すること。
- 19 「臨床病理検討会（CPC）の実施状況」欄について
- (1) 「開催回数」欄は、報告・届出病院の主催の下に開催したCPCの報告・届出年度の前年度の開催回数及び報告・届出年度の開催見込数を記入すること。
- (2) 「剖検数」欄は、報告・届出年度の前年度の剖検件数及び報告・届出年度の剖検見込数を記入すること。
- (3) 「剖検を行う場所」欄は、剖検を当該医療機関の剖検室で行っている場合は「1. 有」に○をつけること。また、剖検を当該医療機関の剖検室で行っていない場合には、「0. 無」に○をつけること。また、剖検を大学の剖検室において行っているときは「( ) 大学」に当該大学名を記入し、剖検を他病院の剖検室で行っているときは「( ) 病院」に当該病院名を記入すること。
- 20 「研修医のための宿舎及び研修医室の有無」欄について
- (1) 「研修医の宿舎」欄は、研修医の利用に供する宿舎（当該病院の敷地の内外を問わない。）を有する場合は「1. 有」に○をつけること。また、「単身用」・「世帯用」のそれぞれの戸数を記入すること。また、研修医のための宿舎を有さない場合は「0. 無」に○をつけること。また、住宅手当の支給内容（全額支給、一律〇〇円、最低〇〇円から最高〇〇円の範囲内で負担額に応じて支給等）を記入すること（住宅手当を支給していない場合には「0円」と記入すること）。
- (2) 「研修医室」欄は、研修医室を有する場合は「1. 有」に○をつけること。また、研修医室を有さない場合は「0. 無」に○をつけること。
- 21 「図書、雑誌、インターネット等が利用できる環境及び医学教育用機材の整備状況」欄について
- (1) 「文献データベース等の利用環境」欄は、Medline等の文献データベース及び教育用コンテンツのそれぞれについて、利用できる場合は「1. 有」に○をつけ、利用できない場合には「0. 無」に○をつけること。また、文献データベース及び教育用コンテンツ以外に、これに類するもので利用できるものがある場合は「その他( )」にその内容を記入すること。
- (2) 「医学教育用機材の整備状況」欄は、医学教育用シミュレーターの整備の有無について該当する番号に○をつけること。また、臨床研修に必要なその他の医学教育用機材を整備している場合は「その他( )」にその内容を記入すること。
- 22 「病歴管理体制」欄について
- (1) 「診療に関する諸記録の管理方法」欄は、診療に関する諸記録（診療録、病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約等）に関する管理方法について、主に中央管理を行っている場合には「1. 中央管理」、主に各科管理を行っている場合には「2. 各科管理」に○をつけること。また、いずれにも該当しない場合は「その他」欄にその内容を具体的に記入すること。
- (2) 「診療録の保存方法」欄は、診療録を文書により保存している場合には「1. 文書」、電子媒体により保存している場合には「2. 電子媒体」に○をつけること。また、双方併用で保存している場合等は「その他」欄に具体的に記入すること。
- 23 「医療安全管理体制」欄について
- (1) 「安全管理者の配置状況」欄は、安全管理者を配置している場合は「1. 有」に○をつけること。また、安全管理者を配置していない場合には「0. 無」に○をつけること。
- (2) 「安全管理部門の設置状況」欄は、安全管理部門の専任職員及び兼任職員の数をそれぞれ記入するとともに、安全管理部門の主な活動内容を記入すること。
- (3) 「患者からの相談に適切に応じる体制の確保状況」欄は、患者相談窓口の責任者の氏名及び役職並びに患者相談への対応時間を記入するとともに、患者相談窓口に係る規約を有する場合は「1. 有」に○をつけ、有さない場合は「0. 無」に○をつけること。
- 24 「現に受け入れている研修医数」欄は、当該病院で実際に研修した全ての研修医数を記入すること。基幹型臨床研修病院であり、かつ協力型臨床研修病院である場合は、協力型として受け入れた研修医も合計すること。基幹型臨床研修病院として管理している研修医が、協力型臨床研修病院で1年間研修を行い、基幹型臨床研修病院である当該病院で研修を行わない場合は、数に含まないこと。
- 25 「受入可能定員」欄は、医療法上の許可病床数（歯科の病床数を除く。）からの算出（ $\div 10$ ）及び年間入院患者数（報告・届出年度の前々年度からの繰越患者数+報告・届出年度の前年度の新規入院実患者数）からの算出（ $\div 100$ ）の双方とも記入すること。
- 26 「精神保健福祉士、作業療法士その他診療要員の配置状況」欄は、当該病院が精神科の研修を行う場合に記入するものであり、精神保健福祉士、作業療法士、臨床心理技術者のそれぞれの職種について、職員数及び常勤・非常勤別の内訳数を記入すること。また、これらの職種以外にも精神科に係る技術職員がいる場合は、その職員数及び常勤・非常勤別の内訳数を記入すること。
- 27 「前年度に育児休業を取得した研修医の数」は、当該年度に育児休業を取得した研修医がいる場合は、男女、年次別にその人数を記入すること。
- 28 「研修医の妊娠・出産・育児に関する施設及び取組に関する事項」欄については、
- (1) 「院内保育所」欄は、病院内に保育所等の保育施設を有している場合は「1. 有」に○をし、保育所の基本的な開所時間を記入すること。ない場合には「0. 無」に○をすること。「病児保育」・「夜間保育」欄は、院内保育所で病児保育・夜間保育を行っている場合は、それぞれにつき「1. 有」に○をし、ない場合はそれぞれにつき「0. 無」に○をすること。「上記保育所は研修医の子どもに使用可能か」欄は、上記で回答した保育所に研修医が子どもを預けることが可能な場合は「1. 可」に○をし、預けることができない場合は「0. 不可」に○をすること。
- (2) 「保育補助」欄は、ベビーシッター・一時保育等利用時の補助を病院が行っている場合は「1. 有」に○をし、ない場合は「0. 無」に○をすること。その他に何らかの保育補助を行っている場合は、その他欄にその内容を具体的に記入すること。
- (3) 「体調不良時に休憩・授乳等に使用できる場所」欄は、病院内に研修医が使用できる休憩場所や授乳スペースを有している場合は、それぞれにつき「1. 有」に○をし、ない場合はそれぞれにつき「0. 無」に○をすること。
- (4) 「その他育児関連施設・取組」欄は、上記(1)～(3)に該当しない、育児関連施設を有している場合や育児関連の取組を行っている場合（院外施設・制度との連携した取組も含む）は、回答欄内にその内容を具体的に記入すること。
- (5) 「研修医のライフイベント相談窓口」欄は、病院内に研修医がライフイベントについて相談できる窓口を設置している場合は「1. 有」に○をし、ない場合は「0. 無」に○をすること。「1. 有」を選択した病院は、その窓口の名称がある場合は記載し、窓口の専任担当がいる場合は「1. 有」に○をして、その人数を記載すること。専任担当がいない場合は「0. 無」に○をすること。
- (6) 「各種ハラスメント相談窓口」欄は、病院内に研修医が各種ハラスメントについて相談できる窓口の名称について記載し、窓口の専任担当がいる場合は「1. 有」に○をして、その人数を記載すること。専任担当がいない場合は「0. 無」に○をすること。
- 29 「研修プログラムの名称」以降の欄については、研修プログラムごとに別葉に記入すること。

- 30 「インターネットを用いた評価システム」欄は、該当するものに○をつけ、「1. 有」を選択した場合は、EPOCかその他を選択すること。
- 31 「研修医の募集定員」については、当該病院で臨床研修を行っている1年次及び2年次の合計が受入可能定員を超えないこと。
- 32 「研修医の募集及び採用の方法」欄について
- (1) 「募集方法」欄は、研修医を公募により募集する場合には「1. 公募」に○をつけ、その他の方法とする場合にはその他欄にその内容を具体的に記入すること。
  - (2) 「応募必要書類」欄は、研修医が選考に応募する際に必要な書類全てに○をつけ、その他に必要な書類がある場合には、その他欄にその内容を具体的に記入すること。
  - (3) 「選考方法」欄は、研修医の選考方法について該当するもの全てに○をつけ、その他に選考方法を設ける場合には、その他欄にその内容を具体的に記入すること。
  - (4) 「募集及び選考の時期」欄は、募集及び選考の時期について、具体的に記入すること。
  - (5) 「マッチング利用の有無」欄は、マッチングを利用する場合には「1. 有」に○をし、マッチングを利用しない場合には「0. 無」に○をすること。
- 33 「研修医の処遇」欄について
- (1) 「処遇の適用」欄については、基幹型臨床研修病院は、2に○をつけ、以降の研修医の処遇の各項目について記入すること。また、協力型臨床研修病院は、基幹型臨床研修病院と同一の処遇とする場合には、1に○をつけ（この場合、以降の研修医の処遇の項目については記入しなくとも差し支えないこと。）、また、病院独自の処遇とする場合には、2に○をつけること。
  - (2) 「研修手当」欄は、研修医の基本的な研修手当について、1年次及び2年次の基本手当の額（税込み）、賞与の支給額を記入すること。基本手当が月給ではない場合にあっては、およその月額を記入すること。時間外手当及び休日手当を支給する場合は、それぞれ「1. 有」に、支給しない場合には「0. 無」に○をつけること。なお、時間外勤務及び休日勤務がある場合においては、時間外手当及び休日手当が支給されるものと考えられること。
  - (3) 「勤務時間」欄は、研修医の基本的な勤務時間及び勤務時間中の休憩時間について記入すること。また、「時間外勤務の有無」欄は、時間外勤務がある場合には「1. 有」に、ない場合には「0. 無」に○をつけること。
  - (4) 「休暇」欄は、研修医の基本的な休暇の内容について、1年次及び2年次の有給休暇付与日数を記入すること。また、夏季休暇、年末年始休暇の有無について該当するものに○をつけること。また、これら以外に休暇を付与する場合は、その具体的休暇名を記入すること。
  - (5) 「当直」欄は、研修医の一月あたりのおよその当直回数について記入すること。
  - (6) 「社会保険・労働保険」欄は、研修医に適用される社会保険・労働保険について、「公的医療保険（ ）」欄に「組合健康保険」等と、「公的年金保険（ ）」欄に「厚生年金保険」等と記入し、「労働者災害補償保険法の適用」欄、「国家・地方公務員災害補償法の適用」欄、「雇用保険」欄のそれぞれ該当するものに○をつけること。
  - (7) 「健康管理」欄は、研修医の基本的な健康管理について、健康診断の回数を記入すること。また、健康診断以外で健康管理を実施している場合は、「その他」欄に具体的に記入すること。
  - (8) 「医師賠償責任保険の扱い」欄は、研修医の医師賠償責任保険の基本的な扱いについて該当するものに○をつけること。
  - (9) 「外部の研修活動」欄は、学会、研究会等への参加を認めるか否かについて該当するものに○をつけ、認める場合における参加費用の支給の有無についても、該当するものに○をつけること。

12. 診療科ごとの入院患者・外来患者の数

既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入してください。

臨床研修病院の名称：名古屋市立大学病院  
 病院施設番号：030413

区 分	内 科	救急部門	外 科	麻酔科 (部門)	小児科	産婦人科	又は		精 神 科	病院で定めた必修 科目の診療科			その他の研修を行 う診療科			合 計
							産 科	婦 人 科					整 形 外 科	眼 科	耳 鼻 咽 喉 科	
年間入院患者実数 ( ) 内は救急件数又は分娩件数	6,558	298 (13,769)	2,480	6	1,020	1,892 (837)	( )	( )	262				1,193	828	1,096	15,633
年間新外来患者数	4,782	3,384	1,213	29	921	2,274			308				2,063	822	1,920	18,196
1日平均外来患者数 ( ) 内は年間外来診療日数	562.3 (244)	30.6 (244)	156.1 (244)	8.6 (244)	73.1 (244)	132.8 (244)	( )	( )	64.6 (244)	( )	( )	( )	128.1 (244)	82.7 (244)	104.0 (244)	
平均在院日数	11.6	6.0	12.0	10.5	12.8	5.9			30.5				14.8	8.4	8.9	
常勤医師数 (うち臨床研修指導医(指導医) 数)	70 (50)	12 (4)	43 (23)	18 (5)	11 (8)	11 (6)	( )	( )	10 (7)	( )	( )	( )	16 (5)	8 (3)	11 (7)	210 (118)

※ 「年間入院患者実数」とは、提出年度の前々年度の繰越患者数に提出年度の前年度中における新入院患者数を加えた数とすること。「年間新外来患者数」とは、提出年度の前年度中に来院した外来患者のうち、初診料を算定した患者数とすること。「1日平均外来患者数」とは、年間外来患者延数÷年間外来診療日数による数(小数第二位を四捨五入)とすること。「病院で定めた必修科目の診療科」欄等が足りない場合には、続紙(様式自由)に記載し添付すること。「救急件数」及び「分娩件数」とは、10. の救急医療の実績の前年度の件数及び 14. の正常分娩件数と異常分娩件数の合計とすること。

※ 「内科」とは、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、神経内科等を含めた広義の内科のうち基本研修科目の内科分野の研修を行う診療科であり、「外科」とは、心臓血管外科、呼吸器外科、脳外科等を含めた広義の外科のうち基本研修科目の外科分野の研修を行う診療科であること。

12. 診療科ごとの入院患者・外来患者の数

既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入してください。

臨床研修病院の名称： 名古屋市立大学病院  
 病院施設番号：030413

区 分	その他の研修を行う診療科														合 計	
	形成外科	皮膚科	泌尿器科	小児泌尿器科	放射線科	リハビリテーション科	歯科口腔外科	脳神経外科	病理診断科							
年間入院患者実数 ( ) 内は救急件数又は分娩件数	236	731	1,634	199	335	0	424	658								4,217
年間新外来患者数	262	1,510	982	192	443	4	3,982	340								7,715
1日平均外来患者数 ( ) 内は年間外来診療日数	22.7 (244)	152.9 (244)	109.2 (244)	12.2 (244)	52.0 (244)	5.1 (244)	76.4 (244)	35.8 (244)	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	
平均在院日数	7.8	8.3	9.3	5.4	1.9	—	4.5	16.4								
常勤医師数 (うち臨床研修指導医(指導医)数)	2 (2)	10 (4)	12 (11)	3 (2)	18 (6)	2 (3)	4 (4)	9 (3)	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	60 (35)

※ 「年間入院患者実数」とは、提出年度の前々年度の繰越患者数に提出年度の前年度中における新入院患者数を加えた数とすること。「年間新外来患者数」とは、提出年度の前年度中に来院した外来患者のうち、初診料を算定した患者数とすること。「1日平均外来患者数」とは、年間外来患者延数÷年間外来診療日数による数（小数第二位を四捨五入）とすること。「病院で定めた必修科目の診療科」欄等が足りない場合には、続紙（様式自由）に記載し添付すること。「救急件数」及び「分娩件数」とは、10. の救急医療の実績の前年度の件数及び 14. の正常分娩件数と異常分娩件数の合計とすること。

※ 「内科」とは、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、神経内科等を含めた広義の内科のうち基本研修科目の内科分野の研修を行う診療科であり、「外科」とは、心臓血管外科、呼吸器外科、脳外科等を含めた広義の外科のうち基本研修科目の外科分野の研修を行う診療科であること。

## 12. 診療科ごとの研修医の数

既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入してください。

(令和5年度分)								臨床研修病院の名称：名古屋市立大学病院						
								病院施設番号：030413						
基幹型病院名	担当分野	1～ 4週	5～ 8週	9～ 12週	13～ 16週	17～ 20週	21～ 24週	25～ 28週	29～ 32週	33～ 36週	37～ 40週	41～ 44週	45～ 48週	49～ 52週
名古屋市立大学病院	内科	10	10	10	9	9	11	2	12	11	10	9	6	4
	救急部門	3	3	4	3	4	4	3	3	3	4	4	3	5
	外科	2	2	3	3	5	2	12	10	10	1	1	0	3
	麻酔科	2	2	2	3	3	3	0	1	0	2	1	1	1
	小児科	2	2	1	2	2	1	1	4	3	0	2	1	3
	産婦人科	0	0	1	2	2	0	1	2	2	0	0	1	1
	精神科	2	2	4	5	4	4	2	5	4	5	3	5	1
	地域医療※別紙参照	2	2	4	4	2	2	4	0	4	5	3	0	1

※ 年次報告の場合は提出年度の前年度の実績分及び提出年度分の想定を別葉で作成し、研修プログラム変更・新設届出の場合は、届出年度の次年度分、次々年度分の想定を別葉で作成すること。

※ 当該病院が上記の年度に受け入れた、又は受け入れる予定の研修医の数を、基幹型臨床研修病院別及び担当分野別に記入すること。当該病院が基幹型臨床研修病院であり、かつ協力型臨床研修病院として研修医を受け入れている場合は、協力型臨床研修病院として受け入れている人数も含めて、全ての人数を記入すること。

※ 「基幹型臨床研修病院名」欄は、当該病院が基幹型臨床研修病院の場合は、当該病院を一番上に記入することとし、次に協力型臨床研修病院として受け入れている基幹型臨床研修病院名を記入すること。

※ 基幹型臨床研修病院及び担当分野ごとに各4週ごとに受け入れる研修医の延人数（研修期間4週について1人とすること）を記入すること。

※ 「担当分野」欄には、内科、救急部門、地域医療、外科、麻酔科、小児科、産婦人科及び精神科のみを記入し、選択科については記入しないこと。ただし、一般外来については、他科との並行研修ではなく、単独で実施する場合に限り記入すること。また、当該病院が基幹型臨床研修病院であるとき、病院が定めた必修科目が上記以外にある場合には、その科目も含めて記入すること。

## 12. 診療科ごとの研修医の数

既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入してください。

(令和6年度分)								臨床研修病院の名称：名古屋市立大学病院						
								病院施設番号：030413						
基幹型病院名	担当分野	1～ 4週	5～ 8週	9～ 12週	13～ 16週	17～ 20週	21～ 24週	25～ 28週	29～ 32週	33～ 36週	37～ 40週	41～ 44週	45～ 48週	49～ 52週
名古屋市立大学病院	内科	13	13	7	8	10	13	12	15	14	12	14	9	10
	救急部門	5	5	4	4	4	4	4	3	4	3	3	3	3
	外科	4	4	2	2	5	3	2	1	1	2	0	0	1
	麻酔科	1	1	1	1	2	1	1	3	2	2	1	2	4
	小児科	3	3	2	2	2	0	1	3	1	1	3	2	3
	産婦人科	3	3	3	3	0	1	5	0	1	1	2	1	2
	精神科	2	2	3	7	7	5	5	2	4	4	4	7	3
	地域医療※別紙参照	1	1	4	4	4	4	4	3	4	4	4	0	0

※ 年次報告の場合は提出年度の前年度の実績分及び提出年度分の想定を別葉で作成し、研修プログラム変更・新設届出の場合は、届出年度の次年度分、次々年度分の想定を別葉で作成すること。

※ 当該病院が上記の年度に受け入れた、又は受け入れる予定の研修医の数を、基幹型臨床研修病院別及び担当分野別に記入すること。当該病院が基幹型臨床研修病院であり、かつ協力型臨床研修病院として研修医を受け入れている場合は、協力型臨床研修病院として受け入れている人数も含めて、全ての人数を記入すること。

※ 「基幹型臨床研修病院名」欄は、当該病院が基幹型臨床研修病院の場合は、当該病院を一番上に記入することとし、次に協力型臨床研修病院として受け入れている基幹型臨床研修病院名を記入すること。

※ 基幹型臨床研修病院及び担当分野ごとに各4週ごとに受け入れる研修医の延人数（研修期間4週について1人とすること）を記入すること。

※ 「担当分野」欄には、内科、救急部門、地域医療、外科、麻酔科、小児科、産婦人科及び精神科のみを記入し、選択科については記入しないこと。ただし、一般外来については、他科との並行研修ではなく、単独で実施する場合に限り記入すること。また、当該病院が基幹型臨床研修病院であるとき、病院が定めた必修科目が上記以外にある場合には、その科目も含めて記入すること。

## 12. 診療科ごとの研修医の数

既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入してください。

(令和7年度分)								臨床研修病院の名称：名古屋市立大学病院						
								病院施設番号：030413						
基幹型病院名	担当分野	1～ 4週	5～ 8週	9～ 12週	13～ 16週	17～ 20週	21～ 24週	25～ 28週	29～ 32週	33～ 36週	37～ 40週	41～ 44週	45～ 48週	49～ 52週
名古屋市立大学病院	内科	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11
	救急部門	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
	外科	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
	麻酔科	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
	小児科	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
	産婦人科	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
	精神科	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5
	地域医療	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2

※ 年次報告の場合は提出年度の前年度の実績分及び提出年度分の想定を別葉で作成し、研修プログラム変更・新設届出の場合は、届出年度の次年度分、次々年度分の想定を別葉で作成すること。

※ 当該病院が上記の年度に受け入れた、又は受け入れる予定の研修医の数を、基幹型臨床研修病院別及び担当分野別に記入すること。当該病院が基幹型臨床研修病院であり、かつ協力型臨床研修病院として研修医を受け入れている場合は、協力型臨床研修病院として受け入れている人数も含めて、全ての人数を記入すること。

※ 「基幹型臨床研修病院名」欄は、当該病院が基幹型臨床研修病院の場合は、当該病院を一番上に記入することとし、次に協力型臨床研修病院として受け入れている基幹型臨床研修病院名を記入すること。

※ 基幹型臨床研修病院及び担当分野ごとに各4週ごとに受け入れる研修医の延人数（研修期間4週について1人とすること）を記入すること。

※ 「担当分野」欄には、内科、救急部門、地域医療、外科、麻酔科、小児科、産婦人科及び精神科のみを記入し、選択科については記入しないこと。ただし、一般外来については、他科との並行研修ではなく、単独で実施する場合に限り記入すること。また、当該病院が基幹型臨床研修病院であるとき、病院が定めた必修科目が上記以外にある場合には、その科目も含めて記入すること。

## 12. 診療科ごとの研修医の数

既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入してください。

(令和8年度分)								臨床研修病院の名称：名古屋市立大学病院						
								病院施設番号：030413						
基幹型病院名	担当分野	1～ 4週	5～ 8週	9～ 12週	13～ 16週	17～ 20週	21～ 24週	25～ 28週	29～ 32週	33～ 36週	37～ 40週	41～ 44週	45～ 48週	49～ 52週
名古屋市立大学病院	内科	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11
	救急部門	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
	外科	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
	麻酔科	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
	小児科	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
	産婦人科	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
	精神科	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5
	地域医療	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2

※ 年次報告の場合は提出年度の前年度の実績分及び提出年度分の想定を別葉で作成し、研修プログラム変更・新設届出の場合は、届出年度の次年度分、次々年度分の想定を別葉で作成すること。

※ 当該病院が上記の年度に受け入れた、又は受け入れる予定の研修医の数を、基幹型臨床研修病院別及び担当分野別に記入すること。当該病院が基幹型臨床研修病院であり、かつ協力型臨床研修病院として研修医を受け入れている場合は、協力型臨床研修病院として受け入れている人数も含めて、全ての人数を記入すること。

※ 「基幹型臨床研修病院名」欄は、当該病院が基幹型臨床研修病院の場合は、当該病院を一番上に記入することとし、次に協力型臨床研修病院として受け入れている基幹型臨床研修病院名を記入すること。

※ 基幹型臨床研修病院及び担当分野ごとに各4週ごとに受け入れる研修医の延人数（研修期間4週について1人とすること）を記入すること。

※ 「担当分野」欄には、内科、救急部門、地域医療、外科、麻酔科、小児科、産婦人科及び精神科のみを記入し、選択科については記入しないこと。ただし、一般外来については、他科との並行研修ではなく、単独で実施する場合に限り記入すること。また、当該病院が基幹型臨床研修病院であるとき、病院が定めた必修科目が上記以外にある場合には、その科目も含めて記入すること。

※別紙（R5 年度地域医療）

足助病院
笠寺病院
志摩市民病院
大隈病院
大須病院
知多厚生病院

※別紙（R6 年度地域医療）

足助病院
笠寺病院
志摩市民病院
大隈病院
あま市民病院
知多厚生病院

33. 臨床研修指導医（指導医）等の氏名等

病院施設番号：030413

臨床研修病院の名称：名古屋市立大学病院

担当分野	氏名	所属	役職	臨床経験数	指導医講習会等の受講経験 有：○ 無：×	資格等	プログラム番号	備考
								1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 臨床研修指導医(指導医)
総合内科・総合診療科	兼松 孝好	名古屋市立大学病院	教授	30年	○	第10回日本医師会指導医のための教育ワークショップ	030413305 030413306 030413307 030413308 030413309 030413310 030413311 030413312	1, 4
総合内科・総合診療科	宮崎 景	名古屋市立大学病院	教授	27年	○	鉄蕉会 亀田ファミリークリニック館山第1回指導医講習会	030413305 030413306 030413307 030413308 030413309 030413310 030413311 030413312	4
消化器内科	片岡 洋望	名古屋市立大学病院	教授	34年	○	名古屋市立大学病院第4回臨床研修指導医講習会	030413305 030413306 030413307 030413308 030413309 030413310 030413311 030413312	4
消化器内科	神谷 武	名古屋市立大学病院	教授（診療担当）	37年	○	名古屋市立大学病院第2回臨床研修指導医講習会	030413305 030413306 030413307 030413308 030413309 030413310 030413311 030413312	4
消化器内科	久保田 英嗣	名古屋市立大学病院	准教授	28年	○	第11回日本医師会 指導医のための教育ワークショップ	030413305 030413306 030413307 030413308 030413309 030413310 030413311 030413312	4
消化器内科	谷田 諭史	名古屋市立大学病院	講師	31年	○	名古屋市立大学病院・名古屋市立病院第7回臨床研修指導医講習会	030413305 030413306 030413307 030413308 030413309 030413310 030413311 030413312	4
消化器内科	志村 貴也	名古屋市立大学病院	講師（助教級）	26年	○	名古屋市立大学病院・名古屋市立病院第8回臨床研修指導医講習会	030413305 030413306 030413307 030413308 030413309 030413310 030413311 030413312	4
消化器内科	尾関 啓司	名古屋市立大学病院	助教	22年	○	名古屋市立大学病院・名古屋市立病院第8回臨床研修指導医講習会	030413305 030413306 030413307 030413308 030413309 030413310 030413311 030413312	4
消化器内科	管野 琢也	名古屋市立大学病院	病院助教	13年	○	日本医師会「指導医のための教育ワークショップ」	030413305 030413306 030413307 030413308 030413309 030413310 030413311 030413312	4
肝・膵臓内科	野尻 俊輔	名古屋市立大学病院	准教授	33年	○	名古屋市立大学病院第5回臨床研修指導医講習会	030413305 030413306 030413307 030413308 030413309 030413310 030413311 030413312	4

33. 臨床研修指導医（指導医）等の氏名等

病院施設番号：030413

臨床研修病院の名称：名古屋市立大学病院

担当分野	氏名	所属	役職	臨床経験年数	指導医講習会等の受講経験 有：○ 無：×	資格等	プログラム番号	備考
								1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 臨床研修指導医（指導医）
肝・膵臓内科	林 香月	名古屋市立大学病院	講師	27年	○	名古屋市立大学病院第5回臨床研修指導医講習会	030413305 030413306 030413307 030413308 030413309 030413310 030413311 030413312	4
肝・膵臓内科	内藤 格	名古屋市立大学病院	講師（助教級）	26年	○	名古屋市立大学病院・名古屋市立病院第7回臨床研修指導医講習会	030413305 030413306 030413307 030413308 030413309 030413310 030413311 030413312	4
肝・膵臓内科	藤原 圭	名古屋市立大学病院	講師（助教級）	27年	○	名古屋市立大学病院・名古屋市立病院第7回臨床研修指導医講習会	030413305 030413306 030413307 030413308 030413309 030413310 030413311 030413312	4
肝・膵臓内科	松浦 健太郎	名古屋市立大学病院	講師（助教級）	23年	○	名古屋市立大学病院・名古屋市立病院第9回臨床研修指導医講習会	030413305 030413306 030413307 030413308 030413309 030413310 030413311 030413312	4
呼吸器・アレルギー内科	新実 彰男	名古屋市立大学病院	教授	38年	○	名古屋市立大学病院・名古屋市立病院第7回臨床研修指導医講習会	030413305 030413306 030413307 030413308 030413309 030413310 030413311 030413312	4
呼吸器・アレルギー内科	小栗 鉄也	名古屋市立大学病院	教授（診療担当）	33年	○	名古屋市立大学病院第1回臨床研修指導医講習会	030413305 030413306 030413307 030413308 030413309 030413310 030413311 030413312	4
呼吸器・アレルギー内科	中村 敦	名古屋市立大学病院	教授（診療担当）	36年	○	名古屋市立大学病院第1回臨床研修指導医講習会	030413305 030413306 030413307 030413308 030413309 030413310 030413311 030413312	4
呼吸器・アレルギー内科	大久保 仁嗣	名古屋市立大学病院	講師（助教級）	24年	○	第8回東京医科大学病院指導医のための教育ワークショップ	030413305 030413306 030413307 030413308 030413309 030413310 030413311 030413312	4
呼吸器・アレルギー内科	伊藤 穰	名古屋市立大学病院	准教授	30年	○	平成17年度京都大学医学部附属病院医師臨床研修指導医講習会	030413305 030413306 030413307 030413308 030413309 030413310 030413311 030413312	4
呼吸器・アレルギー内科	高桑 修	名古屋市立大学病院	准教授（診療担当）	23年	○	名古屋市立大学病院・名古屋市立病院第6回臨床研修指導医講習会	030413305 030413306 030413307 030413308 030413309 030413310 030413311 030413312	4

33. 臨床研修指導医（指導医）等の氏名等

病院施設番号：030413

臨床研修病院の名称：名古屋市立大学病院

担当分野	氏名	所属	役職	臨床経験 年数	指導医講習会 等の受講経験 有：○ 無：×	資格等	プログラム番号		備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 臨床研修指導医（指導医）
呼吸器・アレルギー内科	竹村 昌也	名古屋市立大学病院	講師	27年	○	名古屋市立大学病院・名古屋市立病院第8回臨床研修指導医講習会	030413305 030413307 030413309 030413311	030413306 030413308 030413310 030413312	4
呼吸器・アレルギー内科	田尻 智子	名古屋市立大学病院	助教	22年	○	第23回京都大学医学部附属病院臨床研修指導医のためのワークショップ	030413305 030413307 030413309 030413311	030413306 030413308 030413310 030413312	4
呼吸器・アレルギー内科	上村 剛大	名古屋市立大学病院	助教	20年	○	名古屋第一赤十字病院 第11回指導医のための教育ワークショップ	030413305 030413307 030413309 030413311	030413306 030413308 030413310 030413312	4
呼吸器・アレルギー内科	福光 研介	名古屋市立大学病院	助教	16年	○	名古屋市立大学病院・名古屋市立病院第9回臨床研修指導医講習会	030413305 030413307 030413309 030413311	030413306 030413308 030413310 030413312	4
呼吸器・アレルギー内科	福田 悟史	名古屋市立大学病院	助教	19年	○	名古屋市立大学病院・名古屋市立病院第9回臨床研修指導医講習会	030413305 030413307 030413309 030413311	030413306 030413308 030413310 030413312	4
呼吸器・アレルギー内科	金光 禎寛	名古屋市立大学病院	助教	19年	○	名古屋市立大学病院第10回臨床研修指導医講習会	030413305 030413307 030413309 030413311	030413306 030413308 030413310 030413312	4
リウマチ・膠原病内科	難波 大夫	名古屋市立大学病院	講師	29年	○	名古屋市立大学病院第4回臨床研修指導医講習会	030413305 030413307 030413309 030413311	030413306 030413308 030413310 030413312	4
リウマチ・膠原病内科	爲近 真也	名古屋市立大学病院	病院助教	14年	○	名古屋市立大学病院第5回臨床研修指導医講習会	030413305 030413307 030413309 030413311	030413306 030413308 030413310 030413312	4
リウマチ・膠原病内科	前田 伸治	名古屋市立大学病院	助教	24年	○	名古屋市立大学病院・名古屋市立病院第7回臨床研修指導医講習会	030413305 030413307 030413309 030413311	030413306 030413308 030413310 030413312	4
リウマチ・膠原病内科	山邊 徹	名古屋市立大学病院	臨床研究医	12年	○	指導医講習会受講済	030413305 030413307 030413309 030413311	030413306 030413308 030413310 030413312	4

33. 臨床研修指導医（指導医）等の氏名等

病院施設番号：030413

臨床研修病院の名称：名古屋市立大学病院

担当分野	氏名	所属	役職	臨床経験年数	指導医講習会等の受講経験 有：○ 無：×	資格等	プログラム番号	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 臨床研修指導医（指導医）
リウマチ・膠原病内科	上原 幸治	名古屋市立大学病院	臨床研究医	11年	○	指導医講習会受講済	030413305 030413306 030413307 030413308 030413309 030413310 030413311 030413312	4
循環器内科	瀬尾 由広	名古屋市立大学病院	教授	31年	○	茨城県指導医養成講習会	030413305 030413306 030413307 030413308 030413309 030413310 030413311 030413312	4
循環器内科	中山 貴文	名古屋市立大学病院	助教	14年	○	名古屋市立大学病院・名古屋市立病院第9回臨床研修指導医講習会	030413305 030413306 030413307 030413308 030413309 030413310 030413311 030413312	4
循環器内科	北田 修一	名古屋市立大学病院	講師	22年	○	名古屋市立大学病院第10回臨床研修指導医講習会	030413305 030413306 030413307 030413308 030413309 030413310 030413311 030413312	4
循環器内科	横井 雅史	名古屋市立大学病院	助教	124年	○	名古屋市立大学病院第10回臨床研修指導医講習会	030413305 030413306 030413307 030413308 030413309 030413310 030413311 030413312	4
内分泌・糖尿病内科	田中 智洋	名古屋市立大学病院	准教授	25年	○	名古屋市立大学病院・名古屋市立病院第8回臨床研修指導医講習会	030413305 030413306 030413307 030413308 030413309 030413310 030413311 030413312	4
内分泌・糖尿病内科	小山 博之	名古屋市立大学病院	助教	17年	○	名古屋市立大学病院・名古屋市立病院第8回臨床研修指導医講習会	030413305 030413306 030413307 030413308 030413309 030413310 030413311 030413312	4
内分泌・糖尿病内科	青谷 大介	名古屋市立大学病院	講師	23年	○	名古屋市立大学病院・名古屋市立病院第9回臨床研修指導医講習会	030413305 030413306 030413307 030413308 030413309 030413310 030413311 030413312	4
血液・腫瘍内科	飯田 真介	名古屋市立大学病院	教授	36年	○	名古屋市立大学病院第1回臨床研修指導医講習会	030413305 030413306 030413307 030413308 030413309 030413310 030413311 030413312	4
血液・腫瘍内科	小松 弘和	名古屋市立大学病院	准教授	35年	○	名古屋市立大学病院・名古屋市立病院第6回臨床研修指導医講習会	030413305 030413306 030413307 030413308 030413309 030413310 030413311 030413312	4

33. 臨床研修指導医（指導医）等の氏名等

病院施設番号：030413

臨床研修病院の名称：名古屋市立大学病院

担当分野	氏名	所属	役職	臨床経験数	指導医講習会等の受講経験 有：○ 無：×	資格等	プログラム番号	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 臨床研修指導医（指導医）
血液・腫瘍内科	三田 貴臣	名古屋市立大学病院	准教授	124年	○	名古屋市立大学病院第10回臨床研修指導医講習会	030413305 030413306 030413307 030413308 030413309 030413310 030413311 030413312	4
血液・腫瘍内科	李 政樹	名古屋市立大学病院	講師	24年	○	名古屋市立大学病院・名古屋市立病院第6回臨床研修指導医講習会	030413305 030413306 030413307 030413308 030413309 030413310 030413311 030413312	4
血液・腫瘍内科	成田 朋子	名古屋市立大学病院	講師	16年	○	名古屋市立大学病院第10回臨床研修指導医講習会	030413305 030413306 030413307 030413308 030413309 030413310 030413311 030413312	2.4
血液・腫瘍内科	木下 史緒理	名古屋市立大学病院	助教	14年	○	2021年第2回臨床研修指導医講習会	030413305 030413306 030413307 030413308 030413309 030413310 030413311 030413312	4
脳神経内科	松川 則之	名古屋市立大学病院	教授	35年	○	名古屋市立大学病院第2回臨床研修指導医講習会	030413305 030413306 030413307 030413308 030413309 030413310 030413311 030413312	4
脳神経内科	大村 眞弘	名古屋市立大学病院	講師	29年	○	名古屋市立大学病院・名古屋市立病院第7回臨床研修指導医講習会	030413305 030413306 030413307 030413308 030413309 030413310 030413311 030413312	4
脳神経内科	川嶋 将司	名古屋市立大学病院	助教	21年	○	名古屋市立大学病院・名古屋市立病院第7回臨床研修指導医講習会	030413305 030413306 030413307 030413308 030413309 030413310 030413311 030413312	4
脳神経内科	水野 将行	名古屋市立大学病院	助教	19年	○	名古屋市立大学病院・名古屋市立病院第7回臨床研修指導医講習会	030413305 030413306 030413307 030413308 030413309 030413310 030413311 030413312	4
脳神経内科	藤岡 哲平	名古屋市立大学病院	助教	17年	○	名古屋市立大学病院・名古屋市立病院第9回臨床研修指導医講習会	030413305 030413306 030413307 030413308 030413309 030413310 030413311 030413312	4
脳神経内科	佐藤 豊大	名古屋市立大学病院	病院助教	16年	○	名古屋市立大学病院・名古屋市立病院第9回臨床研修指導医講習会	030413305 030413306 030413307 030413308 030413309 030413310 030413311 030413312	4

33. 臨床研修指導医（指導医）等の氏名等

病院施設番号：030413

臨床研修病院の名称：名古屋市立大学病院

担当分野	氏名	所属	役職	臨床経験年数	指導医講習会等の受講経験 有：○ 無：×	資格等	プログラム番号	備考
								1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 臨床研修指導医(指導医)
腎臓内科	水野 晶紫	名古屋市立大学病院	助教	20年	○	全国自治体病院協議会第9回臨床研修指導医養成講習会	030413305 030413306 030413307 030413308 030413309 030413310 030413311 030413312	4
腎臓内科	小野 水面	名古屋市立大学病院	助教	20年	○	全国自治体病院協議会第10回臨床研修指導医養成講習会	030413305 030413306 030413307 030413308 030413309 030413310 030413311 030413312	4
腎臓内科	村島 美穂	名古屋市立大学病院	助教	23年	○	平成28年度奈良医大臨床研修指導医講習会	030413305 030413306 030413307 030413308 030413309 030413310 030413311 030413312	4
腎臓内科	友斉 達也	名古屋市立大学病院	助教	17年	○	名古屋市立大学病院第5回臨床研修指導医講習会	030413305 030413306 030413307 030413308 030413309 030413310 030413311 030413312	4
消化器・一般外科	松尾 洋一	名古屋市立大学病院	准教授	29年	○	名古屋市立大学病院第5回臨床研修指導医講習会	030413305 030413306 030413307 030413308 030413309 030413310 030413311 030413312	4
消化器・一般外科	高橋 広城	名古屋市立大学病院	准教授	26年	○	名古屋市立大学病院・名古屋市立病院第6回臨床研修指導医講習会	030413305 030413306 030413307 030413308 030413309 030413310 030413311 030413312	1, 4
消化器・一般外科	田中 達也	名古屋市立大学病院	助教	22年	○	名古屋市立大学病院・名古屋市立病院第7回臨床研修指導医講習会	030413305 030413306 030413307 030413308 030413309 030413310 030413311 030413312	4
消化器・一般外科	森本 守	名古屋市立大学病院	助教	22年	○	名古屋市立大学病院・名古屋市立病院第8回臨床研修指導医講習会	030413305 030413306 030413307 030413308 030413309 030413310 030413311 030413312	4
消化器・一般外科	鈴木 卓弥	名古屋市立大学病院	臨床研究医(長時間A)	16年	○	名古屋市立大学病院・名古屋市立病院第7回臨床研修指導医講習会	030413305 030413306 030413307 030413308 030413309 030413310 030413311 030413312	4
消化器・一般外科	早川 俊輔	名古屋市立大学病院	臨床研究医(長時間A)	13年	○	名古屋市立大学病院・名古屋市立病院第8回臨床研修指導医講習会	030413305 030413306 030413307 030413308 030413309 030413310 030413311 030413312	4

33. 臨床研修指導医（指導医）等の氏名等

病院施設番号：030413

臨床研修病院の名称：名古屋市立大学病院

担当分野	氏名	所属	役職	臨床経験年数	指導医講習会等の受講経験 有：○ 無：×	資格等	プログラム番号	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 臨床研修指導医（指導医）
消化器・一般外科	加藤 知克	名古屋市立大学病院	臨床研究医(長時間A)	14年	○	VHJ機構指導医養成講座	030413305 030413306 030413307 030413308 030413309 030413310 030413311 030413312	4
消化器・一般外科	小川 了	名古屋市立大学病院	講師	23年	○	名古屋市立大学病院・名古屋市立病院第9回臨床研修指導医講習会	030413305 030413306 030413307 030413308 030413309 030413310 030413311 030413312	4
消化器・一般外科	松居 亮平	名古屋市立大学病院	臨床研究医	16年	○	第22回 徳洲会グループ臨床研修指導者養成講習会	030413305 030413306 030413307 030413308 030413309 030413310 030413311 030413312	4
消化器・一般外科	牛込 創	名古屋市立大学病院	助教	16年	○	第119回臨床研修指導医養成講習会	030413305 030413306 030413307 030413308 030413309 030413310 030413311 030413312	4
消化器・一般外科	渡部 かをり	名古屋市立大学病院	病院助教	14年	○	名古屋市立病院・名古屋市立病院第8回臨床研修指導医講習会	030413305 030413306 030413307 030413308 030413309 030413310 030413311 030413312	4
消化器・一般外科	藤井 善章	名古屋市立大学病院	臨床研究医	13年	○	臨床研修 指導医のための教育ワークショップ	030413305 030413306 030413307 030413308 030413309 030413310 030413311 030413312	4
消化器・一般外科	野々山 敬介	名古屋市立大学病院	病院助教	124年	○	第153回臨床研修指導医講習会	030413305 030413306 030413307 030413308 030413309 030413310 030413311 030413312	4
消化器・一般外科	佐川 弘之	名古屋市立大学病院	助教	20年	○	名古屋市立大学病院第10回臨床研修指導医講習会	030413305 030413306 030413307 030413308 030413309 030413310 030413311 030413312	4
消化器・一般外科	齊藤 健太	名古屋市立大学病院	助教	18年	○	名古屋市立大学病院第10回臨床研修指導医講習会	030413305 030413306 030413307 030413308 030413309 030413310 030413311 030413312	4
呼吸器外科	奥田 勝裕	名古屋市立大学病院	准教授	23年	○	名古屋市立大学病院・名古屋市立病院第8回臨床研修指導医講習会	030413305 030413306 030413307 030413308 030413309 030413310 030413311 030413312	4

33. 臨床研修指導医（指導医）等の氏名等

病院施設番号：030413

臨床研修病院の名称：名古屋市立大学病院

担当分野	氏名	所属	役職	臨床経験年数	指導医講習会等の受講経験 有：○ 無：×	資格等	プログラム番号	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 臨床研修指導医（指導医）
呼吸器外科	横田 圭右	名古屋市立大学病院	講師	20年	○	三重大学附属病院・NPO法人MMC卒後臨床研修センター H28 第7回三重大学附属病院・第20回MMC合同指導医養成講習会	030413305 030413306 030413307 030413308 030413309 030413310 030413311 030413312	4
呼吸器外科	立松 勉	名古屋市立大学病院	講師	124年	○	名古屋市立大学病院第10回臨床研修指導医講習会	030413305 030413306 030413307 030413308 030413309 030413310 030413311 030413312	4
心臓血管外科	須田 久雄	名古屋市立大学病院	教授（診療担当）	38年	○	佐賀県臨床研修運営協議会第2回指導医養成のためのワークショップ	030413305 030413306 030413307 030413308 030413309 030413310 030413311 030413312	4
心臓血管外科	山田 敏之	名古屋市立大学病院	助教	14年	○	独立行政法人国立病院機構・関東信越グループ H30 臨床研修指導医養成講習会	030413305 030413306 030413307 030413308 030413309 030413310 030413311 030413312	4
心臓血管外科	板谷 慶一	名古屋市立大学病院	准教授	21年	○	第9回 北里大学病院初期臨床研修指導医養成ワークショップ	030413305 030413306 030413307 030413308 030413309 030413310 030413311 030413312	4
小児外科	近藤 知史	名古屋市立大学病院	講師	39年	○	名古屋市立大学病院第2回臨床研修指導医講習会	030413305 030413306 030413307 030413308 030413309 030413310 030413311 030413312	4
小児外科	高木 大輔	名古屋市立大学病院	助教	21年	○	名古屋市立大学病院・名古屋市立病院第7回臨床研修指導医講習会	030413305 030413306 030413307 030413308 030413309 030413310 030413311 030413312	4
乳腺外科	遠山 竜也	名古屋市立大学病院	教授（診療担当）	34年	○	名古屋市立大学病院第5回臨床研修指導医講習会	030413305 030413306 030413307 030413308 030413309 030413310 030413311 030413312	4
乳腺外科	鰐淵 友美	名古屋市立大学病院	講師	20年	○	名古屋市立大学病院・名古屋市立病院第6回臨床研修指導医講習会	030413305 030413306 030413307 030413308 030413309 030413310 030413311 030413312	4
乳腺外科	近藤 直人	名古屋市立大学病院	講師	23年	○	名古屋市立大学病院・名古屋市立病院第9回臨床研修指導医講習会	030413305 030413306 030413307 030413308 030413309 030413310 030413311 030413312	4

33. 臨床研修指導医（指導医）等の氏名等

病院施設番号：030413

臨床研修病院の名称：名古屋市立大学病院

担当分野	氏名	所属	役職	臨床経験年数	指導医講習会等の受講経験 有：○ 無：×	資格等	プログラム番号	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 臨床研修指導医（指導医）
乳腺外科	藤田 崇史	名古屋市立大学病院	講師	32年	○	名古屋市立大学病院第10回臨床研修指導医講習会	030413305 030413306 030413307 030413308 030413309 030413310 030413311 030413312	4
整形外科	村上 英樹	名古屋市立大学病院	教授	30年	○	金沢大学医学部 第8回医学教育ワークショップ	030413305 030413306 030413307 030413308 030413309 030413310 030413311 030413312	4
整形外科	鈴木 伸幸	名古屋市立大学病院	助教	27年	○	名古屋市立大学病院・名古屋市立病院第7回臨床研修指導医講習会	030413305 030413306 030413307 030413308 030413309 030413310 030413311 030413312	4
整形外科	野崎 正浩	名古屋市立大学病院	助教	27年	○	名古屋市立大学病院・名古屋市立病院第8回臨床研修指導医講習会	030413305 030413306 030413307 030413308 030413309 030413310 030413311 030413312	4
整形外科	加藤 賢治	名古屋市立大学病院	助教	20年	○	名古屋市立大学病院・名古屋市立病院第9回臨床研修指導医講習会	030413305 030413306 030413307 030413308 030413309 030413310 030413311 030413312	4
整形外科	木村 浩明	名古屋市立大学病院	講師	21年	○	日本医師会 指導医のための教育ワークショップ	030413305 030413306 030413307 030413308 030413309 030413310 030413311 030413312	4
整形外科	坂井 宏章	名古屋市立大学病院	病院助教	17年	○	第1回大同病院臨床研修指導医講習会	030413305 030413306 030413307 030413308 030413309 030413310 030413311 030413312	4
産科婦人科	尾崎 康彦	名古屋市立大学病院	教授（診療担当）	37年	○	名古屋市立大学病院第1回臨床研修指導医講習会	030413305 030413306 030413307 030413308 030413309 030413310 030413311 030413312	4
産科婦人科	北折 珠央	名古屋市立大学病院	講師	22年	○	名古屋市立大学病院第3回臨床研修指導医講習会	030413305 030413306 030413307 030413308 030413309 030413310 030413311 030413312	4
産科婦人科	鈴森 伸宏	名古屋市立大学病院	准教授	30年	○	名古屋市立大学病院・名古屋市立病院第7回臨床研修指導医講習会	030413305 030413306 030413307 030413308 030413309 030413310 030413311 030413312	4

33. 臨床研修指導医（指導医）等の氏名等

病院施設番号：030413

臨床研修病院の名称：名古屋市立大学病院

担当分野	氏名	所属	役職	臨床経験年数	指導医講習会等の受講経験 有：○ 無：×	資格等	プログラム番号	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 臨床研修指導医（指導医）
産科婦人科	西川 隆太郎	名古屋市立大学病院	助教	20年	○	名古屋市立大学病院第5回臨床研修指導医講習会	030413305 030413306 030413307 030413308 030413309 030413310 030413311 030413312	1, 4
産科婦人科	佐藤 剛	名古屋市立大学病院	准教授	33年	○	第17回 日本医師会 指導医のための教育ワークショップ（愛知県医師会主催）	030413305 030413306 030413307 030413308 030413309 030413310 030413311 030413312	4
産科婦人科	後藤 志信	名古屋市立大学病院	講師	18年	○	名古屋市立大学病院第10回臨床研修指導医講習会	030413305 030413306 030413307 030413308 030413309 030413310 030413311 030413312	4
小児科	齋藤 伸治	名古屋市立大学病院	教授	38年	○	名古屋市立大学病院・名古屋市立病院第6回臨床研修指導医講習会	030413305 030413306 030413307 030413308 030413309 030413310 030413311 030413312	1, 4
小児科	亀井 美智	名古屋市立大学病院	助教	20年	○	第18回小児科医のための臨床研修指導医講習会	030413305 030413306 030413307 030413308 030413309 030413310 030413311 030413312	4
小児科	鈴木 一孝	名古屋市立大学病院	助教	21年	○	名古屋市立大学病院・名古屋市立病院第6回臨床研修指導医講習会	030413305 030413306 030413307 030413308 030413309 030413310 030413311 030413312	4
小児科	野村 孝泰	名古屋市立大学病院	病院助教	21年	○	第25回小児科医のための臨床研修指導医講習会	030413305 030413306 030413307 030413308 030413309 030413310 030413311 030413312	4
小児科	岩田 欧介	名古屋市立大学病院	准教授	30年	○	名古屋市立大学病院・名古屋市立病院第9回臨床研修指導医講習会	030413305 030413306 030413307 030413308 030413309 030413310 030413311 030413312	4
小児科	青山 幸平	名古屋市立大学病院	助教	16年	○	名古屋市立大学病院・名古屋市立病院第9回臨床研修指導医講習会	030413305 030413306 030413307 030413308 030413309 030413310 030413311 030413312	4
小児科	大橋 圭	名古屋市立大学病院	病院助教	15年	○	第22回 愛知県厚生農業協同組合連合会 臨床研修指導医講習会	030413305 030413306 030413307 030413308 030413309 030413310 030413311 030413312	4

33. 臨床研修指導医（指導医）等の氏名等

病院施設番号：030413

臨床研修病院の名称：名古屋市立大学病院

担当分野	氏名	所属	役職	臨床経験年数	指導医講習会等の受講経験 有：○ 無：×	資格等	プログラム番号	備考
								1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 臨床研修指導医(指導医)
小児科	大辻 塩見	名古屋市立大学病院	大学院生	11年	○	大同病院臨床研修指導医講習会	030413305 030413306 030413307 030413308 030413309 030413310 030413311 030413312	4
小児科	篠原 務	名古屋市立大学病院	助教	18年	○	名古屋市立大学病院・名古屋市立病院第6回臨床研修指導医講習会	030413305 030413306 030413307 030413308 030413309 030413310 030413311 030413312	4
小児科	横井 暁子	名古屋市立大学病院	病院助教	22年	○	名古屋市立大学病院・名古屋市立病院第6回臨床研修指導医講習会	030413305 030413306 030413307 030413308 030413309 030413310 030413311 030413312	4
小児科	津田 兼之介	名古屋市立大学病院	病院助教	18年	○	第23回小児科医のための臨床研修指導医講習会	030413305 030413306 030413307 030413308 030413309 030413310 030413311 030413312	4
小児科	根岸 豊	名古屋市立大学病院	助教	18年	○	名古屋市立大学病院・名古屋市立病院第7回臨床研修指導医講習会	030413305 030413306 030413307 030413308 030413309 030413310 030413311 030413312	4
小児科	神農 英雄	名古屋市立大学病院	助教	21年	○	第21回愛知県農業共同組合連合会 臨床研修指導医講習会	030413305 030413306 030413307 030413308 030413309 030413310 030413311 030413312	4
小児科	佐藤 恵美	名古屋市立大学病院	大学院生	14年	○	平成29年度第2回臨床研修指導医講習会	030413305 030413306 030413307 030413308 030413309 030413310 030413311 030413312	4
眼科	安川 力	名古屋市立大学病院	准教授（講師級）	30年	○	KCH-JRLP 指導医講習会	030413305 030413306 030413307 030413308 030413309 030413310 030413311 030413312	4
眼科	加藤 亜紀	名古屋市立大学病院	講師（助教級）	25年	○	名古屋市立大学病院・名古屋市立病院第6回臨床研修指導医講習会	030413305 030413306 030413307 030413308 030413309 030413310 030413311 030413312	4
眼科	平野 佳男	名古屋市立大学病院	講師（助教級）	23年	○	名古屋市立大学病院・名古屋市立病院第7回臨床研修指導医講習会	030413305 030413306 030413307 030413308 030413309 030413310 030413311 030413312	4

33. 臨床研修指導医（指導医）等の氏名等

病院施設番号：030413

臨床研修病院の名称：名古屋市立大学病院

担当分野	氏名	所属	役職	臨床経験年数	指導医講習会等の受講経験 有：○ 無：×	資格等	プログラム番号	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 臨床研修指導医(指導医)
眼科	木村 雅代	名古屋市立大学病院	病院助教	18年	○	富山大学附属病院 第11回臨床研修指導医養育セミナー	030413305 030413306 030413307 030413308 030413309 030413310 030413311 030413312	4
耳鼻いんこう科	佐藤 慎太郎	名古屋市立大学病院	講師	28年	○	佐賀県臨床研修運営協議会第12回指導医養成のためのワークショップ	030413305 030413306 030413307 030413308 030413309 030413310 030413311 030413312	4
耳鼻いんこう科	川北 大介	名古屋市立大学病院	講師	20年	○	名古屋市立大学病院・名古屋市立病院第8回臨床研修指導医講習会	030413305 030413306 030413307 030413308 030413309 030413310 030413311 030413312	4
耳鼻いんこう科	蒲谷 嘉代子	名古屋市立大学病院	助教	22年	○	名古屋市立大学病院・名古屋市立病院第8回臨床研修指導医講習会	030413305 030413306 030413307 030413308 030413309 030413310 030413311 030413312	4
耳鼻いんこう科	江崎 伸一	名古屋市立大学病院	講師（助教級）	22年	○	名古屋市立大学病院・名古屋市立病院第8回臨床研修指導医講習会	030413305 030413306 030413307 030413308 030413309 030413310 030413311 030413312	4
耳鼻いんこう科	讃岐 徹治	名古屋市立大学病院	講師	28年	○	第6回熊本大学医学部附属病院群臨床研修指導医研修ワークショップ	030413305 030413306 030413307 030413308 030413309 030413310 030413311 030413312	4
耳鼻いんこう科	的場 拓磨	名古屋市立大学病院	助教	15年	○	名古屋市立大学病院・名古屋市立病院第9回臨床研修指導医講習会	030413305 030413306 030413307 030413308 030413309 030413310 030413311 030413312	4
耳鼻いんこう科	岩崎 真一	名古屋市立大学病院	教授	31年	○	第3回東京大学医学部附属病院指導医講習会	030413305 030413306 030413307 030413308 030413309 030413310 030413311 030413312	4
形成外科	鳥山 和宏	名古屋市立大学病院	教授（診療担当）	34年	○	H28 VHJ機構指導医養成講座	030413305 030413306 030413307 030413308 030413309 030413310 030413311 030413312	4
形成外科	佐藤 秀吉	名古屋市立大学病院	助教	17年	○	名古屋市立大学病院・名古屋市立病院第9回臨床研修指導医講習会	030413305 030413306 030413307 030413308 030413309 030413310 030413311 030413312	4

33. 臨床研修指導医（指導医）等の氏名等

病院施設番号：030413

臨床研修病院の名称：名古屋市立大学病院

担当分野	氏名	所属	役職	臨床経験年数	指導医講習会等の受講経験 有：○ 無：×	資格等	プログラム番号	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 臨床研修指導医（指導医）
皮膚科	森田 明理	名古屋市立大学病院	教授	34年	○	名古屋市立大学病院第1回臨床研修指導医講習会	030413305 030413306 030413307 030413308 030413309 030413310 030413311 030413312	4
皮膚科	中村 元樹	名古屋市立大学病院	講師（助教級）	18年	○	名古屋市立大学病院・名古屋市立病院第6回臨床研修指導医講習会	030413305 030413306 030413307 030413308 030413309 030413310 030413311 030413312	4
皮膚科	加藤 裕史	名古屋市立大学病院	講師	19年	○	名古屋市立大学病院第4回臨床研修指導医講習会	030413305 030413306 030413307 030413308 030413309 030413310 030413311 030413312	4
皮膚科	山本 礼	名古屋市立大学病院	助教	13年	○	名古屋市立大学病院第10回臨床研修指導医講習会	030413305 030413306 030413307 030413308 030413309 030413310 030413311 030413312	4
泌尿器科	安井 孝周	名古屋市立大学病院	教授	29年	○	名古屋市立大学病院第3回臨床研修指導医講習会	030413305 030413306 030413307 030413308 030413309 030413310 030413311 030413312	4
泌尿器科	戸澤 啓一	名古屋市立大学病院	教授（診療担当）	36年	○	名古屋市立大学病院第1回臨床研修指導医講習会	030413305 030413306 030413307 030413308 030413309 030413310 030413311 030413312	4
泌尿器科	河合 憲康	名古屋市立大学病院	准教授	32年	○	名古屋市立大学病院第1回臨床研修指導医講習会	030413305 030413306 030413307 030413308 030413309 030413310 030413311 030413312	4
泌尿器科	濱本 周造	名古屋市立大学病院	講師（助教級）	22年	○	第16回愛知県厚生農業協同組合連合会 臨床研修指導医講習会	030413305 030413306 030413307 030413308 030413309 030413310 030413311 030413312	4
泌尿器科	岡田 淳志	名古屋市立大学病院	准教授（講師級）	25年	○	名古屋市立大学病院・名古屋市立病院第7回臨床研修指導医講習会	030413305 030413306 030413307 030413308 030413309 030413310 030413311 030413312	4
泌尿器科	内木 拓	名古屋市立大学病院	講師（助教級）	20年	○	名古屋市立大学病院・名古屋市立病院第7回臨床研修指導医講習会	030413305 030413306 030413307 030413308 030413309 030413310 030413311 030413312	4

33. 臨床研修指導医（指導医）等の氏名等

病院施設番号：030413

臨床研修病院の名称：名古屋市立大学病院

担当分野	氏名	所属	役職	臨床経験年数	指導医講習会等の受講経験 有：○ 無：×	資格等	プログラム番号	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 臨床研修指導医（指導医）
泌尿器科	田口 和己	名古屋市立大学病院	助教	18年	○	第2回社会医療法人宏潤会大同病院臨床研修指導医講習会	030413305 030413306 030413307 030413308 030413309 030413310 030413311 030413312	4
泌尿器科	岩月 正一郎	名古屋市立大学病院	病院助教	17年	○	名古屋市立大学病院・名古屋市立病院第7回臨床研修指導医講習会	030413305 030413306 030413307 030413308 030413309 030413310 030413311 030413312	4
泌尿器科	恵谷 俊紀	名古屋市立大学病院	助教	17年	○	名古屋市立大学病院・名古屋市立病院第9回臨床研修指導医講習会	030413305 030413306 030413307 030413308 030413309 030413310 030413311 030413312	4
泌尿器科	安藤 亮介	名古屋市立大学病院	教授	23年	○	第14回愛知県厚生農業協同組合連合会臨床研修指導医講習会	030413305 030413306 030413307 030413308 030413309 030413310 030413311 030413312	4
泌尿器科	中根 明宏	名古屋市立大学病院	准教授	24年	○	名古屋市立大学病院第2回臨床研修指導医講習会	030413305 030413306 030413307 030413308 030413309 030413310 030413311 030413312	4
泌尿器科	海野 怜	名古屋市立大学病院	助教	124年	○	名古屋市立大学病院第10回臨床研修指導医講習会	030413305 030413306 030413307 030413308 030413309 030413310 030413311 030413312	4
小児泌尿器科	水野 健太郎	名古屋市立大学病院	准教授（講師級）	25年	○	第5回愛知県厚生農業協同組合連合会 臨床研修指導医講習会	030413305 030413306 030413307 030413308 030413309 030413310 030413311 030413312	4
小児泌尿器科	西尾 英紀	名古屋市立大学病院	助教	16年	○	名古屋市立大学病院・名古屋市立病院第8回臨床研修指導医講習会	030413305 030413306 030413307 030413308 030413309 030413310 030413311 030413312	4
精神科	明智 龍男	名古屋市立大学病院	教授	32年	○	名古屋市立大学病院第1回臨床研修指導医講習会	030413305 030413306 030413307 030413308 030413309 030413310 030413311 030413312	4
精神科	東 英樹	名古屋市立大学病院	講師	30年	○	精神科七者懇談会平成16年度第2回臨床研修指導医講習会	030413305 030413306 030413307 030413308 030413309 030413310 030413311 030413312	4

33. 臨床研修指導医（指導医）等の氏名等

病院施設番号：030413

臨床研修病院の名称：名古屋市立大学病院

担当分野	氏名	所属	役職	臨床経験年数	指導医講習会等の受講経験 有：○ 無：×	資格等	プログラム番号	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 臨床研修指導医（指導医）
精神科	山田 敦朗	名古屋市立大学病院	講師	29年	○	精神科七者懇談会平成16年度第2回臨床研修指導医講習会	030413305 030413306 030413307 030413308 030413309 030413310 030413311 030413312	4
精神科	内田 恵	名古屋市立大学病院	助教	20年	○	名古屋市立大学病院第5回臨床研修指導医講習会	030413305 030413306 030413307 030413308 030413309 030413310 030413311 030413312	4
精神科	中口 智博	名古屋市立大学病院	助教	24年	○	日本医師会指導医のための教育ワークショップ	030413305 030413306 030413307 030413308 030413309 030413310 030413311 030413312	4
精神科	渡邊 孝文	名古屋市立大学病院	助教	18年	○	日本医師会指導医のための教育ワークショップ	030413305 030413306 030413307 030413308 030413309 030413310 030413311 030413312	4
精神科	白石 直	名古屋市立大学病院	助教	18年	○	名古屋市立大学病院・名古屋市立病院第9回臨床研修指導医講習会	030413305 030413306 030413307 030413308 030413309 030413310 030413311 030413312	4
放射線科	樋渡 昭雄	名古屋市立大学病院	教授	26年	○	名古屋市立大学病院第10回臨床研修指導医講習会	030413305 030413306 030413307 030413308 030413309 030413310 030413311 030413312	4
放射線科	浦野 みすぎ	名古屋市立大学病院	助教	18年	○	名古屋市立大学病院・名古屋市立病院第7回臨床研修指導医講習会	030413305 030413306 030413307 030413308 030413309 030413310 030413311 030413312	4
放射線科	中川 基生	名古屋市立大学病院	講師（助教級）	20年	○	名古屋市立大学病院・名古屋市立病院第8回臨床研修指導医講習会	030413305 030413306 030413307 030413308 030413309 030413310 030413311 030413312	4
放射線科	太田 賢吾	名古屋市立大学病院	助教	14年	○	名古屋市立大学病院・名古屋市立病院第8回臨床研修指導医講習会	030413305 030413306 030413307 030413308 030413309 030413310 030413311 030413312	4
放射線科	富田 夏夫	名古屋市立大学病院	准教授（講師級）	22年	○	名古屋市立大学病院・名古屋市立病院第9回臨床研修指導医講習会	030413305 030413306 030413307 030413308 030413309 030413310 030413311 030413312	4

33. 臨床研修指導医（指導医）等の氏名等

病院施設番号：030413

臨床研修病院の名称：名古屋市立大学病院

担当分野	氏名	所属	役職	臨床経験年数	指導医講習会等の受講経験 有：○ 無：×	資格等	プログラム番号	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 臨床研修指導医（指導医）
放射線科	鈴木 一史	名古屋市立大学病院	講師	15年	○	名古屋市立大学病院第10回臨床研修指導医講習会	030413305 030413306 030413307 030413308 030413309 030413310 030413311 030413312	4
麻酔科	祖父江 和哉	名古屋市立大学病院	教授	30年	○	名古屋市立大学病院第1回臨床研修指導医講習会	030413305 030413306 030413307 030413308 030413309 030413310 030413311 030413312	4
麻酔科	加古 英介	名古屋市立大学病院	講師	22年	○	名古屋市立大学病院第10回臨床研修指導医講習会	030413305 030413306 030413307 030413308 030413309 030413310 030413311 030413312	4
麻酔科	太田 晴子	名古屋市立大学病院	講師	20年	○	名古屋市立大学病院第10回臨床研修指導医講習会	030413305 030413306 030413307 030413308 030413309 030413310 030413311 030413312	4
麻酔科	青木 優祐	名古屋市立大学病院	助教	13年	○	名古屋市立大学病院第10回臨床研修指導医講習会	030413305 030413306 030413307 030413308 030413309 030413310 030413311 030413312	4
麻酔科（ICU）	田村 哲也	名古屋市立大学病院	助教	23年	○	第8回愛知県厚生農業協同組合連合会 臨床研修指導医講習会	030413305 030413306 030413307 030413308 030413309 030413310 030413311 030413312	4
脳神経外科	間瀬 光人	名古屋市立大学病院	教授	38年	○	名古屋市立大学病院第1回臨床研修指導医講習会	030413305 030413306 030413307 030413308 030413309 030413310 030413311 030413312	4
脳神経外科	相原 徳孝	名古屋市立大学病院	准教授	35年	○	名古屋市立大学病院第4回臨床研修指導医講習会	030413305 030413306 030413307 030413308 030413309 030413310 030413311 030413312	4
救急科	笹野 寛	名古屋市立大学病院	教授（診療担当）	36年	○	名古屋市立大学病院第3回臨床研修指導医講習会	030413305 030413306 030413307 030413308 030413309 030413310 030413311 030413312	4
救急科	山岸 庸太	名古屋市立大学病院	助教	33年	○	第13回愛知県厚生農業協同組合連合会 臨床研修指導医講習会	030413305 030413306 030413307 030413308 030413309 030413310 030413311 030413312	4

33. 臨床研修指導医（指導医）等の氏名等

病院施設番号：030413

臨床研修病院の名称：名古屋市立大学病院

担当分野	氏名	所属	役職	臨床経験年数	指導医講習会等の受講経験 有：○ 無：×	資格等	プログラム番号	備考
								1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 臨床研修指導医(指導医)
救急科	服部 友紀	名古屋市立大学病院	教授（診療担当）	29年	○	名古屋市立大学病院第3回臨床研修指導医講習会	030413305 030413306 030413307 030413308 030413309 030413310 030413311 030413312	4
救急科	今井 一徳	名古屋市立大学病院	病院助教	20年	○	名古屋市立大学病院・名古屋市立病院第9回臨床研修指導医講習会	030413305 030413306 030413307 030413308 030413309 030413310 030413311 030413312	4
救急科	矢島 つかさ	名古屋市立大学病院	助教	13年	○	福井大学病院卒後臨床研修指導医講習会	030413305 030413306 030413307 030413308 030413309 030413310 030413311 030413312	4
リハビリテーション科	植木 美乃	名古屋市立大学病院	准教授（講師級）	26年	○	名古屋市立大学病院第5回臨床研修指導医講習会	030413305 030413306 030413307 030413308 030413309 030413310 030413311 030413312	4
リハビリテーション科	岡本 秀貴	名古屋市立大学病院	教授	26年	○	名古屋市立大学病院・名古屋市立病院第6回臨床研修指導医講習会	030413305 030413306 030413307 030413308 030413309 030413310 030413311 030413312	4
リハビリテーション科	黒柳 元	名古屋市立大学病院	講師	26年	○	名古屋市立大学病院第10回臨床研修指導医講習会	030413305 030413306 030413307 030413308 030413309 030413310 030413311 030413312	4
病理診断部	稲垣 宏	名古屋市立大学病院	教授	39年	○	名古屋市立大学病院第1回臨床研修指導医講習会	030413305 030413306 030413307 030413308 030413309 030413310 030413311 030413312	4
病理診断部	村瀬 貴幸	名古屋市立大学病院	准教授	28年	○	H22 VHJ機構指導医養成講座	030413305 030413306 030413307 030413308 030413309 030413310 030413311 030413312	4
病理診断部	高橋 智	名古屋市立大学病院	教授	36年	○	名古屋市立大学病院第4回臨床研修指導医講習会	030413305 030413306 030413307 030413308 030413309 030413310 030413311 030413312	4
病理診断部	内木 綾	名古屋市立大学病院	准教授	17年	○	名古屋市立大学病院・名古屋市立病院第8回臨床研修指導医講習会	030413305 030413306 030413307 030413308 030413309 030413310 030413311 030413312	4

33. 臨床研修指導医（指導医）等の氏名等

病院施設番号：030413

臨床研修病院の名称：名古屋市立大学病院

担当分野	氏名	所属	役職	臨床経験数	指導医講習会等の受講経験 有：○ 無：×	資格等	プログラム番号	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 臨床研修指導医(指導医)
------	----	----	----	-------	----------------------------	-----	---------	--

※ 「担当分野」欄には、様式5別紙3の臨床研修を行う分野及び病理（CPC）を記入すること。

※ 「所属」欄には、臨床研修指導医（指導医）等が所属する病院又は施設の名称を記入すること。

※ 「資格等」欄には、指導医に係る講習を受けた旨や、取得した専門医資格等について記入すること。

※ 「プログラム番号」欄には、臨床研修指導医（指導医）等が担当するすべてのプログラム番号を記入すること（プログラム番号を取得していない場合には研修プログラムの名称を記入すること。）。

※ プログラム責任者、副プログラム責任者、研修実施責任者及び臨床研修指導医（指導医）については、「備考」欄にそれぞれに応じた番号を記入し、併せてプログラム番号を記入すること（プログラム番号を取得していない場合には研修プログラムの名称を記入すること。）。

\* 研修実施責任者・・・協力型臨床研修病院又は臨床研修協力施設において、当該施設における臨床研修の実施を管理する者

\* 臨床研修指導医（指導医）・・・研修医に対する指導を行う医師であり、7年（84月）以上の臨床経験及び指導医養成講習会等の受講経験を有する者

※ 欄が足りない場合には、コピーにより対応し、「(No. )」欄にページ数を記入すること。

# 臨床研修協力施設概況表－1－

医療機関用

記入日：西暦 年 月 日

病院施設番号 <small>既に番号を取得している施設については病院施設番号を記入してください。</small>	<h2 style="margin: 0;">032048</h2>	臨床研修病院群の名称 <small>臨床研修病院群を構成する場合に記入してください。 既に臨床研修病院群番号を有している臨床研修病院群については、番号も記入してください。</small>	名称 愛知県厚生農業協同組合連合会 足助病院 番号		
作成責任者の氏名及び連絡先 <small>本調査表の問合せに対して回答できる作成責任者について記入してください。</small>	フリガナ ササキ ショウヤ 氏名(姓) (名) 佐々木 翔哉	所属 総務課 教育研修係 役職	(内線 4493 ) (直通電話 (0565) 62-1211 ) e-mail : syomu@asuke.jaaikosei.or.jp (携帯電話のメールアドレスは不可とします。)		
1. 臨床研修協力施設の名称	フリガナ アイチケンコウセイノウギョウキョウドウクミアイレンゴウカイ アスケビョウイン 愛知県厚生農業協同組合連合会 足助病院				
2. 臨床研修協力施設の所在地	〒 4 4 4 - 2 3 5 1 ( 愛 知 都 ・ 道 ・ 府 ・ 県 ) 豊田市岩神町仲田 20 番地 電話 : ( 0 5 6 5 ) 6 2 - 1 2 1 1 FAX : ( 0 5 6 5 ) 6 2 - 1 8 2 0				
3. 臨床研修協力施設の開設者の氏名(法人の名称)	フリガナ アイチケンコウセイノウギョウキョウドウクミアイレンゴウカイ ダイヒョウリジジリチョウ ウノシュウウジ 愛知県厚生農業協同組合連合会 代表理事理事長 宇野 修二				
4. 臨床研修協力施設の開設者の住所(法人の主たる事務所の所在地)	4 8 0 - 1 1 5 5 (愛知 都・道・府・県) 愛知県長久手市平池 901 番地 電話 : ( 0 5 6 1 ) 6 2 - 3 1 6 1 FAX : ( 0 5 6 1 ) 6 2 - 3 1 8 2				
5. 臨床研修協力施設の管理者の氏名及び役職名	フリガナ コバヤシ 姓 名 小林 真哉	シンヤ 役職名 : 院長			
6. 研修実施責任者の氏名及び役職名	フリガナ コバヤシ 姓 名 小林 真哉	シンヤ 役職名 : 院長			
7. 施設のホームページアドレス	http:// asukehp.or.jp /				
8. 診療科名 <small>当該病院の医療上の標榜診療科について該当する番号全てに○をつけ、該当する診療科がない場合は「99.その他」欄に記入すること。</small>	※	標榜診療科 (番号に○をつけてください) ①.内科 2.呼吸器内科 3.循環器内科 4.消化器内科(胃腸内科) 5.腎臓内科 6.脳神経内科 7.糖尿病内科(代謝内科) 8.血液内科 9.皮膚科 10.アレルギー科 11.リウマチ科 12.感染症内科 ⑬.小児科 14.精神科 15.心療内科 ⑯.外科 17.呼吸器外科 18.心臓血管外科 19.乳腺外科 20.気管食道外科 21.消化器外科(胃腸外科) ⑳.泌尿器科 23.肛門外科 ㉑.脳神経外科 ㉒.整形外科 26.形成外科 27.美容外科 ㉓.眼科 ㉔.耳鼻いんこう科 30.小児外科 31.産婦人科 32.産科 ㉕.婦人科 34.リハビリテーション科 ㉖.放射線科 ㉗.麻酔科 37.病理診断科 38.臨床検査科 39.救急科 99.その他(次に記入してください。)			
		991	科	992	科
		993	科	994	科
		995	科	996	科
		997	科	998	科

# 臨床研修協力施設概況表－２－

病院施設番号： 032048

臨床研修協力施設の名称： 愛知県厚生農業協同組合連合会 足助病院

9. 救急医療の提供の実績	救急病院認定の告示 医療計画上の位置付け	告示年月日：西暦 2023年 2月 3日、告示番号：第 39号 番号に○をつけてください。 1. 初期救急医療機関 <input checked="" type="radio"/> 2. 第二次救急医療機関 3. 第三次救急医療機関
	救急専用診療（処置）室の有無	<input checked="" type="radio"/> 1. 有 ( 27.2 ) m <sup>2</sup> 0. 無
	救急医療の実績	前年度の件数： 1157件（うち診療時間外： 947件） 1日平均件数： 3.2件（うち診療時間外： 2.6件） 救急車取扱件数： 328件（うち診療時間外： 127件）
	診療時間外の勤務体制	医師： 1名、看護師及び准看護師： 1名
	指導を行う者の氏名等	* 臨床研修病院指定申請書の別紙4に記入
	救急医療を提供している診療科	内科系 <input checked="" type="radio"/> 1. 有 0. 無 外科系 <input checked="" type="radio"/> 1. 有 0. 無）、 小児科（1. 有 <input checked="" type="radio"/> 0. 無） その他（ )
10. 医療法上の許可病床数（歯科の病床数を除く。）		1. 一般： 148床、2. 精神： _____床、3. 感染症： _____床 4. 結核： _____床、5. 療養： _____床
11. 診療科ごとの入院患者・外来患者・研修医の数		* 別紙1に記入
12. 病床の種別ごとの平均在院日数(小数第二位四捨五入)		1. 一般： 23.9日、2. 精神： _____日、3. 感染症： _____日、 4. 結核： _____日、5. 療養： 214.3日
13. 前年度の分娩件数 (産婦人科の研修がある場合のみ)		正常分娩件数： _____件、異常分娩件数： _____件
14. 臨床病理検討会 (CPC)の実施 状況 (臨床病理検討会を実施 している場合のみ)	開催回数	前年度実績： 0回、今年度見込： 0回
	指導を行う病理医の氏名等	* 臨床研修病院指定申請書の別紙4に記入
	剖検数	前年度実績： _____件、今年度見込： _____件
	剖検を行う場所	当該医療 <input checked="" type="radio"/> 1. 有 機関の剖 0. 無 ( _____ ) 大学、( _____ ) 病院 検室 _____ 無を選択した場合には、剖検を実施している大学又は病院を記入してください。
15. 研修医のための 宿舎及び研修医 室の有無	研修医の宿舎	<input checked="" type="radio"/> 1. 有（単身用： 5戸、世帯用： _____戸） 0. 無（住宅手当： _____円） 有を選択した場合には、単身用・世帯用に分けて宿舎の戸数を記入してください。 無を選択した場合には、住宅手当の金額を記入してください。住宅手当の支給が無い場合は、「0」と記入してください。
	研修医室	<input checked="" type="radio"/> 1. 有 ( _____室) 0. 無 有を選択した場合には、研修医室の室数を記入してください。
16. 図書、雑誌、イ ンターネット等 が利用できる環 境及び医学教育 用機材の整備状 況	図書室の広さ	( 25.3 ) m <sup>2</sup>
	医学図書数	国内図書： 16冊、国外図書： 7冊
	医学雑誌数	国内雑誌： 22種類、国外雑誌： 2種類
	図書室の利用可能時間	0:00～24:00 24時間表記
	文献データベース等の利用環境	Medline等の文献データベース <input checked="" type="radio"/> 1. 有 0. 無）、 教育用コンテンツ（1. 有 <input checked="" type="radio"/> 0. 無）、 その他（ _____ ) 利用可能時間（0:00～24:00）24時間表記
	医学教育用機材の整備状況	医学教育用シミュレーター（1. 有 <input checked="" type="radio"/> 0. 無）、 その他（ _____ )
17. 精神保健福祉士、作業療法士その他診療要員の配置状況 (精神科の研修を行う施設については記入してください。)		精神保健福祉士： _____名（常勤： _____名、非常勤： _____名）
		作業療法士： _____名（常勤： _____名、非常勤： _____名）
		臨床心理技術者： _____名（常勤： _____名、非常勤： _____名）
		その他の精神科技術職員： _____名（常勤： _____名、非常勤： _____名）



## 臨床研修協力施設概況表－４－

\* 研修プログラムごとに記入してください。

病院施設番号： 032048

臨床研修協力施設の名称： 愛知県厚生農業協同組合連合会 足助病院

		※	
21. 研修医の処遇（続き）	体調不良時に休憩・授乳等に使用できる場所		休憩場所 (1) 有 0. 無 授乳スペース (1) 有 0. 無
	その他育児関連施設・取組があれば記入（院外との連携した取組もあれば記入）		( )
	研修医のライフイベントの相談窓口		1. 有 (0) 無 窓口の名称がある場合記入( ) 窓口の専任担当 1. 有 ( ) 名 0. 無
	各種ハラスメントの相談窓口		窓口の名称を記入 ( 事務管理室 ) 窓口の専任担当 (1) 有 ( 1 名 ) 0. 無

※欄は、記入しないこと。

(記入要領)

- 1 特に定めのあるもののほか、原則として、申請日の属する年度（以下「申請年度」という。）の4月1日現在で作成すること。
- 2 初めて概況表を提出する施設の場合は、記入が必要な全ての項目について記入してください。
- 3 既に病院施設番号を取得している施設については病院施設番号を記入し、前回提出した申請書の内容と異なる項目について記入してください。
- 4 臨床研修協力施設の種類の医療機関である場合、この様式を使用すること。
- 5 (1. 有 0. 無)のように選択形式の項目は、いずれかに○をつけてください。
- 6 ※欄は、記入しないこと。
- 7 「作成責任者の氏名及び連絡先」欄の作成責任者は、記載内容について十分回答できる者とする。また、「所属」欄には、作成責任者の所属施設名を記入すること。
- 8 「診療科名」欄は、臨床研修協力施設が医療機関である場合に、当該施設の医療法上の標榜診療科について該当する番号全てに○をつけ、該当する診療科がない場合は「99. その他」欄に記入すること。
- 9 「救急医療の提供の実績」欄は、臨床研修協力施設が医療機関である場合であって、救急医療を提供している場合に記入するものであること。
  - (1) 「救急病院認定の告示」欄は、「救急病院等を定める省令」(昭和39年厚生省令第186186号)に基づき都道府県知事の救急病院の認定を受けている病院である場合に、告示年月日(西暦)及び告示番号を記入するものであること。
  - (2) 「医療計画上の位置付け」欄は、医療計画上、初期救急医療機関、第二次救急医療機関又は第三次救急医療機関として位置付けられている場合に、該当する番号に○をつけるものであること。
  - (3) 「救急専用診療(処置)室の有無」欄は、救急専用診療(処置)室を有する場合には、「1. 有」に○をつけるとともに、その面積を記入し、有しない場合には、「0. 無」に○をつけること。
  - (4) 「救急医療の実績」欄については、「前年度の件数」は申請年度の前年度の救急取扱件数(来院方法を問わず、全ての件数)、「1日平均件数」は申請年度の前年度の救急取扱件数を年間総日数(365又は366)で除した数、また、「救急車取扱件数」は申請年度の前年度の救急取扱件数のうちで来院方法が救急車によるものの数をそれぞれ記入すること。さらに、これらの件数のうち診療時間外に受け付けた件数について、それぞれの「うち診療時間外」欄に記入すること。
  - (5) 「診療時間外の勤務体制」については、「医師」数は、「救急医療を提供している診療科」の診療時間外の勤務体制における医師数を記入すること。また、「看護師及び准看護師」数は、専ら救急医療を提供するための病棟・外来に勤務する看護師及び准看護師のうち、診療時間外の交代制及び宿日直体制における看護師及び准看護師数を記入すること。
  - (6) 「指導を行う者の氏名等」欄については、救急医療の指導を行う者について臨床研修病院指定申請書の別紙4に記入すること。
  - (7) 「救急医療を提供している診療科」欄は、内科系、外科系又は小児科に係る救急医療の提供の有無について、該当する番号に○をつけ、その他の診療科に係る救急医療を提供している場合には、「その他」欄に当該診療科名を記入すること。
- 10 「医療法上の許可病床数(歯科の病床数を除く。)」欄は、臨床研修協力施設が医療機関である場合であって、許可病床を有している場合に、当該施設の病床の種別ごとの許可病床数を記入すること。
- 11 「診療科ごとの入院患者・外来患者・研修医の数」欄は、臨床研修協力施設が医療機関である場合に、当該施設で行う研修分野に係る診療科について記入することで差し支えないこと。
- 12 「病床の種別ごとの平均在院日数」欄は、臨床研修協力施設が医療機関である場合に記入するものであって、次に掲げる算出式により算出した、申請年度の前年度の平均在院日数を記入すること。ただし、在院患者延日数とは、申請年度の前年度の毎日0時現在の在院患者数を合計した数とすること。なお、在院患者延日数、新入院患者数及び退院患者数については、保険診療であるか否かを問わないものであること。

※ 算出式

$$\frac{\text{在院患者延日数}}{1/2(\text{新入院患者数} + \text{退院患者数})} = \text{平均在院日数 (小数第二位を四捨五入)}$$

- 13 「前年度の分娩件数」欄は、臨床研修協力施設が医療機関であって、産婦人科の研修を行う場合に、申請年度の前年度の正常分娩件数及び異常分娩件数についてそれぞれ記入すること。
- 14 「臨床病理検討会(CPC)の実施状況」欄は、臨床研修協力施設が医療機関であって、臨床病理検討会を開催している場合に記入するものであること。
  - (1) 「開催回数」欄は、申請年度の前年度の開催回数及び申請年度の開催見込数を記入すること。
  - (2) 「剖検数」欄は、申請年度の前年度の剖検件数及び申請年度の剖検見込数を記入すること。
  - (3) 「剖検を行う場所」欄は、剖検を当該医療機関の剖検室で行っている場合は「1. 有」に○をつけること。また、剖検を当該医療機関の剖検室で行っていない場合には、「0. 無」に○をつけるとともに、剖検を大学の剖検室において行っているときは「( ) 大学」に当該大学名を記入し、剖検を他病院の剖検室で行っているときは「( ) 病院」に当該病院名を記入すること。
- 15 「研修医のための宿舎及び研修医室の有無」欄は、臨床研修協力施設が医療機関である場合には必ず記入すること。
  - (1) 「研修医の宿舎」欄は、研修医の利用に供する宿舎(当該施設の敷地の内外を問わない)を有する場合は「1. 有」に○をつけるとともに、「単身用」・「世帯用」のそれぞれの戸数を記入すること。また、研修医のための宿舎を有さない場合は「0. 無」に○をつけるとともに、住宅手当の支給内容(全額支給、一律〇〇円、最低〇〇円から最高〇〇円の範囲内で負担額に応じて支給等)を記入すること(住宅手当を支給していない場合には「0円」と記入すること)。
  - (2) 「研修医室」欄は、研修医室を有する場合は「1. 有」に○をつけるとともに、その室数を記入すること。また、研修医室を有さない場合は「0. 無」に○をつけること。
- 16 「図書、雑誌、インターネット等が利用できる環境及び医学教育用教材の整備状況」欄は、臨床研修協力施設が医療機関である場合には必ず記入すること。
  - (1) 「文献データベース等の利用環境」欄は、Medline等の文献データベース及び教育用コンテンツのそれぞれについて、利用できる場合は「1. 有」に○をつけ、利用できない場合には「0. 無」に○をつけること。また、文献データベース及び教育用コンテンツ以外に、これに類するもので利用できるものがある場合は「その他( )」にその内容を記入すること。
  - (2) 「医学教育用教材の整備状況」欄は、医学教育用シミュレーターの整備の有無について該当する番号に○をつけること。また、臨床研修に必要なそ

の他の医学教育用機材を整備している場合は「その他（ ）」にその内容を記入すること。

- 17 「精神保健福祉士、作業療法士その他診療要員の配置状況」欄は、当該施設が精神科の研修を行う場合に記入するものであり、精神保健福祉士、作業療法士、臨床心理技術者のそれぞれの職種について、職員数及び常勤・非常勤別の内訳数を記入すること。また、これらの職種以外にも精神科に係る技術職員がいる場合は、その職員数及び常勤・非常勤別の内訳数を記入すること。
- 18 「研修プログラムの名称」以降の欄については、研修プログラムごとに別業に記入すること。
- 19 「研修医の指導を行う者の氏名等」欄については、研修医の指導を行う者について臨床研修病院指定申請書の別紙4に記入すること。
- 20 「インターネットを用いた評価システム」欄は、該当するものに○をつけ、「1. 有」を選択した場合は、EPOCかその他を選択すること。
- 21 「研修医の処遇」欄について
  - (1)「処遇の適用」欄については、基幹型臨床研修病院と同一の処遇とする場合には、1に○をつけ（この場合、以降の研修医の処遇の項目については記入しなくても差し支えないこと。）、また、施設独自の処遇とする場合には、2に○をつけること。
  - (2)「研修手当」欄は、研修医の基本的な研修手当について、1年次及び2年次の基本手当の額（税込み）、賞与の支給額を記入すること。基本手当が月給ではない場合にあっては、およその月額を記入すること。時間外手当及び休日手当を支給する場合は、それぞれ「1. 有」に、支給しない場合には「0. 無」に○をつけること。なお、時間外勤務及び休日勤務がある場合においては、時間外手当及び休日手当が支給されるものと考えられること。
  - (3)「勤務時間」欄は、研修医の基本的な勤務時間及び勤務時間中の休憩時間について記入すること。また、「時間外勤務の有無」欄は、時間外勤務がある場合には「1. 有」に、ない場合には「0. 無」に○をつけること。
  - (4)「休暇」欄は、研修医の基本的な休暇の内容について、1年次及び2年次の有給休暇付与日数を記入すること。また、夏季休暇、年末年始休暇の有無について該当するものに○をつけること。また、これら以外に休暇を付与する場合は、その具体的休暇名を記入すること。
  - (5)「当直」欄は、研修医の一月あたりのおよその当直回数について記入すること。
  - (6)「社会保険・労働保険」欄は、研修医に適用される社会保険・労働保険について、「公的医療保険（ ）」欄に「組合健康保険」等と、「公的年金保険（ ）」欄に「厚生年金保険」等と記入し、「労働者災害補償保険法の適用」欄、「国家・地方公務員災害補償法の適用」欄、「雇用保険」欄のそれぞれ該当するものに○をつけること。
  - (7)「健康管理」欄は、研修医の基本的な健康管理について、健康診断の回数を記入すること。また、健康診断以外で健康管理を実施している場合は、「その他」欄に具体的に記入すること。
  - (8)「医師賠償責任保険の扱い」欄は、研修医の医師賠償責任保険の基本的な扱いについて該当するものに○をつけること。
  - (9)「外部の研修活動」欄は、学会、研究会等への参加を認めるか否かについて該当するものに○をつけ、認める場合における参加費用の支給の有無についても、該当するものに○をつけること。
  - (10)「院内保育所」欄は、病院内に保育所等の保育施設を有している場合は「1. 有」に○をし、保育所の基本的な開所時間を記入すること。ない場合には「0. 無」に○をすること。「病児保育」・「夜間保育」欄は、院内保育所で病児保育・夜間保育を行っている場合は、それぞれにつき「1. 有」に○をし、ない場合はそれぞれにつき「0. 無」に○をすること。「上記保育所は研修医の子どもに使用可能か」欄は、上記で回答した保育所に研修医が子どもを預けることが可能な場合は「1. 可」に○をし、預けることができない場合は「0. 不可」に○をすること。
  - (11)「保育補助」欄は、ベビーシッター・一時保育等利用時の補助を病院が行っている場合は「1. 有」に○をし、ない場合は「0. 無」に○をすること。その他に何らかの保育補助を行っている場合は、その他欄にその内容を具体的に記入すること。
  - (12)「体調不良時に休憩・授乳等に使用できる場所」欄は、病院内に研修医が使用できる休憩場所や授乳スペースを有している場合は、それぞれにつき「1. 有」に○をし、ない場合はそれぞれにつき「0. 無」に○をすること。
  - (13)「その他育児関連施設・取組」欄は、上記(10)～(12)に該当しない、育児関連施設を有している場合や育児関連の取組を行っている場合（院外施設・制度との連携した取組も含む）は、回答欄内にその内容を具体的に記入すること。
  - (14)「研修医のライフイベント相談窓口」欄は、病院内に研修医がライフイベントについて相談できる窓口を設置している場合は「1. 有」に○をし、ない場合は「0. 無」に○をすること。「1. 有」を選択した病院は、その窓口の名称がある場合は記載し、窓口の専任担当がいる場合は「1. 有」に○をして、その人数を記載すること、専任担当がいない場合は「0. 無」に○をすること。
  - (15)「各種ハラスメント相談窓口」欄は、病院内に研修医が各種ハラスメントについて相談できる窓口の名称について記載し、窓口の専任担当がいる場合は「1. 有」に○をして、その人数を記載すること、専任担当がいない場合は「0. 無」に○をすること。

11. 診療科ごとの入院患者・外来患者の数

既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入してください。

臨床研修病院の名称：愛知県厚生農業協同組合連合会 足助病院  
 病院施設番号：032048

区 分	内 科	救急部門	外 科	麻酔科 (部門)	小児科	産婦人科	又は		精 神 科	病院で定めた必修 科目の診療科			その他の研修を行 う診療科			合 計	
							産 科	婦 人 科					介 護 医 療 院	療 養 病 棟			
年間入院患者実数 ( ) 内は救急件数又は分娩件数	876	( )	447			( )	( )							78			1401
年間新外来患者数	2007		1978	0				28									4013
1日平均外来患者数 ( ) 内は年間外来診療日数	109.4 (245)	( )	130.8 (245)	( )	2.5 (241)	( )	( )	3.0 (91)	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	
平均在院日数	24.9		24.0											214.3			
常勤医師数 (うち臨床研修指導医(指導医) 数)	12 (6)	( )	4 (2)	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	16 (8)

※ 「年間入院患者実数」とは、提出年度の前々年度の繰越患者数に提出年度の前年度中における新入院患者数を加えた数とすること。「年間新外来患者数」とは、提出年度の前年度中に来院した外来患者のうち、初診料を算定した患者数とすること。「1日平均外来患者数」とは、年間外来患者延数÷年間外来診療日数による数（小数第二位を四捨五入）とすること。「病院で定めた必修科目の診療科」欄等が足りない場合には、続紙（様式自由）に記載し添付すること。「救急件数」及び「分娩件数」とは、10. の救急医療の実績の前年度の件数及び 14. の正常分娩件数と異常分娩件数の合計とすること。

※ 「内科」とは、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、神経内科等を含めた広義の内科のうち基本研修科目の内科分野の研修を行う診療科であり、「外科」とは、心臓血管外科、呼吸器外科、脳外科等を含めた広義の外科のうち基本研修科目の外科分野の研修を行う診療科であること。

## 11. 診療科ごとの研修医の数

既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入してください。

( 5 年度分)								臨床研修病院の名称： 愛知県厚生農業協同組合連合会 足助病院						
								病院施設番号：						
基幹型臨床研修病院名	担当分野	1～ 4 週	5～ 8 週	9～ 12 週	13～ 16 週	17～ 20 週	21～ 24 週	25～ 28 週	29～ 32 週	33～ 36 週	37～ 40 週	41～ 44 週	45～ 48 週	49～ 52 週
安城更生病院	地域医療	1	1.7	0.5	2.2	0.5	0.2	1.3	1	1	2	2	0.5	
豊田厚生病院	地域医療	0.7	0.5	1	0.2	0.8		1	1		0.7	1	0.3	
国立長寿研究センター	地域医療						0.5							
愛知医科大学病院	地域医療		0.5	1	0.5					1				
西部医療センター	地域医療			0.7	0.3		0.5			1				
江南厚生病院	地域医療			1	1	1	0.5	1	1	1				
名古屋市立大学病院	地域医療	0.7	1	1	0.3		0.7	0.3	1	1				
碧南市民病院	地域医療							0.7	0.7			0.7	1	
公立陶生病院	地域医療					0.7								
八千代病院	地域医療				1	1	1							
トヨタ記念病院	地域医療						1			1				
中部労災病院	地域医療							0.5						
渥美病院	地域医療		0.5		0.3	0.7								

※ 年次報告の場合は提出年度の前年度の実績分及び提出年度分の想定を別葉で作成し、研修プログラム変更・新設届出の場合は、届出年度の次年度分、次々年度分の想定を別葉で作成すること。

※ 当該病院が上記の年度に受け入れた、又は受け入れる予定の研修医の数を、基幹型臨床研修病院別及び担当分野別に記入すること。当該病院が基幹型臨床研修病院であり、かつ協力型臨床研修病院として研修医を受け入れている場合は、協力型臨床研修病院として受け入れている人数も含めて、全ての人数を記入すること。

※ 「基幹型臨床研修病院名」欄は、当該病院が基幹型臨床研修病院の場合は、当該病院を一番上に記入することとし、次に協力型臨床研修病院として受け入れている基幹型臨床研修病院名を記入すること。

※ 基幹型臨床研修病院及び担当分野ごとに各4週ごとに受け入れる研修医の延人数（研修期間4週について1人とすること）を記入すること。

※ 「担当分野」欄には、内科、救急部門、地域医療、外科、麻酔科、小児科、産婦人科及び精神科のみを記入し、選択科については記入しないこと。ただし、一般外来については、他科との並行研修ではなく、単独で実施する場合に限り記入すること。また、当該病院が基幹型臨床研修病院であるとき、病院が定めた必修科目が上記以外にある場合には、その科目も含めて記入すること。

## 11. 診療科ごとの研修医の数

既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入してください。

( 6年度分)								臨床研修病院の名称： 愛知県厚生農業協同組合連合会 足助病院						
								病院施設番号：						
基幹型臨床研修病院名	担当分野	1～ 4週	5～ 8週	9～ 12週	13～ 16週	17～ 20週	21～ 24週	25～ 28週	29～ 32週	33～ 36週	37～ 40週	41～ 44週	45～ 48週	49～ 52週
安城更生病院	地域医療	0.7	1.7	0.5	1	2	2	1	0.7	0.3	1.5	2	1	
豊田厚生病院	地域医療	0.7	0.3	1	1			2	1	1	1	1	2	
国立長寿研究センター	地域医療													
愛知医科大学病院	地域医療		0.5	1	0.5					1				
西部医療センター	地域医療							1		1				
江南厚生病院	地域医療			1	0.5	1	0.5	0.5	1	0.5			0.5	
名古屋市立大学病院	地域医療		0.5	1	1		1		1	1		1		
碧南市民病院	地域医療			0.7	0.5	0.7						0.5	0.7	
公立陶生病院	地域医療					0.7								
八千代病院	地域医療				0.5	1	0.5	1	1			1		
トヨタ記念病院	地域医療						1			1				
中部労災病院	地域医療								0.5					
渥美病院	地域医療		0.5			0.7								
名古屋第二赤十字病院							1							

※ 年次報告の場合は提出年度の前年度の実績分及び提出年度分の想定を別葉で作成し、研修プログラム変更・新設届出の場合は、届出年度の次年度分、次々年度分の想定を別葉で作成すること。

※ 当該病院が上記の年度に受け入れた、又は受け入れる予定の研修医の数を、基幹型臨床研修病院別及び担当分野別に記入すること。当該病院が基幹型臨床研修病院であり、かつ協力型臨床研修病院として研修医を受け入れている場合は、協力型臨床研修病院として受け入れている人数も含めて、全ての人数を記入すること。

※ 「基幹型臨床研修病院名」欄は、当該病院が基幹型臨床研修病院の場合は、当該病院を一番上に記入することとし、次に協力型臨床研修病院として受け入れている基幹型臨床研修病院名を記入すること。

※ 基幹型臨床研修病院及び担当分野ごとに各4週ごとに受け入れる研修医の延人数（研修期間4週について1人とすること）を記入すること。

※ 「担当分野」欄には、内科、救急部門、地域医療、外科、麻酔科、小児科、産婦人科及び精神科のみを記入し、選択科については記入しないこと。ただし、一般外来については、他科との並行研修ではなく、単独で実施する場合に限り記入すること。また、当該病院が基幹型臨床研修病院であるとき、病院が定めた必修科目が上記以外にある場合には、その科目も含めて記入すること。

## 11. 診療科ごとの研修医の数

既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入してください。

( 7年度分)								臨床研修病院の名称： 愛知県厚生農業協同組合連合会 足助病院						
								病院施設番号：						
基幹型臨床研修病院名	担当分野	1～ 4週	5～ 8週	9～ 12週	13～ 16週	17～ 20週	21～ 24週	25～ 28週	29～ 32週	33～ 36週	37～ 40週	41～ 44週	45～ 48週	49～ 52週
安城更生病院	地域医療	0.7	1.7	0.5	1	2	2	1	0.7	0.3	1.5	2	1	
豊田厚生病院	地域医療	0.7	0.3	1	1			2	1	1	1	1	2	
国立長寿研究センター	地域医療													
愛知医科大学病院	地域医療		0.5	1	0.5					1				
西部医療センター	地域医療							1		1				
江南厚生病院	地域医療			1	0.5	1	0.5	0.5	1	0.5			0.5	
名古屋市立大学病院	地域医療		0.5	1	1		1		1	1		1		
碧南市民病院	地域医療			0.7	0.5	0.7						0.5	0.7	
公立陶生病院	地域医療					0.7								
八千代病院	地域医療				0.5	1	0.5	1	1			1		
トヨタ記念病院	地域医療						1			1				
中部労災病院	地域医療								0.5					
渥美病院	地域医療		0.5			0.7								
名古屋第二赤十字病院							1							

※ 年次報告の場合は提出年度の前年度の実績分及び提出年度分の想定を別葉で作成し、研修プログラム変更・新設届出の場合は、届出年度の次年度分、次々年度分の想定を別葉で作成すること。

※ 当該病院が上記の年度に受け入れた、又は受け入れる予定の研修医の数を、基幹型臨床研修病院別及び担当分野別に記入すること。当該病院が基幹型臨床研修病院であり、かつ協力型臨床研修病院として研修医を受け入れている場合は、協力型臨床研修病院として受け入れている人数も含めて、全ての人数を記入すること。

※ 「基幹型臨床研修病院名」欄は、当該病院が基幹型臨床研修病院の場合は、当該病院を一番上に記入することとし、次に協力型臨床研修病院として受け入れている基幹型臨床研修病院名を記入すること。

※ 基幹型臨床研修病院及び担当分野ごとに各4週ごとに受け入れる研修医の延人数（研修期間4週について1人とする）を記入すること。

※ 「担当分野」欄には、内科、救急部門、地域医療、外科、麻酔科、小児科、産婦人科及び精神科のみを記入し、選択科については記入しないこと。ただし、一般外来については、他科との並行研修ではなく、単独で実施する場合に限り記入すること。また、当該病院が基幹型臨床研修病院であるとき、病院が定めた必修科目が上記以外にある場合には、その科目も含めて記入すること。

## 3 1. 臨床研修指導医（指導医）等の氏名等

病院施設番号：032048

臨床研修病院の名称：愛知県厚生農業協同組合連合会 足助病院

担当分野	氏名	所属	役職	臨床経験年数	指導医講習会等の受講経験 有：○ 無：×	資格等	プログラム番号	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 臨床研修指導医（指導医）
地域医療	早川富博	足助病院	名誉院長	49	○	日本内科学会認定医、産業医	へき地医療臨床研修プログラム	4
〃	小林真哉	〃	病院長	32	○	日本内科学会認定医、日本消化器病学会専門医、日本消化器内視鏡学会指導医 産業医	〃	1. 3. 4
〃	正木克由規	〃	診療部長	25	○	日本内科学会認定医、日本循環器学会循環器専門医 総合内科専門医 日本プライマリケア指導医 プライマリケア認定医 産業医	〃	4
〃	安藤 望	〃	内科病棟部長兼内視鏡部長	20	○	日本内科学会認定医、総合内科専門医	〃	4
〃	長橋 究	〃	麻酔科総合内科医長	16	○	プライマリケア認定医	〃	4
〃	米田恵理子	〃	内科医長	39	○	日本内科学会認定医	〃	4
〃	森下 真圭	〃	内科医長	12	○	日本内科学会認定医	〃	4

※ 「担当分野」欄には、様式 10 別紙 3 の臨床研修を行う分野及び病理（CPC）を記入すること。

※ 「所属」欄には、臨床研修指導医（指導医）等が所属する病院又は施設の名称を記入すること。

※ 「資格等」欄には、受講した指導医講習会名称や、取得した専門医資格等について記入すること。

※ 「プログラム番号」欄には、臨床研修指導医（指導医）等が担当するすべてのプログラム番号を記入すること（プログラム番号を取得していない場合には研修プログラムの名称を記入すること）。

※ プログラム責任者、副プログラム責任者、研修実施責任者及び臨床研修指導医（指導医）については、「備考」欄にそれぞれに応じた番号を記入し、併せてプログラム番号を記入すること（プログラム番号を取得していない場合には研修プログラムの名称を記入すること）。

\* 研修実施責任者・・・協力型臨床研修病院又は臨床研修協力施設において、当該施設における臨床研修の実施を管理する者

\* 臨床研修指導医（指導医）・・・研修医に対する指導を行う医師であり、7年（84月）以上の臨床経験及び指導医養成講習会等の受講経験を有する者

※ 地域医療重点プログラムにおいては、地域医療の指導医を必ず記載すること

※ 欄が足りない場合には、コピーにより対応し、「(No. )」欄にページ数を記入すること。

## 臨床研修協力施設概況表－1－

医療機関用

記入日：西暦 2024 年 4 月 11 日

病院施設番号 既に番号を取得している施設については病院施設番号を記入してください。		臨床研修病院群の名称 臨床研修病院群を構成する場合に記入してください。 既に臨床研修病院群番号を有している臨床研修病院群については、番号も記入してください。	名称 番号
作成責任者の氏名及び連絡先 本調査表の間合せに対して回答できる作成責任者について記入してください。	フリガナ スガヌマ タカヨ 氏名(姓) (名) 菅沼 卓世	所属 新城市 健康福祉部 作手診療所(直通電話(0536)37-2133) 役職 副参事	e-mail : <a href="mailto:tkd-shinryo@city.shinshiro.lg.jp">tkd-shinryo@city.shinshiro.lg.jp</a> (携帯電話のメールアドレスは不可とします。)
1. 臨床研修協力施設の名称	フリガナ シンシロシツクデシンリョウジョ 新城市作手診療所		
2. 臨床研修協力施設の所在地	〒441-1423 (愛知 都・道・府・県) 新城市作手高里字縄手上10番地1 電話：(0536)37-2133 F A X：(0536)37-2028		
3. 臨床研修協力施設の開設者の氏名(法人の名称)	フリガナ シンシロシツクデシンリョウジョ カイセツシャ シンシロシチョウ シモエヒロユキ 新城市作手診療所 開設者 新城市長 下江 洋行		
4. 臨床研修協力施設の開設者の住所(法人の主たる事務所の所在地)	〒441-1392 (愛知 都・道・府・県) 新城市字東入船115番地 電話：(0536)23-1111(代表) F A X：(0536)23-2002		
5. 臨床研修協力施設の管理者の氏名及び役職名	フリガナ マエダ 姓 前田	ヒデト 名 英登	役職名： 所長
6. 研修実施責任者の氏名及び役職名	フリガナ マエダ 姓 前田	ヒデト 名 英登	役職名： 所長
7. 施設のホームページアドレス	<a href="https://www.city.shinshiro.lg.jp/mokuteki/shisetu/fukushi-iryo/tsukude-shinryojyo.html">https://www.city.shinshiro.lg.jp/mokuteki/shisetu/fukushi-iryo/tsukude-shinryojyo.html</a>		
8. 診療科名 当該病院の医療法上の標ぼう診療科について該当する番号すべてに○をつけ、該当する診療科がない場合は「99. その他」欄に記入すること。	※ 標ぼう診療科(番号に○をつけてください) ①. 内科 2. 呼吸器内科 3. 循環器内科 4. 消化器内科 5. 気管食道内科 6. 神経内科 7. 心療内科 8. 性感染症内科 ⑨. 外科 10. 呼吸器外科 11. 心臓血管外科 12. 消化器外科 13. 小児外科 14. 気管食道外科 15. 肛門外科 ⑩. 整形外科 17. 脳神経外科 18. 形成外科 19. 美容外科 20. 精神科 21. アレルギー科 22. リウマチ科 ⑪. 小児科 24. 皮膚科 25. 泌尿器科 26. 産婦人科 27. 産科 28. 婦人科 29. 眼科 30. 耳鼻咽喉科 31. リハビリテーション科 32. 放射線科 33. 病理診断科 34. 臨床検査科 35. 救急科 99. その他(次に記入してください) 901 科 902 科 903 科 904 科 905 科 906 科 907 科 908 科 909 科 910 科		

# 臨床研修協力施設概況表－２－

病院施設番号： 032770

臨床研修協力施設の名称： 新城市作手診療所

9. 救急医療の提供 の実績	救急病院認定の告示 医療計画上の位置付け	告示年月日：西暦 年 月 日、告示番号：第 号 番号に〇をつけてください。 <input checked="" type="checkbox"/> 1. 初期救急医療機関 2. 第二次救急医療機関 3. 第三次救急医療機関
	救急専用診療（処置）室の有無	1. 有 ( ) m <sup>2</sup> <input type="checkbox"/> 0. 無
	救急医療の実績	前年度の件数： 0 件（うち診療時間外： 件） 1日平均件数： 0 件（うち診療時間外： 件） 救急車取扱件数： 0 件（うち診療時間外： 件）
	診療時間外の勤務体制	医師： 1 名、看護師及び准看護師： 1 名
	指導を行う者の氏名等	* 臨床研修病院指定申請書の別紙4に記入
	救急医療を提供している診療科	内科系 <input checked="" type="checkbox"/> 1. 有 0. 無) 外科系 <input checked="" type="checkbox"/> 1. 有 0. 無)、 小児科 <input checked="" type="checkbox"/> 1. 有 0. 無) その他 ( )
10. 医療法上の許可病床数（歯科の病床数を除く。）		1. 一般： 2 床、2. 精神： 床、3. 感染症： 床 4. 結核： 床、5. 療養： 床
11. 診療科ごとの入院患者・外来患者・研修医の数		* 別紙1に記入
12. 病床の種別ごとの平均在院日数（小数第二位四捨五入）		1. 一般： 日、2. 精神： 日、3. 感染症： 日、 4. 結核： 日、5. 療養： 日
13. 前年度の分娩件数 <small>（産婦人科の研修がある場合のみ）</small>		正常分娩件数： 件、異常分娩件数： 件
14. 臨床病理検討会 （CPC）の実施 状況  <small>（臨床病理検討会を実施 している場合のみ）</small>	開催回数	前年度実績： 回、今年度見込： 回
	指導を行う病理医の氏名等	* 臨床研修病院指定申請書の別紙4に記入
	剖検数	前年度実績： 件、今年度見込： 件
	剖検を行う場所	当該医療機関の剖検室 1. 有 0. 無 ( ) 大学、( ) 病院 無を選択した場合には、剖検を実施している大学又は病院を記入してください。
15. 研修医のための 宿舎及び研修医 室の有無	研修医の宿舎	1. 有（単身用： 戸、世帯用： 戸） <input type="checkbox"/> 0. 無（住宅手当： 0 円） 有を選択した場合には、単身用・世帯用に分けて宿舎の戸数を記入してください。 無を選択した場合には、住宅手当の金額を記入してください。住宅手当の支給が無い場合は、「0」と記入してください。
	研修医室	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有 ( 1 室) 0. 無 有を選択した場合には、研修医室の室数を記入してください。
16. 図書、雑誌、イ ンターネット等 が利用できる環 境及び医学教育 用機材の整備状 況	図書室の広さ	( ) m <sup>2</sup>
	医学図書数	国内図書： 冊、国外図書： 冊
	医学雑誌数	国内雑誌： 種類、国外雑誌： 種類
	図書室の利用可能時間	: ~ : 24 時間表記
	文献データベース等の利用環境	Medline 等の文献データベース（1. 有 <input type="checkbox"/> 0. 無）、 教育用コンテンツ（1. 有 <input type="checkbox"/> 0. 無）、 その他 ( ) 利用可能時間 ( : ~ : ) 24 時間表記
	医学教育用機材の整備状況	医学教育用シミュレーター（1. 有 <input type="checkbox"/> 0. 無）、 その他 ( )
17. 精神保健福祉士、作業療法士その他診療要員の配置状況 <small>（精神科の研修を行う施設については記入してください。）</small>	精神保健福祉士	名（常勤： 名、非常勤： 名）
	作業療法士	名（常勤： 名、非常勤： 名）
	臨床心理技術者	名（常勤： 名、非常勤： 名）
	その他の精神科技術職員	名（常勤： 名、非常勤： 名）



(記入要領)

- 1 特に定めのあるもののほか、原則として、申請日の属する年度（以下「申請年度」という。）の4月1日現在で作成すること。
- 2 初めて概況表を提出する施設の場合は、記入が必要なすべての項目について記入してください。
- 3 既に病院施設番号を取得している施設については病院施設番号を記入し、前回提出した申請書の内容と異なる項目について記入してください。
- 4 (医療機関のみ)と記載されている項目は、当該施設が医療機関である場合にのみ記入してください。
- 5 (1. 有 0. 無)のように選択形式の項目は、いずれかに○をつけてください。
- 6 ※欄は、記入しないこと。
- 7 臨床研修協力施設の種類に応じて、「1. 医療機関 2. その他の機関」の番号に○をつけること。
- 8 「作成責任者の氏名及び連絡先」欄の作成責任者は、記載内容について十分回答できる者とする。また、「所属」欄には、作成責任者の所属施設名を記入すること。
- 9 「診療科名」欄は、臨床研修協力施設が医療機関である場合に、当該施設の医療法上の標ぼう診療科について該当する番号すべてに○をつけ、該当する診療科がない場合は「99. その他」欄に記入すること。
- 10 「救急医療の提供の実績」欄は、臨床研修協力施設が医療機関である場合であって、救急医療を提供している場合に記入するものであること。
  - (1)「救急病院認定の告示」欄は、「救急病院等を定める省令」(昭和39年厚生省令第186号)に基づき都道府県知事の救急病院の認定を受けている病院である場合に、告示年月日(西暦)及び告示番号を記入するものであること。
  - (2)「医療計画上の位置付け」欄は、医療計画上、初期救急医療機関、第二次救急医療機関又は第三次救急医療機関として位置付けられている場合に、該当する番号に○をつけるものであること。
  - (3)「救急専用診療(処置)室の有無」欄は、救急専用診療(処置)室を有する場合には、「1. 有」に○をつけるとともに、その面積を記入し、有しない場合には、「0. 無」に○をつけること。
  - (4)「救急医療の実績」欄については、「前年度の件数」は申請年度の前年度の救急取扱件数(来院方法を問わず、すべての件数)、「1日平均件数」は申請年度の前年度の救急取扱件数を年間総日数(365又は366)で除した数、また、「救急車取扱件数」は申請年度の前年度の救急取扱件数のうちで来院方法が救急車によるものの数をそれぞれ記入すること。さらに、これらの件数のうち診療時間外に受け付けた件数について、それぞれの「うち診療時間外」欄に記入すること。
  - (5)「診療時間外の勤務体制」については、「医師」数は、「救急医療を提供している診療科」の診療時間外の勤務体制における医師数を記入すること。また、「看護師及び准看護師」数は、専ら救急医療を提供するための病棟・外来に勤務する看護師及び准看護師のうち、診療時間外の交代制及び宿日直体制における看護師及び准看護師数を記入すること。
  - (6)「指導を行う者の氏名等」欄については、救急医療の指導を行う者について臨床研修病院指定申請書の別紙4に記入すること。
  - (7)「救急医療を提供している診療科」欄は、内科系、外科系又は小児科に係る救急医療の提供の有無について、該当する番号に○をつけ、その他の診療科に係る救急医療を提供している場合には、「その他」欄に当該診療科名を記入すること。
- 11 「医療法上の許可病床数(歯科の病床数を除く。)」欄は、臨床研修協力施設が医療機関である場合であって、許可病床を有している場合に、当該施設の病床の種別ごとの許可病床数を記入すること。
- 12 「診療科ごとの入院患者・外来患者・研修医の数」欄は、臨床研修協力施設が医療機関である場合に、当該施設で行う研修分野に係る診療科について記入することで差し支えないこと。
- 13 「病床の種別ごとの平均在院日数」欄は、臨床研修協力施設が医療機関である場合に記入するものであって、次に掲げる算出式により算出した、申請年度の前年度の平均在院日数を記入すること。ただし、在院患者延日数とは、申請年度の前年度の毎日午後12時現在の在院患者数を合計した数とする。なお、在院患者延日数、新入院患者数及び退院患者数については、保険診療であるか否かを問わないものであること。

※ 算出式

$$\frac{\text{在院患者延日数}}{1/2(\text{新入院患者数} + \text{退院患者数})} = \text{平均在院日数 (小数第二位を四捨五入)}$$

- 14 「前年度の分娩件数」欄は、臨床研修協力施設が医療機関であって、産婦人科の研修を行う場合に、申請年度の前年度の正常分娩件数及び異常分娩件数についてそれぞれ記入すること。
- 15 「臨床病理検討会(CPC)の実施状況」欄は、臨床研修協力施設が医療機関であって、臨床病理検討会を開催している場合に記入するものであること。
  - (1)「開催回数」欄は、申請年度の前年度の開催回数及び申請年度の開催見込数を記入すること。
  - (2)「剖検数」欄は、申請年度の前年度の剖検件数及び申請年度の剖検見込数を記入すること。
  - (3)「剖検を行う場所」欄は、剖検を当該医療機関の剖検室で行っている場合は「1. 有」に○をつけること。また、剖検を当該医療機関の剖検室で行っていない場合には、「0. 無」に○をつけるとともに、剖検を大学の剖検室において行っているときは「( ) 大学」に当該大学名を記入し、剖検を他病院の剖検室で行っているときは「( ) 病院」に当該病院名を記入すること。
- 16 「研修医のための宿舎及び研修医室の有無」欄は、臨床研修協力施設が医療機関である場合には必ず記入すること。
  - (1)「研修医の宿舎」欄は、研修医の利用に供する宿舎(当該施設の敷地の内外を問わない。)を有する場合は「1. 有」に○をつけるとともに、「単身用」・「世帯用」のそれぞれの戸数を記入すること。また、研修医のための宿舎を有さない場合は「0. 無」に○をつけるとともに、住宅手当の支給内容(全額支給、一律〇〇円、最低〇〇円から最高〇〇円の範囲内で負担額に応じて支給等)を記入すること(住宅手当を支給していない場合には「0円」と記入すること)。
  - (2)「研修医室」欄は、研修医室を有する場合は「1. 有」に○をつけるとともに、その室数を記入すること。また、研修医室を有さない場合は「0. 無」に○をつけること。
- 17 「図書、雑誌、インターネット等が利用できる環境及び医学教育用教材の整備状況」欄は、臨床研修協力施設が医療機関である場合には必ず記入すること。
  - (1)「文献データベース等の利用環境」欄は、Medline等の文献データベース及び教育用コンテンツのそれぞれについて、利用できる場合は「1. 有」に○をつけ、利用できない場合には「0. 無」に○をつけること。また、文献データベース及び教育用コンテンツ以外に、これに類するもので利用できるものがある場合は「その他( )」にその内容を記入すること。

- (2)「医学教育用機材の整備状況」欄は、医学教育用シミュレーターの整備の有無について該当する番号に○をつけること。また、臨床研修に必要なその他の医学教育用機材を整備している場合は「その他（ ）」にその内容を記入すること。
- 18 「精神保健福祉士、作業療法士その他診療要員の配置状況」欄は、当該施設が精神科の研修を行う場合に記入するものであり、精神保健福祉士、作業療法士、臨床心理技術者のそれぞれの職種について、職員数及び常勤・非常勤別の内訳数を記入すること。また、これらの職種以外にも精神科に係る技術職員がいる場合は、その職員数及び常勤・非常勤別の内訳数を記入すること。
- 19 「研修プログラムの名称」以降の欄については、研修プログラムごとに別葉に記入すること。
- 20 「研修医の指導を行う者の氏名等」欄については、研修医の指導を行う者について臨床研修病院指定申請書の別紙4に記入すること。
- 21 「インターネットを用いた評価システム」欄は、該当するものに○をつけ、「1. 有」を選択した場合は、EPOCかその他を選択すること。
- 22 「研修医の処遇」欄について
- (1)「処遇の適用」欄については、基幹型臨床研修病院と同一の処遇とする場合には、1に○をつけ（この場合、以降の研修医の処遇の項目については記入しなくても差し支えないこと。）、また、施設独自の処遇とする場合には、2に○をつけること。
- (2)「研修手当」欄は、研修医の基本的な研修手当について、1年次及び2年次の基本手当の額（税込み）、賞与の支給額を記入すること。基本手当が月給ではない場合にあっては、およその月額を記入すること。時間外手当及び休日手当を支給する場合は、それぞれ「1. 有」に、支給しない場合には「0. 無」に○をつけること。なお、時間外勤務及び休日勤務がある場合においては、時間外手当及び休日手当が支給されるものと考えられること。
- (3)「勤務時間」欄は、研修医の基本的な勤務時間及び勤務時間中の休憩時間について記入すること。また、「時間外勤務の有無」欄は、時間外勤務がある場合には「1. 有」に、ない場合には「0. 無」に○をつけること。
- (4)「休暇」欄は、研修医の基本的な休暇の内容について、1年次及び2年次の有給休暇付与日数を記入すること。また、夏季休暇、年末年始休暇の有無について該当するものに○をつけること。また、これら以外に休暇を付与する場合は、その具体的休暇名を記入すること。
- (5)「当直」欄は、研修医の一月あたりのおよその当直回数について記入すること。
- (6)「社会保険・労働保険」欄は、研修医に適用される社会保険・労働保険について、「公的医療保険（ ）」欄に「組合健康保険」等と、「公的年金保険（ ）」欄に「厚生年金保険」等と記入し、「労働者災害補償保険法の適用」欄、「国家・地方公務員災害補償法の適用」欄、「雇用保険」欄のそれぞれ該当するものに○をつけること。
- (7)「健康管理」欄は、研修医の基本的な健康管理について、健康診断の回数を記入すること。また、健康診断以外で健康管理を実施している場合は、「その他」欄に具体的に記入すること。
- (8)「医師賠償責任保険の扱い」欄は、研修医の医師賠償責任保険の基本的な扱いについて該当するものに○をつけること。
- (9)「外部の研修活動」欄は、学会、研究会等への参加を認めるか否かについて該当するものに○をつけ、認める場合における参加費用の支給の有無についても、該当するものに○をつけること。

1 1. 診療科ごとの入院患者・外来患者の数

既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入してください。

臨床研修病院の名称： 新城市作手診療所  
 病院施設番号：

区 分	内 科	救急部門	外 科	麻酔科 (部門)	小児科	産婦人科	又は		精 神 科	病院で定めた必修 科目の診療科			その他の研修を行 う診療科			合 計
							産 科	婦 人 科								
年間入院患者実数 ( ) 内は救急件数又は分娩件数		( )				( )	( )									
年間新外来患者数	214															214
1日平均外来患者数 ( ) 内は年間外来診療日数	17 (244)	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	
平均在院日数																
常勤医師数 (うち臨床研修指導医(指導 医)数)	1 ( 1 )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	1 ( 1 )

※ 「年間入院患者実数」とは、申請年度の前々年度の繰越患者数に申請年度の前年度中における新入院患者数を加えた数とすること。「年間新外来患者数」とは、申請年度の前年度中に来院した外来患者のうち、初診料を算定した患者数とすること。「1日平均外来患者数」とは、年間外来患者延数÷年間外来診療日数による数(小数第二位を四捨五入)とすること。「病院で定めた必修科目の診療科」欄等が足りない場合には、続紙(様式自由)に記載し添付すること。「救急件数」及び「分娩件数」とは、11.の救急医療の実績の前年度の件数及び15.の正常分娩件数と異常分娩件数の合計とすること。

※ 「内科」とは、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、神経内科等を含めた広義の内科のうち基本研修科目の内科分野の研修を行う診療科であり、「外科」とは、心臓血管外科、呼吸器外科、脳外科等を含めた広義の外科のうち基本研修科目の外科分野の研修を行う診療科であること。

(No. )

## 27. 臨床研修指導医（指導医）等の氏名等

病院施設番号：

臨床研修病院の名称：新城市作手診療所

担当分野	氏名	所属	役職	臨床経験 年数	指導医講習 会等の受講 経験 有：○ 無：×	資格等	プログラム番号	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 臨床研修指導医 (指導医)
地域医療	前田 英登	作手診療所	所長	21	○	プライマリア学会認定 医・指導医 日本専門医機構総 合診療専門研修特 任指導医 日本地域医療学会 地域総合診療専門 研修指導医 172 回臨床研修指 導医講習会		3

※ 「担当分野」欄には、様式1別紙3の臨床研修を行う分野及び病理（CPC）を記入すること。

※ 「所属」欄には、臨床研修指導医（指導医）等が所属する病院又は施設の名称を記入すること。

※ 「資格等」欄には、受講した指導医講習会名称や、取得した専門医資格等について記入すること。

※ 「プログラム番号」欄には、臨床研修指導医（指導医）等が担当するすべてのプログラム番号を記入すること（プログラム番号を取得していない場合には研修プログラムの名称を記入すること）。

※ プログラム責任者、副プログラム責任者、研修実施責任者及び臨床研修指導医（指導医）については、「備考」欄にそれぞれに応じた番号を記入し、併せてプログラム番号を記入すること（プログラム番号を取得していない場合には研修プログラムの名称を記入すること）。

\* 研修実施責任者・・・協力型臨床研修病院又は臨床研修協力施設において、当該施設における臨床研修の実施を管理する者

\* 臨床研修指導医（指導医）・・・研修医に対する指導を行う医師であり、7年（84月）以上の臨床経験及び指導医養成講習会等の受講経験を有する者

※ 欄が足りない場合には、コピーにより対応し、「(No. )」欄にページ数を記入すること。

## 臨床研修協力施設概況表－1－

医療機関用

記入日：西暦 2024 年 4 月 22 日

病院施設番号 既に番号を取得している施設については病院施設番号を記入してください。	032815		臨床研修病院群の名称 臨床研修病院群を構成する場合に記入してください。 既に臨床研修病院群番号を有している臨床研修病院群については、番号も記入してください。	名称 知多厚生病院臨床研修病院群 番号 0309414	
作成責任者の氏名及び連絡先 本調査表の間合せに対して回答できる作成責任者について記入してください。	フリガナ アサノ アキヒロ 氏名（姓） 浅野 氏名（名） 彰大	所属 愛知県厚生農業協同組合連合会知多厚生病院 (内線 4523) 役職 総務係長 (直通電話 (0569) 82-0395) e-mail : c-hospital@chita.jaaikosei.or.jp (携帯電話のメールアドレスは不可とします。)			
1. 臨床研修協力施設の名称	フリガナ アイチノコウセイノウキョウトウカミアレンゴウカイチカウセトクホクノシヨウジヨ 愛知県厚生農業協同組合連合会知多厚生病院附属篠島診療所				
2. 臨床研修協力施設の所在地	〒 470-3505 (愛知県) 知多郡南知多町大字篠島字神戸 301 の 1 電話 : (0569) 67-2267 FAX : (0569) 67-2267				
3. 臨床研修協力施設の開設者の氏名（法人の名称）	フリガナ アイチノコウセイノウキョウトウカミアレンゴウカイ 愛知県厚生農業協同組合連合会				
4. 臨床研修協力施設の開設者の住所（法人の主たる事務所の所在地）	〒 480-1155 (愛知県) 長久手市平池 901 番地 電話 : (0561) 62-3161 FAX : (0561) 62-3182				
5. 臨床研修協力施設の管理者の氏名及び役職名	フリガナ ホリ 姓 保里	ケイイチ 名 恵一	役職名：診療所長		
6. 研修実施責任者の氏名及び役職名	フリガナ ホリ 姓 保里	ケイイチ 姓 恵一	役職名：診療所長		
7. 施設のホームページアドレス	http://				
8. 診療科名 当該病院の医療上の標ぼう診療科について該当する番号すべてに○をつけ、該当する診療科がない場合は「99.その他」欄に記入すること。		※	標ぼう診療科（番号に○をつけてください。） ①内科 2.呼吸器内科 3.循環器内科 4.消化器内科 5.気管食道内科 6.神経内科 7.心療内科 8.性感染症内科 9.外科 10.呼吸器外科 11.心臓血管外科 12.消化器外科 13.小児外科 14.気管食道外科 15.肛門外科 16.整形外科 17.脳神経外科 18.形成外科 19.美容外科 20.精神科 21.アレルギー科 22.リウマチ科 ②小児科 24.皮膚科 25.泌尿器科 26.産婦人科 27.産科 28.婦人科 29.眼科 30.耳鼻咽喉科 31.リハビリテーション科 32.放射線科 33.病理診断科 34.臨床検査科 35.救急科 99.その他（次に記入してください。）		
		901	科	902	科
		903	科	904	科
		905	科	906	科
		907	科	908	科
		909	科	910	科

## 臨床研修協力施設概況表－２－

病院施設番号：032815

臨床研修協力施設の名称：愛知県厚生農業協同組合連合会知多厚生病院附属篠島診療所

9. 救急医療の提供の実績	救急病院認定の告示 医療計画上の位置付け	告示年月日：西暦 年 月 日、告示番号：第 号 番号に○をつけてください。 1. 初期救急医療機関 2. 第二次救急医療機関 3. 第三次救急医療機関
	救急専用診療（処置）室の有無	1. 有（ ）m <sup>2</sup> 0. 無
	救急医療の実績	前年度の件数： 件（うち診療時間外： 件） 1日平均件数： 件（うち診療時間外： 件） 救急車取扱件数： 件（うち診療時間外： 件）
	診療時間外の勤務体制	医師： 名、看護師及び准看護師： 名
	指導を行う者の氏名等	* 臨床研修病院指定申請書の別紙4に記入
	救急医療を提供している診療科	内科系（1. 有 0. 無） 外科系（1. 有 0. 無）、 小児科（1. 有 0. 無） その他（ ）
10. 医療法上の許可病床数（歯科の病床数を除く。）		1. 一般： 0床、2. 精神： 0床、3. 感染症： 0床 4. 結核： 0床、5. 療養： 0床
11. 診療科ごとの入院患者・外来患者・研修医の数		* 別紙1に記入
12. 病床の種別ごとの平均在院日数（小数第二位四捨五入）		1. 一般： 日、2. 精神： 日、3. 感染症： 日、 4. 結核： 日、5. 療養： 日
13. 前年度の分娩件数 <small>（産婦人科の研修がある場合のみ）</small>		正常分娩件数： 0件、異常分娩件数： 0件
14. 臨床病理検討会（CPC）の実施状況 <small>（臨床病理検討会を実施している場合のみ）</small>	開催回数	前年度実績： 0回、今年度見込： 0回
	指導を行う病理医の氏名等	* 臨床研修病院指定申請書の別紙4に記入
	剖検数	前年度実績： 0件、今年度見込： 0件
	剖検を行う場所	当該医療機関の剖検室 1. 有 0. 無（ ）大学、（ ）病院 無を選択した場合には、剖検を実施している大学又は病院を記入してください。
15. 研修医のための宿舎及び研修医室の有無	研修医の宿舎	1. 有（単身用： 戸、世帯用： 戸） 0. 無（住宅手当： 円） 有を選択した場合には、単身用・世帯用に於ける宿舎の戸数を記入してください。 無を選択した場合には、住宅手当の金額を記入してください。住宅手当の支給が無い場合は、「0」と記入してください。
	研修医室	1. 有（ 室） 0. 無 有を選択した場合には、研修医室の室数を記入してください。
16. 図書、雑誌、インターネット等が利用できる環境及び医学教育用機材の整備状況	図書室の広さ	（ ）m <sup>2</sup>
	医学図書数	国内図書： 冊、国外図書： 冊
	医学雑誌数	国内雑誌： 種類、国外雑誌： 種類
	図書室の利用可能時間	： ～ ： 24時間表記
	文献データベース等の利用環境	Medline等の文献データベース（1. 有 0. 無）、 教育用コンテンツ（1. 有 0. 無）、 その他（ ） 利用可能時間（ ： ～ ： ）24時間表記
	医学教育用機材の整備状況	医学教育用シミュレーター（1. 有 0. 無）、 その他（ ）
17. 精神保健福祉士、作業療法士その他診療要員の配置状況 <small>（精神科の研修を行う施設については記入してください。）</small>		精神保健福祉士： 名（常勤： 名、非常勤： 名）
		作業療法士： 名（常勤： 名、非常勤： 名）
		臨床心理技術者： 名（常勤： 名、非常勤： 名）
		その他の精神科技術職員： 名（常勤： 名、非常勤： 名）



(記入要領)

- 1 特に定めのあるもののほか、原則として、申請日の属する年度（以下「申請年度」という。）の4月1日現在で作成すること。
- 2 初めて概況表を提出する施設の場合は、記入が必要なすべての項目について記入してください。
- 3 既に病院施設番号を取得している施設については病院施設番号を記入し、前回提出した申請書の内容と異なる項目について記入してください。
- 4 (医療機関のみ)と記載されている項目は、当該施設が医療機関である場合にのみ記入してください。
- 5 (1. 有 0. 無)のように選択形式の項目は、いずれかに○をつけてください。
- 6 ※欄は、記入しないこと。
- 7 臨床研修協力施設の種類に応じて、「1. 医療機関 2. その他の機関」の番号に○をつけること。
- 8 「作成責任者の氏名及び連絡先」欄の作成責任者は、記載内容について十分回答できる者とする。また、「所属」欄には、作成責任者の所属施設名を記入すること。
- 9 「診療科名」欄は、臨床研修協力施設が医療機関である場合に、当該施設の医療法上の標ぼう診療科について該当する番号すべてに○をつけ、該当する診療科がない場合は「99. その他」欄に記入すること。
- 10 「救急医療の提供の実績」欄は、臨床研修協力施設が医療機関である場合であって、救急医療を提供している場合に記入するものであること。
  - (1) 「救急病院認定の告示」欄は、「救急病院等を定める省令」(昭和39年厚生省令第186号)に基づき都道府県知事の救急病院の認定を受けている病院である場合に、告示年月日(西暦)及び告示番号を記入するものであること。
  - (2) 「医療計画上の位置付け」欄は、医療計画上、初期救急医療機関、第二次救急医療機関又は第三次救急医療機関として位置付けられている場合に、該当する番号に○をつけるものであること。
  - (3) 「救急専用診療(処置)室の有無」欄は、救急専用診療(処置)室を有する場合には、「1. 有」に○をつけるとともに、その面積を記入し、有しない場合には、「0. 無」に○をつけること。
  - (4) 「救急医療の実績」欄については、「前年度の件数」は申請年度の前年度の救急取扱件数(来院方法を問わず、すべての件数)、「1日平均件数」は申請年度の前年度の救急取扱件数を年間総日数(365又は366)で除した数、また、「救急車取扱件数」は申請年度の前年度の救急取扱件数のうちで来院方法が救急車によるものの数をそれぞれ記入すること。さらに、これらの件数のうち診療時間外に受け付けた件数について、それぞれの「うち診療時間外」欄に記入すること。
  - (5) 「診療時間外の勤務体制」については、「医師」数は、「救急医療を提供している診療科」の診療時間外の勤務体制における医師数を記入すること。また、「看護師及び准看護師」数は、専ら救急医療を提供するための病棟・外来に勤務する看護師及び准看護師のうち、診療時間外の交代制及び宿日直体制における看護師及び准看護師数を記入すること。
  - (6) 「指導を行う者の氏名等」欄については、救急医療の指導を行う者について臨床研修病院指定申請書の別紙4に記入すること。
  - (7) 「救急医療を提供している診療科」欄は、内科系、外科系又は小児科に係る救急医療の提供の有無について、該当する番号に○をつけ、その他の診療科に係る救急医療を提供している場合には、「その他」欄に当該診療科名を記入すること。
- 11 「医療法上の許可病床数(歯科の病床数を除く。)」欄は、臨床研修協力施設が医療機関である場合であって、許可病床を有している場合に、当該施設の病床の種別ごとの許可病床数を記入すること。
- 12 「診療科ごとの入院患者・外来患者・研修医の数」欄は、臨床研修協力施設が医療機関である場合に、当該施設で行う研修分野に係る診療科について記入することで差し支えないこと。
- 13 「病床の種別ごとの平均在院日数」欄は、臨床研修協力施設が医療機関である場合に記入するものであって、次に掲げる算出式により算出した、申請年度の前年度の平均在院日数を記入すること。ただし、在院患者延日数とは、申請年度の前年度の毎日午後12時現在の在院患者数を合計した数とする。なお、在院患者延日数、新入院患者数及び退院患者数については、保険診療であるか否かを問わないものであること。

※ 算出式

$$\frac{\text{在院患者延日数}}{1/2(\text{新入院患者数} + \text{退院患者数})} = \text{平均在院日数 (小数第二位を四捨五入)}$$

- 14 「前年度の分娩件数」欄は、臨床研修協力施設が医療機関であって、産婦人科の研修を行う場合に、申請年度の前年度の正常分娩件数及び異常分娩件数についてそれぞれ記入すること。
- 15 「臨床病理検討会(CPC)の実施状況」欄は、臨床研修協力施設が医療機関であって、臨床病理検討会を開催している場合に記入するものであること。
  - (1) 「開催回数」欄は、申請年度の前年度の開催回数及び申請年度の開催見込数を記入すること。
  - (2) 「剖検数」欄は、申請年度の前年度の剖検件数及び申請年度の剖検見込数を記入すること。
  - (3) 「剖検を行う場所」欄は、剖検を当該医療機関の剖検室で行っている場合は「1. 有」に○をつけること。また、剖検を当該医療機関の剖検室で行っていない場合には、「0. 無」に○をつけるとともに、剖検を大学の剖検室において行っているときは「( ) 大学」に当該大学名を記入し、剖検を他病院の剖検室で行っているときは「( ) 病院」に当該病院名を記入すること。
- 16 「研修医のための宿舎及び研修医室の有無」欄は、臨床研修協力施設が医療機関である場合には必ず記入すること。
  - (1) 「研修医の宿舎」欄は、研修医の利用に供する宿舎(当該施設の敷地の内外を問わない。)を有する場合は「1. 有」に○をつけるとともに、「単身用」・「世帯用」のそれぞれの戸数を記入すること。また、研修医のための宿舎を有さない場合は「0. 無」に○をつけるとともに、住宅手当の支給内容(全額支給、一律〇〇円、最低〇〇円から最高〇〇円の範囲内で負担額に応じて支給等)を記入すること(住宅手当を支給していない場合には「0円」と記入すること)。
  - (2) 「研修医室」欄は、研修医室を有する場合は「1. 有」に○をつけるとともに、その室数を記入すること。また、研修医室を有さない場合は「0. 無」に○をつけること。
- 17 「図書、雑誌、インターネット等が利用できる環境及び医学教育用教材の整備状況」欄は、臨床研修協力施設が医療機関である場合には必ず記入すること。
  - (1) 「文献データベース等の利用環境」欄は、Medline等の文献データベース及び教育用コンテンツのそれぞれについて、利用できる場合は「1. 有」に○をつけ、利用できない場合には「0. 無」に○をつけること。また、文献データベース及び教育用コンテンツ以外に、これに類するもので利用できるものがある場合は「その他( )」にその内容を記入すること。

- (2)「医学教育用機材の整備状況」欄は、医学教育用シミュレーターの整備の有無について該当する番号に○をつけること。また、臨床研修に必要なその他の医学教育用機材を整備している場合は「その他( )」にその内容を記入すること。
- 18 「精神保健福祉士、作業療法士その他診療要員の配置状況」欄は、当該施設が精神科の研修を行う場合に記入するものであり、精神保健福祉士、作業療法士、臨床心理技術者のそれぞれの職種について、職員数及び常勤・非常勤別の内訳数を記入すること。また、これらの職種以外にも精神科に係る技術職員がいる場合は、その職員数及び常勤・非常勤別の内訳数を記入すること。
- 19 「研修プログラムの名称」以降の欄については、研修プログラムごとに別葉に記入すること。
- 20 「研修医の指導を行う者の氏名等」欄については、研修医の指導を行う者について臨床研修病院指定申請書の別紙4に記入すること。
- 21 「インターネットを用いた評価システム」欄は、該当するものに○をつけ、「1. 有」を選択した場合は、EPOCかその他を選択すること。
- 22 「研修医の処遇」欄について
- (1)「処遇の適用」欄については、基幹型臨床研修病院と同一の処遇とする場合には、1に○をつけ(この場合、以降の研修医の処遇の項目については記入しなくても差し支えないこと。)、また、施設独自の処遇とする場合には、2に○をつけること。
- (2)「研修手当」欄は、研修医の基本的な研修手当について、1年次及び2年次の基本手当の額(税込み)、賞与の支給額を記入すること。基本手当が月給ではない場合にあっては、およその月額を記入すること。時間外手当及び休日手当を支給する場合は、それぞれ「1. 有」に、支給しない場合には「0. 無」に○をつけること。なお、時間外勤務及び休日勤務がある場合においては、時間外手当及び休日手当が支給されるものと考えられること。
- (3)「勤務時間」欄は、研修医の基本的な勤務時間及び勤務時間中の休憩時間について記入すること。また、「時間外勤務の有無」欄は、時間外勤務がある場合には「1. 有」に、ない場合には「0. 無」に○をつけること。
- (4)「休暇」欄は、研修医の基本的な休暇の内容について、1年次及び2年次の有給休暇付与日数を記入すること。また、夏季休暇、年末年始休暇の有無について該当するものに○をつけること。また、これら以外に休暇を付与する場合は、その具体的休暇名を記入すること。
- (5)「当直」欄は、研修医の一月あたりのおよその当直回数について記入すること。
- (6)「社会保険・労働保険」欄は、研修医に適用される社会保険・労働保険について、「公的医療保険( )」欄に「組合健康保険」等と、「公的年金保険( )」欄に「厚生年金保険」等と記入し、「労働者災害補償保険法の適用」欄、「国家・地方公務員災害補償法の適用」欄、「雇用保険」欄のそれぞれ該当するものに○をつけること。
- (7)「健康管理」欄は、研修医の基本的な健康管理について、健康診断の回数を記入すること。また、健康診断以外で健康管理を実施している場合は、「その他」欄に具体的に記入すること。
- (8)「医師賠償責任保険の扱い」欄は、研修医の医師賠償責任保険の基本的な扱いについて該当するものに○をつけること。
- (9)「外部の研修活動」欄は、学会、研究会等への参加を認めるか否かについて該当するものに○をつけ、認める場合における参加費用の支給の有無についても、該当するものに○をつけること。

1 1. 診療科ごとの入院患者・外来患者の数

既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入してください。

臨床研修病院の名称：篠島診療所  
 病院施設番号：032815

区 分	内 科	救急部門	外 科	麻酔科 (部門)	小 児 科	産婦人科	又は		精 神 科	病院で定めた必修 科目の診療科			その他の研修を行 う診療科			合 計
							産 科	婦 人 科		地 域 医 療						
年間入院患者実数 ( ) 内は救急件数又は分娩件数		( )				( )	( )									
年間新外来患者数										563						563
1日平均外来患者数 ( ) 内は年間外来診療日数	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	14.7 (242)	( )	( )	( )	( )	( )	
平均在院日数																
常勤医師数 (うち臨床研修指導医 (指導医) 数)	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	1 (1)	( )	( )	( )	( )	( )	1 (1)

※ 「年間入院患者実数」とは、申請年度の前々年度の繰越患者数に申請年度の前年度中における新入院患者数を加えた数とすること。「年間新外来患者数」とは、申請年度の前年度中に来院した外来患者のうち、初診料を算定した患者数とすること。「1日平均外来患者数」とは、年間外来患者延数÷年間外来診療日数による数（小数第二位を四捨五入）とすること。「病院で定めた必修科目の診療科」欄等が足りない場合には、続紙（様式自由）に記載し添付すること。「救急件数」及び「分娩件数」とは、1 1. の救急医療の実績の前年度の件数及び1 5. の正常分娩件数と異常分娩件数の合計とすること。

※ 「内科」とは、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、神経内科等を含めた広義の内科のうち基本研修科目の内科分野の研修を行う診療科であり、「外科」とは、心臓血管外科、呼吸器外科、脳外科等を含めた広義の外科のうち基本研修科目の外科分野の研修を行う診療科であること。

# 1 1. 診療科ごとの研修医の数

既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入してください。

(2024 年度分)									臨床研修協力施設の名称：篠島診療所					
									病院施設番号：032815					
基幹型病院名	担当分野	1～ 4 週	5～ 8 週	9～ 12 週	13～ 16 週	17～ 20 週	21～ 24 週	25～ 28 週	29～ 32 週	33～ 36 週	37～ 40 週	41～ 44 週	45～ 48 週	49～ 52 週
知多厚生病院	地域医療	1	1											
常滑市民病院	地域医療			0.3				0.3				0.3	0.3	
名古屋市立大学病院	地域医療					0.3								
碧南市民病院	地域医療				0.3									
蒲郡市民病院	地域医療									0.3				
名古屋大学病院	地域医療													
国立長寿医療研究センター	地域医療						0.3							
海南病院	地域医療			0.25	0.5		0.25	0.25	0.25	0.25	0.25	0.25	0.25	0.25

※ 申請年度の次年度分、次々年度分を別葉で作成すること。

※ 「基幹型病院名」欄には、当該病院が申請年度の次年度又は次々年度に研修医を受け入れる基幹型病院の名称及びそのプログラムにおける自病院の担当分野をすべて記入し（自病院が基幹型病院の場合は、自病院を一番上に記入すること）、基幹型病院及び担当分野ごとに各週に受け入れる研修医の延人数（研修期間4週について1人とすること）を記入すること。また、複数の基幹型病院の研修医を受け入れる担当分野がある場合には、その担当分野ごとの合計を記入すること。

※ 「担当分野」欄には、内科、救急部門、地域医療、外科、麻酔科、小児科、産婦人科及び精神科のみを記入し、選択科については記入しないこと。ただし、一般外来については、他科との並行研修ではなく、単独で実施する場合に限り記入すること。

※ 地域密着型病院の場合も同様の記入をすること。

# 1.1. 診療科ごとの研修医の数

既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入してください。

(2025 年度分)									臨床研修協力施設の名称：篠島診療所					
									病院施設番号：032815					
基幹型病院名	担当分野	1～ 4週	5～ 8週	9～ 12週	13～ 16週	17～ 20週	21～ 24週	25～ 28週	29～ 32週	33～ 36週	37～ 40週	41～ 44週	45～ 48週	49～ 52週
知多厚生病院	地域医療	1	1											
常滑市民病院	地域医療			0.3				0.3				0.3	0.3	
名古屋市立大学病院	地域医療					0.3								
碧南市民病院	地域医療				0.3									
蒲郡市民病院	地域医療									0.3				
名古屋大学病院	地域医療													
国立長寿医療研究センター	地域医療						0.3							
海南病院	地域医療			0.25	0.5		0.25	0.25	0.25	0.25	0.25	0.25	0.25	0.25

※ 申請年度の次年度分、次々年度分を別葉で作成すること。

※ 「基幹型病院名」欄には、当該病院が申請年度の次年度又は次々年度に研修医を受け入れる基幹型病院の名称及びそのプログラムにおける自病院の担当分野をすべて記入し（自病院が基幹型病院の場合は、自病院を一番上に記入すること）、基幹型病院及び担当分野ごとに各週に受け入れる研修医の延人数（研修期間4週について1人とすること）を記入すること。また、複数の基幹型病院の研修医を受け入れる担当分野がある場合には、その担当分野ごとの合計を記入すること。

※ 「担当分野」欄には、内科、救急部門、地域医療、外科、麻酔科、小児科、産婦人科及び精神科のみを記入し、選択科については記入しないこと。ただし、一般外来については、他科との並行研修ではなく、単独で実施する場合に限り記入すること。

※ 地域密着型病院の場合も同様の記入をすること。

# 1 1. 診療科ごとの研修医の数

既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入してください。

(2026 年度分)									臨床研修協力施設の名称：篠島診療所					
									病院施設番号：032815					
基幹型病院名	担当分野	1～ 4 週	5～ 8 週	9～ 12 週	13～ 16 週	17～ 20 週	21～ 24 週	25～ 28 週	29～ 32 週	33～ 36 週	37～ 40 週	41～ 44 週	45～ 48 週	49～ 52 週
知多厚生病院	地域医療	1	1											
常滑市民病院	地域医療			0.3				0.3				0.3	0.3	
名古屋市立大学病院	地域医療					0.3								
碧南市民病院	地域医療				0.3									
蒲郡市民病院	地域医療									0.3				
名古屋大学病院	地域医療													
国立長寿医療研究センター	地域医療						0.3							
海南病院	地域医療			0.25	0.5		0.25	0.25	0.25	0.25	0.25	0.25	0.25	0.25

※ 申請年度の次年度分、次々年度分を別葉で作成すること。

※ 「基幹型病院名」欄には、当該病院が申請年度の次年度又は次々年度に研修医を受け入れる基幹型病院の名称及びそのプログラムにおける自病院の担当分野をすべて記入し（自病院が基幹型病院の場合は、自病院を一番上に記入すること）、基幹型病院及び担当分野ごとに各週に受け入れる研修医の延人数（研修期間4週について1人とすること）を記入すること。また、複数の基幹型病院の研修医を受け入れる担当分野がある場合には、その担当分野ごとの合計を記入すること。

※ 「担当分野」欄には、内科、救急部門、地域医療、外科、麻酔科、小児科、産婦人科及び精神科のみを記入し、選択科については記入しないこと。ただし、一般外来については、他科との並行研修ではなく、単独で実施する場合に限り記入すること。

※ 地域密着型病院の場合も同様の記入をすること。

3.1. 臨床研修指導医等の氏名等

病院施設番号

: 030941

臨床研修病院の名称

愛知県厚生農業協同組合連合会  
知多厚生病院

No (1)

担当分野	氏名	所属	役職	臨床研修 年数	指導医講習 年の受講 状況 ○: 有 ×: 無	資格等	医師登録		プログラム番号	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施担当者 4 臨床研修指導医 (指導 医)
							番号	年月日		
内科	宮本 忠壽	知多厚生病院	名誉院長	47	○	第1回愛知県厚生農業協同組合連合会臨床研修指導医講習会 日本科学会認定医・専門医 日本消化器病学会専門医・指導医 日本消化器内視鏡学会専門医・指導医 日本化学療法学会認定医 日本医師会認定産業医	235883	S52/5/26	030941402・030941403	4
内科	高橋 佳嗣	知多厚生病院	病院長	37	○	第5回愛知県厚生農業協同組合連合会臨床研修指導医講習会 日本内科学会専門医 日本消化器病学会専門医 日本肝臓病学会専門医	303391	S62/5/15	030941402・030941403	4
内科	丹村 敏樹	知多厚生病院		42	○	第3回愛知県厚生農業協同組合連合会臨床研修指導医講習会 日本科学会専門医・指導医 日本臨床病学会専門医・指導医 日本化学療法学会専門医・指導医 日本プライマリケア学会認定医 日本人間ドック学会専門医・指導医 日本泌尿器学会専門医・NSTCコーディネーター 日本医師会認定産業医	266955	S57/5/28	030941402・030941403	4
内科	富本 茂裕	知多厚生病院	副院長兼総合診療部長兼 医療安全管理部長兼感染 制御部長兼内科代表部長	34	○	名古屋市立大学病院第2回臨床研修指導医講習会 日本内科学会認定医・専門医 日本循環器学会専門医	335523	H2/6/13	030941402・030941403	4 研修管理委員
内科	川口 博之	知多厚生病院	一般内科部長	37	○	第11回名古屋大ネットワーク指導医講習会	309552	S62/6/1	030941402・030941403	4
内科	山田 一貴	知多厚生病院		7	×		548965	H30/3/26	030941402・030941403	上級医
内科	山際 慧	知多厚生病院		6	×	麻酔科標榜医	550543	H30/3/27	030941402・030941403	上級医
内科	木村 紀翔	知多厚生病院		6	×		556577	H31/3/22	030941402・030941403	上級医
内科	東 美佳	知多厚生病院		5	×		566061	R2/3/23	030941402・030941403	上級医
内科	伊藤 彩子	知多厚生病院		5	×		567033	R2/3/27	030941402・030941403	上級医
内科	平松 克仁	知多厚生病院		5	×		568925	R2/3/27	030941402・030941403	上級医
内科	バチアネ・フラン	知多厚生病院		4	×		574694	R2/4/13	030941402・030941403	上級医
内科	荒川 真里奈	知多厚生病院		4	×		578204	R3/3/26	030941402・030941403	上級医
内科	脚上 祐亮	知多厚生病院		2	×		584385	R4/3/18	030941402・030941403	上級医
小児科	安井 宗洋子	知多厚生病院	小児科部長	16	○	第22回愛知県厚生農業協同組合連合会臨床研修指導医講習会 日本小児科学会専門医	469104	H20/4/8	030941402・030941403	4 研修管理委員
外科	村元 雅之	知多厚生病院	副院長兼診療部長	38	○	第12回愛知県厚生農業協同組合連合会臨床研修指導医講習会 日本科学会専門医・指導医 日本消化器病学会専門医・指導医 日本消化器外科学会専門医・指導医	296610	S61/5/22	030941402・030941403	4 研修管理委員
外科	矢野 智紀	知多厚生病院	呼吸器外科部長	35	○	日本科学会専門医・指導医 日本呼吸器外科学会専門医・指導医	334450	H2/6/4	030941402・030941403	4
外科	杉戸 紳好	知多厚生病院	外科代表部長兼中央手術 部長	26	○	第17回愛知県厚生農業協同組合連合会臨床研修指導医講習会 日本科学会専門医 日本消化器病学会認定医 日本がん治療認定医	392622	H10/4/27	030941402・030941403	4 研修管理委員
外科	川瀬 麻衣	知多厚生病院	第2乳癌外科部長	20	×	日本乳癌学会専門医 日本外科学会専門医	438924	H16/4/27	030941402・030941403	上級医
外科	中島 亮	知多厚生病院		6	×		557775	H31/3/22	030941402・030941403	上級医
整形外科	山田 聡	知多厚生病院	整形外科代表部長	31	○	日本整形外科学会専門医	357442	H5/5/12	030941402・030941403	4 研修管理委員
整形外科	坪井 義晃	知多厚生病院	リハビリテーション科部長	19	○	日本整形外科学会専門医	446579	H17/4/6	030941402・030941403	4
整形外科	土井 孝信	知多厚生病院	整形外科部長	12	○	日本整形外科学会専門医	503615	H24/4/5	030941402・030941403	4
脳神経外科	水野 志朗	知多厚生病院	名誉院長	43	○	第1回愛知県厚生農業協同組合連合会臨床研修指導医講習会 日本脳神経外科学会専門医 日本神経学会専門医	259291	S56/5/28	030941402・030941403	4
脳神経外科	福島 康行	知多厚生病院	副院長兼地域医療福祉課 長兼脳神経外科代表部 長	39	○	日本脳神経外科学会専門医 日本脳卒中学会専門医	290579	S60/5/25	030941402・030941403	4 研修管理委員
脳神経外科	中塚 雅雄	知多厚生病院	臨床研修部長兼医療情報 部長兼脳血管内治療部長	34	○	第10回愛知県厚生農業協同組合連合会臨床研修指導医講習会 日本脳神経外科学会専門医 日本脳神経学会専門医 日本脳卒中学会専門医・指導医	329656	H2/5/22	030941402・030941403	1・3・4 研修管理委員長
脳神経外科	大島 望	知多厚生病院	脳神経外科部長	16	○	日本脳神経外科学会専門医	469195	H20/4/8	030941402・030941403	4
皮膚科	吉田 有友子	知多厚生病院	皮膚科医長	10	○	日本皮膚科学会専門医	518134	H26/3/28	030941402・030941403	4 研修管理委員
泌尿器科	本間 秀樹	知多厚生病院	泌尿器科代表部長	35	○	第6回愛知県厚生農業協同組合連合会臨床研修指導医講習会 日本泌尿器科学会専門医	323766	H1/5/29	030941402・030941403	4 研修管理委員
産婦人科	菱田 克己	知多厚生病院		51	○	第8回愛知県厚生農業協同組合連合会臨床研修指導医講習会 日本産婦人科学会専門医 母体保護法指定医 日本医師会認定産業医	217840	S48/5/28	030941402・030941403	4
産婦人科	柴田 金光	知多厚生病院	検体検査管理部長	46	○	第1回臨床研修指導医講習会 日本産婦人科学会専門医・指導医	240811	S53/5/30	030941402・030941403	4
産婦人科	十河 千恵	知多厚生病院	産婦人科部長	12	○	名古屋市立大学病院第8回臨床研修指導医講習会 日本産婦人科学会専門医	503330	H24/4/5	030941402・030941403	4 研修管理委員
産婦人科	加藤 綾美	知多厚生病院		9	○		522834	H27/3/23	030941402・030941403	4
眼科	吉田 直子	知多厚生病院	眼科部長	33	○	日本眼科学会専門医	337957	H3/5/22	030941402・030941403	4 研修管理委員
眼科	小坂 拓也	知多厚生病院	眼科医長	8	×	日本眼科学会専門医	533887	H28/3/29	030941402・030941403	上級医
麻酔科	成宮 なつみ	知多厚生病院	麻酔科部長	17	×	日本麻酔科学会専門医	462652	H19/4/10	030941402・030941403	上級医
地域医療	原田 恵一	知多厚生病院	第1乳癌外科部長 兼救急診療部長	43	○	第10回愛知県厚生農業協同組合連合会臨床研修指導医講習会 日本外科学会専門医 日本消化器病学会専門医・指導医	261233	S56/6/16	030941402・030941403	3・4 研修管理委員
病理	福垣 宏	知多厚生病院	病理診断科部長	40	○	日本病理学会専門医・指導医 日本臨床細胞学会専門医・指導医	284971	S59/6/5	030941402・030941403	4
地域医療	安井 健三	日間賢島診療所	日間賢島診療所長	51	×		218655	S48/6/5		3・上級医 研修管理委員

※ 「担当分野」欄には、様式5別紙3の臨床研修を行う分野及び病理（CPC）を記入すること。  
 ※ 「所属」欄には、指導医等が所属する病院又は施設の名前を記入すること。  
 ※ 「資格等」欄には、指導医に係る講習を受けた旨や、取得した専門医資格等について記入すること。  
 ※ 「プログラム番号」欄には、指導医等が担当するすべてのプログラム番号を記入すること（プログラム番号を取得していない場合は研修プログラムの名称を記入すること。）  
 ※ プログラム責任者、副プログラム責任者、研修実施担当者及び指導医については、「備考」欄にそれぞれに応じた番号を記入し、併せてプログラム番号を記入すること（プログラム番号を取得していない場合は研修プログラムの名称を記入すること。）  
 ※ 研修実施責任者・・・協力型臨床研修病院又は臨床研修協力施設において、当該施設における臨床研修の実施を管理する者  
 ※ 臨床研修指導医（指導医）・・・研修医に対する指導を行う医師であり、7年（84月）以上の臨床経験及び指導医養成講習会等の受講経験を有する者  
 ※ 欄が足りない場合は、コピーにより対応し、「(No. )」欄にページ数を記入すること。

# 臨床研修協力施設概況表－1－

**医療機関用**

・臨床研修協力施設概況表－1－から－3－までについては、臨床研修プログラム検索サイトの画面を印刷したもの等必要な項目がわかるものを代わりに添付していただいても構いません。

記入日：西暦 2024 年 4 月 15 日

<b>病院施設番号</b> <small>既に番号を取得している施設については病院施設番号を記入してください。</small>	035303	<b>臨床研修病院群の名称</b> <small>臨床研修病院群を構成する場合に記入してください。 既に臨床研修病院群番号を有している臨床研修病院群については、番号も記入してください。</small>	名称 国民健康保険上矢作病院  番号																				
<b>作成責任者の氏名及び連絡先</b> <small>本調査表の問合せに対して回答できる作成責任者について記入してください。</small>	フリガナ アラタ サトシ 氏名(姓) (名) 荒田 聡	所属 事務部医事 役職 担当係長	(内線105 ) (直通電話(0573)47-2211)  e-mail: satoshi_arata@city.ena.lg.jp <small>(携帯電話のメールアドレスは不可とします。)</small>																				
<b>1. 臨床研修協力施設の名称</b>	フリガナ コクミンケンコウホケンカミヤハギビョウイン 国民健康保険上矢作病院																						
<b>2. 臨床研修協力施設の所在地</b>	〒 509 __ 7521 ( 岐阜 都・道・府・ <u>県</u> ) 恵那市上矢作町3111番地2  電話：(0573)47-2211 FAX：(0573)47-2891																						
<b>3. 臨床研修協力施設の開設者の氏名(法人の名称)</b>	フリガナ エナシチョウ コサカタカネ 恵那市長 小坂 喬峰																						
<b>4. 臨床研修協力施設の開設者の住所(法人の主たる事務所の所在地)</b>	〒 509 __ 7292 ( 岐阜 都・道・府・ <u>県</u> ) 恵那市長島町正家1-1-1  電話：(0573)26-2111 FAX：(0573)25-6150																						
<b>5. 臨床研修協力施設の管理者の氏名及び役職名</b>	フリガナ ニシワキ 姓 西脇	ナオキ 名 巨記	役職名： 病院長																				
<b>6. 研修実施責任者の氏名及び役職名</b>	フリガナ サモト 姓 佐本	ヨウスケ 名 洋介	役職名： 副病院長																				
<b>7. 施設のホームページアドレス</b>	http://www.kamiyahagi-hosp.jp																						
<b>8. 診療科名</b>  <small>当該病院の医療上の標ぼう診療科について該当する番号すべてに○をつけ、該当する診療科がない場合は「99.その他」欄に記入すること。</small>		※ 標ぼう診療科(番号に○をつけてください。) ①内科 ②呼吸器内科 3.循環器内科 ④消化器内科 5.気管食道内科 6.神経内科 7.心療内科 8.性感染症内科 ⑨外科 ⑩呼吸器外科 11.心臓血管外科 ⑫消化器外科 13.小児外科 14.気管食道外科 15.肛門外科 ⑬整形外科 17.脳神経外科 18.形成外科 19.美容外科 20.精神科 21.アレルギー科 22.リウマチ科 ⑭小児科 24.皮膚科 25.泌尿器科 26.産婦人科 27.産科 28.婦人科 29.眼科 30.耳鼻咽喉科 ⑮リハビリテーション科 ⑯放射線科 33.病理診断科 34.臨床検査科 35.救急科 99.その他(次に記入してください。)  <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 25%;">901</td> <td style="width: 25%;">肛門科</td> <td style="width: 25%;">902</td> <td style="width: 25%;">科</td> </tr> <tr> <td>903</td> <td>麻酔科</td> <td>904</td> <td>科</td> </tr> <tr> <td>905</td> <td>科</td> <td>906</td> <td>科</td> </tr> <tr> <td>907</td> <td>科</td> <td>908</td> <td>科</td> </tr> <tr> <td>909</td> <td>科</td> <td>910</td> <td>科</td> </tr> </table>		901	肛門科	902	科	903	麻酔科	904	科	905	科	906	科	907	科	908	科	909	科	910	科
901	肛門科	902	科																				
903	麻酔科	904	科																				
905	科	906	科																				
907	科	908	科																				
909	科	910	科																				

## 臨床研修協力施設概況表－２－

病院施設番号： 035303

臨床研修協力施設の名称： 国民健康保険上矢作病院

9. 救急医療の提供の実績	救急病院認定の告示 医療計画上の位置付け	告示年月日：西暦 2004年10月25日、告示番号：第12160009号 番号に○をつけてください。 1. 初期救急医療機関 ② 第二次救急医療機関 3. 第三次救急医療機関
	救急専用診療（処置）室の有無	① 有 (21,640) m <sup>2</sup> 0. 無
	救急医療の実績	前年度の件数： 865 件（うち診療時間外： 733 件） 1日平均件数： 2.3 件（うち診療時間外： 2.0 件） 救急車取扱件数： 106 件（うち診療時間外： 67 件）
	診療時間外の勤務体制	医師： 1 名、看護師及び准看護師： 1 名
	指導を行う者の氏名等	* 臨床研修病院指定申請書の別紙4に記入
	救急医療を提供している診療科	内科系 ① 有 0. 無) 外科系 ① 有 0. 無)、 小児科 (1. 有 ① 無) その他 ( )
10. 医療法上の許可病床数（歯科の病床数を除く。）		1. 一般： 56 床、2. 精神： 床、3. 感染症： 床 4. 結核： 床、5. 療養： 床
11. 診療科ごとの入院患者・外来患者・研修医の数		* 別紙1に記入
12. 病床の種別ごとの平均在院日数(小数第二位四捨五入)		1. 一般： 10.0 日、2. 精神： 日、3. 感染症： 日、 4. 結核： 日、5. 療養： 日
13. 前年度の分娩件数 (産婦人科の研修がある場合のみ)		正常分娩件数： 件、異常分娩件数： 件
14. 臨床病理検討会 (CPC)の実施 状況 (臨床病理検討会を実施 している場合のみ)	開催回数	前年度実績： 回、今年度見込： 回
	指導を行う病理医の氏名等	* 臨床研修病院指定申請書の別紙4に記入
	剖検数	前年度実績： 件、今年度見込： 件
	剖検を行う場所	当該医療機関の剖検室 1. 有 0. 無 ( ) 大学、( ) 病院 無を選択した場合には、剖検を実施している大学又は病院を記入してください。
15. 研修医のための 宿舎及び研修医 室の有無	研修医の宿舎	① 有 (単身用： 4 戸、世帯用： 戸) 0. 無 (住宅手当： 円) 有を選択した場合には、単身用・世帯用に於ける宿舎の戸数を記入してください。 無を選択した場合には、住宅手当の金額を記入してください。住宅手当の支給が無い場合は、「0」と記入してください。
	研修医室	1. 有 ( 室) ① 無 有を選択した場合には、研修医室の室数を記入してください。
16. 図書、雑誌、インターネット等 が利用できる環境及び医学教育 用機材の整備状況	図書室の広さ	( ) m <sup>2</sup>
	医学図書数	国内図書： 冊、国外図書： 冊
	医学雑誌数	国内雑誌： 種類、国外雑誌： 種類
	図書室の利用可能時間	: ~ : 24 時間表記
	文献データベース等の利用環境	Medline 等の文献データベース (1. 有 0. 無)、 教育用コンテンツ (1. 有 0. 無)、 その他 ( ) 利用可能時間 ( : ~ : ) 24 時間表記
	医学教育用機材の整備状況	医学教育用シミュレーター (1. 有 0. 無)、 その他 ( )
17. 精神保健福祉士、作業療法士その他診療要員の配置状況 (精神科の研修を行う施設については記入してください。)		精神保健福祉士： 名 (常勤： 名、非常勤： 名)
		作業療法士： 名 (常勤： 名、非常勤： 名)
		臨床心理技術者： 名 (常勤： 名、非常勤： 名)
		その他の精神科技術職員： 名 (常勤： 名、非常勤： 名)



(記入要領)

- 1 特に定めのあるもののほか、原則として、申請日の属する年度（以下「申請年度」という。）の4月1日現在で作成すること。
- 2 初めて概況表を提出する施設の場合は、記入が必要なすべての項目について記入してください。
- 3 既に病院施設番号を取得している施設については病院施設番号を記入し、前回提出した申請書の内容と異なる項目について記入してください。
- 4 (医療機関のみ)と記載されている項目は、当該施設が医療機関である場合にのみ記入してください。
- 5 (1. 有 0. 無)のように選択形式の項目は、いずれかに○をつけてください。
- 6 ※欄は、記入しないこと。
- 7 臨床研修協力施設の種類に応じて、「1. 医療機関 2. その他の機関」の番号に○をつけること。
- 8 「作成責任者の氏名及び連絡先」欄の作成責任者は、記載内容について十分回答できる者とする。また、「所属」欄には、作成責任者の所属施設名を記入すること。
- 9 「診療科名」欄は、臨床研修協力施設が医療機関である場合に、当該施設の医療法上の標ぼう診療科について該当する番号すべてに○をつけ、該当する診療科がない場合は「99. その他」欄に記入すること。
- 10 「救急医療の提供の実績」欄は、臨床研修協力施設が医療機関である場合であって、救急医療を提供している場合に記入するものであること。
  - (1)「救急病院認定の告示」欄は、「救急病院等を定める省令」(昭和39年厚生省令第186号)に基づき都道府県知事の救急病院の認定を受けている病院である場合に、告示年月日(西暦)及び告示番号を記入するものであること。
  - (2)「医療計画上の位置付け」欄は、医療計画上、初期救急医療機関、第二次救急医療機関又は第三次救急医療機関として位置付けられている場合に、該当する番号に○をつけるものであること。
  - (3)「救急専用診療(処置)室の有無」欄は、救急専用診療(処置)室を有する場合には、「1. 有」に○をつけるとともに、その面積を記入し、有しない場合には、「0. 無」に○をつけること。
  - (4)「救急医療の実績」欄については、「前年度の件数」は申請年度の前年度の救急取扱件数(来院方法を問わず、すべての件数)、「1日平均件数」は申請年度の前年度の救急取扱件数を年間総日数(365又は366)で除した数、また、「救急車取扱件数」は申請年度の前年度の救急取扱件数のうちで来院方法が救急車によるものの数をそれぞれ記入すること。さらに、これらの件数のうち診療時間外に受け付けた件数について、それぞれの「うち診療時間外」欄に記入すること。
  - (5)「診療時間外の勤務体制」については、「医師」数は、「救急医療を提供している診療科」の診療時間外の勤務体制における医師数を記入すること。また、「看護師及び准看護師」数は、専ら救急医療を提供するための病棟・外来に勤務する看護師及び准看護師のうち、診療時間外の交代制及び宿日直体制における看護師及び准看護師数を記入すること。
  - (6)「指導を行う者の氏名等」欄については、救急医療の指導を行う者について臨床研修病院指定申請書の別紙4に記入すること。
  - (7)「救急医療を提供している診療科」欄は、内科系、外科系又は小児科に係る救急医療の提供の有無について、該当する番号に○をつけ、その他の診療科に係る救急医療を提供している場合には、「その他」欄に当該診療科名を記入すること。
- 11 「医療法上の許可病床数(歯科の病床数を除く。)」欄は、臨床研修協力施設が医療機関である場合であって、許可病床を有している場合に、当該施設の病床の種別ごとの許可病床数を記入すること。
- 12 「診療科ごとの入院患者・外来患者・研修医の数」欄は、臨床研修協力施設が医療機関である場合に、当該施設で行う研修分野に係る診療科について記入することで差し支えないこと。
- 13 「病床の種別ごとの平均在院日数」欄は、臨床研修協力施設が医療機関である場合に記入するものであって、次に掲げる算出式により算出した、申請年度の前年度の平均在院日数を記入すること。ただし、在院患者延日数とは、申請年度の前年度の毎日午後12時現在の在院患者数を合計した数とする。なお、在院患者延日数、新入院患者数及び退院患者数については、保険診療であるか否かを問わないものであること。

※ 算出式

$$\frac{\text{在院患者延日数}}{1/2(\text{新入院患者数} + \text{退院患者数})} = \text{平均在院日数 (小数第二位を四捨五入)}$$

- 14 「前年度の分娩件数」欄は、臨床研修協力施設が医療機関であって、産婦人科の研修を行う場合に、申請年度の前年度の正常分娩件数及び異常分娩件数についてそれぞれ記入すること。
- 15 「臨床病理検討会(CPC)の実施状況」欄は、臨床研修協力施設が医療機関であって、臨床病理検討会を開催している場合に記入するものであること。
  - (1)「開催回数」欄は、申請年度の前年度の開催回数及び申請年度の開催見込数を記入すること。
  - (2)「剖検数」欄は、申請年度の前年度の剖検件数及び申請年度の剖検見込数を記入すること。
  - (3)「剖検を行う場所」欄は、剖検を当該医療機関の剖検室で行っている場合は「1. 有」に○をつけること。また、剖検を当該医療機関の剖検室で行っていない場合には、「0. 無」に○をつけるとともに、剖検を大学の剖検室において行っているときは「( ) 大学」に当該大学名を記入し、剖検を他病院の剖検室で行っているときは「( ) 病院」に当該病院名を記入すること。
- 16 「研修医のための宿舎及び研修医室の有無」欄は、臨床研修協力施設が医療機関である場合には必ず記入すること。
  - (1)「研修医の宿舎」欄は、研修医の利用に供する宿舎(当該施設の敷地の内外を問わない。)を有する場合は「1. 有」に○をつけるとともに、「単身用」・「世帯用」のそれぞれの戸数を記入すること。また、研修医のための宿舎を有さない場合は「0. 無」に○をつけるとともに、住宅手当の支給内容(全額支給、一律〇〇円、最低〇〇円から最高〇〇円の範囲内で負担額に応じて支給等)を記入すること(住宅手当を支給していない場合には「0円」と記入すること)。
  - (2)「研修医室」欄は、研修医室を有する場合は「1. 有」に○をつけるとともに、その室数を記入すること。また、研修医室を有さない場合は「0. 無」に○をつけること。
- 17 「図書、雑誌、インターネット等が利用できる環境及び医学教育用教材の整備状況」欄は、臨床研修協力施設が医療機関である場合には必ず記入すること。
  - (1)「文献データベース等の利用環境」欄は、Medline等の文献データベース及び教育用コンテンツのそれぞれについて、利用できる場合は「1. 有」に○をつけ、利用できない場合には「0. 無」に○をつけること。また、文献データベース及び教育用コンテンツ以外に、これに類するもので利用できるものがある場合は「その他( )」にその内容を記入すること。

- (2)「医学教育用機材の整備状況」欄は、医学教育用シミュレーターの整備の有無について該当する番号に○をつけること。また、臨床研修に必要なその他の医学教育用機材を整備している場合は「その他( )」にその内容を記入すること。
- 18 「精神保健福祉士、作業療法士その他診療要員の配置状況」欄は、当該施設が精神科の研修を行う場合に記入するものであり、精神保健福祉士、作業療法士、臨床心理技術者のそれぞれの職種について、職員数及び常勤・非常勤別の内訳数を記入すること。また、これらの職種以外にも精神科に係る技術職員がいる場合は、その職員数及び常勤・非常勤別の内訳数を記入すること。
- 19 「研修プログラムの名称」以降の欄については、研修プログラムごとに別葉に記入すること。
- 20 「研修医の指導を行う者の氏名等」欄については、研修医の指導を行う者について臨床研修病院指定申請書の別紙4に記入すること。
- 21 「インターネットを用いた評価システム」欄は、該当するものに○をつけ、「1. 有」を選択した場合は、EPOCかその他を選択すること。
- 22 「研修医の処遇」欄について
- (1)「処遇の適用」欄については、基幹型臨床研修病院と同一の処遇とする場合には、1に○をつけ(この場合、以降の研修医の処遇の項目については記入しなくても差し支えないこと。)、また、施設独自の処遇とする場合には、2に○をつけること。
- (2)「研修手当」欄は、研修医の基本的な研修手当について、1年次及び2年次の基本手当の額(税込み)、賞与の支給額を記入すること。基本手当が月給ではない場合にあっては、およその月額を記入すること。時間外手当及び休日手当を支給する場合は、それぞれ「1. 有」に、支給しない場合には「0. 無」に○をつけること。なお、時間外勤務及び休日勤務がある場合においては、時間外手当及び休日手当が支給されるものと考えられること。
- (3)「勤務時間」欄は、研修医の基本的な勤務時間及び勤務時間中の休憩時間について記入すること。また、「時間外勤務の有無」欄は、時間外勤務がある場合には「1. 有」に、ない場合には「0. 無」に○をつけること。
- (4)「休暇」欄は、研修医の基本的な休暇の内容について、1年次及び2年次の有給休暇付与日数を記入すること。また、夏季休暇、年末年始休暇の有無について該当するものに○をつけること。また、これら以外に休暇を付与する場合は、その具体的休暇名を記入すること。
- (5)「当直」欄は、研修医の一月あたりのおよその当直回数について記入すること。
- (6)「社会保険・労働保険」欄は、研修医に適用される社会保険・労働保険について、「公的医療保険( )」欄に「組合健康保険」等と、「公的年金保険( )」欄に「厚生年金保険」等と記入し、「労働者災害補償保険法の適用」欄、「国家・地方公務員災害補償法の適用」欄、「雇用保険」欄のそれぞれ該当するものに○をつけること。
- (7)「健康管理」欄は、研修医の基本的な健康管理について、健康診断の回数を記入すること。また、健康診断以外で健康管理を実施している場合は、「その他」欄に具体的に記入すること。
- (8)「医師賠償責任保険の扱い」欄は、研修医の医師賠償責任保険の基本的な扱いについて該当するものに○をつけること。
- (9)「外部の研修活動」欄は、学会、研究会等への参加を認めるか否かについて該当するものに○をつけ、認める場合における参加費用の支給の有無についても、該当するものに○をつけること。

1 1. 診療科ごとの入院患者・外来患者の数

既に番号を取得している施設については病院施設番号を記入してください。

臨床研修病院の名称：国民健康保険上矢作病院

病院施設番号：035303

区 分	内 科	救急部門	外 科	麻酔科 (部門)	小児科	産婦人科	又は		精 神 科	病院で定めた必修 科目の診療科			その他の研修を行 う診療科			合 計
							産 科	婦 人 科								
年間入院患者実数 ( ) 内は救急件数又は分娩件数	193	( )	79			( )	( )	( )								272
年間新外来患者数	1, 3 4 4		390													1, 734
1日平均外来患者数 ( ) 内は年間外来診療日数	42. 2 (245)	( )	4. 4 (245)	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	
平均在院日数	7. 5		9. 8													
常勤医師数 (うち臨床研修指導医(指導 医)数)	2 ( 1 )	( )	1 ( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	3 ( 1 )

※ 「年間入院患者実数」とは、当該年度の前々年度の繰越患者数に当該年度の前年度中における新入院患者数を加えた数とすること。「年間新外来患者数」とは、当該年度の前年度中に来院した外来患者のうち、初診料を算定した患者数とすること。「1日平均外来患者数」とは、年間外来患者延数÷年間外来診療日数による数(小数第二位を四捨五入)とすること。「病院で定めた必修科目の診療科」欄等が足りない場合には、続紙(様式自由)に記載し添付すること。「救急件数」及び「分娩件数」とは、8. の救急医療の実績の前年度の件数及び1 1. の正常分娩件数と異常分娩件数の合計とすること。

※ 「内科」とは、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、神経内科等を含めた広義の内科のうち基本研修科目の内科分野の研修を行う診療科であり、「外科」とは、心臓血管外科、呼吸器外科、脳外科等を含めた広義の外科のうち基本研修科目の外科分野の研修を行う診療科であること。

# 1 1. 診療科ごとの研修医の数

既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入してください。

(令和 6 年度分)								臨床研修協力施設の名称：国民健康保険上矢作病院						
								病院施設番号：035303						
基幹型病院名	担当分野	1～ 4週	5～ 8週	9～ 12週	11～ 16週	17～ 20週	21～ 24週	25～ 28週	29～ 32週	33～ 36週	37～ 40週	41～ 44週	45～ 48週	49～ 52週
愛知医科大学病院	地域医療		1	1	1	1	1	1	1	1				
岐阜県立多治見病院	地域医療			1	1	1	1	1	1	1				
名古屋市立東部医療センター	地域医療						1	1						
トヨタ記念病院	地域医療		1		1	1						1		
土岐市立総合病院	地域医療	1							1	1			1	
中津川市民病院	地域医療	1	1	1								1		

※ 申請年度の次年度分、次々年度分を別葉で作成すること。

※ 「基幹型病院名」欄には、当該病院が申請年度の次年度又は次々年度に研修医を受け入れる基幹型病院の名称及びそのプログラムにおける自病院の担当分野をすべて記入し（自病院が基幹型病院の場合は、自病院を一番上に記入すること）、基幹型病院及び担当分野ごとに各週に受け入れる研修医の延人数（研修期間4週について1人とする）を記入すること。また、複数の基幹型病院の研修医を受け入れる担当分野がある場合には、その担当分野ごとの合計を記入すること。

※ 「担当分野」欄には、内科、救急部門、地域医療、外科、麻酔科、小児科、産婦人科及び精神科のみを記入し、選択科については記入しないこと。ただし、一般外来については、他科との並行研修ではなく、単独で実施する場合に限り記入すること。

※ 担当分野が選択科目の場合は、受け入れる研修医の延人数は、受け入れ予定の最大数を記入すること。

# 1 1. 診療科ごとの研修医の数

既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入してください。

(令和 7 年度分)								臨床研修協力施設の名称：国民健康保険上矢作病院						
								病院施設番号：035303						
基幹型病院名	担当分野	1～ 4週	5～ 8週	9～ 12週	11～ 16週	17～ 20週	21～ 24週	25～ 28週	29～ 32週	33～ 36週	37～ 40週	41～ 44週	45～ 48週	49～ 52週
愛知医科大学病院	地域医療		1	1	1	1	1	1	1	1	1			
岐阜県立多治見病院	地域医療		1	1			1			1	1			
名古屋市立東部医療センター	地域医療		1	1		1								
トヨタ記念病院	地域医療		1		1		1	1		1				
土岐市立総合病院	地域医療	1			1				1					
中津川市民病院	地域医療	1				1					1	1		
	地域医療													
	地域医療													

※ 申請年度の次年度分、次々年度分を別葉で作成すること。

※ 「基幹型病院名」欄には、当該病院が申請年度の次年度又は次々年度に研修医を受け入れる基幹型病院の名称及びそのプログラムにおける自病院の担当分野をすべて記入し（自病院が基幹型病院の場合は、自病院を一番上に記入すること）、基幹型病院及び担当分野ごとに各週に受け入れる研修医の延人数（研修期間4週について1人とすること）を記入すること。また、複数の基幹型病院の研修医を受け入れる担当分野がある場合には、その担当分野ごとの合計を記入すること。

※ 「担当分野」欄には、内科、救急部門、地域医療、外科、麻酔科、小児科、産婦人科及び精神科のみを記入し、選択科については記入しないこと。ただし、一般外来については、他科との並行研修ではなく、単独で実施する場合に限り記入すること。

※ 担当分野が選択科目の場合は、受け入れる研修医の延人数は、受け入れ予定の最大数を記入すること。

# 1 1. 診療科ごとの研修医の数

既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入してください。

(令和 8 年度分)								臨床研修協力施設の名称：国民健康保険上矢作病院						
								病院施設番号：035303						
基幹型病院名	担当分野	1～ 4週	5～ 8週	9～ 12週	11～ 16週	17～ 20週	21～ 24週	25～ 28週	29～ 32週	33～ 36週	37～ 40週	41～ 44週	45～ 48週	49～ 52週
愛知医科大学病院	地域医療		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1		
岐阜県立多治見病院	地域医療		1	1			1	1		1				
名古屋市立東部医療センター	地域医療			1		1				1				
トヨタ記念病院	地域医療		1		1	1	1				1			
土岐市立総合病院	地域医療	1		1					1					
中津川市民病院	地域医療	1			1			1		1				
	地域医療													
	地域医療													

※ 申請年度の次年度分、次々年度分を別葉で作成すること。

※ 「基幹型病院名」欄には、当該病院が申請年度の次年度又は次々年度に研修医を受け入れる基幹型病院の名称及びそのプログラムにおける自病院の担当分野をすべて記入し（自病院が基幹型病院の場合は、自病院を一番上に記入すること）、基幹型病院及び担当分野ごとに各週に受け入れる研修医の延人数（研修期間4週について1人とすること）を記入すること。また、複数の基幹型病院の研修医を受け入れる担当分野がある場合には、その担当分野ごとの合計を記入すること。

※ 「担当分野」欄には、内科、救急部門、地域医療、外科、麻酔科、小児科、産婦人科及び精神科のみを記入し、選択科については記入しないこと。ただし、一般外来については、他科との並行研修ではなく、単独で実施する場合に限り記入すること。

※ 担当分野が選択科目の場合は、受け入れる研修医の延人数は、受け入れ予定の最大数を記入すること。

(No. )

## 3.3. 臨床研修指導医（指導医）等の氏名等

病院施設番号：030358

臨床研修病院の名称：国民健康保険上矢作病院

担当分野	氏名	所属	役職	臨床経験 年数	指導医講習 会等の受講 経験 有：○ 無：×	資格等	プログラム番号	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 臨床研修指導医 (指導医)
地域医療	佐本 洋介	国民健康保険上 矢作病院	副病院長	18年	○	・第18回岐阜県医師育成・確 保コンソーシアム臨床研修指 導医講習会	30358203	1.3.4

※ 「担当分野」欄には、様式10別紙3の臨床研修を行う分野及び病理（CPC）を記入すること。

※ 「所属」欄には、臨床研修指導医（指導医）等が所属する病院又は施設の名称を記入すること。

※ 「資格等」欄には、受講した指導医講習会名称や、取得した専門医資格等について記入すること。

※ 「プログラム番号」欄には、臨床研修指導医（指導医）等が担当するすべてのプログラム番号を記入すること（プログラム番号を取得していない場合には研修プログラムの名称を記入すること。）。

※ プログラム責任者、副プログラム責任者、研修実施責任者及び臨床研修指導医（指導医）については、「備考」欄にそれぞれに応じた番号を記入し、併せてプログラム番号を記入すること（プログラム番号を取得していない場合には研修プログラムの名称を記入すること。）。

\* 研修実施責任者・・・協力型臨床研修病院又は臨床研修協力施設において、当該施設における臨床研修の実施を管理する者

\* 臨床研修指導医（指導医）・・・研修医に対する指導を行う医師であり、7年（84月）以上の臨床経験及び指導医養成講習会等の受講経験を有する者

※ 地域医療重点プログラムにおいては、地域医療の指導医を必ず記載すること

※ 欄が足りない場合には、コピーにより対応し、「(No. )」欄にページ数を記入すること。

## 臨床研修協力施設概況表－1－

医療機関用

記入日：西暦 2024 年 4 月 22 日

病院施設番号 既に番号を取得している施設については病院施設番号を記入してください。	056305	臨床研修病院群の名称 臨床研修病院群を構成する場合に記入してください。 既に臨床研修病院群番号を有している臨床研修病院群については、番号も記入してください。	名称 知多厚生病院臨床研修病院群 番号 0309414
作成責任者の氏名及び連絡先 本調査表の問合せに対して回答できる作成責任者について記入してください。	フリガナ アサノ アキヒロ 氏名（姓） 浅野 氏名（姓） 彰大	所属 愛知県厚生農業協同組合連合会知多厚生病院 （内線 4523） 役職 総務係長	（直通電話（0569）82-0395） e-mail : c-hospital@chita.jaaikosei.or.jp （携帯電話のメールアドレスは不可とします。）
1. 臨床研修協力施設の名称	フリガナ ヒマカジマシヨウジョ 日間賀島診療所		
2. 臨床研修協力施設の所在地	〒 470-3504 （愛知県） 知多郡南知多町大字日間賀島字東側 123 電話：（0569）68-2345 F A X：（0569）68-2395		
3. 臨床研修協力施設の開設者の氏名（法人の名称）	フリガナ ヒマカジマシヨウジョ 日間賀島診療所		
4. 臨床研修協力施設の開設者の住所（法人の主たる事務所の所在地）	〒 470-3504 （愛知県） 知多郡南知多町大字日間賀島字東側 123 電話：（0569）68-2345 F A X：（0569）68-2395		
5. 臨床研修協力施設の管理者の氏名及び役職名	フリガナ ヤスイ ケンゾウ 姓 安井	名 健三	役職名：診療所長
6. 研修実施責任者の氏名及び役職名	フリガナ ヤスイ ケンゾウ 姓 安井	姓 健三	役職名：診療所長
7. 施設のホームページアドレス	http://		
8. 診療科名 当該病院の医療法上の標ぼう診療科について該当する番号すべてに○をつけ、該当する診療科がない場合は「99.その他」欄に記入すること。	※ 標ぼう診療科（番号に○をつけてください。） ①内科 2.呼吸器内科 3.循環器内科 4.消化器内科 5.気管食道内科 6.神経内科 7.心療内科 8.性感染症内科 ⑨外科 10.呼吸器外科 11.心臓血管外科 12.消化器外科 13.小児外科 14.気管食道外科 15.肛門外科 16.整形外科 17.脳神経外科 18.形成外科 19.美容外科 20.精神科 21.アレルギー科 22.リウマチ科 23.小児科 ②皮膚科 25.泌尿器科 26.産婦人科 27.産科 28.婦人科 29.眼科 30.耳鼻咽喉科 31.リハビリテーション科 32.放射線科 33.病理診断科 34.臨床検査科 35.救急科 99.その他（次に記入してください。） 901 科 902 科 903 科 904 科 905 科 906 科 907 科 908 科 909 科 910 科		

## 臨床研修協力施設概況表－2－

病院施設番号：056305

臨床研修協力施設の名称：日間賀島診療所

9. 救急医療の提供の実績	救急病院認定の告示 医療計画上の位置付け  救急専用診療（処置）室の有無 救急医療の実績  診療時間外の勤務体制 指導を行う者の氏名等 救急医療を提供している診療科	告示年月日：西暦 年 月 日、告示番号：第 号 番号に○をつけてください。 1. 初期救急医療機関 2. 第二次救急医療機関 3. 第三次救急医療機関  1. 有 ( ) m <sup>2</sup> 0. (無)  前年度の件数： 0 件（うち診療時間外： 0 件） 1日平均件数： 0 件（うち診療時間外： 0 件） 救急車取扱件数： 0 件（うち診療時間外： 0 件）  医師： 0 名、看護師及び准看護師： 0 名 * 臨床研修病院指定申請書の別紙4に記入  内科系（1. 有 0. 無） 外科系（1. 有 0. 無）、 小児科（1. 有 0. 無） その他 ( )
10. 医療法上の許可病床数（歯科の病床数を除く。）		1. 一般： 0 床、2. 精神： 0 床、3. 感染症： 0 床 4. 結核： 0 床、5. 療養： 0 床
11. 診療科ごとの入院患者・外来患者・研修医の数		* 別紙1に記入
12. 病床の種別ごとの平均在院日数(小数第二位四捨五入)		1. 一般： 0.0 日、2. 精神： 0.0 日、3. 感染症： 0.0 日、 4. 結核： 0.0 日、5. 療養： 0.0 日
13. 前年度の分娩件数 (産婦人科の研修がある場合のみ)		正常分娩件数： 0 件、異常分娩件数： 0 件
14. 臨床病理検討会 (CPC)の実施 状況 (臨床病理検討会を実施 している場合のみ)	開催回数	前年度実績： 0 回、今年度見込： 0 回
	指導を行う病理医の氏名等	* 臨床研修病院指定申請書の別紙4に記入
	剖検数	前年度実績： 0 件、今年度見込： 0 件
	剖検を行う場所	当該医療機関の剖検室 1. 有 0. (無) ( ) 大学、( ) 病院 無を選択した場合には、剖検を実施している大学又は病院を記入してください。
15. 研修医のための 宿舎及び研修医 室の有無	研修医の宿舎	1. 有（単身用： 戸、世帯用： 戸） 0. 無（住宅手当： 円） 有を選択した場合には、単身用・世帯用に分けて宿舎の戸数を記入してください。 無を選択した場合には、住宅手当の金額を記入してください。住宅手当の支給が無い場合は、「0」と記入してください。
	研修医室	1. 有 ( 室) 0. (無) 有を選択した場合には、研修医室の室数を記入してください。
16. 図書、雑誌、インターネット等 が利用できる環 境及び医学教育 用機材の整備状 況	図書室の広さ	( ) m <sup>2</sup>
	医学図書数	国内図書： 0 冊、国外図書： 0 冊
	医学雑誌数	国内雑誌： 0 種類、国外雑誌： 0 種類
	図書室の利用可能時間	: ~ : 24 時間表記
	文献データベース等の利用環境	Medline 等の文献データベース（1. 有 0. 無）、 教育用コンテンツ（1. 有 0. 無）、 その他 ( ) 利用可能時間 ( : ~ : ) 24 時間表記
	医学教育用機材の整備状況	医学教育用シミュレーター（1. 有 0. (無)）、 その他 ( )
17. 精神保健福祉士、作業療法士その他診療要員の配置状況 (精神科の研修を行う施設については記入してください。)		精神保健福祉士： 0 名（常勤： 0 名、非常勤： 0 名） 作業療法士： 0 名（常勤： 0 名、非常勤： 0 名） 臨床心理技術者： 0 名（常勤： 0 名、非常勤： 0 名） その他の精神科技術職員： 0 名（常勤： 0 名、非常勤： 0 名）



(記入要領)

- 1 特に定めのあるもののほか、原則として、申請日の属する年度（以下「申請年度」という。）の4月1日現在で作成すること。
- 2 初めて概況表を提出する施設の場合は、記入が必要なすべての項目について記入してください。
- 3 既に病院施設番号を取得している施設については病院施設番号を記入し、前回提出した申請書の内容と異なる項目について記入してください。
- 4 (医療機関のみ)と記載されている項目は、当該施設が医療機関である場合にのみ記入してください。
- 5 (1. 有 0. 無)のように選択形式の項目は、いずれかに○をつけてください。
- 6 ※欄は、記入しないこと。
- 7 臨床研修協力施設の種類に応じて、「1. 医療機関 2. その他の機関」の番号に○をつけること。
- 8 「作成責任者の氏名及び連絡先」欄の作成責任者は、記載内容について十分回答できる者とする。また、「所属」欄には、作成責任者の所属施設名を記入すること。
- 9 「診療科名」欄は、臨床研修協力施設が医療機関である場合に、当該施設の医療法上の標ぼう診療科について該当する番号すべてに○をつけ、該当する診療科がない場合は「99. その他」欄に記入すること。
- 10 「救急医療の提供の実績」欄は、臨床研修協力施設が医療機関である場合であって、救急医療を提供している場合に記入するものであること。
  - (1)「救急病院認定の告示」欄は、「救急病院等を定める省令」(昭和39年厚生省令第186号)に基づき都道府県知事の救急病院の認定を受けている病院である場合に、告示年月日(西暦)及び告示番号を記入するものであること。
  - (2)「医療計画上の位置付け」欄は、医療計画上、初期救急医療機関、第二次救急医療機関又は第三次救急医療機関として位置付けられている場合に、該当する番号に○をつけるものであること。
  - (3)「救急専用診療(処置)室の有無」欄は、救急専用診療(処置)室を有する場合には、「1. 有」に○をつけるとともに、その面積を記入し、有しない場合には、「0. 無」に○をつけること。
  - (4)「救急医療の実績」欄については、「前年度の件数」は申請年度の前年度の救急取扱件数(来院方法を問わず、すべての件数)、「1日平均件数」は申請年度の前年度の救急取扱件数を年間総日数(365又は366)で除した数、また、「救急車取扱件数」は申請年度の前年度の救急取扱件数のうちで来院方法が救急車によるものの数をそれぞれ記入すること。さらに、これらの件数のうち診療時間外に受け付けた件数について、それぞれの「うち診療時間外」欄に記入すること。
  - (5)「診療時間外の勤務体制」については、「医師」数は、「救急医療を提供している診療科」の診療時間外の勤務体制における医師数を記入すること。また、「看護師及び准看護師」数は、専ら救急医療を提供するための病棟・外来に勤務する看護師及び准看護師のうち、診療時間外の交代制及び宿日直体制における看護師及び准看護師数を記入すること。
  - (6)「指導を行う者の氏名等」欄については、救急医療の指導を行う者について臨床研修病院指定申請書の別紙4に記入すること。
  - (7)「救急医療を提供している診療科」欄は、内科系、外科系又は小児科に係る救急医療の提供の有無について、該当する番号に○をつけ、その他の診療科に係る救急医療を提供している場合には、「その他」欄に当該診療科名を記入すること。
- 11 「医療法上の許可病床数(歯科の病床数を除く。)」欄は、臨床研修協力施設が医療機関である場合であって、許可病床を有している場合に、当該施設の病床の種別ごとの許可病床数を記入すること。
- 12 「診療科ごとの入院患者・外来患者・研修医の数」欄は、臨床研修協力施設が医療機関である場合に、当該施設で行う研修分野に係る診療科について記入することで差し支えないこと。
- 13 「病床の種別ごとの平均在院日数」欄は、臨床研修協力施設が医療機関である場合に記入するものであって、次に掲げる算出式により算出した、申請年度の前年度の平均在院日数を記入すること。ただし、在院患者延日数とは、申請年度の前年度の毎日午後12時現在の在院患者数を合計した数とする。なお、在院患者延日数、新入院患者数及び退院患者数については、保険診療であるか否かを問わないものであること。

※ 算出式

$$\frac{\text{在院患者延日数}}{1/2(\text{新入院患者数} + \text{退院患者数})} = \text{平均在院日数 (小数第二位を四捨五入)}$$

- 14 「前年度の分娩件数」欄は、臨床研修協力施設が医療機関であって、産婦人科の研修を行う場合に、申請年度の前年度の正常分娩件数及び異常分娩件数についてそれぞれ記入すること。
- 15 「臨床病理検討会(CPC)の実施状況」欄は、臨床研修協力施設が医療機関であって、臨床病理検討会を開催している場合に記入するものであること。
  - (1)「開催回数」欄は、申請年度の前年度の開催回数及び申請年度の開催見込数を記入すること。
  - (2)「剖検数」欄は、申請年度の前年度の剖検件数及び申請年度の剖検見込数を記入すること。
  - (3)「剖検を行う場所」欄は、剖検を当該医療機関の剖検室で行っている場合は「1. 有」に○をつけること。また、剖検を当該医療機関の剖検室で行っていない場合には、「0. 無」に○をつけるとともに、剖検を大学の剖検室において行っているときは「( ) 大学」に当該大学名を記入し、剖検を他病院の剖検室で行っているときは「( ) 病院」に当該病院名を記入すること。
- 16 「研修医のための宿舎及び研修医室の有無」欄は、臨床研修協力施設が医療機関である場合には必ず記入すること。
  - (1)「研修医の宿舎」欄は、研修医の利用に供する宿舎(当該施設の敷地の内外を問わない。)を有する場合は「1. 有」に○をつけるとともに、「単身用」・「世帯用」のそれぞれの戸数を記入すること。また、研修医のための宿舎を有さない場合は「0. 無」に○をつけるとともに、住宅手当の支給内容(全額支給、一律〇〇円、最低〇〇円から最高〇〇円の範囲内で負担額に応じて支給等)を記入すること(住宅手当を支給していない場合には「0円」と記入すること)。
  - (2)「研修医室」欄は、研修医室を有する場合は「1. 有」に○をつけるとともに、その室数を記入すること。また、研修医室を有さない場合は「0. 無」に○をつけること。
- 17 「図書、雑誌、インターネット等が利用できる環境及び医学教育用教材の整備状況」欄は、臨床研修協力施設が医療機関である場合には必ず記入すること。
  - (1)「文献データベース等の利用環境」欄は、Medline等の文献データベース及び教育用コンテンツのそれぞれについて、利用できる場合は「1. 有」に○をつけ、利用できない場合には「0. 無」に○をつけること。また、文献データベース及び教育用コンテンツ以外に、これに類するもので利用できるものがある場合は「その他( )」にその内容を記入すること。

- (2)「医学教育用機材の整備状況」欄は、医学教育用シミュレーターの整備の有無について該当する番号に○をつけること。また、臨床研修に必要なその他の医学教育用機材を整備している場合は「その他（ ）」にその内容を記入すること。
- 18 「精神保健福祉士、作業療法士その他診療要員の配置状況」欄は、当該施設が精神科の研修を行う場合に記入するものであり、精神保健福祉士、作業療法士、臨床心理技術者のそれぞれの職種について、職員数及び常勤・非常勤別の内訳数を記入すること。また、これらの職種以外にも精神科に係る技術職員がいる場合は、その職員数及び常勤・非常勤別の内訳数を記入すること。
- 19 「研修プログラムの名称」以降の欄については、研修プログラムごとに別葉に記入すること。
- 20 「研修医の指導を行う者の氏名等」欄については、研修医の指導を行う者について臨床研修病院指定申請書の別紙4に記入すること。
- 21 「インターネットを用いた評価システム」欄は、該当するものに○をつけ、「1. 有」を選択した場合は、EPOCかその他を選択すること。
- 22 「研修医の処遇」欄について
- (1)「処遇の適用」欄については、基幹型臨床研修病院と同一の処遇とする場合には、1に○をつけ（この場合、以降の研修医の処遇の項目については記入しなくても差し支えないこと。）、また、施設独自の処遇とする場合には、2に○をつけること。
- (2)「研修手当」欄は、研修医の基本的な研修手当について、1年次及び2年次の基本手当の額（税込み）、賞与の支給額を記入すること。基本手当が月給ではない場合にあっては、およその月額を記入すること。時間外手当及び休日手当を支給する場合は、それぞれ「1. 有」に、支給しない場合には「0. 無」に○をつけること。なお、時間外勤務及び休日勤務がある場合においては、時間外手当及び休日手当が支給されるものと考えられること。
- (3)「勤務時間」欄は、研修医の基本的な勤務時間及び勤務時間中の休憩時間について記入すること。また、「時間外勤務の有無」欄は、時間外勤務がある場合には「1. 有」に、ない場合には「0. 無」に○をつけること。
- (4)「休暇」欄は、研修医の基本的な休暇の内容について、1年次及び2年次の有給休暇付与日数を記入すること。また、夏季休暇、年末年始休暇の有無について該当するものに○をつけること。また、これら以外に休暇を付与する場合は、その具体的休暇名を記入すること。
- (5)「当直」欄は、研修医の一月あたりのおよその当直回数について記入すること。
- (6)「社会保険・労働保険」欄は、研修医に適用される社会保険・労働保険について、「公的医療保険（ ）」欄に「組合健康保険」等と、「公的年金保険（ ）」欄に「厚生年金保険」等と記入し、「労働者災害補償保険法の適用」欄、「国家・地方公務員災害補償法の適用」欄、「雇用保険」欄のそれぞれ該当するものに○をつけること。
- (7)「健康管理」欄は、研修医の基本的な健康管理について、健康診断の回数を記入すること。また、健康診断以外で健康管理を実施している場合は、「その他」欄に具体的に記入すること。
- (8)「医師賠償責任保険の扱い」欄は、研修医の医師賠償責任保険の基本的な扱いについて該当するものに○をつけること。
- (9)「外部の研修活動」欄は、学会、研究会等への参加を認めるか否かについて該当するものに○をつけ、認める場合における参加費用の支給の有無についても、該当するものに○をつけること。

1 1. 診療科ごとの入院患者・外来患者の数

既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入してください。

臨床研修病院の名称：日間賀島診療所
病院施設番号：056305

区 分	内 科	救急部門	外 科	麻酔科 (部門)	小 児 科	産婦人科	又は		精 神 科	病院で定めた必修 科目の診療科			その他の研修を行 う診療科			合 計
							産 科	婦 人 科		地 域 医 療						
年間入院患者実数 ( ) 内は救急件数又は分娩件数		( )				( )	( )									
年間新外来患者数	349										685					1034
1日平均外来患者数 ( ) 内は年間外来診療日数	26.4 (191)	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )		30 (193)	( )	( )	( )	( )	
平均在院日数																
常勤医師数 (うち臨床研修指導医 (指導医) 数)	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )		1 (1)	( )	( )	( )	( )	1 (1)

※ 「年間入院患者実数」とは、申請年度の前々年度の繰越患者数に申請年度の前年度中における新入院患者数を加えた数とすること。「年間新外来患者数」とは、申請年度の前年度中に来院した外来患者のうち、初診料を算定した患者数とすること。「1日平均外来患者数」とは、年間外来患者延数÷年間外来診療日数による数（小数第二位を四捨五入）とすること。「病院で定めた必修科目の診療科」欄等が足りない場合には、続紙（様式自由）に記載し添付すること。「救急件数」及び「分娩件数」とは、1 1. の救急医療の実績の前年度の件数及び1 5. の正常分娩件数と異常分娩件数の合計とすること。

※ 「内科」とは、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、神経内科等を含めた広義の内科のうち基本研修科目の内科分野の研修を行う診療科であり、「外科」とは、心臓血管外科、呼吸器外科、脳外科等を含めた広義の外科のうち基本研修科目の外科分野の研修を行う診療科であること。

1 1. 診療科ごとの研修医の数

既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入してください。

(2024 年度分)									臨床研修協力施設の名称：日間賀島診療所					
									病院施設番号：056305					
基幹型病院名	担当分野	1～ 4 週	5～ 8 週	9～ 12 週	13～ 16 週	17～ 20 週	21～ 24 週	25～ 28 週	29～ 32 週	33～ 36 週	37～ 40 週	41～ 44 週	45～ 48 週	49～ 52 週
常滑市民病院	地域医療	0.15			0.15									
名古屋市立大学病院	地域医療		0.15	0.15		0.15				0.15			0.3	
碧南市民病院	地域医療						0.22							
蒲郡市民病院	地域医療							0.15	0.15					
名古屋大学病院	地域医療											0.15		

- ※ 申請年度の次年度分、次々年度分を別葉で作成すること。
- ※ 「基幹型病院名」欄には、当該病院が申請年度の次年度又は次々年度に研修医を受け入れる基幹型病院の名称及びそのプログラムにおける自病院の担当分野をすべて記入し（自病院が基幹型病院の場合は、自病院を一番上に記入すること）、基幹型病院及び担当分野ごとに各週に受け入れる研修医の延人数（研修期間4週について1人とすること）を記入すること。また、複数の基幹型病院の研修医を受け入れる担当分野がある場合には、その担当分野ごとの合計を記入すること。
- ※ 「担当分野」欄には、内科、救急部門、地域医療、外科、麻酔科、小児科、産婦人科及び精神科のみを記入し、選択科については記入しないこと。ただし、一般外来については、他科との並行研修ではなく、単独で実施する場合に限り記入すること。
- ※ 地域密着型病院の場合も同様の記入をすること。

# 1 1. 診療科ごとの研修医の数

既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入してください。

(2025 年度分)								臨床研修協力施設の名称：日間賀島診療所						
								病院施設番号：056305						
基幹型病院名	担当分野	1～ 4 週	5～ 8 週	9～ 12 週	13～ 16 週	17～ 20 週	21～ 24 週	25～ 28 週	29～ 32 週	33～ 36 週	37～ 40 週	41～ 44 週	45～ 48 週	49～ 52 週
知多厚生病院	地域医療	1	1											
常滑市民病院	地域医療	0.15			0.15									
名古屋市立大学病院	地域医療		0.15	0.15		0.15				0.15			0.3	
碧南市民病院	地域医療						0.22							
蒲郡市民病院	地域医療							0.15	0.15					
名古屋大学病院	地域医療											0.15		

- ※ 申請年度の次年度分、次々年度分を別葉で作成すること。
- ※ 「基幹型病院名」欄には、当該病院が申請年度の次年度又は次々年度に研修医を受け入れる基幹型病院の名称及びそのプログラムにおける自病院の担当分野をすべて記入し（自病院が基幹型病院の場合は、自病院を一番上に記入すること）、基幹型病院及び担当分野ごとに各週に受け入れる研修医の延人数（研修期間4週について1人とすること）を記入すること。また、複数の基幹型病院の研修医を受け入れる担当分野がある場合には、その担当分野ごとの合計を記入すること。
- ※ 「担当分野」欄には、内科、救急部門、地域医療、外科、麻酔科、小児科、産婦人科及び精神科のみを記入し、選択科については記入しないこと。ただし、一般外来については、他科との並行研修ではなく、単独で実施する場合に限り記入すること。
- ※ 地域密着型病院の場合も同様の記入をすること。

# 1 1. 診療科ごとの研修医の数

既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入してください。

(2026 年度分)								臨床研修協力施設の名称：日間賀島診療所						
								病院施設番号：056305						
基幹型病院名	担当分野	1～ 4 週	5～ 8 週	9～ 12 週	13～ 16 週	17～ 20 週	21～ 24 週	25～ 28 週	29～ 32 週	33～ 36 週	37～ 40 週	41～ 44 週	45～ 48 週	49～ 52 週
知多厚生病院	地域医療	1	1											
常滑市民病院	地域医療	0.15			0.15									
名古屋市立大学病院	地域医療		0.15	0.15		0.15				0.15			0.3	
碧南市民病院	地域医療						0.22							
蒲郡市民病院	地域医療							0.15	0.15					
名古屋大学病院	地域医療											0.15		

- ※ 申請年度の次年度分、次々年度分を別葉で作成すること。
- ※ 「基幹型病院名」欄には、当該病院が申請年度の次年度又は次々年度に研修医を受け入れる基幹型病院の名称及びそのプログラムにおける自病院の担当分野をすべて記入し（自病院が基幹型病院の場合は、自病院を一番上に記入すること）、基幹型病院及び担当分野ごとに各週に受け入れる研修医の延人数（研修期間4週について1人とすること）を記入すること。また、複数の基幹型病院の研修医を受け入れる担当分野がある場合には、その担当分野ごとの合計を記入すること。
- ※ 「担当分野」欄には、内科、救急部門、地域医療、外科、麻酔科、小児科、産婦人科及び精神科のみを記入し、選択科については記入しないこと。ただし、一般外来については、他科との並行研修ではなく、単独で実施する場合に限り記入すること。
- ※ 地域密着型病院の場合も同様の記入をすること。

3.1. 臨床研修指導医等の氏名等

病院施設番号

: 030941

臨床研修病院の名称

愛知県厚生農業協同組合連合会  
知多厚生病院

No ( 1 )

担当分野	氏名	所属	役職	臨床研修 年数	指導医講習 年の受講 状況 ○: 有 ×: 無	資格等	医籍登録		プログラム番号	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施担当者 4 臨床研修指導医 (指導 医)
							番号	年月日		
内科	宮本 忠壽	知多厚生病院	名病院長	47	○	第1回愛知県厚生農業協同組合連合会臨床研修指導医講習会 日本科学会認定医・専門医 日本消化器病学会専門医・指導医 日本消化器内視鏡学会専門医・指導医 日本化学療法学会認定医 日本医師会認定産業医	235883	S52/5/26	030941402・030941403	4
内科	高橋 佳嗣	知多厚生病院	病院長	37	○	第5回愛知県厚生農業協同組合連合会臨床研修指導医講習会 日本内科学会専門医 日本消化器病学会専門医 日本肝臓病学会専門医	303391	S62/5/15	030941402・030941403	4
内科	丹村 敏樹	知多厚生病院		42	○	第3回愛知県厚生農業協同組合連合会臨床研修指導医講習会 日本科学会専門医・指導医 日本臨床病学会専門医・指導医 日本化学療法学会専門医・指導医 日本プライマリケア学会認定医 日本人間ドック学会専門医・指導医 日本泌尿器学会専門医・NSTCコーディネーター 日本医師会認定産業医	266955	S57/5/28	030941402・030941403	4
内科	富本 茂裕	知多厚生病院	副院長兼総合診療部長兼 医療安全管理部長兼感染 制御部長兼内科代表部長	34	○	名古屋市立大学病院第2回臨床研修指導医講習会 日本内科学会認定医・専門医 日本循環器学会専門医	335523	H2/6/13	030941402・030941403	4 研修管理委員
内科	川口 博之	知多厚生病院	一般内科部長	37	○	第11回名古屋大ネットワーク指導医講習会	309552	S62/6/1	030941402・030941403	4
内科	山田 一貴	知多厚生病院		7	×		548965	H30/3/26	030941402・030941403	上級医
内科	山際 慧	知多厚生病院		6	×	麻酔科標榜医	550543	H30/3/27	030941402・030941403	上級医
内科	木村 紀翔	知多厚生病院		6	×		556577	H31/3/22	030941402・030941403	上級医
内科	東 美佳	知多厚生病院		5	×		566061	R2/3/23	030941402・030941403	上級医
内科	伊藤 彩子	知多厚生病院		5	×		567033	R2/3/27	030941402・030941403	上級医
内科	平松 克仁	知多厚生病院		5	×		568925	R2/3/27	030941402・030941403	上級医
内科	バチアネ・フラン	知多厚生病院		4	×		574694	R2/4/13	030941402・030941403	上級医
内科	荒川 真里奈	知多厚生病院		4	×		578204	R3/3/26	030941402・030941403	上級医
内科	脚上 祐亮	知多厚生病院		2	×		584385	R4/3/18	030941402・030941403	上級医
小児科	安井 宗洋子	知多厚生病院	小児科部長	16	○	第22回愛知県厚生農業協同組合連合会臨床研修指導医講習会 日本小児科学会専門医	469104	H20/4/8	030941402・030941403	4 研修管理委員
外科	村元 雅之	知多厚生病院	副院長兼診療部長	38	○	第12回愛知県厚生農業協同組合連合会臨床研修指導医講習会 日本科学会専門医・指導医 日本消化器病学会専門医・指導医 日本消化器外科学会専門医・指導医	296610	S61/5/22	030941402・030941403	4 研修管理委員
外科	矢野 智紀	知多厚生病院	呼吸器外科部長	35	○	日本科学会専門医・指導医 日本呼吸器外科学会専門医・指導医	334450	H2/6/4	030941402・030941403	4
外科	杉戸 紳好	知多厚生病院	外科代表部長兼中央手術 部長	26	○	第17回愛知県厚生農業協同組合連合会臨床研修指導医講習会 日本科学会専門医 日本消化器病学会認定医 日本がん治療認定医	392622	H10/4/27	030941402・030941403	4 研修管理委員
外科	川瀬 麻衣	知多厚生病院	第2乳癌外科部長	20	×	日本乳癌学会専門医 日本外科学会専門医	438924	H16/4/27	030941402・030941403	上級医
外科	中島 亮	知多厚生病院		6	×		557775	H31/3/22	030941402・030941403	上級医
整形外科	山田 聡	知多厚生病院	整形外科代表部長	31	○	日本整形外科学会専門医	357442	H5/5/12	030941402・030941403	4 研修管理委員
整形外科	坪井 義晃	知多厚生病院	リハビリテーション科部長	19	○	日本整形外科学会専門医	446579	H17/4/6	030941402・030941403	4
整形外科	土井 孝信	知多厚生病院	整形外科部長	12	○	日本整形外科学会専門医	503615	H24/4/5	030941402・030941403	4
脳神経外科	水野 志朗	知多厚生病院	名病院長	43	○	第1回愛知県厚生農業協同組合連合会臨床研修指導医講習会 日本脳神経外科学会専門医 日本神経学会専門医	259291	S56/5/28	030941402・030941403	4
脳神経外科	福島 康行	知多厚生病院	副院長兼地域医療福祉課 課長兼脳神経外科代表 部長	39	○	日本脳神経外科学会専門医 日本脳卒中学会専門医	290579	S60/5/25	030941402・030941403	4 研修管理委員
脳神経外科	中塚 雅雄	知多厚生病院	臨床研修部長兼医療情報 部長兼脳血管内治療部長	34	○	第10回愛知県厚生農業協同組合連合会臨床研修指導医講習会 日本脳神経外科学会専門医 日本脳神経学会専門医 日本脳卒中学会専門医・指導医	329656	H2/5/22	030941402・030941403	1・3・4 研修管理委員長
脳神経外科	大島 望	知多厚生病院	脳神経外科部長	16	○	日本脳神経外科学会専門医	469195	H20/4/8	030941402・030941403	4
皮膚科	吉田 有友子	知多厚生病院	皮膚科医長	10	○	日本皮膚科学会専門医	518134	H26/3/28	030941402・030941403	4 研修管理委員
泌尿器科	本間 秀樹	知多厚生病院	泌尿器科代表部長	35	○	第6回愛知県厚生農業協同組合連合会臨床研修指導医講習会 日本泌尿器科学会専門医	323766	H1/5/29	030941402・030941403	4 研修管理委員
産婦人科	菱田 克己	知多厚生病院		51	○	第8回愛知県厚生農業協同組合連合会臨床研修指導医講習会 日本産婦人科学会専門医 母体保護法指定医 日本医師会認定産業医	217840	S48/5/28	030941402・030941403	4
産婦人科	柴田 金光	知多厚生病院	検体検査管理部長	46	○	第1回臨床研修指導医講習会 日本産婦人科学会専門医・指導医	240811	S53/5/30	030941402・030941403	4
産婦人科	十河 千恵	知多厚生病院	産婦人科部長	12	○	名古屋市立大学病院第8回臨床研修指導医講習会 日本産婦人科学会専門医	503330	H24/4/5	030941402・030941403	4 研修管理委員
産婦人科	加藤 綾美	知多厚生病院		9	○		522834	H27/3/23	030941402・030941403	4
眼科	吉田 直子	知多厚生病院	眼科部長	33	○	日本眼科学会専門医	337957	H3/5/22	030941402・030941403	4 研修管理委員
眼科	小坂 拓也	知多厚生病院	眼科医長	8	×	日本眼科学会専門医	533887	H28/3/29	030941402・030941403	上級医
麻酔科	成宮 なつみ	知多厚生病院	麻酔科部長	17	×	日本麻酔科学会専門医	462652	H19/4/10	030941402・030941403	上級医
地域医療	原田 恵一	知多厚生病院	第1乳癌外科部長 兼腫瘍診療部長	43	○	第12回愛知県厚生農業協同組合連合会臨床研修指導医講習会 日本外科学会専門医 日本消化器病学会専門医・指導医	261233	S56/6/16	030941402・030941403	3・4 研修管理委員
病理	福垣 宏	知多厚生病院	病理診断科部長	40	○	日本病理学会専門医・指導医 日本臨床細胞学会専門医・指導医	284971	S59/6/5	030941402・030941403	4
地域医療	安井 健三	日間賢島診療所	日間賢島診療所長	51	×		218655	S48/6/5		3・上級医 研修管理委員

※ 「担当分野」欄には、様式5別紙3の臨床研修を行う分野及び病理（CPC）を記入すること。  
 ※ 「所属」欄には、指導医等が所属する病院又は施設の名前を記入すること。  
 ※ 「資格等」欄には、指導医に係る講習を受けた旨や、取得した専門医資格等について記入すること。  
 ※ 「プログラム番号」欄には、指導医等が担当するすべてのプログラム番号を記入すること（プログラム番号を取得していない場合は研修プログラムの名称を記入すること。）  
 ※ プログラム責任者、副プログラム責任者、研修実施担当者及び指導医については、「備考」欄にそれぞれに応じた番号を記入し、併せてプログラム番号を記入すること（プログラム番号を取得していない場合は研修プログラムの名称を記入すること。）  
 ※ 研修実施責任者・・・協力型臨床研修病院又は臨床研修協力施設において、当該施設における臨床研修の実施を管理する者  
 ※ 臨床研修指導医（指導医）・・・研修医に対する指導を行う医師であり、7年（84月）以上の臨床経験及び指導医養成講習会等の受講経験を有する者  
 ※ 欄が足りない場合は、コピーにより対応し、「(No.)」欄にページ数を記入すること。

# 臨床研修協力施設概況表－1－

医療機関用

記入日：西暦 2024 年 4 月 15 日

病院施設番号 <small>既に番号を取得している施設については病院施設番号を記入してください。</small>		臨床研修病院群の名称 <small>臨床研修病院群を構成する場合に記入してください。 既に臨床研修病院群番号を有している臨床研修病院群については、番号も記入してください。</small>		名称 番号
作成責任者の氏名及び連絡先 <small>本調査表の問合せに対して回答できる作成責任者について記入してください。</small>	フリガナ ニシザワ シュウイチ 氏名(姓) (名) 西沢 修一	所属 役職 統括事務長	(内線 4515 ) (直通電話 ( ) — ) e-mail : s-nishizawa@kizankai.or.jp <small>(携帯電話のメールアドレスは不可とします。)</small>	
	1. 臨床研修協力施設の名称 フリガナ イリヨウホクシンキザンカイキョウイノ 医療法人輝山会記念病院			
2. 臨床研修協力施設の所在地 〒 395-8558 (長野 都・道・府 県) 飯田市毛賀1707番地 電話：(0265) 26-8111 F A X：(0265) 26-9690				
3. 臨床研修協力施設の開設者の氏名(法人の名称) フリガナ イリヨウホクシンキザンカイ リジチョウ ツチヤ キミタ 医療法人輝山会 理事長 土屋 公威				
4. 臨床研修協力施設の開設者の住所(法人の主たる事務所の所在地) 〒 395-8558 (長野 都・道・府 県) 飯田市毛賀1707番地 電話：(0265) 26-8111 F A X：(0265) 26-9690				
5. 臨床研修協力施設の管理者の氏名及び役職名 フリガナ ツルクホ タツオ 姓 露 久 保 名 辰 夫 役職名： 院 長				
6. 研修実施責任者の氏名及び役職名 フリガナ シモダハラ タカヒロ 姓 下 平 名 隆 寛 役職名： 内科医長				
7. 施設のホームページアドレス http:// www.kizankai.or.jp				
8. 診療科名 <small>当該病院の医療法上の標ぼう診療科について該当する番号すべてに○をつけ、該当する診療科がない場合は「99. その他」欄に記入すること。</small>		※ 標ぼう診療科 (番号に○をつけてください。) ① 内科 ② 呼吸器内科 ③ 循環器内科 ④ 消化器内科 5. 気管食道内科 6. 神経内科 7. 心療内科 8. 感染症内科 ⑨ 外科 ⑩ 呼吸器外科 11. 心臓血管外科 ⑫ 消化器外科 13. 小児外科 14. 気管食道外科 ⑮ 肛門外科 ⑯ 整形外科 17. 脳神経外科 18. 形成外科 19. 美容外科 20. 精神科 ⑰ アレルギー科 22. リウマチ科 23. 小児科 ⑳ 皮膚科 ㉑ 泌尿器科 26. 産婦人科 27. 産科 ㉒ 婦人科 29. 眼科 30. 耳鼻咽喉科 ㉓ リハビリテーション科 ㉔ 放射線科 33. 病理診断科 34. 臨床検査科 ㉕ 救急科 ㉖ その他(次に記入してください。) 901 腎臓内科(人工透析)科 902 腎臓外科(臓器移植)科 903 人工透析外科科 904 頸部・胸部外科科 905 乳腺外科科 906 内視鏡内・外科科 907 胃腸内科科 908 食道・胃腸・大腸・肛門外科科 909 肝臓・胆のう・膵臓外科科 910 科		

## 臨床研修協力施設概況表－２－

病院施設番号：

臨床研修協力施設の名称：

9. 救急医療の提供の実績	救急病院認定の告示 医療計画上の位置付け	告示年月日：西暦 2023 年 1 月 30 日、告示番号：第 44 号 番号に○をつけてください。 1. 初期救急医療機関 ② 第二次救急医療機関 3. 第三次救急医療機関
	救急専用診療（処置）室の有無	1. 有（ ）m <sup>2</sup> ① 無
	救急医療の実績	前年度の件数： 115 件（うち診療時間外： 31 件） 1 日平均件数： 0.31 件（うち診療時間外： 0.08 件） 救急車取扱件数： 48 件（うち診療時間外： 18 件）
	診療時間外の勤務体制	医師： 1 名、看護師及び准看護師： 1 名
	指導を行う者の氏名等	* 臨床研修病院指定申請書の別紙 4 に記入
	救急医療を提供している診療科	内科系 ① 有 0. 無 外科系 ① 有 0. 無）、 小児科（ 1. 有 ① 無） その他（ ）
10. 医療法上の許可病床数（歯科の病床数を除く。）		1. 一般： 52 床、2. 精神： 床、3. 感染症： 床 4. 結核： 床、5. 療養： 147 床
11. 診療科ごとの入院患者・外来患者・研修医の数		* 別紙 1 に記入
12. 病床の種別ごとの平均在院日数（小数第二位四捨五入）		1. 一般： 17.50 日、2. 精神： 日、3. 感染症： 日、 4. 結核： 日、5. 療養： 159.0 日
13. 前年度の分娩件数 <small>（産婦人科の研修がある場合のみ）</small>		正常分娩件数： 件、異常分娩件数： 件
14. 臨床病理検討会 （CPC）の実施 状況  <small>（臨床病理検討会を実施 している場合のみ）</small>	開催回数	前年度実績： 回、今年度見込： 回
	指導を行う病理医の氏名等	* 臨床研修病院指定申請書の別紙 4 に記入
	剖検数	前年度実績： 件、今年度見込： 件
	剖検を行う場所	当該医療機関の剖検室 1. 有 0. 無（ ）大学、（ ）病院 無を選択した場合には、剖検を実施している大学又は病院を記入してください。
15. 研修医のための 宿舎及び研修医 室の有無	研修医の宿舎	1. 有（単身用： 戸、世帯用： 戸） ① 無（住宅手当： 円） 有を選択した場合には、単身用・世帯用に分けて宿舎の戸数を記入してください。 無を選択した場合には、住宅手当の金額を記入してください。住宅手当の支給が無い場合は、「0」と記入してください。
	研修医室	1. 有（ 室） ① 無 有を選択した場合には、研修医室の室数を記入してください。
16. 図書、雑誌、イ ンターネット等 が利用できる環 境及び医学教育 用機材の整備状 況	図書室の広さ	（ 60.0 ）m <sup>2</sup>
	医学図書数	国内図書： 19,513 冊、国外図書： 1,781 冊
	医学雑誌数	国内雑誌： 78 種類、国外雑誌： 5 種類
	図書室の利用可能時間	： ～ ： 24 時間表記
	文献データベース等の利用環境	Medline 等の文献データベース（ 1. 有 ① 無）、 教育用コンテンツ（ 1. 有 0. 無）、 その他（ ） 利用可能時間（ ： ～ ： ）24 時間表記
	医学教育用機材の整備状況	医学教育用シミュレーター（ 1. 有 ① 無）、 その他（ ）
17. 精神保健福祉士、作業療法士その他診療要員の配置状況 <small>（精神科の研修を行う施設については記入してください。）</small>		精神保健福祉士： 名（常勤： 名、非常勤： 名）
		作業療法士： 名（常勤： 名、非常勤： 名）
		臨床心理技術者： 名（常勤： 名、非常勤： 名）
		その他の精神科技術職員： 名（常勤： 名、非常勤： 名）

## 臨床研修協力施設概況表－3－

\* ここからは研修プログラムごとに記入してください。

病院施設番号： \_\_\_\_\_ 臨床研修協力施設の名称： \_\_\_\_\_

		※			
18. 研修プログラムの名称 プログラム番号は、既にプログラム番号を取得されている場合に記入してください。			研修プログラムの名称：  プログラム番号： _____		
19. 研修医の指導を行う者の氏名等 臨床研修協力施設に所属する研修医の指導を行う者の氏名等は、基幹型臨床研修病院の申請書の別紙4に記入してください。			* 臨床研修病院指定申請書の別紙4に記入		
20. インターネットを用いた評価システム			1. 有 ( ・EPOC ・その他 ( ) ) 0. 無		
21. 研修医の処遇	処遇の適用		1. 基幹型臨床研修病院と同一の処遇とする。 1を選択した場合には、以下の研修医の処遇の項目については、記入不要です。 2. 施設独自の処遇とする。		
	常勤・非常勤の別		1. 常勤 2. 非常勤		
	研修手当	一年次の支給額 (税込み)		二年次の支給額 (税込み)	
		基本手当/月 ( 円) 賞与/年 ( 円)		基本手当/月 ( 円) 賞与/年 ( 円)	
		時間外手当： 1. 有 0. 無		休日手当： 1. 有 0. 無	
	勤務時間		基本的な勤務時間 ( : ~ : ) 24時間表記 休憩時間 ( ) 時間外勤務の有無： 1. 有 0. 無		
	休暇	有給休暇 (1年次： 日、2年次： 日)		夏季休暇 (1. 有 0. 無) 年末年始 (1. 有 0. 無) その他休暇 (具体的に： )	
		当直		回数 (約 回/月)	
	研修医の宿舎 (再掲)		1. 有 (単身用： 戸、世帯用： 戸) 0. 無 (住宅手当： 円) 有を選択した場合には、単身用・世帯用に分けて宿舎の戸数を記入してください。 無を選択した場合には、住宅手当の金額を記入してください。住宅手当の支給が無い場合は、「0」と記入してください。		
	研修医室 (再掲)		1. 有 ( 室) 0. 無 有を選択した場合には、研修医室の室数を記入してください。		
	社会保険・労働保険	公的医療保険 ( )		公的年金保険 ( )	
		労働者災害補償保険法の適用 (1. 有 0. 無)、		国家・地方公務員災害補償法の適用 (1. 有 0. 無)	
		雇用保険 (1. 有 0. 無)			
		健康管理		健康診断 (年 回) その他 (具体的に： )	
	医師賠償責任保険の扱い		病院において加入 (1. する 0. しない) 個人加入 (1. 強制 0. 任意)		
	外部の研修活動	学会、研究会等への参加： 1. 可 0. 否		学会、研究会等への参加費用支給の有無： 1. 有 0. 無	
院内保育所			院内保育所の有無 (1. 有 0. 無) 有を選択した場合、開所時間を記入してください ( 時 分 ~ 時 分) 病児保育 (1. 有 0. 無) 夜間保育 (1. 有 0. 無) 上記保育所は研修医の子どもに使用可能か (1. 可 0. 不可)		
保育補助		ベビーシッター・一時保育等利用時の補助 (1. 有 0. 無) その他の補助 (具体的に： )			

※欄は、記入しないこと。

(記入要領)

- 1 特に定めのあるもののほか、原則として、申請日の属する年度（以下「申請年度」という。）の4月1日現在で作成すること。
- 2 初めて概況表を提出する施設の場合は、記入が必要なすべての項目について記入してください。
- 3 既に病院施設番号を取得している施設については病院施設番号を記入し、前回提出した申請書の内容と異なる項目について記入してください。
- 4 (医療機関のみ)と記載されている項目は、当該施設が医療機関である場合にのみ記入してください。
- 5 (1. 有 0. 無)のように選択形式の項目は、いずれかに○をつけてください。
- 6 ※欄は、記入しないこと。
- 7 臨床研修協力施設の種類に応じて、「1. 医療機関 2. その他の機関」の番号に○をつけること。
- 8 「作成責任者の氏名及び連絡先」欄の作成責任者は、記載内容について十分回答できる者とする。また、「所属」欄には、作成責任者の所属施設名を記入すること。
- 9 「診療科名」欄は、臨床研修協力施設が医療機関である場合に、当該施設の医療法上の標ぼう診療科について該当する番号すべてに○をつけ、該当する診療科がない場合は「99. その他」欄に記入すること。
- 10 「救急医療の提供の実績」欄は、臨床研修協力施設が医療機関である場合であって、救急医療を提供している場合に記入するものであること。
  - (1)「救急病院認定の告示」欄は、「救急病院等を定める省令」(昭和39年厚生省令第186号)に基づき都道府県知事の救急病院の認定を受けている病院である場合に、告示年月日(西暦)及び告示番号を記入するものであること。
  - (2)「医療計画上の位置付け」欄は、医療計画上、初期救急医療機関、第二次救急医療機関又は第三次救急医療機関として位置付けられている場合に、該当する番号に○をつけるものであること。
  - (3)「救急専用診療(処置)室の有無」欄は、救急専用診療(処置)室を有する場合には、「1. 有」に○をつけるとともに、その面積を記入し、有しない場合には、「0. 無」に○をつけること。
  - (4)「救急医療の実績」欄については、「前年度の件数」は申請年度の前年度の救急取扱件数(来院方法を問わず、すべての件数)、「1日平均件数」は申請年度の前年度の救急取扱件数を年間総日数(365又は366)で除した数、また、「救急車取扱件数」は申請年度の前年度の救急取扱件数のうちで来院方法が救急車によるものの数をそれぞれ記入すること。さらに、これらの件数のうち診療時間外に受け付けた件数について、それぞれの「うち診療時間外」欄に記入すること。
  - (5)「診療時間外の勤務体制」については、「医師」数は、「救急医療を提供している診療科」の診療時間外の勤務体制における医師数を記入すること。また、「看護師及び准看護師」数は、専ら救急医療を提供するための病棟・外来に勤務する看護師及び准看護師のうち、診療時間外の交代制及び宿日直体制における看護師及び准看護師数を記入すること。
  - (6)「指導を行う者の氏名等」欄については、救急医療の指導を行う者について臨床研修病院指定申請書の別紙4に記入すること。
  - (7)「救急医療を提供している診療科」欄は、内科系、外科系又は小児科に係る救急医療の提供の有無について、該当する番号に○をつけ、その他の診療科に係る救急医療を提供している場合には、「その他」欄に当該診療科名を記入すること。
- 11 「医療法上の許可病床数(歯科の病床数を除く。)」欄は、臨床研修協力施設が医療機関である場合であって、許可病床を有している場合に、当該施設の病床の種別ごとの許可病床数を記入すること。
- 12 「診療科ごとの入院患者・外来患者・研修医の数」欄は、臨床研修協力施設が医療機関である場合に、当該施設で行う研修分野に係る診療科について記入することで差し支えないこと。
- 13 「病床の種別ごとの平均在院日数」欄は、臨床研修協力施設が医療機関である場合に記入するものであって、次に掲げる算出式により算出した、申請年度の前年度の平均在院日数を記入すること。ただし、在院患者延日数とは、申請年度の前年度の毎日午後12時現在の在院患者数を合計した数とする。なお、在院患者延日数、新入院患者数及び退院患者数については、保険診療であるか否かを問わないものであること。

※ 算出式

$$\frac{\text{在院患者延日数}}{1/2(\text{新入院患者数} + \text{退院患者数})} = \text{平均在院日数 (小数第二位を四捨五入)}$$
- 14 「前年度の分娩件数」欄は、臨床研修協力施設が医療機関であって、産婦人科の研修を行う場合に、申請年度の前年度の正常分娩件数及び異常分娩件数についてそれぞれ記入すること。
- 15 「臨床病理検討会(CPC)の実施状況」欄は、臨床研修協力施設が医療機関であって、臨床病理検討会を開催している場合に記入するものであること。
  - (1)「開催回数」欄は、申請年度の前年度の開催回数及び申請年度の開催見込数を記入すること。
  - (2)「剖検数」欄は、申請年度の前年度の剖検件数及び申請年度の剖検見込数を記入すること。
  - (3)「剖検を行う場所」欄は、剖検を当該医療機関の剖検室で行っている場合は「1. 有」に○をつけること。また、剖検を当該医療機関の剖検室で行っていない場合には、「0. 無」に○をつけるとともに、剖検を大学の剖検室において行っているときは「( ) 大学」に当該大学名を記入し、剖検を他病院の剖検室で行っているときは「( ) 病院」に当該病院名を記入すること。
- 16 「研修医のための宿舎及び研修医室の有無」欄は、臨床研修協力施設が医療機関である場合には必ず記入すること。
  - (1)「研修医の宿舎」欄は、研修医の利用に供する宿舎(当該施設の敷地の内外を問わない。)を有する場合は「1. 有」に○をつけるとともに、「単身用」・「世帯用」のそれぞれの戸数を記入すること。また、研修医のための宿舎を有さない場合は「0. 無」に○をつけるとともに、住宅手当の支給内容(全額支給、一律〇〇円、最低〇〇円から最高〇〇円の範囲内で負担額に応じて支給等)を記入すること(住宅手当を支給していない場合には「0円」と記入すること)。
  - (2)「研修医室」欄は、研修医室を有する場合は「1. 有」に○をつけるとともに、その室数を記入すること。また、研修医室を有さない場合は「0. 無」に○をつけること。
- 17 「図書、雑誌、インターネット等が利用できる環境及び医学教育用機材の整備状況」欄は、臨床研修協力施設が医療機関である場合には必ず記入すること。
  - (1)「文献データベース等の利用環境」欄は、Medline等の文献データベース及び教育用コンテンツのそれぞれについて、利用できる場合は「1. 有」に○をつけ、利用できない場合には「0. 無」に○をつけること。また、文献データベース及び教育用コンテンツ以外に、これに類するもので利用できるものがある場合は「その他( )」にその内容を記入すること。

- (2)「医学教育用機材の整備状況」欄は、医学教育用シミュレーターの整備の有無について該当する番号に○をつけること。また、臨床研修に必要なその他の医学教育用機材を整備している場合は「その他( )」にその内容を記入すること。
- 18 「精神保健福祉士、作業療法士その他診療要員の配置状況」欄は、当該施設が精神科の研修を行う場合に記入するものであり、精神保健福祉士、作業療法士、臨床心理技術者のそれぞれの職種について、職員数及び常勤・非常勤別の内訳数を記入すること。また、これらの職種以外にも精神科に係る技術職員がいる場合は、その職員数及び常勤・非常勤別の内訳数を記入すること。
- 19 「研修プログラムの名称」以降の欄については、研修プログラムごとに別葉に記入すること。
- 20 「研修医の指導を行う者の氏名等」欄については、研修医の指導を行う者について臨床研修病院指定申請書の別紙4に記入すること。
- 21 「インターネットを用いた評価システム」欄は、該当するものに○をつけ、「1. 有」を選択した場合は、EPOCかその他を選択すること。
- 22 「研修医の処遇」欄について
- (1)「処遇の適用」欄については、基幹型臨床研修病院と同一の処遇とする場合には、1に○をつけ(この場合、以降の研修医の処遇の項目については記入しなくても差し支えないこと。)、また、施設独自の処遇とする場合には、2に○をつけること。
- (2)「研修手当」欄は、研修医の基本的な研修手当について、1年次及び2年次の基本手当の額(税込み)、賞与の支給額を記入すること。基本手当が月給ではない場合にあっては、およその月額を記入すること。時間外手当及び休日手当を支給する場合は、それぞれ「1. 有」に、支給しない場合には「0. 無」に○をつけること。なお、時間外勤務及び休日勤務がある場合においては、時間外手当及び休日手当が支給されるものと考えられること。
- (3)「勤務時間」欄は、研修医の基本的な勤務時間及び勤務時間中の休憩時間について記入すること。また、「時間外勤務の有無」欄は、時間外勤務がある場合には「1. 有」に、ない場合には「0. 無」に○をつけること。
- (4)「休暇」欄は、研修医の基本的な休暇の内容について、1年次及び2年次の有給休暇付与日数を記入すること。また、夏季休暇、年末年始休暇の有無について該当するものに○をつけること。また、これら以外に休暇を付与する場合は、その具体的休暇名を記入すること。
- (5)「当直」欄は、研修医の一月あたりのおよその当直回数について記入すること。
- (6)「社会保険・労働保険」欄は、研修医に適用される社会保険・労働保険について、「公的医療保険( )」欄に「組合健康保険」等と、「公的年金保険( )」欄に「厚生年金保険」等と記入し、「労働者災害補償保険法の適用」欄、「国家・地方公務員災害補償法の適用」欄、「雇用保険」欄のそれぞれ該当するものに○をつけること。
- (7)「健康管理」欄は、研修医の基本的な健康管理について、健康診断の回数を記入すること。また、健康診断以外で健康管理を実施している場合は、「その他」欄に具体的に記入すること。
- (8)「医師賠償責任保険の扱い」欄は、研修医の医師賠償責任保険の基本的な扱いについて該当するものに○をつけること。
- (9)「外部の研修活動」欄は、学会、研究会等への参加を認めるか否かについて該当するものに○をつけ、認める場合における参加費用の支給の有無についても、該当するものに○をつけること。

11. 診療科ごとの入院患者・外来患者の数

既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入してください。

臨床研修病院の名称：輝山会記念病院  
 病院施設番号：

区 分	内 科	救急部門	外 科	麻酔科 (部門)	小児科	産婦人科	又は		精 神 科	病院で定めた必修 科目の診療科			その他の研修を行 う診療科			合 計
							産 科	婦 人 科		(地域医療)	総合診療	リハビリ	リハビリ	リハビリ	リハビリ	
年間入院患者実数 ( ) 内は救急件数又は分娩件数		( )				( )	( )			683 (115)	319					1002
年間新外来患者数										3374	37					3411
1日平均外来患者数 ( ) 内は年間外来診療日数	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	140.1 (343)	7.6 (294)	( )	( )	( )	( )	
平均在院日数										17.5	66.3					
常勤医師数 (うち臨床研修指導医 (指導医) 数)	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	7 (1)	1 ( )	( )	( )	( )	( )	8 (1)

※ 「年間入院患者実数」とは、提出年度の前々年度の繰越患者数に提出年度の前年度中における新入院患者数を加えた数とすること。「年間新外来患者数」とは、提出年度の前年度中に来院した外来患者のうち、初診料を算定した患者数とすること。「1日平均外来患者数」とは、年間外来患者延数÷年間外来診療日数による数（小数第二位を四捨五入）とすること。「病院で定めた必修科目の診療科」欄等が足りない場合には、続紙（様式自由）に記載し添付すること。「救急件数」及び「分娩件数」とは、10. の救急医療の実績の前年度の件数及び 14. の正常分娩件数と異常分娩件数の合計とすること。

※ 「内科」とは、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、神経内科等を含めた広義の内科のうち基本研修科目の内科分野の研修を行う診療科であり、「外科」とは、心臓血管外科、呼吸器外科、脳外科等を含めた広義の外科のうち基本研修科目の外科分野の研修を行う診療科であること。

## 11. 診療科ごとの研修医の数

既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入してください。

(令和6年度分)								臨床研修病院の名称：輝山会記念病院						
								病院施設番号：						
基幹型臨床研修病院名	担当分野	1～ 4週	5～ 8週	9～ 12週	13～ 16週	17～ 20週	21～ 24週	25～ 28週	29～ 32週	33～ 36週	37～ 40週	41～ 44週	45～ 48週	49～ 52週
飯田市立病院	地域医療				1		1							
信州大学病院	地域医療								1					

- ※ 年次報告の場合は提出年度の前年度の実績分及び提出年度分の想定を別葉で作成し、研修プログラム変更・新設届出の場合は、届出年度の次年度分、次々年度分の想定を別葉で作成すること。
- ※ 当該病院が上記の年度に受け入れた、又は受け入れる予定の研修医の数を、基幹型臨床研修病院別及び担当分野別に記入すること。当該病院が基幹型臨床研修病院であり、かつ協力型臨床研修病院として研修医を受け入れている場合は、協力型臨床研修病院として受け入れている人数も含めて、全ての人数を記入すること。
- ※ 「基幹型臨床研修病院名」欄は、当該病院が基幹型臨床研修病院の場合は、当該病院を一番上に記入することとし、次に協力型臨床研修病院として受け入れている基幹型臨床研修病院名を記入すること。
- ※ 基幹型臨床研修病院及び担当分野ごとに各4週ごとに受け入れる研修医の延人数（研修期間4週について1人とすること）を記入すること。
- ※ 「担当分野」欄には、内科、救急部門、地域医療、外科、麻酔科、小児科、産婦人科及び精神科のみを記入し、選択科については記入しないこと。ただし、一般外来については、他科との並行研修ではなく、単独で実施する場合に限り記入すること。また、当該病院が基幹型臨床研修病院であるとき、病院が定めた必修科目が上記以外にある場合には、その科目も含めて記入すること。

## 33. 臨床研修指導医（指導医）等の氏名等

病院施設番号：

臨床研修病院の名称：

担当分野	氏名	所属	役職	臨床経験 年数	指導医講習 会等の受講 経験 有：○ 無：×	資格等	プログラム番号	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 臨床研修指導医 (指導医)
地域医療	ツヤ 勉 土屋 隆	輝山会記念病院	会長	60	×	外科認定登録医・指導 医, 腎臓専門医・指導 医, 透析専門医・指導 医, 消化器外科認定医, 人間ドック・ <b>予防医療</b> 認定医		
地域医療	ツヤ ミナ 土屋 公威	輝山会記念病院	理事長	27	×	認定内科医・総合内科 専門医, 呼吸器専門医・ 指導医, アレルギー專 門医, 結核・抗酸菌症認 定医, 人間ドック健診 専門医・ <b>暫定指導医</b> , 肺 がんCT検診認定医, 抗菌化学療法認定医		
地域医療	ハラ オサム 原 修	輝山会記念病院	理事長補佐	42	×	外科専門医・指導医, 消 化器内視鏡指導医・專 門医, 消化器外科認定 医, 消化器がん外科治 療認定医, 産業医, 総合 健診医		

地域医療	ツヤ トモロ 土屋 朋大	輝山会記念病院	常務理事	24	×	泌尿器科専門医・指導医, 透析専門医・指導医, 泌尿器腹腔鏡技術認定医, 移植認定医, 腎移植認定医	
地域医療	ツクハ 辰夫 露久保 辰夫	輝山会記念病院	院長	34	×	外科専門医, 消化器内視鏡専門医, 消化器外科認定医, 消化器がん外科治療認定医, ICD, 産業医, 認知症相談医, 検診マンモグラフィ読影認定医, 乳房超音波医師, 認定かかりつけ医	
地域医療	ニシ ヒロユキ 仁科 裕之	輝山会分院 下久堅診療所	所長	33	×	透析専門医・指導医, 在宅医療認定, 産業医, 認知症相談医	
地域医療	ヒライ アツ 平井 敦	輝山会記念病院	副院長	35	○	指導医講習会(2005)受講, プログラム責任者養成講習会(2009)受講, 産業医	4
地域医療	マエモト カツシ 前本 勝利	輝山会記念病院	副院長	27	×	人間ドック・予防医療認定医	

地域医療	オキヤスリ 尾関 保則	輝山会記念病院	総合リハビリテーション センター長	21	×	リハビリテーション専門医・ 指導医, 摂食嚥下リハ ビリテーション認定士		
地域医療	シダウ 効ヒ 下平 隆寛	輝山会記念病院	内科医長	15	×	認定内科医, 透析専 門医・指導医, 消化 器内視鏡専門医、在 宅医療認定, 産業 医, 認知症相談医		3

※ 「担当分野」欄には、様式1別紙3の臨床研修を行う分野及び病理（CPC）を記入すること。

※ 「所属」欄には、臨床研修指導医（指導医）等が所属する病院又は施設の名称を記入すること。

※ 「資格等」欄には、受講した指導医講習会名称や、取得した専門医資格等について記入すること。

※ 「プログラム番号」欄には、臨床研修指導医（指導医）等が担当するすべてのプログラム番号を記入すること（プログラム番号を取得していない場合には研修プログラムの名称を記入すること）。

※ プログラム責任者、副プログラム責任者、研修実施責任者及び臨床研修指導医（指導医）については、「備考」欄にそれぞれに応じた番号を記入し、併せてプログラム番号を記入すること（プログラム番号を取得していない場合には研修プログラムの名称を記入すること）。

\* 研修実施責任者・・・協力型臨床研修病院又は臨床研修協力施設において、当該施設における臨床研修の実施を管理する者

\* 臨床研修指導医（指導医）・・・研修医に対する指導を行う医師であり、7年（84月）以上の臨床経験及び指導医養成講習会等の受講経験を有する者

※ 欄が足りない場合には、コピーにより対応し、「(No. )」欄にページ数を記入すること。

## 臨床研修協力施設概況表－1－

医療機関用

記入日：西暦 2023 年 4 月 16 日

病院施設番号 既に番号を取得している施設については病院施設番号を記入してください。	147499	臨床研修病院群の名称 臨床研修病院群を構成する場合に記入してください。 既に臨床研修病院群番号を有している臨床研修病院群については、番号も記入してください。	名称 名古屋市立大学病院群 番号 0304132
作成責任者の氏名及び連絡先 本調査表の問合せに対して回答できる作成責任者について記入してください。	フリガナ スズキ マナブ 氏名（姓）（名） 鈴木 学	所属 事務 役職 事務長	(内線 2147 ) (直通電話 ( ) — ) e-mail : kasadera-hp@bz04.plala.or.jp (携帯電話のメールアドレスは不可とします。)
1. 臨床研修協力施設の名称	フリガナ イリョウホウジン カサデラビョウイン 医療法人 笠寺病院		
2. 臨床研修協力施設の所在地	〒457-0046 (愛知県) 医療法人 笠寺病院 電話：(052) 811-1151 F A X：(052) 811-2515		
3. 臨床研修協力施設の開設者の氏名（法人の名称）	フリガナ イリョウホウジン カサデラビョウイン リジチョウ カスガイ タカオ 医療法人 笠寺病院 理事長 春日井貴雄		
4. 臨床研修協力施設の開設者の住所（法人の主たる事務所の所在地）	〒457-0046 (愛知県) 医療法人 笠寺病院 電話：(052) 811-1151 F A X：(052) 811-2515		
5. 臨床研修協力施設の管理者の氏名及び役職名	フリガナ カスガイ 姓 春日井	タカオ 名 貴雄	役職名：理事長・院長
6. 研修実施責任者の氏名及び役職名	フリガナ カタギリ 姓 片桐	ケンジ 名 健二	役職名：副院長
7. 施設のホームページアドレス	<a href="http://www.kasadera.or.jp">http://www.kasadera.or.jp</a>		
※			
8. 診療科名 当該病院の医療法上の標ぼう診療科について該当する番号すべてに○をつけ、該当する診療科がない場合は「99.その他」欄に記入すること。	標ぼう診療科（番号に○をつけてください。） ①.内科 ②.呼吸器内科 ③.循環器内科 ④.消化器内科 5.気管食道内科 ⑥.神経内科 7.心療内科 8.性感染症内科 ⑨.外科 10.呼吸器外科 11.心臓血管外科 ⑫.消化器外科 13.小児外科 14.気管食道外科 15.肛門外科 ⑬.整形外科 17.脳神経外科 18.形成外科 19.美容外科 20.精神科 21.アレルギー科 22.リウマチ科 23.小児科 ⑭.皮膚科 25.泌尿器科 26.産婦人科 27.産科 28.婦人科 29.眼科 30.耳鼻咽喉科 ⑮.リハビリテーション科 ⑯.放射線科 33.病理診断科 34.臨床検査科 35.救急科 99.その他（次に記入してください。）		
	901	科	902 科
	903	科	904 科
	905	科	906 科
	907	科	908 科
	909	科	910 科

## 臨床研修協力施設概況表－２－

病院施設番号： \_\_\_\_\_

臨床研修協力施設の名称： \_\_\_\_\_

<b>9. 救急医療の提供の実績</b>	救急病院認定の告示 医療計画上の位置付け  救急専用診療（処置）室の有無 救急医療の実績  診療時間外の勤務体制 指導を行う者の氏名等 救急医療を提供している診療科	告示年月日：西暦 2021年 3月 6日、告示番号：第 2657号 番号に○をつけてください。 1. 初期救急医療機関 ②. 第二次救急医療機関 3. 第三次救急医療機関  ①. 有 ( 10.8 ) m <sup>2</sup> ②. 無  前年度の件数： 131 件（うち診療時間外： 50 件） 1日平均件数： 0.36 件（うち診療時間外： 0.14 件） 救急車取扱件数： 205 件（うち診療時間外： 35 件）  医師： 2 名、看護師及び准看護師： 7 名 * 臨床研修病院指定申請書の別紙4に記入  内科系（①. 有 ②. 無）    外科系（①. 有 ②. 無）、 小児科（1. 有 ②. 無） その他（ _____ ）
<b>10. 医療法上の許可病床数（歯科の病床数を除く。）</b>	1. 一般： <u>128</u> 床、2. 精神： _____ 床、3. 感染症： _____ 床 4. 結核： _____ 床、5. 療養： _____ 床	
<b>11. 診療科ごとの入院患者・外来患者・研修医の数</b>	* 別紙1に記入	
<b>12. 病床の種別ごとの平均在院日数(小数第二位四捨五入)</b>	1. 一般： <u>28.7</u> 日、2. 精神： _____ 日、3. 感染症： _____ 日、 4. 結核： _____ 日、5. 療養： _____ 日	
<b>13. 前年度の分娩件数</b> (産婦人科の研修がある場合のみ)	正常分娩件数： _____ 件、異常分娩件数： _____ 件	
<b>14. 臨床病理検討会(CPC)の実施状況</b> (臨床病理検討会を実施している場合のみ)	開催回数 指導を行う病理医の氏名等  前年度実績： _____ 回、今年度見込： _____ 回 * 臨床研修病院指定申請書の別紙4に記入  剖検数 剖検を行う場所  前年度実績： _____ 件、今年度見込： _____ 件 当該医療機関の剖検室 1. 有 _____ 大学、( _____ ) 病院 ②. 無 ( _____ ) 無を選択した場合には、剖検を実施している大学又は病院を記入してください。	
<b>15. 研修医のための宿舎及び研修医室の有無</b>	研修医の宿舎 研修医室  1. 有 (単身用： _____ 戸、世帯用： _____ 戸) ②. 無 (住宅手当： _____ 円) 有を選択した場合には、単身用・世帯用に分けて宿舎の戸数を記入してください。 無を選択した場合には、住宅手当の金額を記入してください。住宅手当の支給が無い場合は、「0」と記入してください。  1. 有 ( _____ 室)    ②. 無 有を選択した場合には、研修医室の室数を記入してください。	
<b>16. 図書、雑誌、インターネット等が利用できる環境及び医学教育用機材の整備状況</b>	図書室の広さ 医学図書数 医学雑誌数 図書室の利用可能時間 文献データベース等の利用環境 医学教育用機材の整備状況  ( 10.8 ) m <sup>2</sup> 国内図書： 120 冊、国外図書： _____ 冊 国内雑誌： 30 種類、国外雑誌： _____ 種類 00:00 ~ 24:00 24時間表記 Medline等の文献データベース (1. 有 ②. 無)、 教育用コンテンツ (1. 有 ②. 無)、 その他 ( _____ ) 利用可能時間 ( _____ : _____ ~ _____ : _____ ) 24時間表記 医学教育用シミュレーター (1. 有 ②. 無)、 その他 ( _____ )	
<b>17. 精神保健福祉士、作業療法士その他診療要員の配置状況</b> (精神科の研修を行う施設については記入してください。)	精神保健福祉士： _____ 名 (常勤： _____ 名、非常勤： _____ 名) 作業療法士： _____ 名 (常勤： _____ 名、非常勤： _____ 名) 臨床心理技術者： _____ 名 (常勤： _____ 名、非常勤： _____ 名) その他の精神科技術職員： _____ 名 (常勤： _____ 名、非常勤： _____ 名)	



(記入要領)

- 1 特に定めのあるもののほか、原則として、申請日の属する年度（以下「申請年度」という。）の4月1日現在で作成すること。
- 2 初めて概況表を提出する施設の場合は、記入が必要なすべての項目について記入してください。
- 3 既に病院施設番号を取得している施設については病院施設番号を記入し、前回提出した申請書の内容と異なる項目について記入してください。
- 4 (医療機関のみ)と記載されている項目は、当該施設が医療機関である場合にのみ記入してください。
- 5 (1. 有 0. 無)のように選択形式の項目は、いずれかに○をつけてください。
- 6 ※欄は、記入しないこと。
- 7 臨床研修協力施設の種類に応じて、「1. 医療機関 2. その他の機関」の番号に○をつけること。
- 8 「作成責任者の氏名及び連絡先」欄の作成責任者は、記載内容について十分回答できる者とする。また、「所属」欄には、作成責任者の所属施設名を記入すること。
- 9 「診療科名」欄は、臨床研修協力施設が医療機関である場合に、当該施設の医療法上の標ぼう診療科について該当する番号すべてに○をつけ、該当する診療科がない場合は「99. その他」欄に記入すること。
- 10 「救急医療の提供の実績」欄は、臨床研修協力施設が医療機関である場合であって、救急医療を提供している場合に記入するものであること。
  - (1)「救急病院認定の告示」欄は、「救急病院等を定める省令」(昭和39年厚生省令第186号)に基づき都道府県知事の救急病院の認定を受けている病院である場合に、告示年月日(西暦)及び告示番号を記入するものであること。
  - (2)「医療計画上の位置付け」欄は、医療計画上、初期救急医療機関、第二次救急医療機関又は第三次救急医療機関として位置付けられている場合に、該当する番号に○をつけるものであること。
  - (3)「救急専用診療(処置)室の有無」欄は、救急専用診療(処置)室を有する場合には、「1. 有」に○をつけるとともに、その面積を記入し、有しない場合には、「0. 無」に○をつけること。
  - (4)「救急医療の実績」欄については、「前年度の件数」は申請年度の前年度の救急取扱件数(来院方法を問わず、すべての件数)、「1日平均件数」は申請年度の前年度の救急取扱件数を年間総日数(365又は366)で除した数、また、「救急車取扱件数」は申請年度の前年度の救急取扱件数のうちで来院方法が救急車によるものの数をそれぞれ記入すること。さらに、これらの件数のうち診療時間外に受け付けた件数について、それぞれの「うち診療時間外」欄に記入すること。
  - (5)「診療時間外の勤務体制」については、「医師」数は、「救急医療を提供している診療科」の診療時間外の勤務体制における医師数を記入すること。また、「看護師及び准看護師」数は、専ら救急医療を提供するための病棟・外来に勤務する看護師及び准看護師のうち、診療時間外の交代制及び宿日直体制における看護師及び准看護師数を記入すること。
  - (6)「指導を行う者の氏名等」欄については、救急医療の指導を行う者について臨床研修病院指定申請書の別紙4に記入すること。
  - (7)「救急医療を提供している診療科」欄は、内科系、外科系又は小児科に係る救急医療の提供の有無について、該当する番号に○をつけ、その他の診療科に係る救急医療を提供している場合には、「その他」欄に当該診療科名を記入すること。
- 11 「医療法上の許可病床数(歯科の病床数を除く。)」欄は、臨床研修協力施設が医療機関である場合であって、許可病床を有している場合に、当該施設の病床の種別ごとの許可病床数を記入すること。
- 12 「診療科ごとの入院患者・外来患者・研修医の数」欄は、臨床研修協力施設が医療機関である場合に、当該施設で行う研修分野に係る診療科について記入することで差し支えないこと。
- 13 「病床の種別ごとの平均在院日数」欄は、臨床研修協力施設が医療機関である場合に記入するものであって、次に掲げる算出式により算出した、申請年度の前年度の平均在院日数を記入すること。ただし、在院患者延日数とは、申請年度の前年度の毎日午後12時現在の在院患者数を合計した数とする。なお、在院患者延日数、新入院患者数及び退院患者数については、保険診療であるか否かを問わないものであること。

※ 算出式

$$\frac{\text{在院患者延日数}}{1/2(\text{新入院患者数} + \text{退院患者数})} = \text{平均在院日数 (小数第二位を四捨五入)}$$

- 14 「前年度の分娩件数」欄は、臨床研修協力施設が医療機関であって、産婦人科の研修を行う場合に、申請年度の前年度の正常分娩件数及び異常分娩件数についてそれぞれ記入すること。
- 15 「臨床病理検討会(CPC)の実施状況」欄は、臨床研修協力施設が医療機関であって、臨床病理検討会を開催している場合に記入するものであること。
  - (1)「開催回数」欄は、申請年度の前年度の開催回数及び申請年度の開催見込数を記入すること。
  - (2)「剖検数」欄は、申請年度の前年度の剖検件数及び申請年度の剖検見込数を記入すること。
  - (3)「剖検を行う場所」欄は、剖検を当該医療機関の剖検室で行っている場合は「1. 有」に○をつけること。また、剖検を当該医療機関の剖検室で行っていない場合には、「0. 無」に○をつけるとともに、剖検を大学の剖検室において行っているときは「( ) 大学」に当該大学名を記入し、剖検を他病院の剖検室で行っているときは「( ) 病院」に当該病院名を記入すること。
- 16 「研修医のための宿舎及び研修医室の有無」欄は、臨床研修協力施設が医療機関である場合には必ず記入すること。
  - (1)「研修医の宿舎」欄は、研修医の利用に供する宿舎(当該施設の敷地の内外を問わない。)を有する場合は「1. 有」に○をつけるとともに、「単身用」・「世帯用」のそれぞれの戸数を記入すること。また、研修医のための宿舎を有さない場合は「0. 無」に○をつけるとともに、住宅手当の支給内容(全額支給、一律〇〇円、最低〇〇円から最高〇〇円の範囲内で負担額に応じて支給等)を記入すること(住宅手当を支給していない場合には「0円」と記入すること)。
  - (2)「研修医室」欄は、研修医室を有する場合は「1. 有」に○をつけるとともに、その室数を記入すること。また、研修医室を有さない場合は「0. 無」に○をつけること。
- 17 「図書、雑誌、インターネット等が利用できる環境及び医学教育用教材の整備状況」欄は、臨床研修協力施設が医療機関である場合には必ず記入すること。
  - (1)「文献データベース等の利用環境」欄は、Medline等の文献データベース及び教育用コンテンツのそれぞれについて、利用できる場合は「1. 有」に○をつけ、利用できない場合には「0. 無」に○をつけること。また、文献データベース及び教育用コンテンツ以外に、これに類するもので利用できるものがある場合は「その他( )」にその内容を記入すること。

- (2)「医学教育用機材の整備状況」欄は、医学教育用シミュレーターの整備の有無について該当する番号に○をつけること。また、臨床研修に必要なその他の医学教育用機材を整備している場合は「その他( )」にその内容を記入すること。
- 18 「精神保健福祉士、作業療法士その他診療要員の配置状況」欄は、当該施設が精神科の研修を行う場合に記入するものであり、精神保健福祉士、作業療法士、臨床心理技術者のそれぞれの職種について、職員数及び常勤・非常勤別の内訳数を記入すること。また、これらの職種以外にも精神科に係る技術職員がいる場合は、その職員数及び常勤・非常勤別の内訳数を記入すること。
- 19 「研修プログラムの名称」以降の欄については、研修プログラムごとに別葉に記入すること。
- 20 「研修医の指導を行う者の氏名等」欄については、研修医の指導を行う者について臨床研修病院指定申請書の別紙4に記入すること。
- 21 「インターネットを用いた評価システム」欄は、該当するものに○をつけ、「1. 有」を選択した場合は、EPOCかその他を選択すること。
- 22 「研修医の処遇」欄について
- (1)「処遇の適用」欄については、基幹型臨床研修病院と同一の処遇とする場合には、1に○をつけ(この場合、以降の研修医の処遇の項目については記入しなくても差し支えないこと。)、また、施設独自の処遇とする場合には、2に○をつけること。
- (2)「研修手当」欄は、研修医の基本的な研修手当について、1年次及び2年次の基本手当の額(税込み)、賞与の支給額を記入すること。基本手当が月給ではない場合にあつては、およその月額を記入すること。時間外手当及び休日手当を支給する場合は、それぞれ「1. 有」に、支給しない場合には「0. 無」に○をつけること。なお、時間外勤務及び休日勤務がある場合においては、時間外手当及び休日手当が支給されるものと考えられること。
- (3)「勤務時間」欄は、研修医の基本的な勤務時間及び勤務時間中の休憩時間について記入すること。また、「時間外勤務の有無」欄は、時間外勤務がある場合には「1. 有」に、ない場合には「0. 無」に○をつけること。
- (4)「休暇」欄は、研修医の基本的な休暇の内容について、1年次及び2年次の有給休暇付与日数を記入すること。また、夏季休暇、年末年始休暇の有無について該当するものに○をつけること。また、これら以外に休暇を付与する場合は、その具体的休暇名を記入すること。
- (5)「当直」欄は、研修医の一月あたりのおよその当直回数について記入すること。
- (6)「社会保険・労働保険」欄は、研修医に適用される社会保険・労働保険について、「公的医療保険( )」欄に「組合健康保険」等と、「公的年金保険( )」欄に「厚生年金保険」等と記入し、「労働者災害補償保険法の適用」欄、「国家・地方公務員災害補償法の適用」欄、「雇用保険」欄のそれぞれ該当するものに○をつけること。
- (7)「健康管理」欄は、研修医の基本的な健康管理について、健康診断の回数を記入すること。また、健康診断以外で健康管理を実施している場合は、「その他」欄に具体的に記入すること。
- (8)「医師賠償責任保険の扱い」欄は、研修医の医師賠償責任保険の基本的な扱いについて該当するものに○をつけること。
- (9)「外部の研修活動」欄は、学会、研究会等への参加を認めるか否かについて該当するものに○をつけ、認める場合における参加費用の支給の有無についても、該当するものに○をつけること。

1 1. 診療科ごとの入院患者・外来患者の数

既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入してください。

臨床研修病院の名称：	医療法人笠寺病院
病院施設番号：	147499

区 分	内 科	救急部門	外 科	麻酔科 (部門)	小児科	産婦人科	又は		精 神 科	病院で定めた必修 科目の診療科			その他の研修を行 う診療科			合 計
							産 科	婦 人 科								
年間入院患者実数 ( ) 内は救急件数又は分娩件数	1 1 1 3	( 1 3 1 )	2 9 0			( )	( )									1 4 0 3
年間新外来患者数	1 6 7 5	1 3 1	5 5 8													2 3 6 4
1日平均外来患者数 ( ) 内は年間外来診療日数	1 1 4 . 2 ( 2 4 6 )	4 . 1 ( 3 6 6 )	1 9 . 3 ( 2 4 6 )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	
平均在院日数	3 0 . 4		2 7 . 0													
常勤医師数 (うち臨床研修指導医 (指導医) 数)	6 ( 1 )	( )	2 ( 0 )	1 ( 0 )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )

※ 「年間入院患者実数」とは、申請年度の前々年度の繰越患者数に申請年度の前年度中における新入院患者数を加えた数とすること。「年間新外来患者数」とは、申請年度の前年度中に来院した外来患者のうち、初診料を算定した患者数とすること。「1日平均外来患者数」とは、年間外来患者延数÷年間外来診療日数による数（小数第二位を四捨五入）とすること。「病院で定めた必修科目の診療科」欄等が足りない場合には、続紙（様式自由）に記載し添付すること。「救急件数」及び「分娩件数」とは、1 1. の救急医療の実績の前年度の件数及び1 5. の正常分娩件数と異常分娩件数の合計とすること。

※ 「内科」とは、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、神経内科等を含めた広義の内科のうち基本研修科目の内科分野の研修を行う診療科であり、「外科」とは、心臓血管外科、呼吸器外科、脳外科等を含めた広義の外科のうち基本研修科目の外科分野の研修を行う診療科であること。

## 1 1. 診療科ごとの研修医の数

既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入してください。

(令和5年度分)								臨床研修協力施設の名称：医療法人笠寺病院						
								病院施設番号：147499						
基幹型病院名	担当分野	1～ 4週	5～ 8週	9～ 12週	13～ 16週	17～ 20週	21～ 24週	25～ 28週	29～ 32週	33～ 36週	37～ 40週	41～ 44週	45～ 48週	49～ 52週
	地域医療													

※ 申請年度の次年度分、次々年度分を別葉で作成すること。

※ 「基幹型病院名」欄には、当該病院が申請年度の次年度又は次々年度に研修医を受け入れる基幹型病院の名称及びそのプログラムにおける自病院の担当分野をすべて記入し（自病院が基幹型病院の場合は、自病院を一番上に記入すること）、基幹型病院及び担当分野ごとに各週に受け入れる研修医の延人数（研修期間4週について1人とすること）を記入すること。また、複数の基幹型病院の研修医を受け入れる担当分野がある場合には、その担当分野ごとの合計を記入すること。

※ 「担当分野」欄には、内科、救急部門、地域医療、外科、麻酔科、小児科、産婦人科及び精神科のみを記入し、選択科については記入しないこと。ただし、一般外来については、他科との並行研修ではなく、単独で実施する場合に限り記入すること。

※ 地域密着型病院の場合も同様の記入をすること。





























28. 臨床研修指導医（指導医）等の氏名等

病院施設番号：030413

臨床研修病院の名称：名古屋市立大学病院

H29.4.1

担当分野	氏名	所属	役職	臨床経験数	指導医講習会等の受講経験 有：○ 無：×	資格等	プログラム番号	備考	医籍登録番号	医籍登録年月日
								1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 臨床研修指導医(指導医)		

※ 「資格等」欄には、指導医に係る講習を受けた旨や、取得した専門医資格等について記入すること。

※ 「プログラム番号」欄には、臨床研修指導医（指導医）等が担当するすべてのプログラム番号を記入すること（プログラム番号を取得していない場合には研修プログラムの名称を記入すること。）。

※ プログラム責任者、副プログラム責任者、研修実施責任者及び臨床研修指導医（指導医）については、「備考」欄にそれぞれに応じた番号を記入し、併せてプログラム番号を記入すること（プログラム番号を取得していない場合には研修プログラムの名称を記入すること。）。

\* 研修実施責任者・・・協力型臨床研修病院又は臨床研修協力施設において、当該施設における臨床研修の実施を管理する者

\* 臨床研修指導医（指導医）・・・研修医に対する指導を行う医師であり、7年（84月）以上の臨床経験及び指導医養成講習会等の受講経験を有する者

※ 欄が足りない場合には、コピーにより対応し、「(No. )」欄にページ数を記入すること。

## 臨床研修協力施設概況表－1－

## 医療機関用

記入日：西暦 2024 年 4 月 12 日

病院施設番号 既に番号を取得している施設については病院施設番号を記入してください。		臨床研修病院群の名称 臨床研修病院群を構成する場合に記入してください。 既に臨床研修病院群番号を有している臨床研修病院群については、番号も記入してください。	名称 名古屋市立大学医学部附属西部医療センター臨床研修病院群 番号 0309154	
作成責任者の氏名及び連絡先 本調査表の間合せに対して回答できる作成責任者について記入してください。	フリガナ マツダ ヒロユキ 氏名（姓） 松田 （名） 浩幸	所属 医療法人開生会かいせい病院 役職 医事課長	（内線） （直通電話（090）5030—8277） e-mail: jimuk@kaiseikai.net （携帯電話のメールアドレスは不可とします。）	
1. 臨床研修協力施設の名称	フリガナ イリョウホウジンカイセイカイセイビョウイン 医療法人開生会かいせい病院			
2. 臨床研修協力施設の所在地	〒 454-0804 （愛知県） 名古屋市中川区月島町 9-9 電話：(052) 362—6469 F A X：(052) 352—6029			
3. 臨床研修協力施設の開設者の氏名（法人の名称）	フリガナ カン サカエ 菅 榮			
4. 臨床研修協力施設の開設者の住所（法人の主たる事務所の所在地）	〒 454-0804 （愛知県） 名古屋市中川区月島町 9-9 電話：(052) 362—6469 F A X：(052) 352—6029			
5. 臨床研修協力施設の管理者の氏名及び役職名	フリガナ カン サカエ 姓 菅 名 榮	役職名：院長		
6. 研修実施責任者の氏名及び役職名	フリガナ カン サカエ 姓 菅 名 榮	役職名：院長		
7. 施設のホームページアドレス	http://www.kaisei-hosp.net/			
8. 診療科名 当該病院の医療法上の標ぼう診療科について該当する番号すべてに○をつけ、該当する診療科がない場合は「99.その他」欄に記入すること。	※	標ぼう診療科（番号に○をつけてください。） ①内科 ②呼吸器内科 3.循環器内科 ④消化器内科（胃腸内科） 5.腎臓内科 6.脳神経内科 7.糖尿病内科（代謝内科）8.血液内科 9.皮膚科 10.アレルギー科 11.リウマチ科 12.感染症内科 13.小児科 14.精神科 15.心療内科 16.外科 17.呼吸器外科 18.心臓血管外科 19.乳腺外科 20.気管食道外科 21.消化器外科（胃腸外科）22.泌尿器科 23.肛門外科 24.脳神経外科 25.整形外科 26.形成外科 27.美容外科 ②⑧眼科 29.耳鼻いんこう科 30.小児外科 31.産婦人科 32.産科 33.婦人科 ③④リハビリテーション科 35.放射線科 36.麻酔科 37.病理診断科 38.臨床検査科 39.救急科 99.その他（次に記入してください。）		
	991	科	992	科
	993	科	994	科
	995	科	996	科
	997	科	998	科

## 臨床研修協力施設概況表－２－

病院施設番号： \_\_\_\_\_

臨床研修協力施設の名称： 医療法人開生会かいせい病院

9. 救急医療の提供の実績	救急病院認定の告示 医療計画上の位置付け	告示年月日：西暦 _____ 年 _____ 月 _____ 日、告示番号：第 _____ 号 番号に○をつけてください。 1. 初期救急医療機関 2. 第二次救急医療機関 3. 第三次救急医療機関
	救急専用診療（処置）室の有無	1. 有（ _____ ）m <sup>2</sup> 0. 無
	救急医療の実績	前年度の件数： _____ 件（うち診療時間外： _____ 件） 1日平均件数： _____ 件（うち診療時間外： _____ 件） 救急車取扱件数： _____ 件（うち診療時間外： _____ 件）
	診療時間外の勤務体制	医師： _____ 名、看護師及び准看護師： _____ 名
	指導を行う者の氏名等	* 臨床研修病院指定申請書の別紙4に記入
	救急医療を提供している診療科	内科系（1. 有 0. 無） 外科系（1. 有 0. 無）、 小児科（1. 有 0. 無） その他（ _____ ）
10. 医療法上の許可病床数（歯科の病床数を除く。）		1. 一般： _____ 床、2. 精神： _____ 床、3. 感染症： _____ 床 4. 結核： _____ 床、5. 療養： _____ 床
11. 診療科ごとの入院患者・外来患者・研修医の数		* 別紙1に記入
12. 病床の種別ごとの平均在院日数（小数第二位四捨五入）		1. 一般： _____ 日、2. 精神： _____ 日、3. 感染症： _____ 日、 4. 結核： _____ 日、5. 療養： _____ 日
13. 前年度の分娩件数 <small>（産婦人科の研修がある場合のみ）</small>		正常分娩件数： _____ 件、異常分娩件数： _____ 件
14. 臨床病理検討会（CPC）の実施状況 <small>（臨床病理検討会を実施している場合のみ）</small>	開催回数	前年度実績： _____ 回、今年度見込： _____ 回
	指導を行う病理医の氏名等	* 臨床研修病院指定申請書の別紙4に記入
	剖検数	前年度実績： _____ 件、今年度見込： _____ 件
	剖検を行う場所	当該医療機関の剖検室 1. 有 0. 無（ _____ ）大学、（ _____ ）病院 無を選択した場合には、剖検を実施している大学又は病院を記入してください。
15. 研修医のための宿舎及び研修医室の有無	研修医の宿舎	1. 有（単身用： _____ 戸、世帯用： _____ 戸） ① 無（住宅手当： _____ 円） 有を選択した場合には、単身用・世帯用に分けて宿舎の戸数を記入してください。 無を選択した場合には、住宅手当の金額を記入してください。住宅手当の支給が無い場合は、「0」と記入してください。
	研修医室	1. 有（ _____ 室） ① 無 有を選択した場合には、研修医室の室数を記入してください。
16. 図書、雑誌、インターネット等が利用できる環境及び医学教育用機材の整備状況	図書室の広さ	（ _____ ）m <sup>2</sup>
	医学図書数	国内図書： _____ 冊、国外図書： _____ 冊
	医学雑誌数	国内雑誌： _____ 種類、国外雑誌： _____ 種類
	図書室の利用可能時間	_____ : _____ ~ _____ : _____ 24時間表記
	文献データベース等の利用環境	Medline等の文献データベース（1. 有 0. 無）、 教育用コンテンツ（1. 有 0. 無）、 その他（ _____ ） 利用可能時間（ _____ : _____ ~ _____ : _____ ）24時間表記
	医学教育用機材の整備状況	医学教育用シミュレーター（1. 有 0. 無）、 その他（ _____ ）
17. 精神保健福祉士、作業療法士その他診療要員の配置状況 <small>（精神科の研修を行う施設については記入してください。）</small>		精神保健福祉士： _____ 名（常勤： _____ 名、非常勤： _____ 名）
		作業療法士： _____ 名（常勤： _____ 名、非常勤： _____ 名）
		臨床心理技術者： _____ 名（常勤： _____ 名、非常勤： _____ 名）
		その他の精神科技術職員： _____ 名（常勤： _____ 名、非常勤： _____ 名）



## 臨床研修協力施設概況表－４－

\* 研修プログラムごとに記入してください。

病院施設番号：

臨床研修協力施設の名称： 医療法人開生会かいせい病院

		※	
21. 研修医の処遇（続き）	体調不良時に休憩・授乳等に使用できる場所		休憩場所 (1. 有 <input checked="" type="radio"/> 無) 授乳スペース (1. 有 <input checked="" type="radio"/> 無)
	その他育児関連施設・取組があれば記入（院外との連携した取組もあれば記入）		( )
	研修医のライフイベントの相談窓口		1. 有 <input checked="" type="radio"/> 無 窓口の名称がある場合記入( ) 窓口の専任担当 1. 有 ( 名 ) 0. 無
	各種ハラスメントの相談窓口		窓口の名称を記入( ) 窓口の専任担当 1. 有 ( 名 ) 0. 無

※欄は、記入しないこと。

(記入要領)

- 1 特に定めのあるもののほか、原則として、申請日の属する年度（以下「申請年度」という。）の4月1日現在で作成すること。
- 2 初めて概況表を提出する施設の場合は、記入が必要なすべての項目について記入してください。
- 3 既に病院施設番号を取得している施設については病院施設番号を記入し、前回提出した申請書の内容と異なる項目について記入してください。
- 4 (医療機関のみ)と記載されている項目は、当該施設が医療機関である場合にのみ記入してください。
- 5 (1. 有 0. 無)のように選択形式の項目は、いずれかに○をつけてください。
- 6 ※欄は、記入しないこと。
- 7 臨床研修協力施設の種類に応じて、「1. 医療機関 2. その他の機関」の番号に○をつけること。
- 8 「作成責任者の氏名及び連絡先」欄の作成責任者は、記載内容について十分回答できる者とする。また、「所属」欄には、作成責任者の所属施設名を記入すること。
- 9 「診療科名」欄は、臨床研修協力施設が医療機関である場合に、当該施設の医療法上の標ぼう診療科について該当する番号すべてに○をつけ、該当する診療科がない場合は「99. その他」欄に記入すること。
- 10 「救急医療の提供の実績」欄は、臨床研修協力施設が医療機関である場合であって、救急医療を提供している場合に記入するものであること。
  - (1)「救急病院認定の告示」欄は、「救急病院等を定める省令」(昭和39年厚生省令第186号)に基づき都道府県知事の救急病院の認定を受けている病院である場合に、告示年月日(西暦)及び告示番号を記入するものであること。
  - (2)「医療計画上の位置付け」欄は、医療計画上、初期救急医療機関、第二次救急医療機関又は第三次救急医療機関として位置付けられている場合に、該当する番号に○をつけるものであること。
  - (3)「救急専用診療(処置)室の有無」欄は、救急専用診療(処置)室を有する場合には、「1. 有」に○をつけるとともに、その面積を記入し、有しない場合には、「0. 無」に○をつけること。
  - (4)「救急医療の実績」欄については、「前年度の件数」は申請年度の前年度の救急取扱件数(来院方法を問わず、すべての件数)、「1日平均件数」は申請年度の前年度の救急取扱件数を年間総日数(365又は366)で除した数、また、「救急車取扱件数」は申請年度の前年度の救急取扱件数のうちで来院方法が救急車によるものの数をそれぞれ記入すること。さらに、これらの件数のうち診療時間外に受け付けた件数について、それぞれの「うち診療時間外」欄に記入すること。
  - (5)「診療時間外の勤務体制」については、「医師」数は、「救急医療を提供している診療科」の診療時間外の勤務体制における医師数を記入すること。また、「看護師及び准看護師」数は、専ら救急医療を提供するための病棟・外来に勤務する看護師及び准看護師のうち、診療時間外の交代制及び宿日直体制における看護師及び准看護師数を記入すること。
  - (6)「指導を行う者の氏名等」欄については、救急医療の指導を行う者について臨床研修病院指定申請書の別紙4に記入すること。
  - (7)「救急医療を提供している診療科」欄は、内科系、外科系又は小児科に係る救急医療の提供の有無について、該当する番号に○をつけ、その他の診療科に係る救急医療を提供している場合には、「その他」欄に当該診療科名を記入すること。
- 11 「医療法上の許可病床数(歯科の病床数を除く。)」欄は、臨床研修協力施設が医療機関である場合であって、許可病床を有している場合に、当該施設の病床の種別ごとの許可病床数を記入すること。
- 12 「診療科ごとの入院患者・外来患者・研修医の数」欄は、臨床研修協力施設が医療機関である場合に、当該施設で行う研修分野に係る診療科について記入することで差し支えないこと。
- 13 「病床の種別ごとの平均在院日数」欄は、臨床研修協力施設が医療機関である場合に記入するものであって、次に掲げる算出式により算出した、申請年度の前年度の平均在院日数を記入すること。ただし、在院患者延日数とは、申請年度の前年度の毎日午後12時現在の在院患者数を合計した数とする。なお、在院患者延日数、新入院患者数及び退院患者数については、保険診療であるか否かを問わないものであること。

※ 算出式

$$\frac{\text{在院患者延日数}}{1/2(\text{新入院患者数} + \text{退院患者数})} = \text{平均在院日数(小数第二位を四捨五入)}$$

- 14 「前年度の分娩件数」欄は、臨床研修協力施設が医療機関であって、産婦人科の研修を行う場合に、申請年度の前年度の正常分娩件数及び異常分娩件数についてそれぞれ記入すること。
- 15 「臨床病理検討会(CPC)の実施状況」欄は、臨床研修協力施設が医療機関であって、臨床病理検討会を開催している場合に記入するものであること。
  - (1)「開催回数」欄は、申請年度の前年度の開催回数及び申請年度の開催見込数を記入すること。
  - (2)「剖検数」欄は、申請年度の前年度の剖検件数及び申請年度の剖検見込数を記入すること。
  - (3)「剖検を行う場所」欄は、剖検を当該医療機関の剖検室で行っている場合は「1. 有」に○をつけること。また、剖検を当該医療機関の剖検室で行っていない場合には、「0. 無」に○をつけるとともに、剖検を大学の剖検室において行っているときは「( )大学」に当該大学名を記入し、剖検を他病院の剖検室で行っているときは「( )病院」に当該病院名を記入すること。
- 16 「研修医のための宿舎及び研修医室の有無」欄は、臨床研修協力施設が医療機関である場合には必ず記入すること。
  - (1)「研修医の宿舎」欄は、研修医の利用に供する宿舎(当該施設の敷地の内外を問わない。)を有する場合は「1. 有」に○をつけるとともに、「単身用」・「世帯用」のそれぞれの戸数を記入すること。また、研修医のための宿舎を有さない場合は「0. 無」に○をつけるとともに、住宅手当の支給内容(全額支給、一律〇〇円、最低〇〇円から最高〇〇円の範囲内で負担額に応じて支給等)を記入すること(住宅手当を支給していない場合には「0円」と記入すること)。
  - (2)「研修医室」欄は、研修医室を有する場合は「1. 有」に○をつけるとともに、その室数を記入すること。また、研修医室を有さない場合は「0. 無」に○をつけること。
- 17 「図書、雑誌、インターネット等が利用できる環境及び医学教育用教材の整備状況」欄は、臨床研修協力施設が医療機関である場合には必ず記入すること。
  - (1)「文献データベース等の利用環境」欄は、Medline等の文献データベース及び教育用コンテンツのそれぞれについて、利用できる場合は「1. 有」に○をつけ、利用できない場合には「0. 無」に○をつけること。また、文献データベース及び教育用コンテンツ以外に、これに類するもので利用できるものがある場合は「その他( )」にその内容を記入すること。

- (2)「医学教育用機材の整備状況」欄は、医学教育用シミュレーターの整備の有無について該当する番号に○をつけること。また、臨床研修に必要なその他の医学教育用機材を整備している場合は「その他( )」にその内容を記入すること。
- 18 「精神保健福祉士、作業療法士その他診療要員の配置状況」欄は、当該施設が精神科の研修を行う場合に記入するものであり、精神保健福祉士、作業療法士、臨床心理技術者のそれぞれの職種について、職員数及び常勤・非常勤別の内訳数を記入すること。また、これらの職種以外にも精神科に係る技術職員がいる場合は、その職員数及び常勤・非常勤別の内訳数を記入すること。
- 19 「研修プログラムの名称」以降の欄については、研修プログラムごとに別業に記入すること。
- 20 「研修医の指導を行う者の氏名等」欄については、研修医の指導を行う者について臨床研修病院指定申請書の別紙4に記入すること。
- 21 「インターネットを用いた評価システム」欄は、該当するものに○をつけ、「1. 有」を選択した場合は、EPOCかその他を選択すること。
- 22 「研修医の処遇」欄について
- (1)「処遇の適用」欄については、基幹型臨床研修病院と同一の処遇とする場合には、1に○をつけ(この場合、以降の研修医の処遇の項目については記入しなくとも差し支えないこと。)、また、施設独自の処遇とする場合には、2に○をつけること。
- (2)「研修手当」欄は、研修医の基本的な研修手当について、1年次及び2年次の基本手当の額(税込み)、賞与の支給額を記入すること。基本手当が月給ではない場合にあつては、およその月額を記入すること。時間外手当及び休日手当を支給する場合は、それぞれ「1. 有」に、支給しない場合には「0. 無」に○をつけること。なお、時間外勤務及び休日勤務がある場合においては、時間外手当及び休日手当が支給されるものと考えられること。
- (3)「勤務時間」欄は、研修医の基本的な勤務時間及び勤務時間中の休憩時間について記入すること。また、「時間外勤務の有無」欄は、時間外勤務がある場合には「1. 有」に、ない場合には「0. 無」に○をつけること。
- (4)「休暇」欄は、研修医の基本的な休暇の内容について、1年次及び2年次の有給休暇付与日数を記入すること。また、夏季休暇、年末年始休暇の有無について該当するものに○をつけること。また、これら以外に休暇を付与する場合は、その具体的休暇名を記入すること。
- (5)「当直」欄は、研修医の一月あたりのおよその当直回数について記入すること。
- (6)「社会保険・労働保険」欄は、研修医に適用される社会保険・労働保険について、「公的医療保険( )」欄に「組合健康保険」等と、「公的年金保険( )」欄に「厚生年金保険」等と記入し、「労働者災害補償保険法の適用」欄、「国家・地方公務員災害補償法の適用」欄、「雇用保険」欄のそれぞれ該当するものに○をつけること。
- (7)「健康管理」欄は、研修医の基本的な健康管理について、健康診断の回数を記入すること。また、健康診断以外で健康管理を実施している場合は、「その他」欄に具体的に記入すること。
- (8)「医師賠償責任保険の扱い」欄は、研修医の医師賠償責任保険の基本的な扱いについて該当するものに○をつけること。
- (9)「外部の研修活動」欄は、学会、研究会等への参加を認めるか否かについて該当するものに○をつけ、認める場合における参加費用の支給の有無についても、該当するものに○をつけること。
- (10)「院内保育所」欄は、病院内に保育所等の保育施設を有している場合は「1. 有」に○をし、保育所の基本的な開所時間を記入すること。ない場合には「0. 無」に○をすること。「病児保育」・「夜間保育」欄は、院内保育所で病児保育・夜間保育を行っている場合は、それぞれにつき「1. 有」に○をし、ない場合はそれぞれにつき「0. 無」に○をすること。「上記保育所は研修医の子どもに使用可能か」欄は、上記で回答した保育所に研修医が子どもを預けることが可能な場合は「1. 可」に○をし、預けることができない場合は「0. 不可」に○をすること。
- (11)「保育補助」欄は、ベビーシッターや一時保育等利用時の補助を病院が行っている場合は「1. 有」に○をし、ない場合は「0. 無」に○をすること。その他に何らかの保育補助を行っている場合は、その他欄にその内容を具体的に記入すること。
- (12)「体調不良時に休憩・授乳等に使用できる場所」欄は、病院内に研修医が使用できる休憩場所や授乳スペースを有している場合は、それぞれにつき「1. 有」に○をし、ない場合はそれぞれにつき「0. 無」に○をすること。
- (13)「その他育児関連施設・取組」欄は、上記(10)～(12)に該当しない、育児関連施設を有している場合や育児関連の取組を行っている場合(院外施設・制度との連携した取組も含む)は、回答欄内にその内容を具体的に記入すること。
- (14)「研修医のライフイベント相談窓口」欄は、病院内に研修医がライフイベントについて相談できる窓口を設置している場合は「1. 有」に○をし、ない場合は「0. 無」に○をすること。「1. 有」を選択した病院は、その窓口の名称がある場合は記載し、窓口の専任担当がいる場合は「1. 有」に○をして、その人数を記載すること、専任担当がいない場合は「0. 無」に○をすること。
- (15)「各種ハラスメント相談窓口」欄は、病院内に研修医が各種ハラスメントについて相談できる窓口の名称について記載し、窓口の専任担当がいる場合は「1. 有」に○をして、その人数を記載すること、専任担当がいない場合は「0. 無」に○をすること。

11. 診療科ごとの入院患者・外来患者の数

既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入してください。

臨床研修病院の名称：医療法人開生会かいせい病院
病院施設番号：

区 分	内 科	救急部門	外 科	麻酔科 (部門)	小児科	産婦人科	又は		精 神 科	病院で定めた必修 科目の診療科			その他の研修を行 う診療科			合 計
							産 科	婦 人 科								
年間入院患者実数 ( ) 内は救急件数又は分娩件数	327	( )				( )	( )									327
年間新外来患者数	1533															1533
1日平均外来患者数 ( ) 内は年間外来診療日数	74.2 (293)	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	
平均在院日数	22															
常勤医師数 (うち臨床研修指導医 (指導医) 数)	3 ( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	3

※ 「年間入院患者実数」とは、提出年度の前々年度の繰越患者数に提出年度の前年度中における新入院患者数を加えた数とすること。「年間新外来患者数」とは、提出年度の前年度中に来院した外来患者のうち、初診料を算定した患者数とすること。「1日平均外来患者数」とは、年間外来患者延数÷年間外来診療日数による数（小数第二位を四捨五入）とすること。「病院で定めた必修科目の診療科」欄等が足りない場合には、続紙（様式自由）に記載し添付すること。「救急件数」及び「分娩件数」とは、10. の救急医療の実績の前年度の件数及び 14. の正常分娩件数と異常分娩件数の合計とすること。

※ 「内科」とは、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、神経内科等を含めた広義の内科のうち基本研修科目の内科分野の研修を行う診療科であり、「外科」とは、心臓血管外科、呼吸器外科、脳外科等を含めた広義の外科のうち基本研修科目の外科分野の研修を行う診療科であること。

## 11. 診療科ごとの研修医の数

既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入してください。

(年度分)								臨床研修病院の名称：						
								病院施設番号：						
基幹型臨床研修病院名	担当分野	1～ 4週	5～ 8週	9～ 12週	13～ 16週	17～ 20週	21～ 24週	25～ 28週	29～ 32週	33～ 36週	37～ 40週	41～ 44週	45～ 48週	49～ 52週

- ※ 年次報告の場合は提出年度の前年度の実績分及び提出年度分の想定を別葉で作成し、研修プログラム変更・新設届出の場合は、届出年度の次年度分、次々年度分の想定を別葉で作成すること。
- ※ 当該病院が上記の年度に受け入れた、又は受け入れる予定の研修医の数を、基幹型臨床研修病院別及び担当分野別に記入すること。当該病院が基幹型臨床研修病院であり、かつ協力型臨床研修病院として研修医を受け入れている場合は、協力型臨床研修病院として受け入れている人数も含めて、全ての人数を記入すること。
- ※ 「基幹型臨床研修病院名」欄は、当該病院が基幹型臨床研修病院の場合は、当該病院を一番上に記入することとし、次に協力型臨床研修病院として受け入れている基幹型臨床研修病院名を記入すること。
- ※ 基幹型臨床研修病院及び担当分野ごとに各4週ごとに受け入れる研修医の延人数（研修期間4週について1人とすること）を記入すること。
- ※ 「担当分野」欄には、内科、救急部門、地域医療、外科、麻酔科、小児科、産婦人科及び精神科のみを記入し、選択科については記入しないこと。ただし、一般外来については、他科との並行研修ではなく、単独で実施する場合に限り記入すること。また、当該病院が基幹型臨床研修病院であるとき、病院が定めた必修科目が上記以外にある場合には、その科目も含めて記入すること。

## 33. 臨床研修指導医（指導医）等の氏名等

病院施設番号：

臨床研修病院の名称：医療法人開生会かいせい病院

担当分野	氏名	所属	役職	臨床経験 年数	指導医講習 会等の受講 経験 有：○ 無：×	資格等	プログラム番号	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 臨床研修指導医 (指導医)
地域医療	菅 榮	医療法人開生 会かいせい病 院	院長	52年	×	日本呼吸器学会専 門医	3	
地域医療	菅 敏樹	医療法人開生 会かいせい病 院	副院長	18年	×	総合内科専門医 日本消化器病学会 専門医 日本消化器内視鏡 学会専門医 日本肝臓学会専門 医		

※ 「担当分野」欄には、様式 1 別紙 3 の臨床研修を行う分野及び病理（CPC）を記入すること。

※ 「所属」欄には、臨床研修指導医（指導医）等が所属する病院又は施設の名を記入すること。

※ 「資格等」欄には、受講した指導医講習会名称や、取得した専門医資格等について記入すること。

※ 「プログラム番号」欄には、臨床研修指導医（指導医）等が担当するすべてのプログラム番号を記入すること（プログラム番号を取得していない場合には研修プログラムの名称を記入すること。）。

※ プログラム責任者、副プログラム責任者、研修実施責任者及び臨床研修指導医（指導医）については、「備考」欄にそれぞれに応じた番号を記入し、併せてプログラム番号を記入すること（プログラム番号を取得していない場合には研修プログラムの名称を記入すること。）。

\* 研修実施責任者・・・協力型臨床研修病院又は臨床研修協力施設において、当該施設における臨床研修の実施を管理する者

\* 臨床研修指導医（指導医）・・・研修医に対する指導を行う医師であり、7年（84月）以上の臨床経験及び指導医養成講習会等の受講経験を有する者

※ 欄が足りない場合には、コピーにより対応し、「(No. )」欄にページ数を記入すること。